10・11小川VS橋本戦は、「アングル」だったのか?

1999年11月11日発行(毎月第2・第4木曜日発行)第1巻・第9号・通算9号

SRS DX

スペシャル・リング・サイド

No.9
1999
11・11
毎月第2・4木曜発売
定価680YEN

大山倍達、宮本武蔵に変身! カラテ日本に喝!

11・5~7 第7回極真世界大会直前大特集

歴史的対談、ついに実現! 石井和義VS松井章圭

[正道会館館長] [極真会館館長]

発売所・(株)扶桑社 〒105-8070 東京都港区海岸1丁目15番1号

PlayStation

極真魂伝授

一撃 鋼の人

1999年11月2日発売 5,800円（税別） Produced by FREE CLOUD

アナログコントローラ(SCPH-1200) DUAL SHOCK 対応

PocketStation™

国際空手道連盟極真会館公認。不動の王者 数見肇、F・フィリオら有力選手が実名で登場。プレイヤー自らが入門して道を極める「育成」モード、実名選手30数名が使える「対戦」モードなど、技の修練はもちろん、心の鍛錬もおこなえるモードが盛り沢山。極真の道はここにある。押忍!

ピーター　2'28"09　グラウベ

ワールド空手

「吾々は身心を錬磨し確固不抜の心技を極めること

横蹴り 五本　0:47

バンダイオリジナルホームページ
URL:http://www.bandai.co.jp/multi/ichigeki/
にて「一撃」の最新情報を入手せよ!

●価格はメーカー希望小売価格です。
●写真・イラストと商品は多少異なることがあります。
●表示価格は税別になっております。
●全国の有名デパート、玩具店、スーパーなどでお求めください。

バンダイゲームステーション 03-3847-5090 [受付時間 月～金曜日(除く祝日)10～16時]
電話番号はよく確かめて、おまちがえのないようにしてください。
●東京23区以外の方は、市外局番(03)をお忘れなく/●受付時間外の電話はおさけください。

株式会社バンダイ
ビデオゲーム事業部
東京都台東区駒形2-5-4 〒111-8081

BANDAI

『SRS・DX』読者満腹大サービス

FOOD&DRINK クーポン券

"SRS・DXなら何をやっても許されるのか!?"

今回は、食欲の秋、ということでプロレス・格闘技に関連した飲食店のクーポン券をご用意しました。「普通、格闘技雑誌だったら"スポーツの秋"じゃないの」というツッコミもありそうだが、そんなこたぁ知ったこっちゃねえんです！　味も値段も、絶対満足できるお店ばかりなので、とにかく行って、食べてみるべし！

キリトリ線

やきとり・串焼き 市屋苑(いちおくえん)

一組(2名様)につき、お会計より

600円割引

(4名様なら1,200円引きとなります)

※99年12月12日(日)まで有効

〈市屋苑〉
かつてUWFインターナショナルの代表としてプロレス界にセンセーションを巻き起こした、鈴木健氏の店。鈴木氏自らが焼くやきとりは備長炭を使う本格派で、ハッキリ言ってバカウマ。名古屋コーチンや岩手の南部鶏など、様々な肉を選べる地鶏焼きも人気メニューとなっている。また、全国各地の地酒も多数取りそろえている。

東京都世田谷区用賀4-14-2
(東急新玉川線用賀駅より徒歩5分)
☎03-3707-3223
営業時間/18:30～24:30
定休日/なし

ステーキ&グリル Mr.デンジャー

お会計より、お一人様

300円割引

〈Mr.デンジャー〉
プロレス界のデスマッチ王・松永光弘が97年に開店。おすすめは150～450グラム(!)まである『デンジャーステーキ』で、しかも450グラムが1780円という安さにもビックリだ。仕込みにたっぷりと時間をかけた肉は抜群の柔らかさ。まさに"一線を越えた"逸品だ。夜の時間帯は試合がない限り松永本人も厨房で腕を振るっているぞ。

東京都墨田区立花3-2-12
(東武亀戸線東あずま駅より徒歩3分)
☎03-3614-8929
営業時間/11:30～13:30、17:00～25:00
定休日/水曜

キリトリ線

レストラン SUN族

お会計より、お一人様

100円割引

※99年11月30日(火)まで有効

〈SUN族〉
全日本女子プロレスが経営しているレストランで、全女の事務所に隣接している。元々はクラッシュギャルズの全盛時に"出待ち"のファンのために作られたのだとか。ランチタイムのみの営業だが、チキンカツカレー(780円)などのメニューは好評で、いつも大賑わい。新人選手や練習生がウェイトレスをしていることでも有名だ。

東京都目黒区下目黒2-17-17
(JR山手線目黒駅より徒歩10分)
☎03-3493-6541
営業時間/11:30～16:00
定休日/土曜、日曜、祭日

居酒屋ごっち

『闘魂美酒』

2,500円 → **1,000円割引**

※ボトルキープに限ります

〈居酒屋ごっち〉
あの"プロレスの神様"カール・ゴッチの名を頂いた、店名だけでもグッとくる居酒屋。修斗の桜井"マッハ"速人が"公認"する店でもあり、シューターの常連も多いとか。割引対象の『闘魂美酒』は、アントニオ猪木のファンなら絶対飲みたい「飲めばわかるさ、アリガトーッ！」なこの店の名物だ。

東京都杉並区高円寺南4-29-8
シャルマンハイム1F
(JR中央線、地下鉄東西線高円寺駅より徒歩2分)
☎03-3314-3416
営業時間/18:30～26:00

キリトリ線

タイ料理 オーエンジャイ

毎週土曜開催のキックボクシング大会

入場料3,500円 → **500円割引**

※要電話予約。2000年4月30日(日)まで有効

〈オーエンジャイ〉
ニュージャパンキック所属の名門・東京北星ジムの1階にあるタイ料理レストラン。料理の味はもちろんだが、この店でなにより有名なのは、毎週土曜日に開催されているキックの大会。タイ料理に舌鼓を打ちながら激しい試合も楽しむことができる。キック大会開催日は混雑するため、来店時には予約が必要。

東京都足立区綾瀬4-9-23
(地下鉄千代田線綾瀬駅より徒歩1分)
☎03-3620-2581
営業時間/17:00～26:00
(キック大会は毎週土曜日20:00～)

鮨処 しま田

一組5,000円以上のお会計で

1,000円割引

※99年11月30日(火)まで有効

〈鮨処 しま田〉
WARの、というよりプロレス界の顔、天龍源一郎がオープン。その本格的な店がまえは、もはやレスラーの副業の域を越えている。ネタも毎朝築地で仕入れるなど、味も保証つきだが、それでいて、値段の方はいたって良心的なのでご安心を。座敷も用意されており、宴会の予約も随時受け付け中だ。

東京都世田谷区桜新町2-10-1
(東急新玉川線桜新町駅下車すぐ)
☎03-3428-9797
営業時間/11:30～14:00、17:00～23:00
定休日/月曜

キリトリ線

宿命の対決

今度ばかりは、桜庭もアレクもヤバイ。小川はあくまでも髙田かヒクソン！

11・21『プライド8』は原点的構図「プロレスラーVSブラジル戦士」だ

「プロレス界の救世主」と呼ばれる桜庭和志とアレクサンダー大塚のコンビだが、今度の今度ばかりはヤバイ。今までの貯金をゼロにしかねない大惨敗する可能性が出てきた。

11月21日、東京・有明コロシアムで行われる『プライド8』は、メインイベントのエンセン井上VSマーク・ケアーの野獣対決をのぞいて、「プロレスラー対ブラジル戦士」の全面対決という、バーリ・トゥード（VT）の原点的構図が見られるカードが組まれた。

特に桜庭とアレクは、グレイシー姓を名乗る本家と対決。「グレイシー狩り」に挑むことになった。

2年前の10・11髙田VSヒクソン戦、あるいは95年の安生洋二のヒクソン道場破りから始まった「プロレスVSグレイシー」の抗争。あの二つの事件以来、プロレスラーの強さは失墜し続けた。そこで満を持しての「プロレス界の救世主」の登場である。それが、ヒクソンの実弟で五男のホイラー・グレイシーVS桜庭であり、ヒクソンの従兄弟ヘンゾ・グレイシーVSアレクの一戦だ。

しかし、この闘いはリスクも大きい。聞くところによると、ホイラーは自ら「サクラバと闘いたい」と希望したそうだ。グレイシー一族は、もともと見取り試合をすると言われている。つまり、よっぽどの自信がなければ、試合を希望することはないのだ。まして桜庭の80キロ台に対し、ホイラーは60キロ台。条件的には桜庭の方が有利。それでも、ホイラーは"勝てる"と読んだのである。

アレクと闘うヘンゾだって不敗神話を守り続けている。「柔術こそ命」と考えるグレイシー一族にとって負けは死を意味する。いくら「プロレス界の救世主」だからといって、他のバーリ・トゥーダーや柔術家と闘うのは、わけが違うのである。

これまで『プライド』のリングで、ビクトー・ベウフォートやマルコ・ファスといった強豪をことごとく破ってきた桜庭とアレク。しかし、原点とも呼ぶべきグレイシー一族に敗れたら、今までの貯金はチャラになる。強烈なプロレスラーの匂いを発散する髙田なしで、桜庭とアレクがグレイシーにどんな闘いをするかは見ものだ。

また、カール・マレンコと松井大二郎もアラン・ゴエス、ヴァンダレイ・シウバというブラジルの強豪と激突。マーク・コールマンと"柔術怪獣"ヒカルド・モラエスの闘いも格闘技ファンにとっては注目のカードだ。

今回の『プライド』は格闘技通もうならせる実にいいカードが出揃ったが、専門家からみるとブラジル勢が全勝。プロレスラー全敗の可能性は十分有りえるのだ。

そして、注目されるのが10・11橋本戦でまた強さをアピールした小川直也の参戦である。小川はDSEと3回契約しており、あと2回の『プライド』出場は残っている。『プライド』を主催するDSEの森下直人社長の話によると、小川に対してはUFOの川村社長にはすでに承諾はとっており、2、3の選手をオファーしている。その一人がマーク・ケアーを失神させた強豪中の強豪イゴール・ボブチャンチンだ。

しかし、本誌の今号のインタビューでは、小川はボブチャンチン戦を拒否。あくまでも『プライド』では、髙田かヒクソンにこだわっている。

前回同様、小川の参戦は最後の最後までモメそうだ。新日本のリングではヒールに見られる小川。しかし、『プライド』のリングだと途端にベビーフェイスに変わる。そこに小川という存在の意味があるのだ。なお『プライド8』では、合計8試合を予定している。

▼いよいよ"グレイシー狩り"に挑む桜庭とアレク。松井もブラジルの強豪シウバに挑戦

▶体重では桜庭より軽いホイラー。しかし、自ら挑戦の名乗りを上げたのは、よほど自信があるからだろう

▼小川直也の出場も濃厚。ただし、まだまだモメそうだ

11・21 有明コロシアム「PRIDE.8」一部対戦カード

⑥	エンセン井上（シューティング大宮ジム）	vs	マーク・ケアー（アメリカ）
⑤	桜庭和志（高田道場）	vs	ホイラー・グレイシー（ブラジル）
④	アレクサンダー大塚（バトラーツ）	vs	ヘンゾ・グレイシー（ブラジル）
③	マーク・コールマン（アメリカ）	vs	ヒカルド・モラエス（ブラジル）
②	カール・マレンコ（バトラーツ）	vs	アラン・ゴエス（ブラジル）
①	松井大二郎（高田道場）	vs	ヴァンダレイ・シウバ（ブラジル）

本日開催

噂の50万ドルトーナメントは無垢な強豪がズラリ!
新構想はまさに前田ワールド 初期のリングスの匂いが甦る!

前田日明が起死回生を狙った噂の賞金総額50万ドル「ワールド・メガバトル・オープントーナメント」が、今号の発売日である10・28代々木第2体育館でいよいよ開幕。それに先立ち、10月14日、WOWOWで行われた記者会見では、Aブロック1・2回戦の対戦カードが発表された。

9・24ルイジアナで行われた「UFC―22」を初視察するなど、今回のビッグイベントのブッキングのために渡米していた前田。それだけにどんな強豪を集めてくるか期待されていた。そして発表されたのが別枠のトーナメント表である。

注目のリングスネットワーク以外からのエントリー選手は6名。UFCミドル級トーナメント覇者のダン・ヘンダーソン。96・99ブラジリアンVT王者のレナード・ババル。リオ・デ・ジャネイロ柔術大会6回優勝、ブラジリアン柔術選手権3連覇のアントニオ・ノゲイラ、パンクラスで山宮恵一郎と闘ったジェレミー・ホーン、「UFC―22」で秒殺失神TKOを奪ったブラッド・コーラーなど、UFCや柔術の強豪がズラリと勢揃い。迎え撃つのは山本宜久、金原弘光、イリューヒン・ミーシャ、グロム・ザザなどリングスのまさに実力者が出陣。オランダ第2世代のギルバート・アイブル、ヴァレンタイン・オーフレイムも控えている。

このトーナメントの特徴は、ズバリ「初期のリングスの匂い」と表現するのがピッタリだろう。当初、『プライド』に出場するマーク・ケアーやマーク・コールマンといったビッグネームの出場が噂されたが、これらのビッグネームは、ファイトマネーや対戦相手に対していちいち要望が多い。極論すれば、競争相手の多い総合格闘技では今、ヒクソン病が蔓延しているのである。

ところが前田はこういう要望をすべて突っぱねた。そして、出たいヤツが出ればいいという姿勢を打ち出したのである。その結果がケアーほどのビッグネームではないが、実力者揃いのメンバーになった理由である。

これぞ、まさに前田ワールド。前田ワールドの中では、かつては無名だったディック・フライらオランダ勢、ヴォルク・ハンらロシア勢、ビターゼ・タリエルらグルジア勢がことごとくビッグネームに成長していった。そういう無垢なファイターをスターにする土壌が前田ワールドには存在するのだ。

そのため、今回のトーナメントは、内容の濃い試合が実現するのは明らか。初期のリングスの緊張感が再び甦りそうな予感がする。またマウントでの顔面パンチがないこともあって、結果も全く読めない。前田自身も「リングス勢が全滅するかも」と予想するほどだ。

ちなみに、過去最高額50万ドルの内訳は、基本ファイトマネーが3千ドル。1回戦で勝利すると2千ドル、2回戦で勝利すると3千ドルと、ファイターは勝ち進めば進むほど賞金が多くなるというシステム。10・28ではAブロックのベスト4までが決定する予定だ。

初の賞金トーナメントに金原らジャパン勢は早くも「優勝すれば年収の3倍。今は3倍練習している」と意気込む。前田にとっては、来年のWOWOWとの契約もあり、なんとか成功させたい、このトーナメント。Bブロック1・2回戦は、12・22大阪府立体育会館。ここでは、エンセン井上、ヘンゾ・グレイシーの出場も噂されている。そして、グランドファイナルは2・26日本武道館だ。

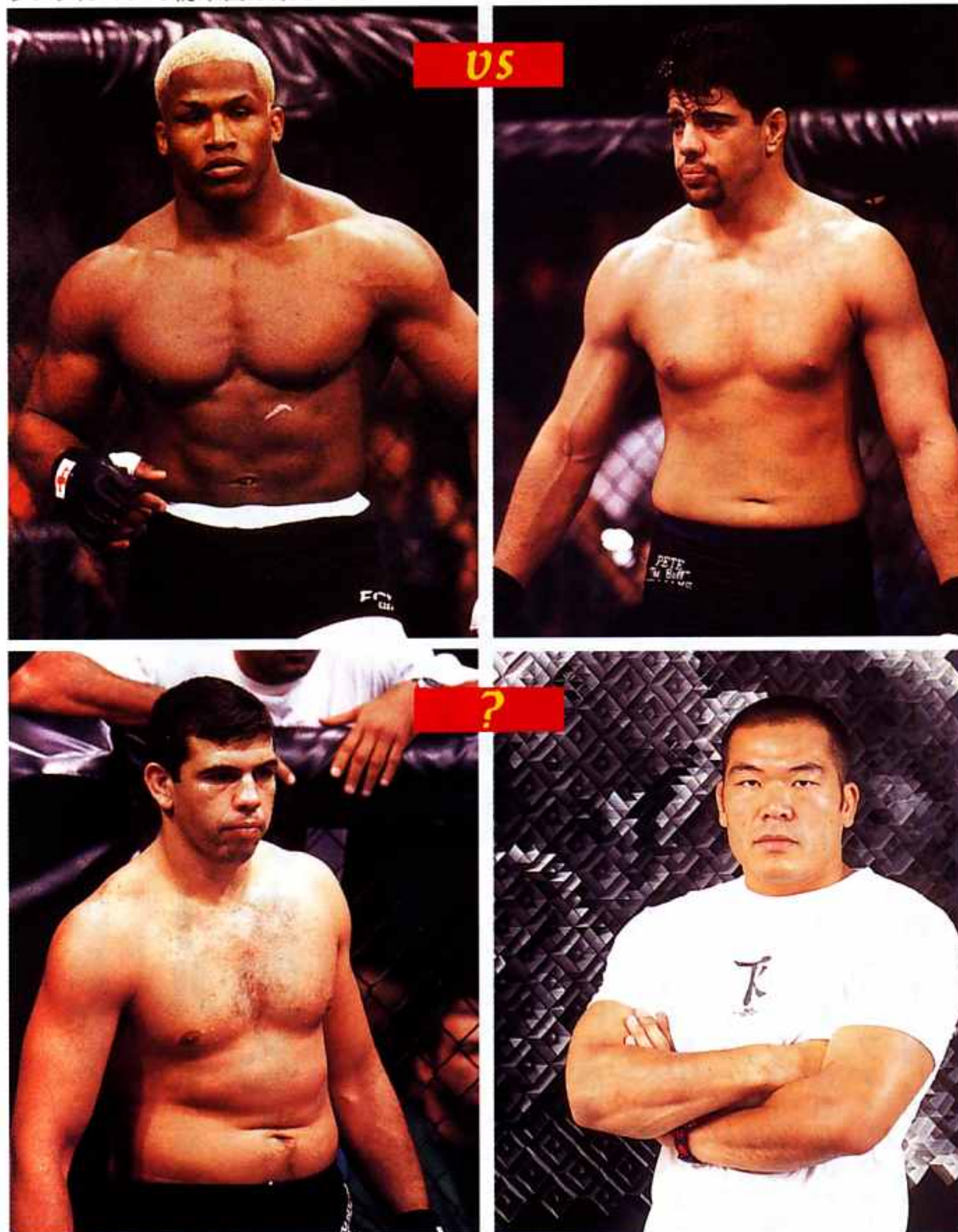
▼田村潔司も相手によっては、オープンフィンガーグローブを着用するという。右端は前田が優勝候補と目するラバザノフ・アフメッドだ

◀ルールは純粋な一本勝負。ロープエスケープなしだ

10・28代々木 Aブロック対戦表

選手	所属
ラバザノフ・アフメッド	(リングス・ロシア)
リー・ハスデル	(リングス・イギリス)
レナート・ババル	(ブラジル)
グロム・ザザ	(リングス・グルジア)
コーチキン・ユーリー	(リングス・ロシア)
ギルバート・アイブル	(リングス・オランダ)
アントニオ・ノゲイラ	(ブラジル)
ヴァレンタイン・オーフレイム	(リングス・オランダ)
ジェレミー・ホーン	(アメリカ)
金原弘光	(リングス・ジャパン)
ダン・ヘンダーソン	(アメリカ)
ゴギテゼ・バクーリ	(リングス・グルジア)
ジャスティン・マッコリー	(アメリカ)
イリューヒン・ミーシャ	(リングス・ロシア)
ブラッド・コーラー	(アメリカ)
山本宜久	(リングス・ジャパン)

▶「LAボクシング」に所属するジャスティン・マッコリー

▶ホーンは「UFC―22」でジェイソン・ゴトシーを1R腕ひしぎ十字固めで破っている

波乱必至

UFCヘビー級王座決定戦「ケビン・ランデルマンVSピート・ウィリアムス」発表

UFCと提携を狙う前田日明
髙阪の「UFC—J」出場はあるか？

『プライド』やリングスと並び注目されている、11月14日、NKホールで行われる「UFC—J」（アルティメット・ファイティング・チャンピオンシップ・ジャパン）。

9・24ルイジアナで行われた「UFC—22」を視察した坂田晶プロデューサーが、ボブ・メロウィッツSEG社長と会談した結果、新たなカードが発表された。

それが①ケビン・ランデルマンVSピート・ウィリアムスと、②山宮恵一郎VSユージン・ジャクソンのスーパーファイト。しかも、ランデルマンVSウィリアムスはUFCヘビー級チャンピオン決定戦として、本場直輸入のカードとして組まれる。これは、メロウィッツ氏が日本が本格的にやるならば、アメリカの開催を当て込むつもりでやろうという姿勢がうかがえる。

特にランデルマンは注目の選手。髪を金髪に染めたキャラクターあふれる黒人の筋肉マンで、「UFC—21」では、バス・ルッテンをあと一歩のところまで追い込み、判定で敗れた時はルッテンにブーイングが起こったほどの選手だ。マーク・コールマンの直弟子で、エベンゼール・ブラガやモーリス・スミスにも勝利。そのレスリング技術には定評のある新星。『プライド』の出場候補にも常に挙げられていた。一方のウィリアムスは、コールマンを右ハイキック一発でKOした選手だ（髙阪には判定負け）。

また「UFC—J日本人王者決定トーナメント」に出場する4人も出揃った。先に発表された①山本喧一（パワー・オブ・ドリーム）、②高瀬大樹（和術慧舟會）、③矢野倍達（RJW）にエンセン井上が指導するシューティング大宮ジムの④藤井勝久の出場が決定したのである。藤井はアマチュア修斗全日本ヘビー級で優勝した選手だ。

これで出場が決定していながら相手が決まっていないのが、安生洋二（フリー）とジエイソン・デルーシア（パンクラス）の2人。対戦相手は決まり次第発表される見通し。これが、敵対する『プライド』にぶつけるカードだ。

しかし、ここで注目されるのが、リングス所属で本場UFCで活躍する髙阪剛の出場である。前号でもお伝えしたように、髙阪自身「自分がアメリカでどんなファイトをしているか日本のファンに見せたい」と「UFC—J」出場を希望。もちろん、坂田プロデューサーも、髙阪の出場は大歓迎だろう。ここで問題となるのは、「UFC—J」の国内テレビ放送。リングスはWOWOWと専属契約しているため、もし他局での放送が決定すれば、髙阪の出場は微妙になってくる。その部分を「UFC—J」とリングスサイドで話し合っていると噂されている。

しかし、今のところ「UFC—J」の国内放送はもとより、米国でのPPV放送の予定はなし。もしかしたら、髙阪の出場が決まり、ペドロ・ヒーゾとの一戦が実現する可能性は十分ある。

実をいうと、前田日明自身もアメリカ視察を終えて「UFC」の選手たちには興味をもった。今号のインタビューにもあるように「UFC」との提携も考えているようだ。また、そうした展開も視野に入れて、坂田プロデューサーとも日本で会談した事実も認めている。そういった状況の中で、「UFC—J」の髙阪出場は、決して後ろ向きの話ではないのである。また、最近は前田と『プライド』を主催するDSEの森下直人社長は、こじれたという話も伝わってきている。

一方、パンクラスも今度の「UFC—J」の成功次第で、来年からは積極的に選手を派遣していく模様。パンクラスは「金網オクタゴンの中で試合をやりたくない」と主張するヒクソン・グレイシーと、別のリングで船木誠勝との試合を実現させようという動きが噂されるようになり、総合格闘技はますます混とんとするばかり。リングスとUFCの提携はあるのか。全く今後、目が離せないところである。

▼ケビン・ランデルマンVSピート・ウィリアムス（右）を発表したUFC－J。ランデルマンの初来日は楽しみだ

VS

?

▲いぜん、出場が噂される髙阪剛。UFC－Jに、もし参加することになれば、ペドロ・ヒーゾ（左）との挑戦者決定戦が濃厚である

波乱必至

史上初の公開抽選会でK－1の女神がいたずらした いきなりアーツVSバンナが実現！ セフォー、グレコ優勝の可能性大

▼アーツとバンナが絶好調で闘う試合が見られるのは、ファンにとっても幸せだ

すでにスポーツ紙などで発表されているが、今年のK―1グランプリ決勝大会は史上初の公開抽選会で組み合わせを決定。10月6日、フジテレビ本社でマスコミ200名が集まる中、その抽選会は選手たちの運と意志で決定したのだが、結果は石井館長も真っ青な凄い組み合わせになってしまった。

詳しくは67ページからの記事を読んでいただきたいのだが、K―1の女神はいたずら好きなのか、なんといきなり事実上の決勝戦と思われるピーター・アーツVSジェロム・レ・バンナの一戦が決定！　2人とも最高のコンディションで夢のカードが実現することになった。決まった瞬間は、思わず記者からも歓声が沸き起こったほどである。

今年のK―1GP最大のテーマは、「打倒アーツを誰が果たすか？」にある。しかし、開幕戦を見る限り、その可能性が一番高いのが〝帰ってきたバトルサイボーグ〟バンナであることはファンも認めるところだろう。

開幕戦ではアーツを苦しめた不沈艦マット・スケルトンを1R完全KOしたから、株はうなぎ昇り。120キロから繰り出すボクシング・パワーはアーツをもKOできる可能性十分だ。

しかし、アーツVSバンナの勝者が今年の本命かと言えば、決してそうではない。隣りにはアンディVSホーストという K―1王者経験者同士の対決があり、その勝者がアーツVSバンナと準決勝で闘うことになる。つまり、後半戦は史上空前の潰し合いが繰り広げられるのである。

こんなカードを初戦で組んだら、もちろんファイターたちは石井館長に文句を言っただろう。つまり、このトーナメントは石井館長さえ組めない画期的な組み合わせなのだ。

なぜ、こういう組み合わせになったかというと、アーツ、ホースト、アンディという歴代のK―1王者とバンナのクジ運が悪く、武蔵ら新世代が先に好きなところを選べたため。つまり、前半戦よりも、後半戦に強い選手が固まってしまったのだ。これは本当に運命のいたずらである。

そこで本誌が予想するのが、レイ・セフォーVSサム・グレコの勝者の優勝。アーツ、バンナ、ホースト、アンディは潰し合いになるので、セフォーやグレコが優勝する可能性が断然高まってきたのだ。

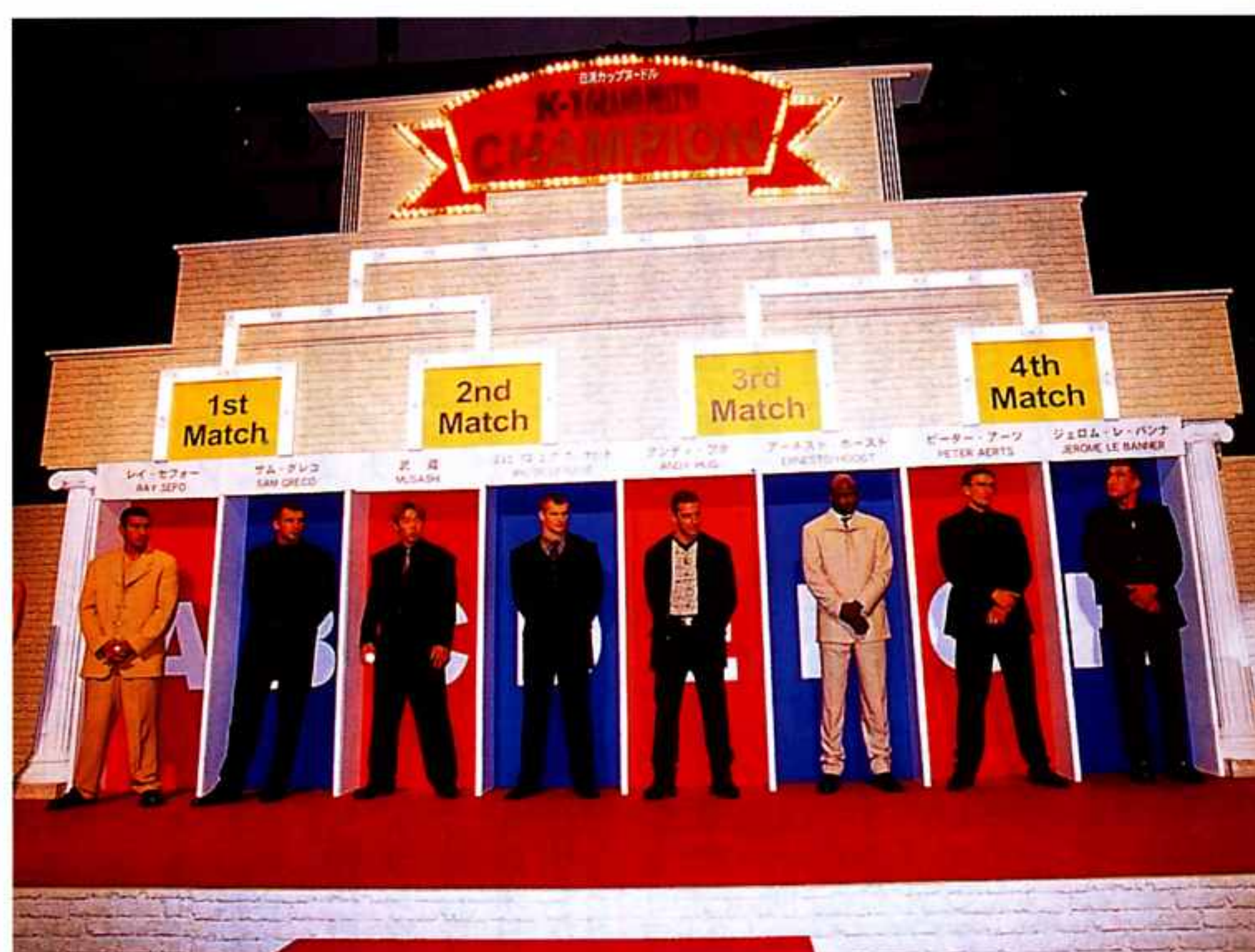
しかし、グレコとセフォーの勝者がまた読めない。グレコの今年優勝する意気込みは並々ならぬものがあるが、セフォーもデンバーのボクシングジムに渡りパンチの技術に磨きがかかって絶好調。パンチのセフォーか、キックのグレコか、勝負は紙一重といったところだろう。もし両者が激しい消耗戦を繰り広げれば、武蔵にもチャンスは出てくるはずだ。

いずれにせよ、今年のグランプリは公開抽選会を行うことで、俄然面白さが増した。誰が優勝するか本当に分からなくなってきたと見ていい。

アーツやホーストら歴代王者は「K―1王者になる条件」としてコンディションと運を必ずあげる。運とは組み合わせの運もあるし、判定の運もある。これだけのメンバーが揃えば実力的に差はなく、この組み合わせに優勝の鍵が隠されているのである。

なお、昨年のグランプリ決勝大会は、400人のオーケストラが「第九」や「アイーダ」の合唱をしたように、今年のドームの演出も楽しみの一つ。年に一度の格闘技界最大のイベント。当日はぜひライブでK―1ワールドを体感しよう。

組み合わせ
12・5 東京ドーム K―1グランプリ'99決勝大会

- レイ・セフォー［ニュージーランド］
- サム・グレコ［オーストラリア］
- 武蔵［日本］
- ミルコ・クロ・コップ・フィリポビッチ［クロアチア］
- アンディ・フグ［スイス］
- アーネスト・ホースト［オランダ］
- ピーター・アーツ［オランダ］
- ジェロム・レ・バンナ［フランス］

▲フジテレビで行われた公開抽選会は、大がかりなセットの中で行われた。これが12・5東京ドームのヤマ型である

マジ!?

タイガーマスク→UWF→シューティング→掣圏道とお騒がせの佐山聡。今度は…

タレント坂本一生が「虎の穴」入門 ヒクソン級の怪物もやって来る!

UWF、シューティングと次々に格闘技界に革命を起こし、今また怪し気な格闘技・掣圏道を作って世間を騒がせる佐山聡。北海道に虎の穴を作ったかと思えば、有明に大量のロシアン・ダンサーを招くなど、いつも佐山の発想はセンセーショナルである。

その佐山の掣圏道に、今度はタレントの坂本一生が入団し、ワイドショーをも賑わせている。

坂本一生が掣圏道に入団した経緯は、10月12日、佐山が都内ホテルで「11・5横浜文化体育館大会」の記者会見をしたのが始まりだった。ここで佐山は「SAプロレス、SAボクシングとやる気のある人を募集します。虎の穴で鍛えて怪物にしたい」と発表。それを受ける形で、坂本一生が翌13日、羽田空港で芸能レポーター、一般マスコミを集めて「掣圏道入団」をアピールした。

坂本はもともと大のプロレスファンで、初代タイガーマスクに憧れ、プロレス入りを志願していた男。かつては、WARでリングアナウンサーも務めたことがある。

「プロレスの修行がいかに厳しいか分かっているつもり。でも、僕は昔から格闘技が好きで剛柔流空手や少林寺拳法をやってきた。憧れの佐山さんの元なら、耐え抜いてみせます」とキッパリ。そのまま帯広で興行をやっていた佐山の元に駆けつけ、直談判して虎の穴入りを認められた。

「当分はタレント活動は休業してプロレス修行に専念したい。北海道にアパートを借りて住み込み、虎の穴で練習して、今の体重75キロを95キロにしようと考えています」と坂本一生。佐山は入団の際、簡単なテストをしたのだが、「スピードがあり、動きがよくて、すべてにおいて合格。虎の穴で鍛えて10キロくらい体重を増やし、来春にはデビューさせたい。とりあえず、度胸をつけるために11・5横浜ではセコンドとして連れていきます」と、10月20日の正式入団発表で語った。同会見には、10月13日、帯広大会でのSAプロレスデビューを、飛びつき逆十字で飾った長井満也も出席。「厳しいけど、ぜひがんばってほしい」とエールを送った。

また、11・5横浜大会はSAプロレス中心の興行だが、ここで日本ではまだ馴染みのないロシアのアルティメット大会「アブソリュート」のタイトルマッチが行われる。これは、格闘技ファンも必見だ。

出場するロシアの現役VT王者ミハイル・アビテシャンは現アブソリュートの世界チャンピオン。佐山をして、その実力は「ヒクソン級。ボブチャンチンの10倍強い!」と言わしめる男だ。対する挑戦者は、トルコ王者のファチフ・コカニス。この対決はVTファンなら見ておく必要があるだろう。

また佐山は今回ロシアから第2弾でやって来たSAボクシングの選手は、前回の第一陣に比べものにならないほど強いヤツが虎の穴に集まっているという。初代ヘビー級の王者になったスルタンマゴメトフ・カフカズを除けば、今回の選手には全員歯が立たない。そのくらいロシアの選手は充実してきたそうだ。「まるで100キロあるタイ人を見ているみたい。これだったらK—1でもいけるかも」と佐山。ロシアの格闘技界はまだまだ奥が深そうだ。

しかし、その横浜大会には残念ながらビザの関係で、WWFの出場はなし。佐山VSアレクサンダー大塚のプロレス試合を始め、ロシア系の選手とバトラーツ、みちのくプロレス、長井満也らの試合で埋めつくされる。

噂のWWF格闘技戦用ファイターで、アトランタ五輪のレスリング金メダリスト、カート・アングルの来日もまだまだ先送りになりそうだ。

▼10月13日、羽田空港で掣圏道プロレス入りをぶち上げたタレントの坂本一生。芸能レポーターも数多く駆けつけた

◀10月12日、渋谷東武ホテルにて、11・5横浜文化体育館大会の記者会見をした佐山。この時、佐山は「やる気のある人は虎の穴にどんどん来てください」と発表した

◀坂本一生の生涯初「押忍!」

▲10月20日、リーガロイヤルホテル・ワセダで、正式に坂本一生と長井満也の入団が発表された

10月30日(土) 佐山聡サイン会のお知らせ

11・5掣圏道横浜大会のチケット購入者を対象とした佐山聡のサイン会が、10月30日(土)午後3時半より、JR水道橋西口駅前にある「ディスカウントチケット=チケット&トラベルTI」で行われる。問い合わせは☎03・5275・2778(チケット&トラベルTI)まで。

対抗心

引退が噂されていた立嶋も出場。大将戦は魔裟斗だ！
新日本キックに負けじと全日本キックも5対5マッチ！

新日本キックボクシング協会が11月28日、タイのラジャダムナン・スタジアムで、「日本VSタイ5対5マッチ」を行うならば、全日本キックボクシング連盟も負けてはいない。

本誌がスクープしたように11月22日、後楽園ホールで「全日本キックVS世界5対5マッチ」を行うことを発表。すでにSRS1万5千円、B席4千円が完売になっており、全席ソウルドアウトはほぼ間違いないと見られている。

この久々のビッグイベントに全日本キックから出場するのは、今やキック界一の人気者となった魔裟斗をはじめ、土屋ジョー、金沢久幸、新田明臣とオールスターが勢揃い、そして引退も噂されていた立嶋篤史の出場も決定した。

大将戦に抜擢されたのは、魔裟斗。先輩キックボクサーが並ぶ中での大役だが、本人は「特に気にしていない。終わって〝魔裟斗の試合が一番面白かった〟と言わせたい」と、目下10連勝中ということもあって自信満々だ。

しかし、対戦相手のエヴァル・デントンは、カークウッド・ウォーカーが所属するトロージャンジムの強豪。WAKO―PRO世界王者ほか、WKAイギリス・ムエタイ・ウェルター級王者、WKAイギリス・フルコンタクト・ウェルター級王者の「三冠王」で、魔裟斗について「まだまだ子供だ」と見ている。魔裟斗は来春、念願の世界タイトルに挑戦する話も浮上しており、まさに負けられない前哨戦と言っていいだろう。

また土屋と対戦するアーメッド・レンはランバー・ソムデートM16と互角に渡り合った選手。金沢の相手グレゴリー・トロンビニーはJ―NETWORKの外選手をボコボコにして担架送りにし、新田と闘う金動も小比類巻貴之に勝ったというずれも強豪たちだ。まさに全日本キックの正念場を賭けた大会である。

また、こうした全日本キックや新日本キックに負けじと、ニュージャパン・キックとMA日本キック、シュートボクシングが手を結んでビッグイベントを計画中という情報も入っている。

独立軍団「チーム・ドラゴン」も突然、10月20日、タイのラジャダムナン・スタジアムに前田憲作が上がり、4RTKO勝ちするという快挙！

新日本キックのタイ・ラジャダムナン遠征ツアーの打ち上げパーティーには辰吉丈一郎の最後の相手となったウィラポン・ナコンルアンプロモーションや〝オカマちゃんボクサー〟パリンヤーも参加することになった。年末に向けて、キック界も活発な動きを見せ始めている。

▲全日本キック最強の5人が世界の強豪に立ち向かう

11·22 後楽園ホール
全日本キックVS世界 5対5マッチ

⑤大将戦／67キロ契約
魔裟斗 vs “イーヴィル”エヴァル・デントン
(全日本ウェルター級王者) (WAKO-PRO世界ウェルター級王者/イギリス)

④副将戦／Sバンタム級契約
土屋ジョー vs アーメッド・レン
(WKA世界ムエタイ・バンタム級王者) (WPKLヨーロッパ・スーパーバンタム級王者/フランス)

③中堅戦／未定
金沢久幸 vs グレゴリー・トロンビニー
(全日本ライト級王者) (WKAヨーロッパ・ライト級王者/フランス)

②次鋒戦／71キロ契約
新田明臣 vs 金勲
(全日本ミドル級1位) (韓国ミドル級2位)

①先鋒戦／58キロ契約
立嶋篤史 vs リンフォード・メーボーン
(全日本フェザー級3位) (WKAイギリス・ムエタイ・フェザー級王者/イギリス)

仰天

SBを離脱した村浜武洋が、「大阪プロレス」で異種格闘技戦

シュートボクシング（SB）協会を退団し、消息不明となっていた元JSBAカーディナル級王者で、K―1フェザー級王者にも輝いたこともある村浜武洋が、なんとスペル・デルフィンが主宰する「大阪プロレス」で復帰することになった。

村浜は子供の頃から大のプロレスファンで、SBのリングでもプロレス心を持ち込んで活躍した人気選手。デルフィンとは旧知の間柄だった。

その村浜が、2000年1月4日、なみはやドームで行われる大阪プロレスのビッグイベントに出場。星川尚浩相手に異種格闘技戦で復帰する。

しかし、村浜がそのままプロレスラーに転向するかといえばそうではないらしい。あくまでもフリーの格闘家として、ワンマッチ契約で出場し、今後のことはまだ未定だという。

子供の頃からプロレスラーになりたいと、様々な格闘技を体験してきた村浜。新天地では、自分の思いを開花させることができるだろうか。

▶SBで大人気だった村浜武洋

歴史

アメリカ→ヨーロッパ→そしてブラジルの時代へと移った極真勢力図
日本を本当に脅かした外国人は、ウィリー、フグ、フィリォの3人だ

11月5日から7日までの3日間「極真の聖地」東京体育館で開催される『第7回全世界空手道選手権大会』が目前に迫ってきた。
　これまで極真の世界大会が開かれると必ず「カラテ日本の危機」が叫ばれてきたが、実際に若いファンは極真の世界大会の歴史を本当に知っているのだろうか。そこで、歴代のベスト8の入賞者を一覧にしてみた。こうして、過去の歴史を振り返ってみると、いろんなものが見えてくる。
　75年11月に開かれた第1回大会から数えて早24年、今年で世界大会も7回目を数えるのだが、初期の頃に名前を連ねている名選手は、今や独立し一流一派を構えている人が多い。また最近の外国人選手の上位入賞者は、ほとんどK—1のリングに上がっている。松井館長が24歳で世界チャンピオンになっていることは、今さらながら驚くことだ。
　佐藤勝昭・盧山初雄・二宮城光といった個性豊かな第1回大会。第2回大会の前後から第3回大会までは、中村誠・三瓶啓二の「三誠時代」が長く続いた。その後は、松井章圭・増田章・黒澤浩樹・緑健児の「四天王時代」に移っていく。
　松井館長を除けば彼らの現役時代も長かったが、そのひとつ下の世代の八巻建志と田村悦宏が新世代の先駆けとなり、ちょうど大山総裁最期の全日本王者として、21歳の数見肇が登場する。今は柔道の山下泰裕のように「数見時代」が続いているのである。
　海外に目を向けて見ると、初期の頃の世界大会は、大山茂・中村誠両師範が育てた「アメリカ」の時代だった。ウィリー、オリバー、チャールズは日本にとっても脅威の存在だった。
　そして、第3回から第4回までの第2期はアンディ・フグ、マイケル・トンプソン、ミッシェル・ウェーデル、ピーター・スミット、ジェラルド・ゴルドーといった「ヨーロッパの時代」が到来する。これは黒崎健時師範に習ったヨーロッパの初期の空手家がまいた種が見事に実を結んだ結果だった。
　そして、そのヨーロッパの中でも特に強かったアンディを蹴り破り、時代をひっくり返したのがフランシスコ・フィリォらブラジル勢。今や完全に「ブラジルの時代」が花咲いているのである。
　しかし、これまで外国人選手の中でも本当に日本を崖っ淵に追い込んだのは、第2回大会のウィリー、第4回大会のアンディ、そして第6回大会のフィリォの3人と言える。ウィリーは準決勝で三瓶に不可解な暴走反則負け。アンディは決勝まで行き松井館長の顔を叩いて注意をとられ判定負け。そしてフィリォは前回の6回大会の準決勝で数見に試割り差で敗れている。それは日本人にとって、いずれも僅差の勝利だった。果たして今度こそ、外国人初の世界王者は誕生するか？

◀今回は松井館長になって2度目の世界大会である

世界大会歴代入賞者

第1回世界大会［1975・11・1〜2］
①佐藤勝昭（29）
②盧山初雄（27）
③二宮城光（21）
④大石代悟（24）
⑤佐藤俊和（28）
⑥東　孝（26）
⑦チャールズ・マーチン（32）
⑧フランク・クラーク（23）

第2回世界大会［1979・11・23〜25］
①中村　誠（27）
②三瓶啓二（25）
③ウィリー・ウィリアムス（28）
④東　孝（31）
⑤ハワード・コリンズ（30）
⑥バーナード・クレトン（28）
⑦セノ・マクサー（22）
⑧川畑幸一（22）

第3回世界大会［1984・1・20〜22］
①中村　誠（31）
②三瓶啓二（29）
③松井章圭（21）
④アデミール・ダ・コスタ（22）
⑤大西靖人（26）
⑥ニコラス・ダ・コスタ（22）
⑦田原敬三（30）
⑧デイブ・グリーブス（20）

第4回世界大会［1987・11・6〜8］
①松井章圭（24）
②アンディ・フグ（23）
③増田　章（25）
④マイケル・トンプソン（25）
⑤アデミール・ダ・コスタ（26）
⑥黒澤浩樹（25）
⑦七戸康博（26）
⑧ニコラス・ダ・コスタ（26）

第5回世界大会［1991・11・2〜4］
①緑　健児（29）
②増田　章（29）
③黒澤浩樹（29）
④ジャン・リビエール（20）
⑤八巻建志（27）
⑥石井　豊（29）
⑦七戸康博（30）
⑧ジョニー・クレイン（26）

第6回世界大会［1995・11・3〜5］
①八巻建志（31）
②数見　肇（23）
③フランシスコ・フィリォ（24）
④ギャリー・オニール（21）
⑤ニコラス・ペタス（22）
⑥黒澤浩樹（33）
⑦ルシアーノ・バジレ（20）
⑧グラウベ・フェイトーザ（22）

※（）内は当時の年齢

大山倍達、宮本武蔵になり、今こそ問う！

極真カラテとは、
国家、宗教、民族、思想、政治、
そういったものの垣根を超越した
ところにある〈大山倍達・談〉

ならば最後は

「大和魂」を一番持った男が世界チャンピオンになる！

11月5日から7日までの3日間、東京体育館で開催される極真空手の「第7回世界空手道選手権大会」。この4年に一度の「カラテ五輪」が目前に迫って来た。すでに3日目の最終日は当日券以外のチケットは完売。K—1に出場したフィリォ、グラウベらの活躍もあって歴代最高の盛り上がりを見せている。そんな世界大会の見所とは何か？『SRS・DX』ならではの視点でお届けする。

文◎谷川貞治
写真◎菊地和男
協力◎集英社

宮本武蔵に憧れ、追い続けてきた大山倍達のカラテ道人生！

私は「日本が負けたら腹を斬る」「日本が負けたらキミたち腹を斬れ」と言ったりしてきた。

なぜ、それほどまでに厳しいことを言ってきたかというと、日本が誇る精神文化である「武道精神」を世界へ広げたかったからである。もしそれが本当に広がれば、私はそれでいい。

（大山倍達・談）

極真の会場に行くと日本人になれる！

写真を見て、ドキッとした方も多いだろう。これは正真正銘の極真空手創始者・大山倍達である。

この写真は、90年7月に発売された『月刊プレイボーイ』の企画で、大山倍達が生涯尊敬し続けた宮本武蔵に扮して撮影したものだ。さすが天下のゴッドハンド。コスプレ姿も、とても私など及びもつかぬほど決まっていらっしゃる。

今回、極真空手の世界大会の見所は、外国人に対して日本は王座を守り抜けるかという視点で語られている。あるいは、「日本VSブラジル」の構図がことさら浮き彫りにされている。確かにそのとおりなのだが、果たしてその視点だけでいいのだろうか。

極真の世界大会で一番感じることは、言うまでもなく「ナショナリズム」である。極真の会場に行くと、なぜか自分が日本人であることを思い出させてくれる。それが極真の最大の魅力だ。

会場に流れる軍歌のような「若獅子のマーチ」。

純白の道衣に身を包む選手たち。「カラテ日本」を守ろうと、身体能力の遥かに上回るガイジンに必死に立ち向かう日本人選手たち。

それでいて、ボロボロになりながらも決して怠ることのない「押忍」の挨拶。

11月5日から3日間、東京体育館に入ると、そこだけ日常では味わえない異空間を感じさせてくれる。サッカーのワールドカップだって、オリンピックだって、これほどのナショナリズムを味わえる空間はないだろう。

確かに柔道も日本のお家芸だが、東京オリンピックで早くもオランダに負け、本部も海外に移ってしまった。今は、いつの間にかカラー道衣になっている。よく見ると、試合中に礼もしっかりしていないのだ。競技としては世界に広まったが、日本の精神文化はどこに行ってしまったのだろうか。

大山総裁もそのことを常に心配して、世界で初めて直接打撃制の競技化に取り組んでいった。総裁の語録には、こんなものもある。

「私は『日本が負けたら腹を斬る』『日本が負けたらキミたち腹を斬れ』と言ったりしてきた。なぜそれほどまでに厳しいことを言ってきたかというと、日本が誇る精神文化である武道精神を広げたかったからである。もし、それが本当に広がれば、私はそれでいい」

つまり、今度の世界大会の芯もそこにあるのだ。

たとえば、日本の王座を脅かすフランシスコ・フィリォとグラウベ・フェイトーザは、大山総裁の命を受けた磯部清次師範がブラジルに渡って育てた怪物である。磯部師範が彼らに何を教えたかというと、日本の精神文化である武道精神に他ならない。だから、K―1に上がるフィリォは、日本人にしか見えないのである。

前号では「K―1の軸はオランダにあり」として、大山倍達から黒崎健時、そしてジョン・ブルミンへと脈々と流れる武道精神に、その強さの秘密があると解いた。

ならば、フィリォやグラウベだって、強さの秘密はその武道精神にあるのは間違いないのだ。

だから、極真の世界大会は、単純に「日本VSブラジル」とか「磯部カラテVS廣重カラテ」と見ることはできない。もしかしたら、日本人の若い選手よりも、フィリォやグラウベに「古き佳き日本人」を感じるかもしれないのである。

対する日本人のエース数見肇も、まるでサムライの時代を生きているような日本人である。頭を短く丸め、どんな危機的状況が起ころうとも決して心を乱さない。常に平常心で、達人のような生き方をいつだって求めている男だ。

数見は前回の世界大会ではフィリォ、グラウベを破り準優勝。この4年間は、たとえ拳が骨折しようと、靭帯が伸びていようと決して負けずに全日本大会を3連覇した。この数見をして日本が負けることがあれば、誰だって納得がいくだろう。

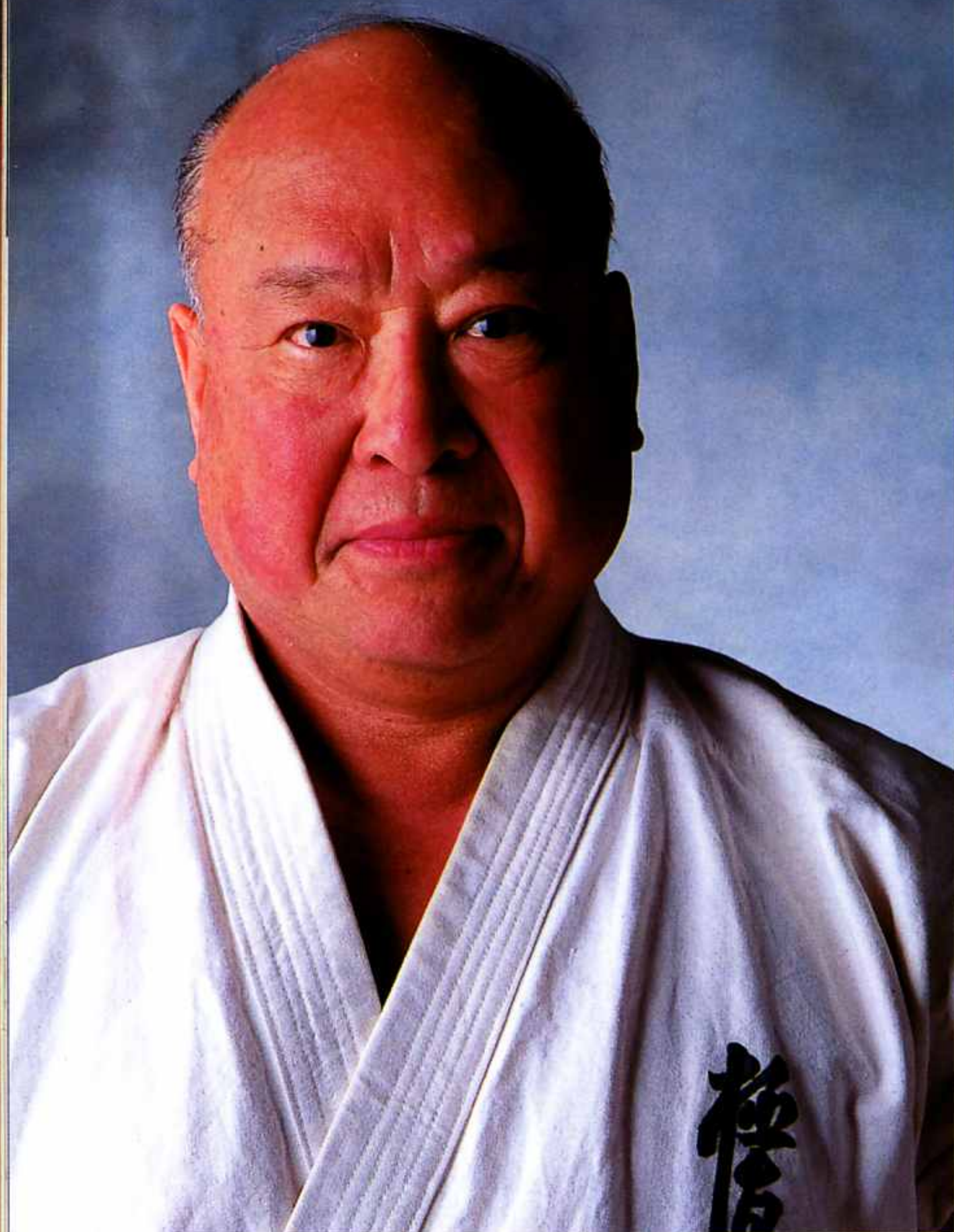
フィリォはフィリォで凄い。フィリォは今年一年、K―1で多くのファイトマネーを稼げたのに、それを蹴って名誉のためだけに世界大会を選んだ。

グラウベは頭をスキンヘッドにし、フィリォ以上の負荷でチューブトレーニングをし、秘密特訓までしているという。頭を丸めるという発想は、もちろん日本人の精神文化である。

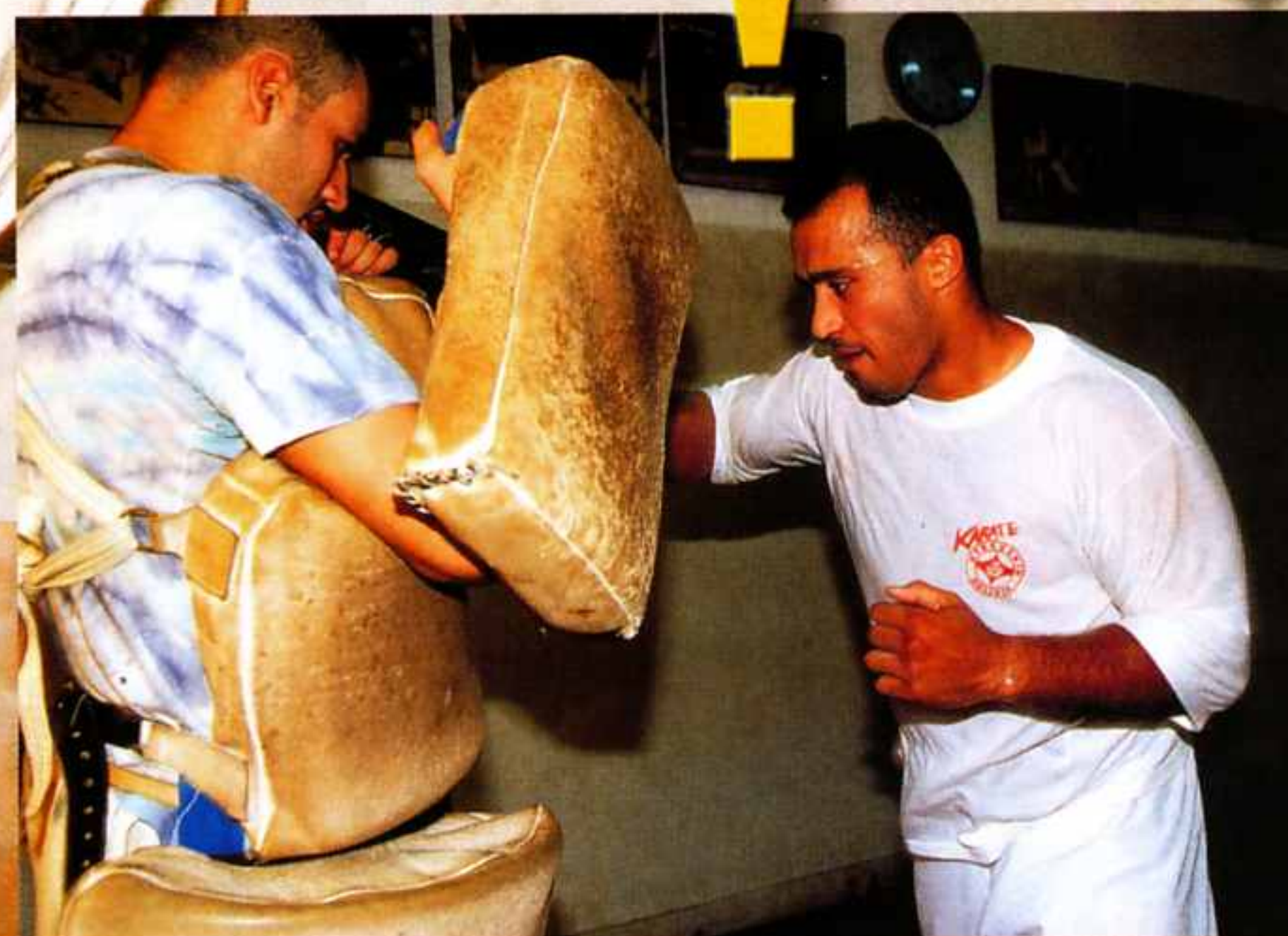
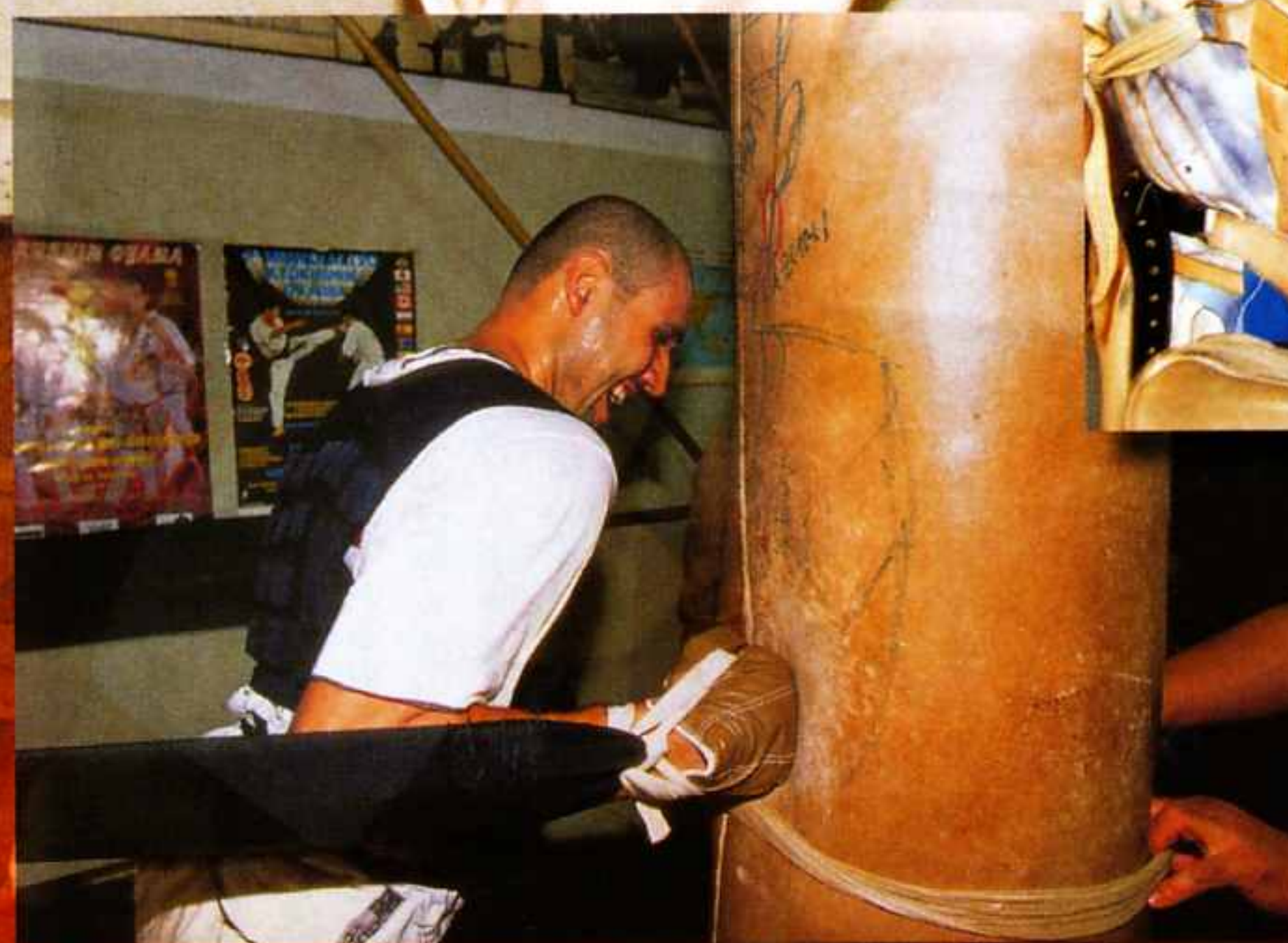
極真とは、こんな男たちの闘いなのだ。深夜コンビニの周りで、なんの目的意識もなくたむろする茶髪の若いヤツらに言いたい。「おまえら、極真を見に行って日本人の精神文化を少しは思い出せ」と。

たぶん、今回の世界大会、大山総裁が生きていたら、こう言っていると私は思うのだ。

「世界チャンピオンは、大和魂を一番持っている男がなれるよ」と。

極真では、その「大和魂」を「極真魂」と言う。■

まさにここは、日本の道場だ！

地球の裏側で外国人初の王座奪取に燃える「師弟愛」を見よ！

これがブラジル名物"汽車ポッポ"だ。巨大な帯を磯部師範の体に巻き付け、磯部師範の体重を引きずりながら走り込む

▲フィリォは週１回、磯部師範のところで合同稽古。あとは自分の道場でトレーニングをしている

◀「へのへのもへじ」の似顔絵に「KAZUMI」と書かれたサンドバッグに、グラウベがチューブを巻いて打ち込みをする。磯部師範の気合いも「カズミ！　カズミ！」だ

写真◎Ⓒ極真フォトライブラリー

河倍
リォ

第7回極真世界大会
直前大特集
11・5〜7　東京体育館

ブラジル怪物育成
その秘密に迫る。

4年前の第6回世界大会の直前に、私はブラジルの磯部師範の道場を取材に行ったことがある。

その時、一番驚いたのは、道場内の雰囲気だった。去年まで使われていた池袋の総本部も、いかにも「キョクシン」を思わせるムードが漂っていたのだが、そこはまるで「大山道場」の匂いを漂わせていたのだ。

ブラジルにフランシスコ・フィリォという怪物がいると聞いた時、私は日本人では及びもつかない大男がどんな科学的トレーニングをしているのか、期待していた。

しかし、その「大山道場」を思わせるブラジルの道場で見たものは、竹刀を持った磯部師範に合わせて延々と行われる「基本稽古」だったのである。

フィリォの体に竹刀をあびせる磯部師範の姿は、ウィリー・ウィリアムスを竹刀で叩く大山茂師範の姿、そっくりそのままだった。歯を食いしばり、「押忍」で耐え抜くブラジル人たち。道場には、巻きワラやスネを鍛える砂袋、そして試し割り用の板や石が転がっていた。

一歩外を歩けばたしかにサンパウロという異国の地なのだが、そこだけ日本にいる気分になる空間だったのだ。

「いい時に来たねぇ。これを見せる日本人はアンタが初めてだよ」

そう言って、磯部師範はフィリォのチューブトレーニングを見せてくれた。その姿は、まるで大リーグボール養成ギプスをつけた星飛雄馬と星一徹のようだった。いったいフィリォの体には、何キロの負荷がかかっているんだろう。

しかし、冷静に考えてみると、このトレーニングは決して科学的に裏付けされたものではなかった。非合理的で、不条理な修行の末に、フィリォという怪物は生まれていたのだ。その思想はまさに日本の武道精神そのものだった。

私はブラジルに行って、逆に日本を感じてしまったのである。その秘密をまずは磯部師範の先輩で、最初に海外に極真を作った男・大山茂師範に聞いてみた。

（谷川）

まるで磯部師範の体をスッポリと隠してしまうような大きな帯だ

▲フィリォはこの特訓で、お尻や太股の筋肉が何倍も大きくなったという。グラウベもまた今やフィリォ並みの下半身になってきている

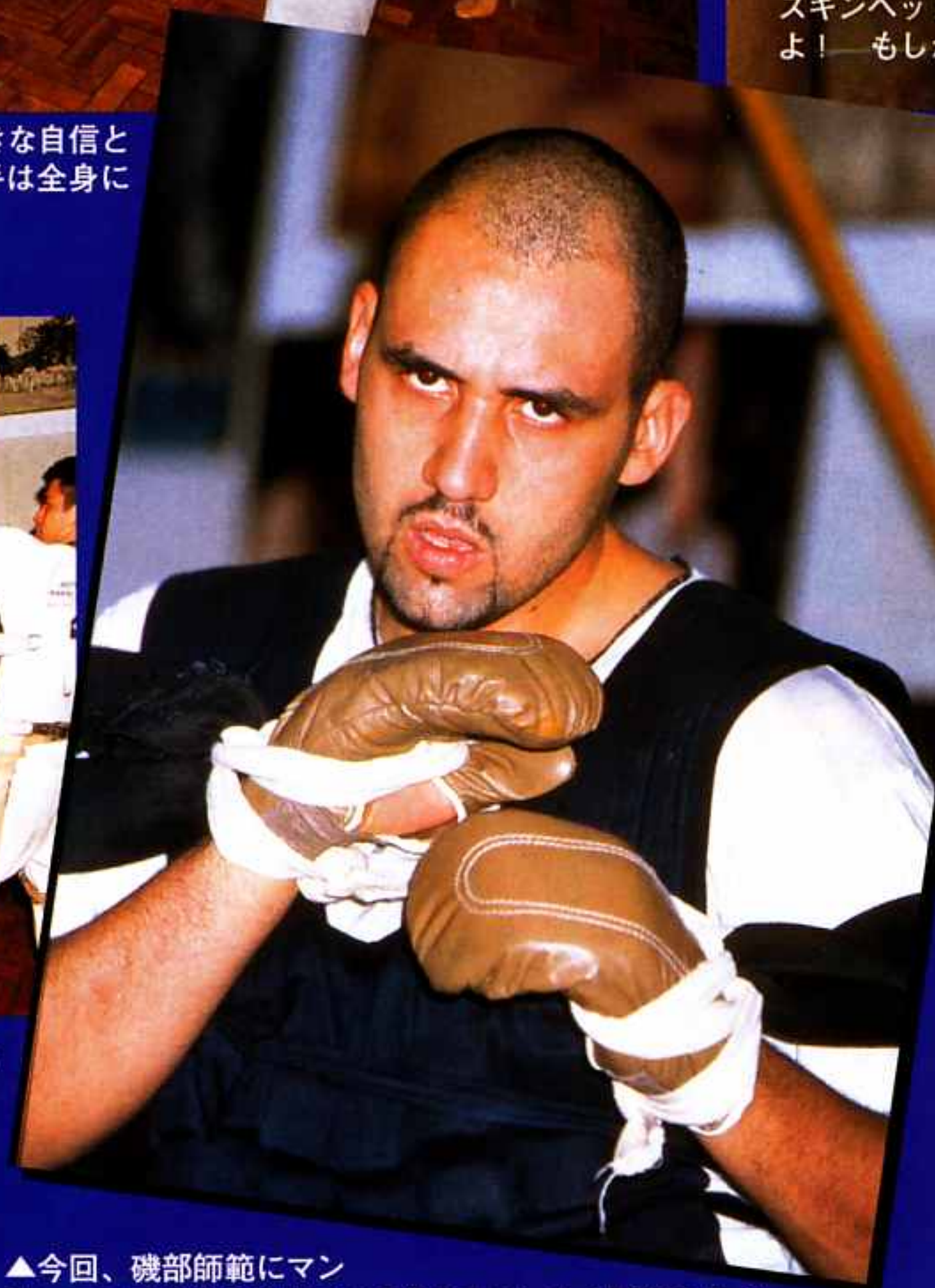
磯部師範考案の世界大会養成ギプス グラウベにかかる負荷はフィリオ以上！

スキンヘッドにし、この気合いあふれるグラウベの表情を見よ！──もしかしたら、怖いのはグラウベの方かもしれない

▲「大観衆の前で闘うK—1は大きな自信となった」というフィリォ。もう空手は全身に染み込んでいる

▲チューブをとったグラウベが中段回し蹴りを放つと

▲足は手の3倍以上の威力を持つ。カカト落とし、ブラジリアン・キック、ヒザはまさに一撃必殺！

▲ご覧のように100キロもあるヘビーサンドバッグが何メートルも移動する。こんな蹴り、日本人は受けられるか？

▲今回、磯部師範にマンツーマンで指導を受けているグラウベ。もう野獣の目だ

▲竹刀で檄を飛ばす磯部師範。まさに古き佳き日本の道場を思わせる

▲フィリォ以上の負荷で連日チューブトレーニングをするグラウベ。「男子三日会わざれば刮目して見よ」。もうグラウベは別人だ

第7回極真世界大会
直前大特集
11・5〜7　東京体育館

アメリカに「極真魂」を伝えた男
大山茂元最高師範 極真世界大会を語る。

――茂師範、大変お久しぶりです。お電話で誠に恐縮なんですが、今度極真の世界大会があるということで、師範からもコメントをいただきたいのですが……。

大山　ああ構わないですよ。それにしても松井君はたいしたもんだねぇ。私らがアメリカに来た時は「極真」なんてものは誰も知らなかったですし、ついこの間までそうでしたよ。でも、今は地球上のどこへ行っても「極真」っていったら知ってますからねぇ。

――師範はブラジルのフィリォやグラウベは知っておられますか。

大山　もちろん知ってますよ！　磯部の弟子でしょう。私はビデオで組手をチラッと見ただけなんですが、今回はトップまで行くんじゃないですか。私が見てきた極真の外国人選手の中でも、1、2を争うんじゃないかなぁ。

――磯部師範のことはよくご存知ですよね。一説によると、磯部師範をブラジルにダマして行かせたのは、茂師範も一枚かんでいたと言われるんですが（笑）。

大山　ハハハハ、そんなこともありましたなあ（笑）。でも私は磯部が行ってからはあのブラジルの道場に行ってないんですよ。磯部の前の時代の、田中先生の時代には総裁とちょくちょく行きましたがねぇ。

――ああ、そうなんですか。僕は思うんですが、今でも古き佳き大山道場の匂いのする空手道場は、世界広しと言えどもアメリカの茂師範のところと、ブラジルの磯部師範のところじゃないかと思うんですが。

大山　ハハハハ、それはもちろん私もそう思いますね。磯部のところも日本！　私のところも日本ですよ。磯部も総裁から直接空手を学んでますからね。写真や映像で見る限り、その教えを海外でもそのまま受け継いでいると思いますしね。だいたい審査会にしても今は日本と逆転してると思いますよ。日本で黒帯を取っても、ブラジルじゃあ取れないでしょう。そのくらいキツいですよ。まぁ、今のアメリカ人はブラジル人に比べてハングリーじゃないですからね。だから私のところは、女性や子供まで楽しくやらせることも考えてるんですけどね。今の時代にウィリーみたいなヤツは、なかなか入ってきてくれませんから。

――茂師範や磯部師範は、本当に日本の精神文化を持った強い選手を教えているんですけど、いったいどうやって怪物を育てるんですか。

大山　そりゃあ情熱だけですよ。強い選手を育てるには、指導者の情熱しかない。技術をいくら教えても、それはモノにできませんよ。それと、その時代や教えている国、これも大切ですね。磯部のところは、強いヤツがどんどん入ってくるかもしれないけど、それはお国柄や時代のタイミングがあるんでしょう。やっぱり強いヤツが入ってくるにも波がある。でも、それを途切れさせないためには、大会を開いて、スターを作っていくしかないんです。それだけが空手じゃないけれど、強いヤツを育てるには試合はやっぱり大切ですよ。だから、総裁は本当にノックダウンのいい大会を作りましたよねえ。

――なるほど。

大山　だから今はブラジルが花を咲かせている時代ですけど、今後は分からないですよ。ロシアあたりもこれから絶対に花が咲きますから。だいたいブラジルなんていっても、ロシア系、オランダ系、ドイツ系の人間の方が圧倒的に大きいんですから。フィリォ以上の怪物が出てくることもありますねぇ。

――それは凄えなぁ。でも、黒崎先生がオランダで教えたり、茂師範がアメリカで教えたり、磯部師範がブラジルで教えたり、強いヤツを育てるにも、そういう日本人の血が大切なんじゃないですかねぇ。

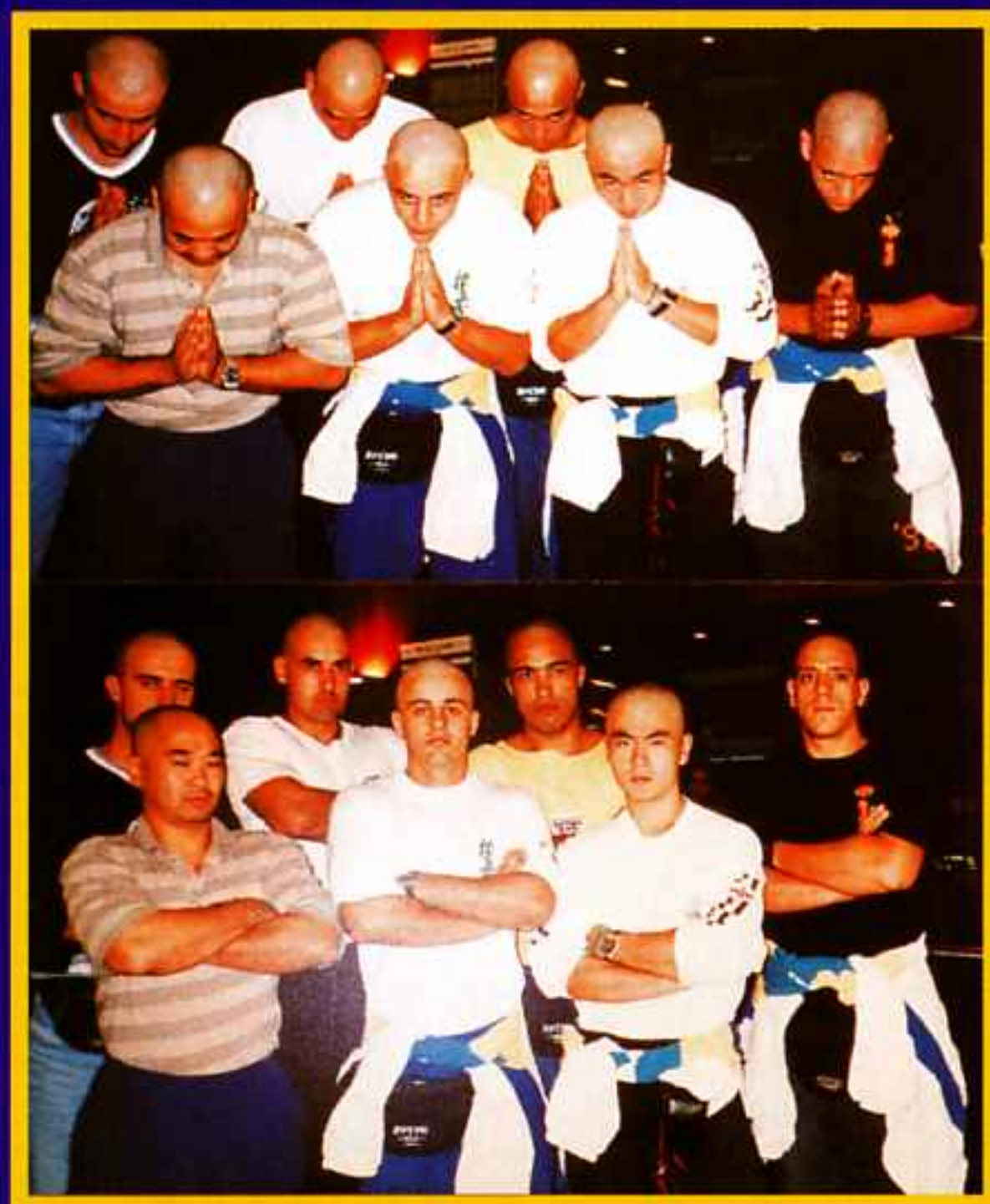
大山　でも、今の時代ではそういうのはもう難しいなぁ。私らの場合は「自分で行きたい」なんていうんじゃなかったから。総裁に「キミィ、行きなさい！」って行かされた派遣員だからね。責任感だけですよ、まあ。

――責任感！

大山　私の場合なんか、「行け！」で、「20年間、帰ってくるな！」「アメリカで死んでこい！」って手紙までもらいましたからね。そりゃあ私らの場合、ただ極真を広めるんだという使命感だけでしたからねえ。

――凄いなぁ。

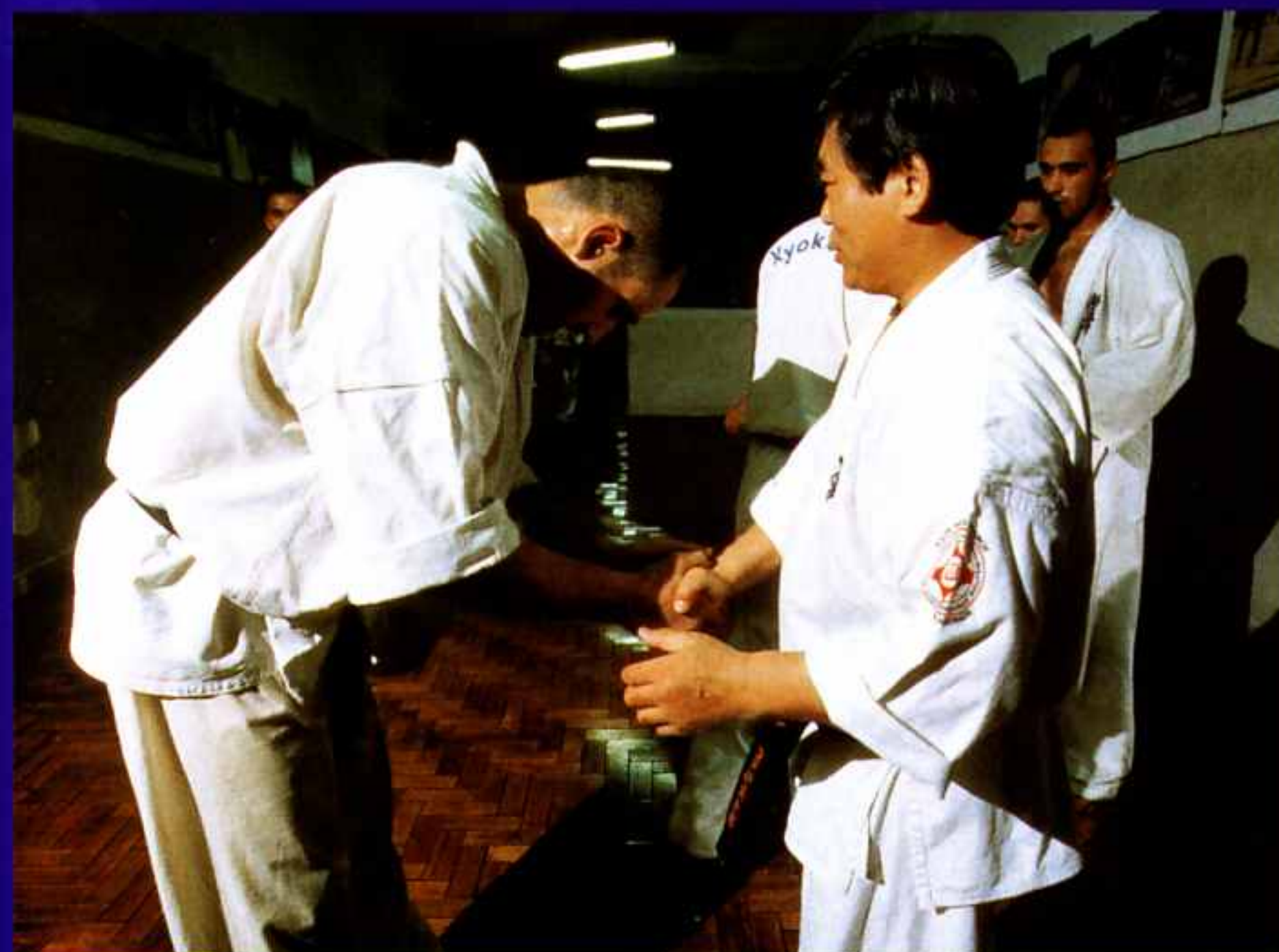
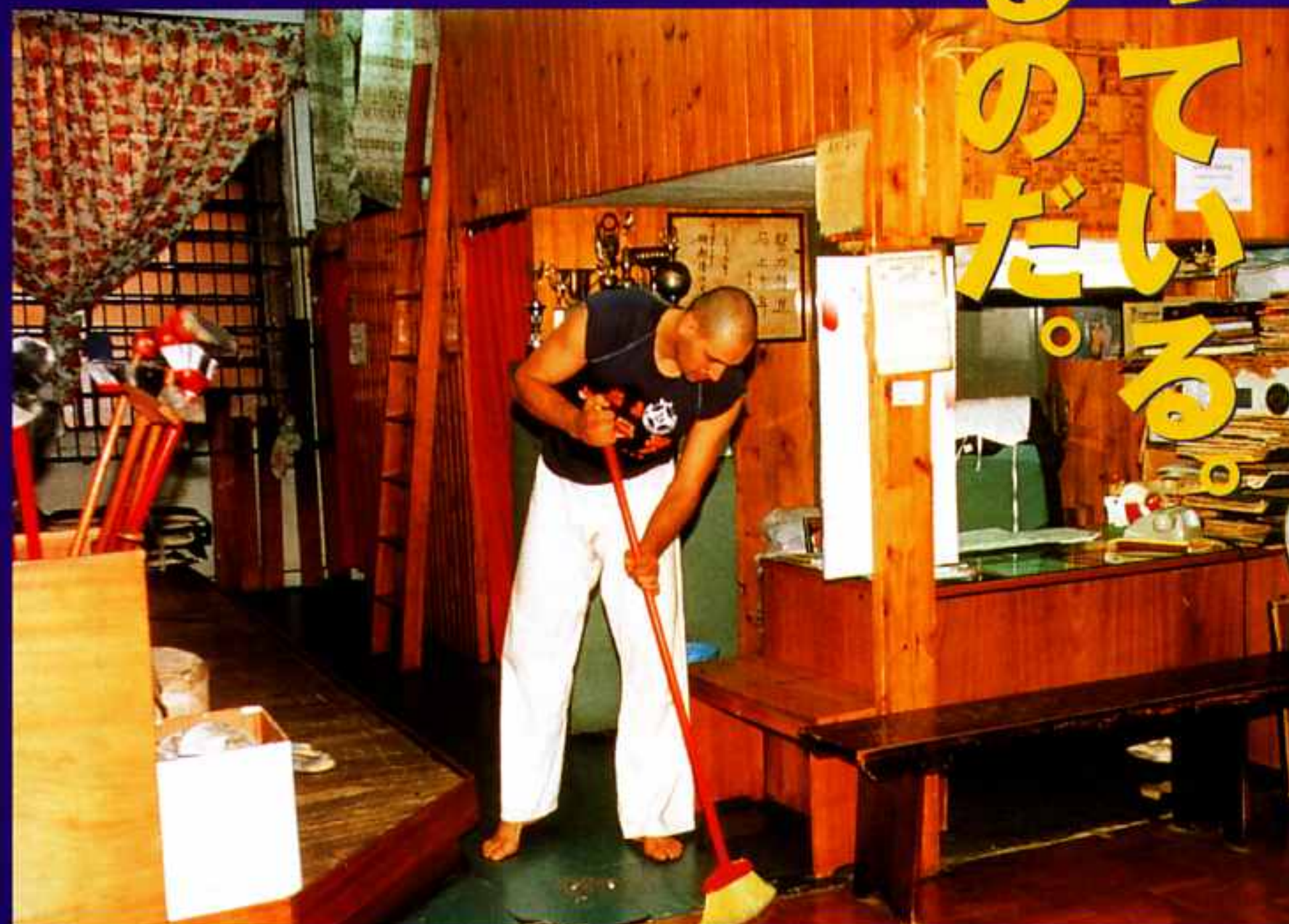
大山　私なんて体は細かったし、アメリカ人に対しては精神力だけで闘ってましたよ。他流試合なんて、しょっちゅうやってたけど、道場の隅にいつも木剣を置いてましたからね。まぁ、大山総裁に「死ね！」とは言われていても、なかなか自分で腹を斬れるものじゃない。だから私は万が一、アメリカ人相手に不覚を

ブラジルの道場には武道が宿っている。だから、彼らは日本人に見えるのだ。

▲この写真は、昨年パリで行われた世界国別団体戦の決勝で負けたブラジルチームが全員坊主になった貴重なショットだ。フィリォまで坊主。まさに日本式だ

ランニング、ダッシュなどの走り込みも欠かさない

▲今回が最後の世界大会挑戦。外国人初の世界チャンピオンになるか、フィリォ！

チームワークもバッチリのブラジル。フィリォ、グラウベが自然と他を強くする

遂にブラジル最強軍団が完成した！
待ってろよ、日本

▲稽古後は一人ひとり磯部師範と握手。この師弟愛が強さの秘密だ

▲もちろん稽古後は全員で道場の清掃。日本の精神がここにも宿っている

とるようなことがあれば、その木剣で相手を叩き殺そうと思ってましたよ。死ぬことができなかったら、せめて殺してやろう、と。

——す、す、凄いなあ！

大山　殺したら、自分はどこかに行方不明になってやろう、と。本当にねぇ、その頃はベトナム戦争の時期で、アメリカも殺伐としてましたからね。もう総裁や極真に恥をかかしちゃいけない。ただ、その想いだけでやってきましたよ。

——んあ〜。

大山　いやぁ、今は逆に腕っぷしを競おうといっても、そんな時代じゃなくなってますから。ピストルでズドンッですからね。だから、逆に空手に対する情熱も軟らかくなってきている。ウィリーみたいなのはいなくなってきているんだよね。その分、ブラジルとか、これからはロシア、ポーランド、そういうところが怖いんじゃないかな。

——ハングリーですもんね。

大山　ハングリーだし、体のデカイのがゴロゴロいるじゃない？　簡単に言うとね、日本の場合は100人か1000人いて、一人の佐竹とか出てくるじゃない。でも、ブラジルとかロシアはね、佐竹が100人も1000人もいて、その中から選ばれてくるわけですよ。これはやっぱり日本が勝てなくなるのも無理もないでしょう。六尺以上の体格の人間がね、日本人の中量級、軽量級の動きをするんですから。

——なるほど1000人の佐竹ねぇ。

大山　でも、そうかと思えば日本人も最近は大きくなったねぇ。100キロある人間も何人か出てきているでしょう。それに技術も凄く進歩しています。たいしたもんだねぇ。日本の若い先生たちも本当に一生懸命やってらっしゃいますよ。

——数見選手はご存知ですか。

大山　ああ、もちろん新聞、雑誌、ビデオで見て知っていますよ。なかなかの選手ですよねぇ、うん。心が乱れない、非常に芯の強い選手じゃないかなぁ。私も総裁のお供で随分いろいろ世界を回ったけど、本当に技術は変わってきましたからねぇ。数見クンたちの技術というのは、もう本当にたいしたもんだと思いますよ。私らが30年前に教えていた時とは、随分変わってきてますよ。本当にたいしたもんだよねえ。

——でも、数見選手にしても、ブラジルの磯部師範のところも、技術は進歩しているかもしれないけど、普段は本当に基本稽古ばっかりやっているんですよね。それがまた不思議です。

大山　それは私んところも同じです。やっぱり空手は組手、組手は基本だから。「組手の技は型にあり」と言いますから、私もこっちで教えていることは基本ばっかりですよ。基本やってね、あとは精神力。「相手がひっぱたいたら、倍にして返す。倍にして返せなければ、噛みついてでも勝つ。噛みついても勝てなけりゃあ、相手を睨んで倒してでも勝つ。それでも殺されたら化けて出ても勝つ」ってね、そういうふうに私ら総裁に教えられてましたから。使命感として、私はそれを実践してきただけです。たぶん、磯部も同じ気持ちだと思いますよ。

——はぁ〜。

大山　ただ今の極真の型は、極真の試合には向かないかもしれないですね。だから試合でも通用する型を総裁と研究して、USA大山空手ではやっているんです。極真のやっている「平安」とかは、やっていない。基本といっても、そこは違いますなぁ。でも、純日本式の基本をやっているところは変わんないですよ。

——大山総裁に習った技をそのままやっているってことですよね。

大山　そうそう。私はなんと言ってもね、総裁が現役バリバリで、総裁と直接組手をやっている世代ですからね。総裁がね、「もっと力いっぱい叩きなさい！」って言って、総裁の胸元に思いっきり正拳を叩き込んで、総裁の汗が目に跳ね返って、涙を流すくらい組手やってましたからね。こういう思い出というのは、私はラッキーですよね。そういう思い出をこっちでも稽古で残そう、と。それだけですよ、今は。

——なるほどねぇ。

大山　でも、とにかく私は総裁に「早く試合をやってください」と言っとったんですよ。そしたら、私がアメリカに来てから大会が始まっちゃったからね。それがもう心残りで心残りでしょうがないですよ。私は試合に出たかったんですよ。残念でしょうがない。もう2年早く大会が始まってたら、私が出てましたからね。総裁は毎年「やる、やる」と言ってて、それが5、6年経ちましたからね。それが私のアンラッキーですよ（笑）。

——ハハハハ。

大山　ガハハハハハ（笑）。

——でも、本当に僕は磯部師範がフィリォを竹刀で叩きながら教えている姿が、茂師範がウィリーを教えている姿とダブるんですよ。

大山　それはもう一緒でしょう。まず磯部はフィリォと一緒に食事をするでしょう？　フィリォは磯部から出されたものはなんでも食べると思うんですよ。これがまず大切。ウィリーもそうだったからね。それで、ウィリーなんてやっぱり竹刀で叩くにしても、叩きがいがありましたよ。フィリォもそうでしょう。でも、今のアメリカ人は叩いたら、辞めちゃうから。その点では磯部がうらやましいですよ。

——ふう〜ん。

大山　磯部というのは本当に情のある男でしたからね。ブラジルに行く前に、ニューヨークの私のところの道場で3カ月くらい稽古して行ったんだけど、総裁の稽古や考え方が刷り込まれていた男で、情熱ありましたから。だからフィリォみたいな男を作れるんですよ。たいしたもんだね。あっ、でも、磯部もブラジルに行って今年で何年？

——27年じゃないですか。

大山　27年かぁ、ハハハハハ、ひどいもんだね、総裁も（笑）。まぁだけど、フィリォみたいなのが育つんだから、磯部も幸せなんじゃないですか。私がこんなことを言うのもなんですが、もう世界大会は誰が勝ってもいいですよ。磯部も今度こそ総裁にご恩返しできるでしょう。■

PROFILE プロフィール

大山茂（おおやま・しげる）

1936年7月7日、東京都生まれ。高校時代に大山道場に入門。1966年極真空手をアメリカで広げるべく渡米。ウィリー・ウィリアムスなど数々の強豪選手を育成。その後、極真会館を離れ、現在はワールド大山空手の宗師として世界中に門下生をもつ。

編集長インタビュー

ブラジルの優勝は総裁に対する復讐？ いやいや恩返しですよ（笑）

遂にブラジル最強軍団を完成！

情熱の指導者 磯部清次

（極真会館・南米支部長）

フランシスコ・フィリォとグラウベ・フェイトーザに磯部清次あり。フィリォやグラウベを見る時、我々がそこに極真や日本人を見るのは、磯部師範がいるからだ。日本から見たら地球の真裏側で育まれた日本の武道精神。今まさに「ブラジル最強軍団」は完成した。

聞き手◎谷川貞治
写真◎Ⓒ極真フォトライブラリー

磯部　ハイ〜ッ、キョクシン！

——もしも〜し、先生、あのー、谷川と申しますが。

磯部　タニカワ？　あああああっ、はいはいはいはい。

——あのですね、今回ブラジルに直前取材に行ってはいけないということで、磯部先生には電話で取材してくれということでお電話させていただきました。

磯部　は………、はい。

——早速なんですけど、今回極真本部のほうから写真をお借りしたんですが、グラウベのスキンヘッドとか、凄く気合いが入ってますよね。

磯部　そりゃあもう極真の世界大会は、並大抵の意気込みじゃ勝てないんだから、相当に気合いを入れて出ていかないと。もう、そういうことでグラウベ自らがスキンヘッドにしたんですよ。

——そうですか（笑）。でも、スキンヘッドにする風習って日本人の風習ですよね。

磯部　いやいや、ブラジルにはねえ、昔はいわゆる牢獄から出てきた人間はみんな丸坊主だったんですよ、ツルッツル。

——は、ツルッツル……。

磯部　だからスキンヘッドをやっているヤツは、「ああ、あいつは今牢獄から出てきたんだな」とか「ムショ帰りだ」とか言ってたんだけど、最近ほら、なんだっけ、サッカーの選手がいるでしょう？

——ああ、ロナウドですね。

磯部　まぁ、流行といえば流行というか。べつにそんなに恥ずかしいとかね、カッコがつかないとかね、そういうのは今はないんですよ、こっちでは。

勝つ自信は1000％
秘密特訓は今回ばかりは教えられない

——そうなんですか。

磯部　でもふた昔くらい前、自分がブラジルに着いた頃は、ああいう丸坊主にしていたら、みんなから「あいつは刑務所から出てきたんだ」という風に言われてたんですよ（笑）。

——じゃあ師範の所はまるで刑務所みたいなところなんだ（笑）。それほど厳しいんじゃないんですか（笑）。

磯部　そうそうそう、刑務所のほうがいいって言われるかもしれないよお（笑）。でも彼ら自身はべつにどーってことないよね。パリのワールドカップでも1回やったでしょう。あの時は決勝で負けて2位になりましたから。

——ああ、写真で見て驚きました。

磯部　だからもう慣れているから、今はべつに抵抗ない！

——もう、凄い稽古をやっていると伝わってくるんですが、優勝の可能性はどんな感じなんですか？

磯部　可能性？　失礼しちゃうねぇ。可能性なんて言葉を使ってたらね……、前みたいに足下をすくわれちゃうから、もう優勝確率は1000％！

——せ、せ、1000％！

磯部　そうそうそう。

——凄いなぁ。

磯部　それぐらいでいかなきゃね。生半可な考えでいったら、また準決勝くらいでポトってやられちゃうから。今回はもう万全を期していきますから。

——雑誌なんか見ると、「引き分けは負けに等しい、試合場はライオンの檻と一緒。倒さなければ食い殺される」っていう素晴らしい磯部師範の言葉があったんですけど（笑）。

磯部　ガハハハハハ。まったくその通り！　戦場ですからね、世界大会は。

——トーナメント表は見ましたか？

磯部　見る必要はないけど、一応それはもう見ました。

——どうですか、それを見て、師範の素直な感想というのは。

▲もの凄い棒で腹筋を鍛える磯部師範。ちなみに腹筋しているのは、息子で世界大会にも出場するリュウジ・イソベだ

磯部　いや、Aブロックにフランシスコ・フィリォが入って、Cブロックにグラウベが入って分かれたから、もうそれで十分！　それ以上のことは何も言わない！

——なるほど。近くに誰かがいるとか、対策とか考えているんですか？

磯部　いやいやいやいや、もうそういうのは考える必要がないから。一撃で倒す！　決勝はフィリォVSグラウベ！　そういうことですよ。

——かぁ〜。それにしてもグラウベが凄くいいらしいですね。

磯部　いやいや、もう、いいってもんじゃないんじゃないかね。ガハハハハハッ。

——今はフィリォ以上だと思われていますか？

磯部　う〜ん、まぁそこの所はちょっと難しい所なんですけど、要するに全体をとれば、若干フィリォの方が先輩だから上かなぁという気もするんですけど、まぁ部分的に見てみた場合は、かなりグラウベの方が上回っている部分もあるわけですよ。

——攻撃力は凄いですよね。

磯部　だから、フランシスコはあんまり相手のことは褒めないんですけど、ある部分ではグラウベのことを一番嫌がってますからね。

——今回はチューブトレーニングは、グラウベだけがやっているんですか。

磯部　自分の所でやっているのはね、もうグラウベだけです。

——フィリォは完全に一人立ちしたんですか？

磯部　いやいや、フィリォはフィリォでね、彼のところでチューブトレーニングをやってますよ。フィリォはフィリォでグラウベと同じことをやってたんじゃ、同じレベルで終わってしまうから、彼は彼でやってるんです。

——数見選手は眼中になくて、フィリォはグラウベを意識してるんですね。

磯部　そりゃあそうでしょうが。

——はぁ〜。あの、師範、秘密特訓っていうのは、公表してないですよね。

磯部　全然、ぜ〜んぜん！

——それはまだ教えてくれないんですか。

磯部　ないない、そんなもん。だってないですよ、何にも！

——何にもないんですか（笑）！

磯部　ガハハハハハハッ。

——ホントですかぁ（笑）。何だろうってみんなで噂してるんですよ。

磯部　いや、だって「言わない、聞かせない、かがせない」って書いてあるでしょう。

——書いてあります、書いてあります。

磯部　4年前はチューブトレーニングを見せちゃったからね。あれは失敗だった。あれ、撮影終わったのが1カ月前なんですよ。それを編集する前にたぶん日本の関係者も見たんだと思うんです。「こんなことやってたら、凄いよ」って内部関係に伝わったんだと思うんですよね。やっぱりこれ、見てないのと見てるのでは全然違いますから。

——じゃ、終わってから教えてくれるんですね（笑）。

磯部　まあ、それを使わずに済むかもしれないけどね。

——使わずに済むってことは、技なんですか（笑）。

磯部　ガハハハハッ。そこまで到達するまでもないかもしれない。

——「汽車ポッポ」とは違うんですか？

磯部　は、は、はい〜っ？

——「汽車ポッポ」やってるじゃないで

すか、大きな帯を巻いて……。

磯部　ああ、あれ。あれはもう、一般公開しちゃったじゃない。あれは前からやってます。

——あれもすんごいデカイ帯ですね。

磯部　いやいや、あれでフランシスコ・フィリォの腰とかね、お尻の肉とか太股の後ろ側の肉がガッチリついたからね。

——なるほどね。そういえば、サンドバッグを叩く時に、選手の気合いが薄れてきたら磯部師範が「数見、数見」って声をかけているらしいですね（笑）。

磯部　ガハハハッ。いやもう、数見も入るし、タリエルも入るし、みんなの名前を出しますよ。

——あと誰の名前が入るんですか？

磯部　えっ？　いやいや、もちろん田村君も出て来るしさぁ、その前に当たる木村とか木山っていうのがいるでしょう。野地とかね。

——野地とグラウベの試合は楽しみですね。

磯部　…………。

——へ？

磯部　そこまで来りゃあ面白いけどね。

——野地は来ないと思いますか？

グラウベVS野地？　その前にウチの人間が潰すから大丈夫！

磯部　そこまで上がる前にウチのがいるから大丈夫！

——それは凄いなぁ。マルコス・ファーランとかあのへんも強いですもんね。

磯部　だから、この前のアメリカズカップがね、いい気付け薬になっているんですよ。

——あれ、なんで勝ち上がれなかったんですか？

磯部　まぁ、勝ち上がる上がらないというよりも、自分たちの欠点っていうのを見てみよう、と。それで勝てればいいし。それで負ければ仕方ない！

——欠点を見てみるってどういうことなんですか？

磯部　いやいや、結局、日本からみんな来てたでしょう。だから得意技は出さない、と。

——あ〜、なるほど、なるほど。

磯部　自分が上段好きならば、上段はあんまり見せないで、下段とか突きでいくとかね。突きが得意だったら、突きを出さずして蹴り一本でいったとかね。それで勝てればそれに越したことはないし、それで負けたとしても仕方がない、と。日本の人たちが、「おうおう、なんだブラジルってたいしたことないじゃないか」と思ったら作戦大成功。だからあれが、最高な状態であって、最大を尽くしてあのていたらくというわけじゃない。そりゃあ、もう谷川さん、それだったら世界を狙う確率が１０００％なんて人に言えないでしょう？

——聞くところによると、試合が終わった後に、優勝したグラウベのことを「10パーセントの力だった」って言ってたみたいですもんね。

磯部　そう。

——じゃあ、90％くらい隠していたんですか。

磯部　まぁ、90％じゃないけども、半分は隠していたよね。

——そうなんですかぁ。ザンデル・ササキ選手って凄くいいらしいですね。

磯部　あ、でもあれは一発屋なんですよ。今はもう、あと1年間残っている医科大を休学してウチに来てずっとやってますから。

——医学部なんですか。

磯部　医大生ですね。だからウチに来てね、一発屋も必要だけれども、そうじゃない闘い方を仕込み中ですよ。

——フィリォ選手とグラウベ選手の次は、ザンデルなんですか？

磯部　まぁ、パワーっていうか、破壊力はザンデルのほうが上ですね。

——そんなに凄いんですか。で、巧さではマルコス・ファーランとか……。

磯部　いや、もう巧さはマルコス・ダ・コスタ、マルコス・ファーランです。

——磯部師範が「今回優勝出来なかったら、永遠に優勝できない」って雑誌で読んだんですけど、そのくらいの覚悟なんですね。

磯部　だってねぇ、これだけ仕込むというか、準備してきてね、おそらく、これ以上のものって出来ないと思う、自分は。だから、引き分けは負けと同じ。引き分けじゃダメなんだから。もう、「全員ブッ倒しに行け！」って言ってるんですよ。「最低でも技有りは取れ！」って。

——なるほどね。

磯部　だから相手が、数見選手だろうが、日本のトップクラスの選手だろうが、最低は技有りだと。最低は技有り！　それくらいの気持ちでいかなきゃね。体重判定とか、判定で勝とうなんてこれっぽっちも思ってませんから。

——数見選手の強さって磯部師範はどういう風にとらえていらっしゃるんですか？

磯部　数見君は籠城型！

——ろうじょうがた？

磯部　城に籠る型ですよ。あれは日本だから成り立つんであってね。海外だったら、絶対に受けないですよ。だから、我々が籠城型でやってちゃあ、絶対に負ける。だからこれまでその城を破ろうと連発のピストルで行ったんだけど、それじゃダメだから機関銃で行った。それでもダメだから大砲だと。大砲でも勝てなかったから、最後はミサイルでいかないとダメだと思ってるんです。

——ミサイル！

磯部　籠城型だから、それもね、向こうにも攻撃させるような方法に持っていかないとダメだね。

——あのフィリォ選手もどっちかって言うと守りに強い方じゃないですか？

磯部　いや、だからK—1の場合には、それしかできなかったんですね。最初の方は特にね。結局グローブを着けて積極的に行く技術というものをまだ身に付けていなかったから。だから、あれでかなり抵抗したんだけど、それだけじゃ、一撃で倒せないし、見栄えもよくない。やっぱりあの攻撃的にガンガンいかないと

▲こんな拡声器を使って気合いを入れる磯部師範

ここまで準備してきて、もうこれ以上のことはできないと思う

極真じゃない。それで、最後のアーネスト・ホーストとやった時は……。

――あれは凄かったですね。

磯部　まぁ、彼自身は後がないということを意識してましたからね。マイク・ベルナルドですか？　ああいう風な無様な試合の形で終わってしまったから、そこで考え方を変えてね、アクティブにパパッていったのが功を奏したよね。

――今度の世界大会では、そういうアグレッシブな、アクティブなフィリォじゃないとダメだって考えているんですね。

磯部　もちろん、試合展開はね。でも、一から十まで最初から最後までバーッて行くのもどうかと思うから、そこはフランシスコもずいぶん経験を積んできて分かっているでしょう。彼自身もいろいろと綿密な作戦立てているみたいだし、前の時の数見戦で負けた時の反省もキチッとしてますしね。

――あの、K―1の影響って師範はあると思われるんですか？

磯部　プラス面のみ！　プラス面はたくさんありますよ。

――例えばプラスになっているのは。

磯部　いやいや、やっぱり会場規模ですよ。それからもう一つはルールの違う顔面有りの場にいってね、あえて出場して、いわゆる向こうの土俵でやって、けっこういい戦績残してますからね。ダメな試合もあったけどね。

――ないですよ、ないですよ。

磯部　いや、マイク・ベルナルドとやった時の試合はダメ！

――いや、あんなことはK―1ではピーター・アーツでもありますからね。

磯部　そうそう。だけど、普通なんだけど、だからああいう経験もそれ自体が、プラスですよ。

――なるほど、なるほど。マイナスな面ていうのはないですか。グローブずっとやってたから……。

磯部　いやいや、マイナス面っていうのが一つあれば、彼自身も自覚しているけど、極真のトーナメント試合に2年ちょっと離れているってことですね。だから、それが本人はちょっと気にはしてますよ。

K―1とは違いますから。

――それでも師範から見れば、プラスの方が多いと。

磯部　いや、自分としてはプラスの方が100倍多いですよ。

――それにしてもフィリォ選手や、グラウベ選手は、磯部師範が教えているから僕らは日本人にも見えるんですよね。

磯部　いやいや、彼たちに言うんですけども、結局最終的には対戦相手になるのは日本人なんだから、やはり「日本人に勝つには日本人に成り切ってやりなさい！」と。俺は強いから大丈夫だなんて言っても、向こうの数見なんかそういうのをひっくり返すのが巧かったからね。自分は籠城型だって言ってますけど、楽ですよ。引いて、打ち返せばいいんだから。

――逆に言うとなんて言うんですかね、磯部師範がブラジルで日本人の精神を教えたということで、日本の武道精神をフィリォやグラウベにもの凄く感じるんですよ。だから、フィリォとかグラウベが勝っても、日本が勝ったような気がするんです。

磯部　もう自分の語録とさ、廣重語録というのが「ワールド空手」に載ってたでしょう。結局、フランシスコが優勝しようが、グラウベが優勝しようが、ブラジル人が優勝してもね、総裁は「キミィ、なんだねぇ！」っていうようなことは言わないと思うんですよね。「キミィ、良くやったよ！」くらいでね。

――僕は逆に言うと、アメリカのマーシャルアーツスタイルとか、カンフースタイルとかそういう選手に負けたら、極真として寂しい気もするけど……。

磯部　ヨーロッパとかね。

――フィリォ選手やグラウベ選手なんて、磯部師範が教えているから日本人ですよ。K―1に出た時なんて、フィリォVSアーツなんか、日本の空手が出ていった感じがしますもんね。なんかそんな感じがしますよ。だから、フィリォやグラウベは応援したい気持ちもあるんです。

磯部　いやいや、応援してくださいよ、ガハハハハッ。

――みんな、簡単に「ブラジルVS日本」とか見るじゃないですか。

磯部　だから、今回の大会は日本勢の方は今までの選手層から見れば実際強くなっているんだろうけど、平均点だよね。そのぶん海外勢というか、うちの層は厚いから。まあここで優勝しなきゃ、日本は4年後には相当巻き返してくるでしょう。だから今回は絶対に逃したくないという気持ちが強いんですよ。

――なるほど。それは磯部師範の総裁に対する恩返しですか、それとも総裁に対する復讐ですか（笑）。

磯部　ガハハハハッ。まあ、恩返し……、総裁がよく言うじゃないですか。「キミたちは私に恩を返したいと思うならね、私以上の人間になれ！」と。自分はなれないから、選手にはなってもらえればいいんですよ。だからまあ、ご恩返しになるでしょう。

――でも、27年間もブラジルに住まなきゃいけなくなった、ちょっとリベンジの気持ちはあるでしょ？

磯部　ガハハハハハッ！　復讐ってことはないけど、ちょっとねぇ、言葉が乱暴というかキツすぎるというか。まぁ、恩返しのちょっと復讐ですね（笑）。

――恩返しのちょっと復讐！（笑）。ホントに僕は磯部師範が教えられてる選手ですから、絶対に優勝してもいいと思いますよ。

磯部　谷川さんとか、マスコミの方からそういう風にもっといってもらうと一番いいんですよ。

――みんな、日本VSブラジルって言ってるから。「ブラジルは日本だ！」っていう論調で行きます。極真の選手はそうじゃないけど、日本人の方が今、頭染めたりしてチャラチャラしてますもん。

磯部　ガッハハハハ。丸坊主にしてやりたいねぇ（笑）。

◀この殺気立った武道家としてのたたずまいに、グラウベの優勝も予感させる

PROFILE プロフィール

磯部清次（いそべ・せいじ）

1948年3月1日、福井県生まれ。本部内弟子として大山倍達から直接空手を学び、1972年、24歳の時にブラジルへ渡り、ジェームス・キタムラ、アデミール・ダ・コスタ、フランシスコ・フィリォ、グラウベ・フェイトーザなどを育て上げ、海外最強支部を作り出した名伯楽。

一目で分かるSRS・DX選定強豪チェック！
第7回極真世界大会全組み合わせ

Bブロック

49 田村悦宏［176センチ、100キロ、34歳、伍段、日本］
50 ヅミソ・ジャンジス［186センチ、79キロ、22歳、一級、南アフリカ］
51 バスカラン・レジェエヴ［170センチ、86キロ、26歳、一級、インド］
52 ゲロルド・セルジウズ［180センチ、79キロ、26歳、初段、フランス］
53 ジョナサン・リカルド［174センチ、81キロ、21歳、初段、ニュージーランド］
54 アロン・シュアリ［177センチ、68キロ、23歳、弐段、イスラエル］
55 安田幸治［173センチ、70キロ、26歳、弐段、日本］
56 マリオクリスティー・スジョト［178センチ、95キロ、19歳、一級、インドネシア］
57 ダニエル・ウォーカー［174センチ、73キロ、26歳、初段、オーストラリア］
58 シラック・ガンガクワマーラ［180センチ、82キロ、28歳、弐段、スリランカ］
59 ガブリエル・エリアス［180センチ、85キロ、28歳、二級、マラウイ］
60 アーテム・ブーカス［169センチ、87キロ、19歳、弐段、ロシア］
61 エルナン・A・コルデロ・ペレス［169センチ、75キロ、27歳、初段、チリ］
62 ダニエル・ゴーデット［165センチ、82キロ、28歳、参段、カナダ］
63 アレキサンダー・ピッチュクノブ［199センチ、98キロ、20歳、一級、ロシア］
64 ベリー・スタール［195センチ、83キロ、19歳、四級、オランダ］
65 ブラブ・ラム・シュレスタ［174センチ、72キロ、22歳、三級、シンガポール］
66 志田清之［180センチ、93キロ、27歳、初段、日本］
67 レオナルド・タヴァレス［178センチ、80キロ、22歳、初段、ブラジル］
68 ドレル・ブレアカ［174センチ、85キロ、34歳、弐段、ルーマニア］
69 エドワード・ソレンセン［181センチ、88キロ、25歳、初段、オーストラリア］
70 ジョージビビノ［176センチ、80キロ、29歳、初段、米国］
71 エマニュエル・ルアルテ［186センチ、91キロ、23歳、一級、アルゼンチン］
72 タリエル・ビターゼ［195センチ、130キロ、33歳、初段、グルジア］
73 マルコス・コスタ［178センチ、78キロ、28歳、参段、ブラジル］
74 グレイアム・ローズ［186センチ、83キロ、28歳、弐段、オーストラリア］
75 アレキサンダー・ミカエロヴィッチ［175センチ、90キロ、36歳、弐段、ベラルーシ］
76 ホルヘ・ロドリーゲズ［170センチ、78キロ、25歳、一級、ボリヴィア］
77 イオウリ・ベキチェヴ［176センチ、85キロ、34歳、一級、ロシア］
78 ユリー・ボリンコヴ［189センチ、73キロ、18歳、一級、ウクライナ］
79 クリスチャン・ウーレット［175センチ、80キロ、38歳、参段、カナダ］
80 マテウス・ウォジシック［175センチ、84キロ、25歳、一級、ポーランド］
81 ウォルター・シュナーベルト［183センチ、94キロ、32歳、参段、パプアニューギニア］
82 アダム・ゾルノキ［182センチ、77キロ、24歳、初段、ハンガリー］
83 マンズフレッド・ジリナックス［173センチ、84キロ、23歳、一級、コスタリカ］
84 門井敦嗣［177センチ、90キロ、26歳、初段、日本］
85 足立慎史［180センチ、88キロ、29歳、弐段、日本］
86 アリ・ファワズ［178センチ、91キロ、25歳、弐段、バハレーン］
87 レオ・グーセンズ［170センチ、70キロ、30歳、初段、オランダ］
88 ダニエル・エルザイン［177センチ、65キロ、22歳、初段、英国］
89 ジェイソン・ドーズ［186センチ、102キロ、22歳、弐段、南アフリカ］
90 ロバート・アルムラッド［199センチ、104キロ、29歳、初段、カナダ］
91 ベルナルド・アデライン［180センチ、76キロ、27歳、参段、セイシェル］
92 マイケル・ビスコス［173センチ、78キロ、22歳、弐段、ベルギー］
93 ユーリ・コッチキン［185センチ、100キロ、35歳、参段、ロシア］
94 カリムラ・カーン［170センチ、65キロ、19歳、初段、パキスタン］
95 アハメッド・ナジ［185センチ、92キロ、16歳、参段、クウエイト］
96 ニコラス・ペタス［180センチ、96キロ、26歳、参段、デンマーク］

Aブロック

1 フランシスコ・フィリォ［188センチ、108キロ、28歳、参段、ブラジル］
2 ザイン・アーメッド［180センチ、90キロ、23歳、弐段、レバノン］
3 ヴァシリー・ズロービン［180センチ、90キロ、21歳、初段、ロシア］
4 クリスチャン・クジェルソン［183センチ、79キロ、25歳、二級、デンマーク］
5 シンバ・マンガバ［168センチ、29歳、初段、ザンビア］
6 レオ・ジョンソン［179センチ、98キロ、31歳、初段、カナダ］
7 佐野忠輝［168センチ、102キロ、28歳、初段、日本］
8 ダリル・マン［181センチ、85キロ、28歳、初段、ニュージーランド］
9 シルヴェスター・シピエン［180センチ、80キロ、31歳、初段、ポーランド］
10 タボー・レビナ［176センチ、101キロ、28歳、初段、南アフリカ］
11 ロニー・ホフ［170センチ、70キロ、24歳、初段、ノルウェー］
12 ファルザド・フォロザン［175センチ、100キロ、33歳、四段、イラン］
13 高久昌義［177センチ、89キロ、28歳、参段、日本］
14 アブドラ・バンワン［162センチ、66キロ、21歳、二級、エジプト］
15 ムスタファ・オクスーズ［180センチ、79キロ、22歳、初段、フランス］
16 セルゲイ・ウスティーヴ［185センチ、97キロ、22歳、初段、ロシア］
17 ヤロスラウ・ブロンカウスキー［180センチ、78キロ、23歳、二級、米国］
18 タツジ・ナカムラ［172センチ、75キロ、31歳、弐段、カナダ］
19 木立裕之［169センチ、75キロ、27歳、弐段、日本］
20 イサカノフ・ムラト［172センチ、77キロ、28歳、弐段、カザフスタン共和国］
21 マイケル・ウィッテン［186センチ、100キロ、34歳、弐段、オーストラリア］
22 シーブルン・テバナンド［178センチ、80キロ、36歳、弐段、モーリシャス］
23 ピーター・サヴィッキー［175センチ、76キロ、25歳、ポーランド］
24 エルソン・シーグフリード［193センチ、110キロ、34歳、初段、オランダ］
25 ザンデル・エイジロウ・ササキ［180センチ、99キロ、24歳、初段、ブラジル］
26 セドラック・アンドレ［172センチ、95キロ、23歳、初段、ハンガリー］
27 グレハム・コールドウェル［180センチ、73キロ、25歳、一級、オーストラリア］
28 ジアウラ・カーン［183センチ、92キロ、22歳、初段、パキスタン］
29 パルダリップ・シンド［177センチ、68キロ、21歳、初段、カナダ］
30 アンドレイ・チェルネエブ［182センチ、85キロ、18歳、一級、ロシア］
31 フレデレック・ソートラン［177センチ、78キロ、26歳、一級、レユニオン］
32 成嶋竜［168センチ、68キロ、31歳、参段、日本］
33 ファジ・タクーズ［176センチ、73キロ、23歳、一級、シリア］
34 アレキサンダー・ラプコ［181センチ、83キロ、27歳、弐段、ウクライナ］
35 ステファン・ナンセン［178センチ、86キロ、23歳、初段、ニュージーランド］
36 アレキサンドル・カルパチェフ［168センチ、75キロ、21歳、初段、ロシア］
37 ヴァギネール・バロス・シャヴィエ［170センチ、70キロ、20歳、弐段、ブラジル］
38 アレキサンダー・サヴェリエヴ［172センチ、75キロ、25歳、初段、ロシア］
39 ハビエル・レズカノ［178センチ、77キロ、28歳、弐段、スペイン］
40 ザヘール・エルキール［171センチ、83キロ、27歳、弐段、オーストラリア］
41 エミル・コストヴ［175センチ、81キロ、24歳、弐段、ブルガリア］
42 ロバート・ダウスト［180センチ、89キロ、28歳、弐段、カナダ］
43 シンフェイ・ドルーレイン［182センチ、79キロ、25歳、弐段、南アフリカ］
44 ベルナルド・ソアリ［162センチ、65キロ、23歳、二級、パプアニューギニア］
45 アンドレ・クライン［181センチ、90キロ、22歳、初段、ドイツ］
46 ベルナルド・ソト［177センチ、94キロ、22、初段、コスタリカ］
47 ワンジュン・リー［179センチ、75キロ、23歳、韓国］
48 木山仁［175センチ、90キロ、25歳、参段、日本］

B

85 足立慎史

81 ウォーター・シュナーベルト（パプアニューギニア）

66 志田清之

49 田村悦宏

96 ニコラス・ペタス（デンマーク）

84 門井敦嗣

72 タリエル・ビターゼ（グルジア）

55 安田幸治

A

32 成嶋竜

23 ピーター・サヴィッキー（ポーランド）

13 高久昌義

1 フランシスコ・フィリォ（ブラジル）

48 木山仁

34 アレキサンダー・ラプコ（ウクライナ）

25 ザンデル・エイジロウ・ササキ（ブラジル）

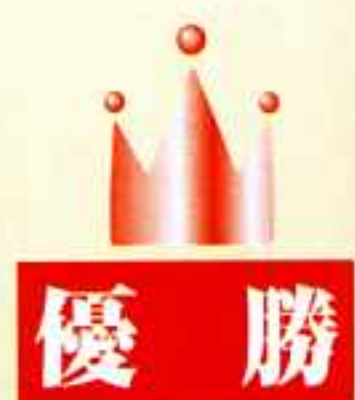
19 木立裕之

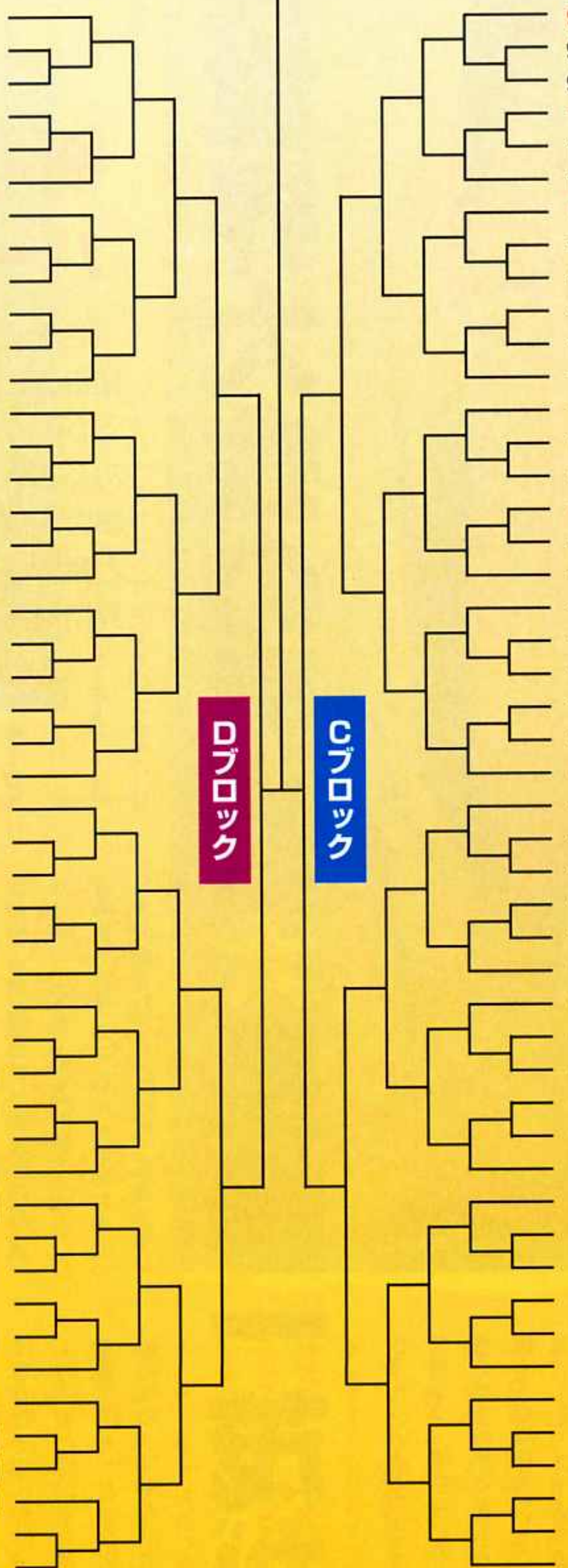
7 佐野忠輝

本誌7号で掲載した世界大会の組み合わせ。今号ではさらに、「SRS・DX」が選定した強豪選手が一目でわかるように色分けをしたので、これを参考に世界大会を観戦していただきたい。さぁ、総勢192名の中から極真カラテ世界一を勝ち取るのは誰だ！

本命　対抗　日本人選手　注目外国人選手

優勝

Dブロック

145 ベン・シドワバ[170センチ、100キロ、31歳、初段、南アフリカ]
146 パブロ・アルトゥーロ[170センチ、85キロ、25歳、一級、アルゼンチン]
147 エヴゲニー・ブロコロヴ[176センチ、70キロ、28歳、弐段、ロシア]
148 ジョルジュ・ウルベカシュヴィリ[168センチ、68キロ、19歳、一級、グルジア]
149 ウエンデール・スィルヴァ[179センチ、77キロ、22歳、弐段、ブラジル]
150 ダニエル・プッツ[183センチ、84キロ、19歳、初段、デンマーク]
151 住谷統[175センチ、90キロ、25歳、弐段、日本]
152 アレクセイ・ドロビヤズコ[182センチ、100キロ、22歳、一級、ウクライナ]
153 ジェイ・ヤン・ウム[175センチ、80キロ、30歳、初段、韓国]
154 マレック・コサウスキー[190センチ、90キロ、26歳、一級、ポーランド]
155 ジョシュア・ドーシー[188センチ、96キロ、31歳、一級、カナダ]
156 ケビン・ベイカー[180センチ、85キロ、29歳、一級、オーストラリア]
157 ハビエル・ボルダー[180センチ、80キロ、34歳、一級、ボリビア]
158 木村靖彦[180センチ、92キロ、28歳、弐段、日本]
159 アンソニー・パジョウ[190センチ、90キロ、27歳、初段、インドネシア]
160 バシラス・ライ[170センチ、85キロ、23歳、参段、ネパール]
161 セルゲイ・プレカノヴ[178センチ、85キロ、21歳、弐段、ロシア]
162 シェシュコブ・ヴァシリ[172センチ、78キロ、33歳、弐段、カザフスタン共和国]
163 ポール・クリアー[178センチ、82キロ、28歳、弐段、ニュージーランド]
164 ネイサン・ハウワット[177センチ、80キロ、26歳、弐段、カナダ]
165 アンデルソン・スィルヴァ[175センチ、83キロ、22歳、初段、ブラジル]
166 ブルーノ・ドラブ[163センチ、63キロ、24歳、弐段、米国]
167 スヴェト・デコヴィック[180センチ、86キロ、26歳、一級、ユーゴスラビア]
168 ギャリー・オニール[171センチ、76キロ、24歳、参段、オーストラリア]
169 リュウジ・イソベ[172センチ、72キロ、21歳、弐段、ブラジル]
170 フラヴィアン・アルフォンズ[174センチ、90キロ、30歳、弐段、セイシェル]
171 ドミニコ・モナソ[188センチ、88キロ、22歳、初段、オランダ]
172 レネ・ネイラ[178センチ、88キロ、24歳、一級、チリ]
173 ロビン・ハモンド[179センチ、80キロ、24歳、弐段、ニュージーランド]
174 ナジー・ティボール[180センチ、96キロ、25歳、弐段、ハンガリー]
175 入澤群[180センチ、95キロ、26歳、参段、日本]
176 ブライト・マジェングワ[173センチ、82キロ、29歳、一級、ジンバブエ]
177 ラジュ・クランダイサミー[165センチ、65キロ、33歳、初段、インド]
178 セルゲイ・クリコウ[185センチ、90キロ、28歳、初段、ロシア]
179 ジェーソン・コマー[178センチ、88キロ、24歳、一級、オーストラリア]
180 アブドロファジ・ムサヴィ[175センチ、97キロ、28歳、参段、イラン]
181 エリック・ゴールドバーグ[168センチ、78キロ、29歳、初段、コスタリカ]
182 伊藤慎[173センチ、75キロ、26歳、初段、日本]
183 ドゥーボリー・ハリーパルサドシング[176センチ、80キロ、30歳、初段、モーリシャス]
184 シヤンダ・コントワ[179センチ、74キロ、20歳、一級、南アフリカ]
185 ロバート・ウィックランド[184センチ、96キロ、35歳、スウェーデン]
186 アンドレイ・ベロコン[177センチ、82キロ、24歳、一級、ロシア]
187 ヘイサム・マクシード[170センチ、90キロ、28歳、一級、クウエイト]
188 ポール・パウタニ[173センチ、70キロ、25歳、二級、パプアニューギニア]
189 ポール・アンドリュース[185センチ、95キロ、36歳、弐段、英国]
190 マクシミリアーノ・フェライオーロ[180センチ、85キロ、28歳、初段、カナダ]
191 セルジオ・ゴメズ[168センチ、80キロ、39歳、弐段、ウルグアイ]
192 数見肇[180センチ、100キロ、27歳、参段、日本]

Cブロック

97 グラウベ・フェイトーザ[194センチ、102キロ、26歳、弐段、ブラジル]
98 ダリウス・チェトヴェルチンスカズ[182センチ、86キロ、23歳、弐段、リトアニア]
99 ピーター・グレハム[188センチ、99キロ、24歳、オーストラリア]
100 ルドルフ・コンケット[185センチ、100キロ、28歳、初段、オランダ]
101 クリス・セオロド[175センチ、80キロ、27歳、弐段、英国]
102 マルコス・ビナス[168センチ、71キロ、39歳、初段、カナダ]
103 ヴァディム・ヤコヴェンコ[173センチ、83キロ、33歳、参段、ウクライナ]
104 イゴール・シューミン[186センチ、90キロ、28歳、弐段、ロシア]
105 リンドン・ピーヒー[180センチ、80キロ、22歳、三級、ニュージーランド]
106 ロバート・ジャンルック[177センチ、80キロ、33歳、一級、レユニオン]
107 アルバロ・ヴィラミック[187センチ、95キロ、28歳、一級、コロンビア]
108 福田達也[168センチ、75キロ、29歳、弐段、日本]
109 市村直樹[175センチ、88キロ、33歳、参段、日本]
110 フェルディナンド・ピサ[165センチ、68キロ、34歳、フィリピン]
111 ファヒド・アルレファイ[176センチ、75キロ、31歳、初段、シリア]
112 マルコス・ファーラン[185センチ、95キロ、24歳、弐段、ブラジル]
113 デニス・プーカス[181センチ、77キロ、21歳、弐段、ロシア]
114 モニール・ブイヤン[162センチ、62キロ、38歳、弐段、バングラデシュ]
115 ブラッド・ギレスピー[182センチ、98キロ、28歳、初段、カナダ]
116 ジャンクロード・ロセッティー[168センチ、86キロ、41歳、弐段、ロドリーゲス]
117 ミハイル・コズロヴ[188センチ、94キロ、21歳、一級、ロシア]
118 ヨハン・ヘルブスト[184センチ、89キロ、27歳、初段、南アフリカ]
119 ユセフ・マゼイ[167センチ、74キロ、24歳、初段、レバノン]
120 アミラン・ビターゼ[200センチ、135キロ、31歳、一級、グルジア]
121 セルジオ・ダコスタ[180センチ、94キロ、25歳、初段、ブラジル]
122 ジョヴァンニ・ミラソレ[170センチ、73キロ、23歳、初段、イタリア]
123 ドミニック・ホプキンズ[178センチ、73キロ、30歳、参段、オーストラリア]
124 フロリアン・オグナデ[185センチ、98キロ、24歳、一級、ドイツ]
125 ヴィクター・ベロヴ[174センチ、80キロ、31歳、参段、ロシア]
126 田中健太郎[180センチ、90キロ、18歳、初段、日本]
127 ツシタ・ジャヤンパシー・チャンドラシリ[182センチ、79キロ、24歳、初段、スリランカ]
128 ユセフ・マートク[178センチ、87キロ、22歳、初段、エジプト]
129 ヴセヴォロド・モヒレヴ[182センチ、75キロ、24歳、弐段、ロシア]
130 ヒュンキュン・チュン[182センチ、113キロ、28歳、弐段、米国]
131 スロジット・ボーズ[173センチ、57キロ、24歳、初段、インド]
132 岩崎達也[175センチ、95キロ、30歳、四段、日本]
133 スピグニュー・コスゼラ[180センチ、82キロ、31歳、初段、カナダ]
134 エリッキ・ソウザ[170センチ、778キロ、24歳、初段、ブラジル]
135 ローラン・フィルーズ[178センチ、79キロ、28歳、参段、フランス]
136 サイモン・ケネディー[179センチ、81キロ、21歳、初段、オーストラリア]
137 田ヶ原正文[162センチ、70キロ、32歳、弐段、日本]
138 カエタノ・マテオ[178センチ、79キロ、26歳、初段、スペイン]
139 シヤボンガ・タイアンデラ[188センチ、79キロ、21歳、二級、南アフリカ]
140 ラオール・ジェスラン[178センチ、74キロ、30歳、初段、オランダ]
141 アマード・バルーディ[178センチ、80キロ、32歳、初段、バハレーン]
142 テヤブ・アガヤール[178センチ、80キロ、27歳、参段、アゼルバイジャン]
143 ジリラジュ・ライ[169センチ、69キロ、22歳、三級、シンガポール]
144 野地竜太[186センチ、100キロ、21歳、初段、日本]

D

182　伊藤慎

174　ナジー・ティボール（ハンガリー）

168　ギャリー・オニール（オーストラリア）

151　住谷統

192　数見肇

175　入澤群

169　リュウジ・イソベ（ブラジル）

158　木村靖彦

C

132　岩崎達也

112　マルコス・ファーラン（ブラジル）

108　福田達也

97　グラウベ・フェイトーザ（ブラジル）

144　野地竜太

137　田ヶ原正文

126　田中健太郎

109　市村直樹

103　ヴァディム・ヤコヴェンコ（ウクライナ）

極真世界大会の見所☆長嶋一茂が語ります！

Kazushige Nagashima

初心者もマニアもうなるパーフェクト観戦ガイド

さあ、前ページで一覧にした「第７回極真世界大会の組み合わせ」を見て、具体的にどんなところが見所になるか、そのポイントを『SRS・DX』なりに分析してみることにしよう。そこで登場してもらうのは、自ら極真会館城西支部三軒茶屋道場に通う「空手バカ一茂」こと長嶋一茂さん。もう初心者からマニアをもうならせる見所を語ってもらった。

聞き手◎谷川貞治
撮影◎中嶋ミノル

フィリォは佐野、グラウベは福田の緒戦が大きなポイントになりますよ

——今日は本当にプロ野球よりも心から極真を愛する一茂さんに、世界大会を占ってもらおうとやって来ました。

長嶋　それは、肯定しないよ（笑）。

——ハハハ（笑）、一茂さんはやっぱり日本人に勝ってもらいたいんですか？

長嶋　僕はやっぱり日本人に勝ってもらいたいですね。でも、世界にこれだけ極真が広まってるわけだから、もちろん外国人選手から王者が出ても、僕はいいとも思うんだよね。やっぱり2年前のウェイト制の世界大会だっけ？国技館でやったときは、決勝がフィリォとグラウベで、フィリォが勝った。しかも、あの時主審が磯部師範だったじゃないですか。磯部師範の元で、しかも育てた愛弟子二人があやって、日本の地でね、ブラジルって言ったって遠いでしょう、だって、30時間ぐらいかかるんでしょう。

——30時間以上かかりますね。

長嶋　だから、地球の裏っていうのが、適切かどうかわかんないけど、裏の裏まで磯部師範が浸透させたものが、こうやって日本に持ち帰られたっていうのは、やっぱ凄いことですよ。

——特に、フィリォとグラウベに関しては、磯部さんが教えたというのが許せますよね。

長嶋　そう。例えば一昨年に長野オリンピックでやったスピードスケートで、清水君がオランダの選手とやるとか、日本の野茂君たちが、メジャーリーガーの選手と対戦するとか、あと「日本人対外国人」という構図を僕らは日本に育って、日本人が主で考えている、じゃないですか。そうなった場合に、スポーツ、格闘技に限らず体力差というのはもの凄くあると思う。これは谷川さんも認めるでしょ？

——ええ、フィリォとグラウベは日本人とは全然違いますもんね。

長嶋　それまでの肉体の遺伝子を考えたら、そりゃ日本人はかなわないじゃん。じゃ、その体力的な差を何で埋めるかっていったら、日本人っていうのは、やっぱり外国人には持っていない「精神」っていうものを持っている。格闘技においては精神面を鍛えるという部分で、その肉体を凌駕する精神が宿るという言葉もあるけど、これはスポーツではなかなか使わないですからね。

——そうですね。

長嶋　スポーツはレクリエーションであって、楽しむものだから。精神的な部分ていうのは、そんなに出てこないと思うけど、格闘技では殺し合いだからそこが問われる。だからやっぱりその精神的な部分をぜひ見せてもらいたいなっていうのはあるんですよ。例えば数見選手とフィリォ、数見選手とフェイトーザを見たときに、手足の長さとか、一発一発の破壊力とかはたぶんフィリォとかフェイトーザの方が上だと思うんですよ。

——身体能力は上でしょうね。

長嶋　でも、その身体能力が上の人間に、どこまで通用するのかっていうのは、精神的な部分を日本人がどこまで見せられるかっていう勝負だと思うんです。やっぱり肉体を凌駕する精神ってあるんだな、って立証するためには、勝たないとダメでしょう。その意味で僕は日本人に勝ってもらいたい。その日本の精神っていうのは、やっぱり外国の人からも尊敬の目で見られていたと思うんですよ。例えば日本人が第二次大戦のときに、神風特攻隊というのを作って、自分の命をなげうってまで、敵に突っ込んでいく精神。あるいはサムライの腹斬りだったり。こういう習慣っていうのは、海外では有り得ないわけですよ。だから、そういう部分の精神的なものは武道に反映するものだと思うんですよ。スポーツには反映しない。スポーツで負けて腹切るとか、そんな必要ないわけだし、勝っても負けても楽しくやるのがスポーツだから。でも、武道の場合は殺し合いだから、負けイコール死でしょ。だから、精神的に追い込まれるっていう部分では、日本の精神って凄く大切だと思うんですよ。

——いやぁ、一茂さんは本当に極真のことになると目がイキイキしてますね。じゃあブロックごとに予想を立ててください。

長嶋　Aブロックはフィリォがいると。これがいきなりですね、僕の先輩でも

第7回極真世界大会
直前大特集
11・5～7　東京体育館

Kazushige Nagashima

ある佐野選手と当たるんですよ。これはね、かなり面白いです。

——これは、石井館長と松井館長の対談やったんですが、そこで石井館長が「この植木職人は面白い」って言ってました。

長嶋　要するにね、このフィリォ選手とまず一番最初に当たる佐野選手なんですけど、この人は首から下の攻撃に関しては、効かされたことがないんですよ。

——効かない！

長嶋　効かない！　これ、しかもお互いそんなに試合もやらないで、フィリォと当たるんで、お互いそんなにダメージの蓄積はないんですよ。ないから、フィリォが佐野選手に効かせることが出来るかどうか。これが例えば頭、顔一撃で決まっちゃう可能性はあるんですよ、はっきり言うと。ブラジリアンキックで決まっちゃう場合は別ですよ。頭だけは鍛えようがないんですから。首から下の攻撃で佐野さんを効かすってことはないと思うんだよなぁ。

——また、やりにくいですよね。佐野選手は。あんだけ背が小さくてつまってる選手なんで。

長嶋　そう。それでプレッシャーをかけられる選手なんで、フィリォって基本的に受身の選手ですよね。プレッシャーをかけてきた選手に関して、カウンターを取るのが非常に上手いじゃないですか。ただ、今回は顔面なしだから。佐野さんが本当にそうだな、試合開始から最後まで20センチくらいの間合いでフィリォ選手と闘うことが出来れば、非常に面白い展開になりますよ。

——植木職人がまずポイントかぁ。

長嶋　佐野さんが効いた顔してるの見たことないっすもん。でも、これ見て、フィリォが佐野さんに中段とかローで倒すことが出来たら、「これはフィリォはすげぇな」って他の日本人選手はみんな思うでしょう。だから、佐野選手との闘いをまず日本人選手は絶対見るんじゃないですか。佐野さんがもし頑張ってくれたら、勝っても負けても日本人選手は「あっ」って思うわけですよ。

——もし、佐野選手が負けてしまったとして考えると、高久選手と木山選手が順当にいけば上がっていきますよね。この辺はどうですか？

長嶋　そうですね、やっぱり佐野さんっていうのは、力対力の対決になると思うんですよね、フィリォと。それでダメならば、木山選手みたいに動ける選手、上手くて動ける選手。佐野さんとは対極に位置するような組手をする選手に、望みを託すことになりますね。

——高久選手も上手いから、この辺けっこうフィリォはいやでしょうね。

長嶋　高久選手は、サウスポーじゃないですか。だから、サウスポーになったときに、フィリォがどういう試合をするのかっていうのも楽しみですね。成嶋選手も、いますけどね。

——成嶋選手と木山選手だったら、やっぱり木山選手かなぁ。これ、強いらしいですよ、ザンデル・ササキ。

長嶋　ああ、見たことない。

——磯部師範の秘密兵器だっていって、数見選手なんかも強いって言ってるみたいですけど。アメリカの大会で、ジャン・リビエールに勝ってるんですよ。

長嶋　ええっ！　それは強いよ。そういう選手に木山選手とか成嶋選手はどう闘うかがポイントですね。

——Bブロックはどうですか？

長嶋　Bブロックはなんていったって、田村さんがいますから。田村さん今回はね、減量もしてるみたいですし、やっぱり体重判定ってあるじゃないですか。だから田村さん、今回かなり充実してるんじゃないかと思います。

——もう、ホントに円熟期ですもんね。

長嶋　そうですね。ここで来るとしたら外国人だったら、シュナーベルトか、ニコラス、マルコス・コスタもあるかな、どうかな。

——その辺ですよね。ビターゼ・タリエルはダメだと思うんですけど。

長嶋　うん、わかんないからね。

——ビターゼ・タリエルってリングスに出てる選手です。

長嶋　ああ、そうなんですか。グルジア。

——体が2メートルくらいある選手で、リングスでチャンピオンになった選手なんです。

長嶋　はぁ～。

——田村選手は世界大会や世界ウェイト制でいい成績を残していないですよね。なぜなんですかね。外国人選手に弱いんじゃないかという心配はありますけど……。

長嶋　いずれにしろ、これ、外国人選手にも言えることだけど、全日本だったら、ある程度ね、こういう選手だって分かってるけど、世界大会では誰が来るか分からないでしょ。例えば、なんだっけ、グルジアのビターゼ？　2メートルあると。じゃ、これはどういう空手をやるのかって、わかんないもん。

——そうやっている間に時間が過ぎて体重判定とかあるし、そういうのが多いですよね、田村選手に関しては。

長嶋　Bブロックで言うと、ニコラスが上がってくれば、田村さんだと思うんですよね。でも、ニコラスが上がってくるかどうかもわかんないですし、その前に安田さんも速い組手をやるし、志田君も成長著しいじゃないですか。今年優勝でしょ、ウェイト制で。

——ブラジルの選手もいますね。

長嶋　ブラジルね。ブラジルはやっぱりなんで強くなっちゃうかというと、フィリォとフェイトーザがいるからですよ。この二人といつもスパーリングをやっていると、能力が勝手に上がるんですよね。

——Cブロックはどうですか？

長嶋　そうですね、Cブロックでは、フェイトーザと一番最初に福田選手が当たるんですよ。これもかなり面白いと思いますね。

——調子いいですか？

長嶋　福田選手はいいです。スピードもかなり速くなっていると僕は思うし、かなりいいと思いますね。だから、フェイトーザに対して気をつけなきゃいけないのは、左の攻撃ですね。左のブラジリアンキック、左の中段、左のヒザ、まぁ、あと左右の正拳、下突きをやっぱり封じていかないといけないじゃないですか。この人の攻撃はまともに食らっちゃ絶対ダメですから。それをとにかく出させないポジションをとるのがポイントだと思うんですよ。で、福田選手はそういうポジショニングに入るのが非常に上手い選手なんですよ！　スピードもあるんです。僕はたぶん日本人選手にインタビューしたら、誰と一番スパーリングやりたくないかって言ったら、フィリォじゃなくて、フェイトーザだと思うんです。たぶんみんなフェイトーザって言うでしょう。接近してもヒザが頭まで来るし、離れていてもあの手足の長さはどうしようもないですからね。

——フィリォはどっちかっていうと、待ちますからね。

長嶋　そう、フィリォの方がどっちかっていうと日本人に近いオーソドックスですからね。だから、そのフェイトーザの攻撃をいかにしてもらわないか。それはポジショニングと、なんて言うんですかね、その出入りだと思うんですよね。

——福田選手との試合は、僕もかなり面白いと思います。

長嶋　福田さんはそういうものをちゃんと持ってる人ですから、フィリォVS佐野戦くらい注目ですよ。

——打ちながらどこでも行けますからね。

長嶋　そうなんですよ。それで、確かに手足が長いと、ヒザもどっから飛んでくるかわからない。でも欠点もあると思うんですよね。まず、手足が長いからスピードのある連打が打てない。それは分かりますよね。どんな原理だって、手足が長ければ短い人に比べたら、遅くなるわけじゃないですか。まず、連打が出来ないってこと。それで、はっきり言うと、ポジショニングもまったく考えない。あとやっぱり相手を呑んでる場合は、手のガードが下がると僕は思うんですよ。一発で決めてやろうっていうときは、手のガードがかなり下がるんです。もしかしたら、左のハイキックが入るんじゃないかと、いう予感がするんですよ。

——それは、野地選手ですね。

長嶋　そうなんです（笑）。

——ハハハ、なるほど。

長嶋　僕は野地君はフェイトーザの顔

「逃げない男」数見肇
日本の砦を守り抜けるか!?

▲フィリォ、グラウベらブラジルの怪物を迎え撃つ数見肇も「極真空手の山下泰裕」とも呼ぶべき歴史に残る名王者だ

Kazushige Nagashima

数見選手はプロ野球で言えば落合さんに似ている。常に自分が軸になっている

を蹴れると思うんですよ。もちろん、まともには蹴れないですよ。やっぱりある一定のポジションにいて、エサをまいていい位置に入んないと蹴れないですけども、フェイトーザの顔を蹴った人って今までいないでしょ？

——それは楽しみだなぁ。もちろんその前に市村選手も実力者で安定しているけど……。

長嶋　市村さんリベンジだね、前回の世界大会の。

——ただ、ポイントになるのは、福田、野地だって僕も思います。

長嶋　Cブロックは魅力的な選手がかなりいて、福田選手でしょ、市村さんもそうなんだけど、野地君がいて、一番若手の田中健太郎っていうのも非常に好きな選手なんですよ。だから、Cブロックは非常に面白いと思うし、やっぱりフェイトーザに対して、とにかく受身じゃなくて倒す気持ちで向かっていってほしいですね。でも、フェイトーザの場合、受けながら攻撃するという「攻防一体」じゃダメ。世界ウェイト制の田村さんのように、ガードの上からハイキックが入るから。そこが問題ですよね。でもフェイトーザに連打はない。だから、ハイが来たと思ったら全部よけなきゃダメなんです。

——なるほどね。

長嶋　いずれにせよ、言い方悪いんだけど、AブロックとCブロックの日本人選手は、フィリォやフェイトーザに勝ち上がらせるにしても、無傷であげちゃいけないわけですよ。例えば、フェイトーザだったら、前回の世界大会では市村選手が左のローで右ヒザをおかしくさせている。そこを数見選手がまた蹴って技有りをとったんですよね。だから、本当はやるんだったら、誰が当たってもフェイトーザの左足なら左足に完全にダメージを与えておく。本当はフェイトーザだったら、ボディも効くかもわかんないですからね。薄いから。

——逆にフィリォはホント足しかないでしょうね。

長嶋　フィリォを効かせるんだったら、足しかないと思う。上半身は効かないでしょうね。いずれにせよ、もし日本人がフィリォなりフェイトーザと当たったら、とにかくそこだけ執拗に攻めると。自分が負けてもっていう作戦もあると思うよね。それもチームだから。

——Cブロックはマルコス・ファーランとセルジオ・ダ・コスタも強いですよ。

長嶋　マルコス・ファーランは上手いんでしょ。高久選手とも引き分けてるし。あ、ダ・コスタね、うんうん。セルジオ・ダ・コスタは、野地君もかなりケアしてたね。パワーファイターでしょ。

——まぁ、Dブロックは数見選手が抜きんでているとは思いますけど、ギャリーが要注意ですね。

長嶋　ギャリーはしかし、今回僕はけっこうクエスチョンだね。

——何でですか？

長嶋　かなり、ギャリーの組手って、読まれてきてますから。基本的にその、ヒット&アウェイの代表的な選手じゃないですか。でも、ヒット&アウェイって要するに基本的には、有効点をとりづらい組手でもあると思うんですよね。基本的に10分も組手をやるわけじゃないから、2分か3分の中でやるわけでしょ。だから、ギャリーに関しては、ずっととにかく攻めて攻めて相手をよく見て、場外に出したりとか、ギャリーの飛び回し後ろとかを食らわなければ大丈夫だと思うんです。

——では一茂さんが見て、数見選手ってどこが凄いんですか？

長嶋　ねぇ、やっぱり何でしょうね。まずさっき言ったグラウベの話に戻すとすると、連打が出来ないとかいろいろ欠点もあるじゃないですか。数見君の場合は、スキがない。スキがないっていうのは、武道家としてはとても大事なことだと思うんですよね。だから、スキがない、負けそうにないっていうのが、やっぱり凄いことじゃないかな。何が凄いかっていうと、技術的なことを言うと、あの低姿勢で3分間ずっと闘えるっていうのが、凄いことなんですよ。腰を落とすって大変なことですよ。

——基本が凄く出来てる人ですよね、ホントに。

長嶋　たぶん空手って本来は数見選手のような形なんじゃないですかね。例えば今はキックボクサーみたいな構え方したり、ピョンピョン飛び跳ねたりする人も多いじゃないですか。でも、ホントの空手って、数見君みたいなスタイルが空手なんじゃないかなって気がしますね。

——精神力も凄く強い人ですよね。今時の若い人達の中でも。

長嶋　ケガをなんとも思わない人でしょ。ケガとかしても、逆に自分の精神が前面にどんどん出てくる。数見選手のDブロックは、一番危ないのは一回戦ですよ（笑）。1回戦とかってずっと数見選手っていい勝ち方したことないんで、これがフェイトーザとやる、フィリォとやるっていうときは、出来上がってて自分の力が全部出せると思うんだけど、その前にちょっとやらしい選手が出てきて、攻めあぐねることが一番心配ですね。だって、そう思わない谷川さん。

——1、2回戦って数見選手は凄いスロースターターですからね。で、また数見選手ってそれこそ、「巨人の星」の大リーグボール3号じゃないけど、相手が強ければ強いほどいいんですよね。弱いと逆に良さが出ないと言うか、そういうタイプですよね。

長嶋　だから、数見選手って例えば3の力のある選手には4で勝つと。5の力がある選手には6で勝つと。10ある力、マキシマム出ても、自分は11出せるっていう選手ですよね。

——そうですね。一茂さんは数あるスポーツ選手を見ているけど、数見選手の精神力なんていうのは、どうなんですか？　そういう人達と比較して。なんか、プレッシャーとかメチャクチャ強いじゃないですか、数見選手って。僕のイメージではフィリォだろうが、グラウベだろうが、逃げない男っていうか、いつでも不動心っていうイメージがあるんですけど。

長嶋　そうねぇ、やっぱり数見選手みたいなタイプっていうのは、野球でいうと落合さんみたいなタイプでしょうね。落合さんっていうのも、やっぱり自分が動かなかったからね。ボールを追っかけたりっていうことをしなかった。下手な選手はボールが速く来るから、追っかけて打っちゃうんですよ。速く打たなきゃとか。やっぱり、ボールって来るもんだから、ちゃんと呼び込んで自分のテリトリーに引きつけなきゃいけない。それから仕留める、みたいな。数見選手もそういうタイプでしょうね。

——そうですね。

長嶋　自分のテリトリーがあって、自分が軸になって、入ってきたものに対してガンと仕留める。自分から行くっていうんじゃない。僕は数見君は落合さんみたいなタイプだと思うんですよ。

——今の日本人でああいうタイプの若い人ってあんまりいないじゃないですか。

長嶋　かといってフィリォとフェイトーザに日本の精神が無いかっていったら、そんなこと無くなってきてますよね。それは磯部師範が教えてるわけだから。例えば前回もそうだし、前々回も負けて磯部師範に相当怒られたりしてるんでしょ。何で勝てる試合なのに負けたんだって言われるわけじゃない。磯部師範はやっぱり熱い人だから。

——去年、フランスの団体戦で日本とブラジルが決勝で闘って、日本がギリギリの判定で勝ったじゃないですか。そのときに、ブラジルの選手は、翌日全員スキンヘッドにしましたからね。

長嶋　負けて坊主になるってことは、日本の習慣で、外国人の発想じゃないですよ。だから、フィリォがK—1のリングに上がると、日本人代表じゃないけど、そういう感じするでしょ？

——そういう気がしますよね。

長嶋　フィリォ対ピーター・アーツとか、マイク・ベルナルドとか、ホーストとかって見ると、これ日本の空手が出てきてるなって感じで見るじゃないですか。

——武蔵なんかよりも感じると（笑）。

長嶋　ハハハハ（笑）。間違いなく僕は極真の精神みたいなものを感じてリングに立ってるフィリォを見ているんですよ。だから、フィリォが優勝してもいいなという感じにはなってくるよね。そんな感じだね。でも、谷川さん、楽しみだね。僕、とにかく3日間全部仕事空けたから。

——さすが、「空手バカ一茂」ですね。今日はどうもありがとうございました。

▲トーナメント表を熱心に見ながら語る一茂さん。専門家の分析より鋭い！

歴史的対談ついに実現！

実践なくんば信用されず！
信用なくんば証明されず！
証明なくんば尊敬されず！

21世紀の『空手バカ一代』はこの2人にまかせろ!!

石井和義 VS 松井章圭

【正道会館館長】　【極真会館館長】

ついに、夢の対談が実現した。過去の極真会館と正道会館の歴史を知る者ならば、この２人が同じ誌面に出ることがいかに凄いか、感慨深いものがあるだろう。極真会館芦原道場から独立し、己の力でのし上がった正道会館・石井和義館長。大山倍達の巨大な遺産を継ぎ、二代目として先代を上回る組織力を築いた松井章圭館長。両者は似ているところもあり、正反対の面もあるが、21世紀の格闘技界を担っていくのは間違いない。そんな２人の初対談、まさに第1R「始め！」である。押忍！

聞き手◎谷川貞治
撮影◎大久保義高

──あのー、普段はもちろん面識のあるお二人なんですが、雑誌の中で対談をするのは初めてなんで、まず基本的な話から最初にお聞きしたいんですけど。まあ松井館長が館長になられる前の現役時代からですね、正道会館っていう団体が極真にも挑戦してきたし、いろいろハデにやってこられましたよね。そういう動きを松井館長は見ててどういうふうに思われてたんですか。

松井　いや、やっぱり一際ね、目立ってたと言ったら変ですけど、他流派の中で群を抜いていた部分がありましたね。で、それは石井館長の指導力もそうでしょうけど、個々の選手たちがやっぱり覇気に溢れていましたよね。構図としては「正道会館が極真に挑戦するんだ」というような構図なんでしょうけども、逆に我々が遅れをとらないようにというような、そういう意識は多分にありましたよ。

──今はK─1みたいな大舞台になっていますけど、正道会館はグローブを着けて極真とは違うスタイルに走っていきましたよね。そのことに関してはどういうふうに松井館長は思っていたんですか。

松井　これは格闘競技に関わる人間たちっていうのは誰しもが思うことなんですが、たとえば極真で言えばね、「グローブなり顔面パンチがあったらどうなのか？」とか。じゃあ、「つかんだらどうなのか？」とか。「こんな人とやったら？」「あんなスタイルとやったら？」みたいなことは常に念頭に置くなり想像するなりね。実際にそういう稽古に励む人もいるでしょうし、興味本位で「どうなのかな」っていうくらいの感覚で考える人もいるかもしれない。まあ、いずれにしてもそんなことを想像したりすることはあると思う

SHOKEI MATSUI

昔から石井館長や正道会館の動きは、興味の対象ではありました（松井）

んです。ただ、極真会館としては大山総裁の方針で「極真ジム」があった時代があったり、ルールを変更していったり、様々な経緯を経て今が確立するという歴史があるので、正道会館が今度はどんなことをするのかなあと端で見ながら、自らの極真の競技に邁進していったというのが実状ですね。

──先週号で「K─1の原点はオランダにあり」という特集をしたんですけど、元々はピーター・アーツやホーストなんかも、大山総裁から黒崎先生がオランダに行って生まれたっていう経緯もありますしね。

松井　そうですね。でもやっぱりね、正道会館なり石井館長というのは常に、こういう言い方をすると失礼かもしれないけど、興味の対象ではありましたよね。「どんなふうになっていくのかなあ」っていう。

──ふぅ〜ん。石井館長のほうは、まあ松井館長を現役のスター選手時代から知ってると思うんですけども。

石井　そ・う・で・す・ね。僕はあんまり松井館長のことは知らなかったんですよね、じつは。17歳かなんかで全日本大会3位になられて。

松井　4位ですね。

石井　ああ4位になられた時くらいから、「ああ、凄いな」っていう感じで思っていたくらいで。で、あのー、松井館長の人柄とかそういう部分に関してはほとんど世代が違うので僕らは知識がなかったんですよ。ただ、テレビ朝日の深夜番組の『プレステージ』で佐竹と一緒に出演されていた時に佐竹がたいへん失礼なことを言っちゃったんですけど。

松井　いえいえ（笑）。

──そんなこともありましたねぇ（笑）。

石井　結局、僕はあの頃からホント一生懸命、佐竹の尻拭いをしてるんですけど（笑）。

──ハハハ（笑）。

石井　いや、そうじゃなくて（笑）。まあ、あの時にお会いしてね、「ああ、凄い人格者だな」と思って。本当にしっかりしているし、「すいぶん立派な人なんだなあ」という感じでしたね。

松井　まあ、それはとんでもないですけど。

──では、こういう形でフィリォがK─1に参戦したり、正道会館が再び極真の大会に出場するようになって、お二人が交流されるようになってからはどういう印象なんですか。実際に話すようになって変わりました？

松井　これは万人が共通することなんじゃないかと思いますが、やっぱり決断力、実行力、企画力、そういうものがね、もちろん技術的に言えば指導力、まんべんなくバランスよく長けた人だなあ、と。ある意味では、私個人にとっても空手の世界でも極真の中でも先輩になるわけです。そういう部分でいうと、ある意味で見習わなければいけないなという部分がたくさんあります。

──自分と一番違うようなところって、どういうところなんですか。

松井　それはやっぱり、すべてにおいていろんな意味で違うんでしょうけど。や

っぱり我々が言葉で云々と言うよりも、谷川さんたちから見ても極真の色合いと正道の色合い、またK—1の色合いっていうのは明らかに違う部分ってあると思うんです。良し悪しは別問題として。そういう部分が一番の違いだと思うんですよね。

—全然文化が違いますよね。

松井 確かに違うんですが、基本的なところで、根底にあるものは、共通していると思っています。だから、私は他の雑誌でもね、これは石井館長にはたいへん失礼な話かもしれないけど、石井館長が正道会館を立ち上げた、K—1を作り上げてる、「こういうものっていうのはすべて極真の精神が基にあると思いますよ」と言ってしまってるわけです。

—そのへんは石井館長はどうなんですか？

石井 まあ、松井館長と僕ではずいぶん立場っていうのが違いますからね。だから、たとえば僕が今やってることを松井館長が僕と同じような立場でやろうとすれば、松井館長だったらできますからね。でも、松井館長が極真の二代目っていうことで組織を継いで極真を拡げていかなくちゃいけないっていう立場があるじゃないですか。僕はやっぱり初代で自分で正道会館を大阪に立ち上げてから頑張ってね、まったく「正道」なんて名前は知られていなかったわけですから。そこでまず自分で名前を売って、門下生に入ってもらって、強くもしなくちゃいけない。テレビとか雑誌に載せてくださいって話を持っていって、「なんで載せなくちゃいけないんですか？」っていうところから始まっているわけじゃないですか。広告を取りに行っても、「お金はあげるけど、広告は載せんといてくれ」とかね。そういうところから僕らは始まっているわけですよ。だから、大山先生と同じことをやっていたらダメだと思って、僕らは大山先生と違うことをやっていかなくちゃいけないな、と。大山先生はある意味で先生だし教師だし、また反面教師でもあったわけですよ。芦原先生もそうなんですけども。だから、松井館長の立場というのはまた全然違うものだから。松井館長はただ、たとえば「松井道場」とか「松井会館」という組織を作られても、世界に飛躍していくものを作る力を持っていると思いますけどね。だから、凄い方が極真会館の二代目に就かれたなあというのが実感ですよね。

KAZUYOSHI ISHII

—ただ、このあいだ石井館長と話した時もそうだったんですけど、たとえばオランダにしてもそうですし、今、打撃格闘技っていうのは根本にやっぱり大山総裁が育てられた弟子の方が世界中に行って、磯部師範がフィリォとかグラウベという怪物を作ったりとか、あるいは黒崎先生がジョン・ブルミンを経てハーリックとかヨハン・ボスとかの流れでアーツやホーストが出てきた。そういう流れっていうものは石井館長自身は肌で感じます？

石井 それはやっぱり、世界の格闘技の流れにおいて極真会館の血というんですか、歴史っていうんですか、それはやっぱり精神っていうのが多大なる影響を与えていますよね。また、極真というものがなければ今の歴史はないでしょうね。

松井 また、総裁の言葉で「実践なくんば信用されず、信用なくんば証明されず、証明なくんば尊敬されず」。いわゆる極真はそこから出来上がっているんですが、その世界を地でいったのが大山倍達であり黒崎先生であるということなんです。磯部師範もそうですよね。今の選手たちもそうだと思う。だから、私は石井館長もそうだと言ってしまうんですけども（笑）。要するに実践なくんばね、何事もやらなければ信用されないんですよ。これは大山倍達という人が戦後間もない頃に渡米して、プロレス界だったかもしれないけども、そこに身を置いた時に「絵に描いた餅じゃダメだ」と。「机上の空論じゃ通用しないんだ」と。とにかく実証することですべてが生まれるんだというような、強烈な経験・体験からくる学習をしたわけですよ。それを空手に持ち込んで、既存の組織から外れて独自の道を歩み始めた。その精神が要は黒崎先生に受け継がれ、それが目白ジムとして活躍する選手たちをたくさん輩出するということの基になっていくんです。

—なるほど。まあ、このあいだ石井館長が言っていたのは、黒崎先生はそういうものを本当に純粋に伝える場合、たとえばオランダに教えに行った時は要するに死にに行ったんじゃないか、と。たとえばオランダ人の前で皮膚の一番薄いところに線香の束を当てて、「お前ら、できるか！」っていう、そういうのがなかったら信用されないでしょうね。160センチの人なんかどう考えても。

松井 黒崎先生がそういうことをやったというならそれもそうでしょうし。私が一番最初に習った加藤（重夫）先生は、オーストラリアに行って、155センチで50キロそこそこの身体ですよ。それで2メートル近い人間に「空手の息吹はこうだ」とか、三戦立ちになって「どこでも叩いてこい！」って言って顔面をひっぱたかせたそうです。鼻に強烈な傷が今でも残っていますよ。

—へぇ～、三戦で殴らせたんですか。

松井 「精神と肉体の統一状況があれば、

どんな攻撃でも大丈夫だ」といって殴らせたんです。オーストラリアの人たちは今でも大きいけど、そんな人たちにガーンッと叩かせて極真を見せてきたわけですよ。

――はぁ～、今の加藤先生を見るととてもそんなふうには見えないんですけどねえ（笑）。

松井　見えないでしょうね（笑）。だけどね、加藤先生の情熱があったから今の私があるんです。加藤先生はね、理にかなった指導なんかしないですもん。

――あっ、そうなんですか。えっ？　華麗な組手の松井館長も理にかなった指導をされてないんですか。

松井　私は理にかなった指導をしますよ（笑）。

――いやいやいや、松井館長は理にかなった指導を受けなかったんですか。

松井　私は受けてないんです。私は本当にマンガの世界のような指導を受けて、小さな丸を書かれて「ここから出ちゃあダメだぞ」ってそれを信じて稽古してたりしたんです。まあ、そこに理があったのかもしれませんけど。一所懸命やりましたよ（笑）。

――やっぱり、理にかなった指導をしちゃいけませんよねえ。

松井　話が横に飛ぶけど、不思議とキックの魔裟斗選手にしたってね、加藤先生が育てる人間はたくさんチャンピオンになっているんですよ。

――理にかなったことを教えていないのに、みんなチャンピオンになっていきますからねえ。でもこれは大切なことだと思うんです。僕は磯部師範も理にかなっているとは思わないんですけどね。

松井　そうかもしれませんけどね。

石井　いや、だからね、昔の先輩方の話

KAZUYOSHI ISHII

を聞くとね、やっぱり昔の先輩方はみんな全然理にかなっていない指導をしていたんですね。

――いや、やっぱりそれは重要なんですよ、たぶん。

石井　たとえば三戦立ちとか四股立ちをずっとやらして、脚がビリビリっとした時にいきなりローキックをボンッと蹴って「痛いか？　これがローキックだ」とか。そういうふうにしかローキックを教えてもらえないんですよね。格好がどうだとか、45度の角度から捻りを使ってだとかではなくて、ただ「痛いか？」ですから。それは痛いですよねぇ（笑）。そういう教え方だったみたいですね。だから、僕らもそうですけど芦原先生も後半はサバキとか教えましたけど、先生が指導する時もあんまり細かくは教えてくれなかったんですよね。「サッと入ってポーンッと蹴るんだよ」とか、やたらと擬音が多いんですよ（笑）。

――長嶋スタイルですね（笑）。

石井　本人はそれができるからいいけど、僕らは凡人だからできないですよね。先生が帰った後にみんな「ああ、カッコイイなあ」って目がハート型になってるんですよ。それで僕が横で「後で分かりやすく教えないといけないな」って感じで黙って聞いているわけじゃないですか。で、終わった後にそれを、足し算引き算、割り算掛け算みたいな感じで順番に教えるのが僕の役目だったんですね。だから、昔の先生ってやっぱり理にかなってないですよね。

――でも、そういう人に限って本当に強い人を作りません？　トム・ハーリックとかも理にかなってないでしょ、たぶん。スパーリングをやらせているだけのような気がするんですけど（笑）。

石井　それはね、言えているんですよ。教えると自分で考えることをしないんですね。だから、教えてもらえないから自分で努力しなくちゃしょうがないじゃないですか。だって、芦原先生に「先生、後ろ回し蹴りはどうやるんですか？」って聞いたら、「石井さあ、そんなの1時間とか2時間蹴りっぱなしでやってごらん、できるから」って。稽古が終わって自分のアパートの前で後ろ回し蹴りの練習をやるんですよ。それで30分とか1時間とかやってるとね、できるんですよ。で、右でできると今度は左でやってみようと思うじゃないですか。左なんて最初はバランスが悪くて全然できないんですけど、1時間続けると左でも後ろ回し蹴りができるようになるんですよ。

松井　それは本当ですね。総裁が帯研をやるでしょ。5本蹴りって、回し蹴り、後ろ回し、前蹴り、回し蹴り、後ろ回しで5回転していく練習方法があるんです。「5本蹴り、始め！」って言ったらね、館長室に上がっちゃうんですよ。それで「やめ！」って言ってくれないからずっとやってるじゃないですか。30分、1時間ずっとやるわけですよ。そうすると、要はしんどくなれば、身体のいい意味での適当な要領を得た使い方っていうのが分かってくるんですよね。

――力を抜くところとか入れるところとか……。

松井　それで、稽古をやっぱりやっている人間たちだから、総裁がいなくなったからといって、あんまり力を抜いてやってりゃあ、「こいつ、総裁がいなくなったから力を抜きやがって」ってナメられるじゃないですか。やっぱりウワーッと言いながら「俺はまだまだできるぞ」って見栄を張ってやるわけですよ。たぶん総裁はわざと上がっちゃうんだと思うんです。それで30分くらいしてポッと降りてきてね（笑）。

石井　やっぱり、本当にそういう教え方ですよね。

――K―1でもピーター・アーツとか、このあいだのヴァン・ダムでもそうですけど、なんか技術を教えられてる感じがしないんですよね。

松井　だから、石井館長も言われたようにそういう人間は強いんですよ。そうい

昔の先輩方の指導は理にかなっていない。だから本当に強い人間を育て上げた（石井）

うものがね、もしかしたら一番欠落しているのは今の極真かもしれません。競技体系がある程度出来上がって、第1回大会の時から今の第30回を迎える、または第7回の世界大会を迎える現状に至るまでにね、いろんなルールが加えられ省かれ来てるわけですよ。それである程度、固まってきてるわけですね。我々の時なんかはまだ最高審判長裁定だなんて言われて延長が何回も繰り返されたりね。

——面白いからもっと見たいって延長になっていたんですよね、あれって（笑）。

石井　僕もそういうのやりたいですけどね（笑）。

松井　そういうね、競技が体系化してきてある程度、稽古も体系化してきて、今は平均的に強くなる手段を知ってるから、そこから先を考える人が少なくなっていると思うんです。

——松井館長はだけど現役時代から本当に大気拳を学んでみたり、キックボクシングをやってみたりとか、自分で他の道場に行って、いろいろ研究してましたもんねえ。

松井　まあ、私の場合、本当にツマミ食い程度ですけど、何しろ自分の身体に聞いてみよう、なんでもやってみようというのは確かにありました。今の体育理論で構築されているものっていうのは、要は統計学ですよね。統計的にこんな結果が出たっていうデータなわけです。しかし、私の身体がそこに当てはまるかどうかは分からないわけですよ。だから、自分の身体に聞いてみなきゃいけない。もちろん常識的な情報を得なきゃいけないけど、まず自分の身体に聞いてみようと思って私も試したわけですよ。それでも今振り返るとかなり間違っていた部分もありましたけどね（笑）。

——ふう〜ん。

松井　だから、まず実践ありきの考えでは栄養学も何も関係ないわけです。とにかくたくさん食べて、やるだけやったら、必要なものが残る。あとは出ていくというね、そういう思想でした。

——それを探ることが極真ですよね。

松井　だから、今考えるとずいぶん変なことをやってましたよ。朝起きてね、ロードワークでしょ。で、稽古やってサンドバッグ叩いて、ヘトヘトになってからウェイトやりに行ったりね。それで3年くらいウェイトの記録が伸びない伸びないって悩んだこともありました。それは筋肉を全部使い切った後に重いものを持ちにいったら、記録は絶対に伸びないんですよ。で、ケガをして、何週間か稽古を休んでウェイトをやりに行ったら、20キロくらいドーンッと記録が上がったりね。「稽古もやってないのに、なんでこんなに調子いいのかなあ？」とか（笑）。

——でも、大山総裁から世界中に流れた精神とか、強い人を作っていけた秘密はそこでしょうね、たぶん。

松井　まあ、それは間違いなくそうだと思います。

石井　まあ、K—1に出ている選手たちや正道の生徒たちもそうなんですけど、簡単に技術を学んでしまうから、練習では蹴りとか突きの絶対量が少ないんですよ。要はもっと奥の深いところに技ってあるわけですよ。それは自分で何回もやってみないと分からないんですよね。僕らは稽古が終わってからも一晩中蹴ってたこととかもありましたからねえ。正道空手の創生期の頃なんですけど、「ああ、もう朝やんか」みたいな感じで。そのくらいやらないと分からないですよね。だから、今たまに大阪に戻って、たまにしか生徒の稽古を見ない人間が偉そうなことを言えないんですけども、見てても練習の絶対量が足らないと感じるんです。だって、1時から練習が始まるっていうのは、1時から準備体操が始まるようじゃどうしようもないですからね。

SHOKEI MATSUI

松井　情報過多なんでしょうね。答えとおぼしきものがたくさん転がっているから。石井館長がいみじくも言われたその絶対量っていうのがやっぱり少ないんですよ。だから、稽古っていうのは量から質に転化するんであって、質をそのまま高めるっていうことは絶対にないんですよ。まずやっぱり量をこなさなきゃいけない。無駄を無駄と知るくらいのことをしなければ質を高めるということはできないと思うんです。

石井　だから、1日24時間しかないんで、稽古する時間は限られてくるんですよ。そうするとプロの人は別として、仕事を持ってる人たちは、自分の生活の中に稽古を組み込まないとやっぱり絶対量はまったく足らなくなるんです。だから僕らも現役時代や指導してる頃っていうのは、やっぱりジムワークだけじゃなくてデスクワークもあるし、いろんなところへ行って指導したりしなくちゃいけないんで、やっぱり絶対量が足らなくなる。だから爪先を必ず上げてカカトを使わずに歩い

極真の大会に行ったら日本人になれる。フィリォにも日本を感じるかも（松井）

てみたり、電車の中でも実践してみたり、生活の中に稽古を組み込んでましたよね。24時間、考えることはできますからね、空手のことを。24時間考えないとダメですよ。

松井　さらに言わせてもらえば、考えていても、自分の目に見える形が至るところにあると、その枠っていうものに作られてしまうんでしょうね。だから、本当に荒唐無稽なことを考えるくらいでいいと思うんですよ。荒唐無稽なことの中から、それを荒唐無稽じゃない形のあるものにするためにはどうしたらいいのかっていう作業を考えていくのがいいんじゃないかと思います。

――磯部先生なんか「汽車ポッポ」やってましたもんね（笑）。

松井　そういう発想でフィリォやグラウベのような本当に強い選手が出るんですからね。

――石井館長は極真の世界大会を今見てどういうふうに思われますか？

石井　やっぱり円熟期に入ったなあと思いますよね。いわゆる創生期があって、過渡期があって、いろいろな時期があるじゃないですか。だから、最初はつかみがあったり、あるいはつかみなしにしたり、まあいろいろなことがありましたよね。その歴史があって、今は本当にルールが整備されて選手がそのルールに対応して、お客さんもよく分かってきて、「極真のルールはこういうものだ」というものが出来上がった。僕らの時代っていうのは本当に創生期だったんで、香港カンフーが出てきたり、いろんな選手が出てきたりしてたじゃないですか。その頃って、今のK―1っぽいって言ったらおかしいですけどね、他流試合の匂いがするドキドキするような緊張感があった。それが梶原一騎先生のマンガ『空手バカ一代』とリンクしながら見ていた時期だった。で、やっぱりその頃の選手は強い選手もいたけど、個性的な選手が多かったですよね。

松井　そうそう、個性が失われているというのはあるかもしれないですね。

石井　逆に今は円熟して、ルールも決まって、ホントにみんな平均的で、組手をやらせたらあの頃の選手よりはずっと強いとは思うんです。でも、松井館長がおっしゃるように個性的な選手がなかなかいなくなりましたよね。

松井　もう極論すれば、試合をやらせたら強いけど、ケンカをやらせたら逆に弱くなっている感じがする。これは考えなくちゃいけないですね。

――それはよくないですねえ。

松井　よくないです。だから、常に我々は原点に戻らないといけないんです。

――極真の世界大会なんかは、総裁が生きていた頃、「日本が負けたら腹を切れ！」とかそういう時代だったじゃないですか。石井館長は今の雰囲気を見てどうですか。逆に石井館長も「もう外国人が勝っても当たり前だ」と思ってるのか、それとも極真はやっぱり日本が守ってもらいたいっていうか。

石井　そうですねえ、僕ら日本人としては極真の大会に関してはやっぱり日本人に勝ってほしいですけどねえ。

――松井館長に腹を切ってもらいたいっていうか……。

石井　そんなことは思いませんよ（笑）。

――松井館長はその気持ちはどうなんですか。日本人はもう外国人に負けてもしょうがないとか。

松井　いや、しょうがないとは思わないですよ。それは道理でいったら仕方がない時期もくるだろう、と。仕方がないというか、日本が勝ち続けることのほうが逆に難しいことだと思います。それはもちろん日本選手が勝ってほしいですよ。それは組織的に見たって勝ってもらわなきゃ困るという切実な気持ちはあるんですよ。求心力はそこにあるんだから。

――はあ～ん。

松井　でも、勝ち続けられる道理はない、と。現実的にはそういう認識は持たなきゃダメだと思うんです。

石井　極真が横文字の「Ｋｙｏｋｕｓｈｉｎ」になって、その「Ｋｙｏｋｕｓｈｉｎ」という言葉がね、世界ワードになってる時代に入ってきているわけですよ。だから、その時代において逆に外人選手のチャンピオンを求めることはないけど、外人の世界チャンピオンが生まれた時に、また新たな極真の歴史というものができていくんでしょうね。本当にそうなった時に初めて極真が世界的なものになるんじゃないかと思うんですけどね。

――でも、数見選手が本当に負けちゃったりしたら、けっこう切実ですよね。フィリォが怪物だって言っても数見選手も怪物ですもんね。

松井　ええ、充分に怪物ですね。

――その数見選手をもってして勝てなかったら、郷田先生も言ってましたけど、けっこう挑戦は大変だと思いますよ。

松井　だから数見君なんかは、もう日本のために闘うって言い切ってますしね。それを言い切るだけの、自他共に認める立場でもあるし。まあ、彼が落ちた時にはやっぱりそれなりにね、影響は大きいでしょうけど。逆にそうなってしまった時は、そうなってしまった時で、今度は彼がどんな所作をとっていくのか、また数見君らしくいてくれると思います。これは谷川さんが付けたキャッチかどうか

SHOKEI MATSUI

分からないんですけど、「極真の大会に行ったら日本人になれる」とかって書いてもらったでしょう。あれはその通りなんですよ。やっぱりナショナリズムというか、そういうものって誰にでもある非常に大切な部分ですから。

――流行もないですしね。

松井　流行もないし、要はこれは自分の父親や母親、家族を愛するという気持ちと同じことなんです。自分自身を愛する気持ちとも同じなんですよ。だから、総裁が「自分の親を自分が大事にしないで誰が大事にしてくれるんだ。自分の国を自分が愛さなくて誰が愛してくれるんだ」という、そういう思想ですよ。それがナショナリズムの原点でしょう。極真の世界大会なんかはもう、それをことさらに露わにしてきた世界なんです。これからもずっとそれでいいんですよ。ただね、見守るために集まってもらう人たちも、参加する選手も、運営する我々役員も、そういうものが露わになってしまった時に、自分も気がつかなかったような自分の中のナショナリズムが出て、初めて自分自身を知るし、そういう自分自身を通して他人のナショナリズムを知るんですよ。要は人間は自分を通してしか他人を理解できないんです。

――そうですねえ。

松井　ケガをした経験があるから、「ああ、痛そうだなあ」とか。失恋の経験があるから、「辛そうだね」とか。自分を通して知るんですよ。ナショナリズムも同じですよ。自分自身がそれを感じた時に、他人のことを理解できるんですよ。だから世界大会っていうのはそのためにも大切な闘いなんですよ。

KAZUYOSHI ISHII

――そうですよねえ。あのー、僕はK―1にも絶対にナショナリズムってあると思うんです。

松井　そうですね。でもね、フィリォはブラジル人であるけれども、フィリォを教えた磯部師範、またはフィリォが志している空手の道っていうのは純日本式の道なんです。そう考えると日本人が持つべきナショナリズムをフィリォというブラジル人を通して知ることになるかもしれないですよ。

――フィリォのほうが日本人なんだ。

松井　そういう理屈に合わないことを真摯にね、追求していったところに今のフィリォがある。飽食と言われた時代に生きた日本人たちが今そんなフィリォと闘うわけです。本当に親をなくしたり、貧しい中で育ってきたフィリォが本来の日本人が持っていたいいものを持ってくるのかもしれない。そういうフィリォからの刺激を通して、選手達もそうだし、観客の皆さんも日本を感じるのならば、私は、フィリォは優勝するに値するなと思いますしね。

――ふんふんふん。K―1にもアンディとかね、やっぱり青い目の空手家じゃないけど日本人みたいな感じで見てたところがありますし。でも、そう言われながらもやっぱり外国人選手が凄く強くなっているんですけれども、K―1を含めて日本人が勝つにはどうしたらいいと思います？

石井　まずはやっぱり自分の環境を変えることですね。やっぱり井の中の蛙にならないことですよ。日本というのはもともと島国なんで、島の中だけで物事を考える。あるいは町の中、村の中だけで物事を考える傾向がありますよね。だからやっぱり、自分たちと同じレベルの人間の中で生きていたら、そこのレベルの中で最高になったらそれが一番だと思っちゃいますよね。それがやっぱり大きな違いなんです。だから今、日本人選手が正道の中で正道のメンバーと練習をしてもそこが最高になってしまうんですよ。それがよくないと思うんです。たとえばK―1の選手も、これは松井館長には失礼な話かもしれないですけどブラジルの磯部師範の道場に行って、ブラジル式のトレーニングをしてみたり、あるいは極真の本部へ入門して極真の荒行を受けてみたり、あるいはトム・ハーリックのところへ行ってやってみたりとか。

――たとえば武蔵が磯部師範のところへ行ったりするのはいいんですか？

松井　そうですね。交流というのは大切ですから、そういう可能性もなきにしもあらずですね。

石井　でも、それなら行ったら3年くらい帰ってこないくらいのつもりで行かないとね。

松井　でも石井館長、極真の場合は1年で27年になりますからね。3年のつもりだと100年くらいいてもらわないといけないですから（笑）。

――えっ？　1年は27年って？

松井　いや、磯部師範は総裁に「1年間行ってこい」って言われて、もう27年になりますから。石井館長が「3年くらい帰ってこないつもりで行け！」といったら武蔵選手は一生帰ってこれないですよ（笑）。

石井　いや、でもそのくらいの覚悟で行かないとね。

――松井館長はこれから日本人が強くなるためには、どうしていかなきゃいけな

外人に勝つには「井の中の蛙」じゃダメ。武蔵をブラジルにあずけたい（石井）

いと思いますか。

松井 うーん、まあ私はいつも石井館長とお話をさせていただくと、得心することが多いんですが、やはり「環境を変えなきゃいけない」と。どういうことかというと、たとえば自分の意識を変えるということですね。たとえば井の中の蛙であってはいけないというのは、その通りだと思うんですよ。その環境を最初から根底を覆したのが大山倍達ですからね。要するに城南支部に名伯楽と言われる廣重師範がいたとしても、城南支部が小さな町道場で独自に運営しているところだったら、数見肇は生まれてないんですよ。やっぱり教える廣重師範の頭の中にも、学ぶ数見君の中にも地球の裏側のフィリオがいるから、城南支部という支部も強くなるんでしょうね。

――K―1に極真が出ていくのも、やっぱりそういうものの一つの証明でもあるわけですよね。

松井 だからこそ、ある一定のレベルまで行かなかったらそれを認めないんですよ。極真の中で培われたものをどういうふうに活かすんだ、と。だから私は他の舞台に上がって、たとえ負けてもいいと思うんですよ。新しい舞台に行っても、そのまま勝ち続けるなんてね、そんなに甘くはないでしょう。ボロボロにされて、その中で極真で稽古してきた経験をどう活かすかっていうのが、真価を問われるわけですから。

――壁が高い方が、逆にいいんですよね。

松井 そうです。日常生活の中でね、私も体験しましたけれども選手を引退した時に社会人としてどういうことができるのか、そういうことも知る必要があるだろうし。まあ、八巻君も俳優を目指して頑張ってるけれど、それもそのひとつでしょうし。

――はは。

石井 やっぱりね、昔面白い話があって、僕は四国の愛媛県の田舎じゃないですか。新聞が一日遅れるようなところで生まれたわけですよ。そこで高校まで育ってきたわけなんですけど。大阪に出てきて、大阪が一番都会だと思っていたんですよ。東京もたまに行くけど、四国と比べると大阪って大都会じゃないですか。で、二十歳の時に芦原先生に言われて支部を作って、心斎橋を歩いて。あそこは人が多いわけですよ。「先生、大阪は都会ですね」って言ったら先生がムッとした顔で、「石井なあ、俺は東京にいたんだよ」って。「ああ、そうか」と思ったんですけど、これは普通の人が聞いたら何でもない話なんですけど、そういうもんなんですよ。

――そうですねえ。

石井 芦原先生は東京にいて四国に来たわけじゃないですか。僕は四国しか経験してないで大阪に出たから。で、大阪しか経験してなくて東京に来たら、東京はまったく違うところなんですよ。大阪のやり方じゃ通用しないし、大阪では出会えなかったようないろんな人たちと会えて、もう東京に出てきて7年目なんですけど、東京に出てこなかったらK―1もなかったと思うんですね。これでたまにニューヨークに行ったりロスに行ったりすると、また違う世界なんですよ。だから、そういうもんじゃないかなと。その志の高さと環境を考えているからK―1っていうのは成長するし、極真の世界大会だってそうですよ。

松井 志の高い人はどんどん自分の泳ぐ舞台を変えていきますよね。やはり大海を求めて出ていこうとしますね。

――そういう舞台を作っていくのがお二人の役割なんでしょうね。いやあ、僕も世界に羽ばたかなくちゃなあ。

石井 何を言っているんですかあ。谷川さんはもう充分に世界に羽ばたいているじゃないですか（笑）。

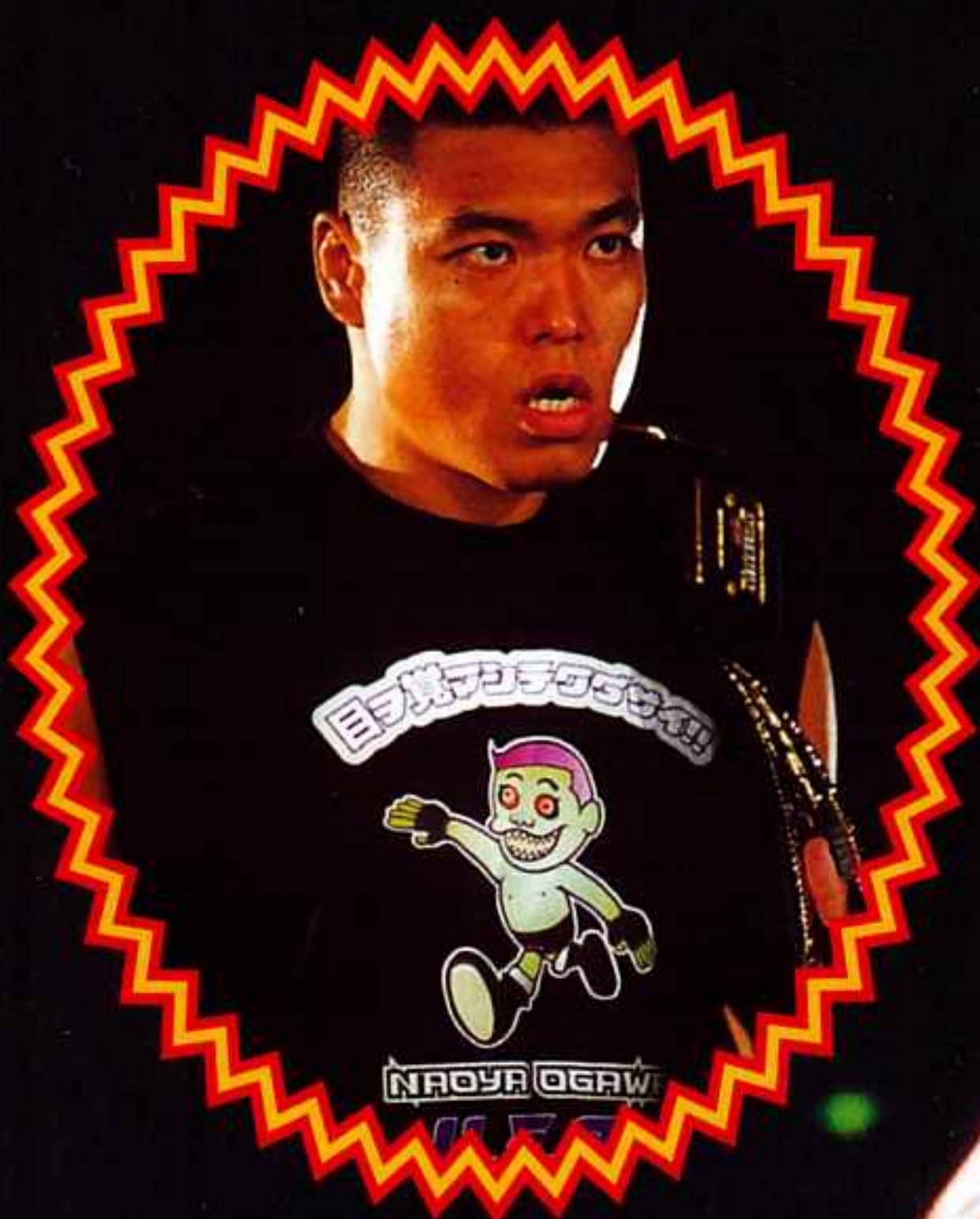
――それほどでもないです（笑）。まあ、お二人の誌上対談は今日が初めてですが、志を高く持っていただいて、格闘技界を面白くしていってください。松井館長、世界大会楽しみにしています。石井館長も、K―1GPの決勝大会がんばってください。押忍！

まさに心ない"パンチ"を容赦なく叩き込む小川。橋本の"心の叫び"が聞こえる！

FINAL DOME 1999
10.11★東京ドーム

“人造ロボット”レスラーは手加減というものを知らない!

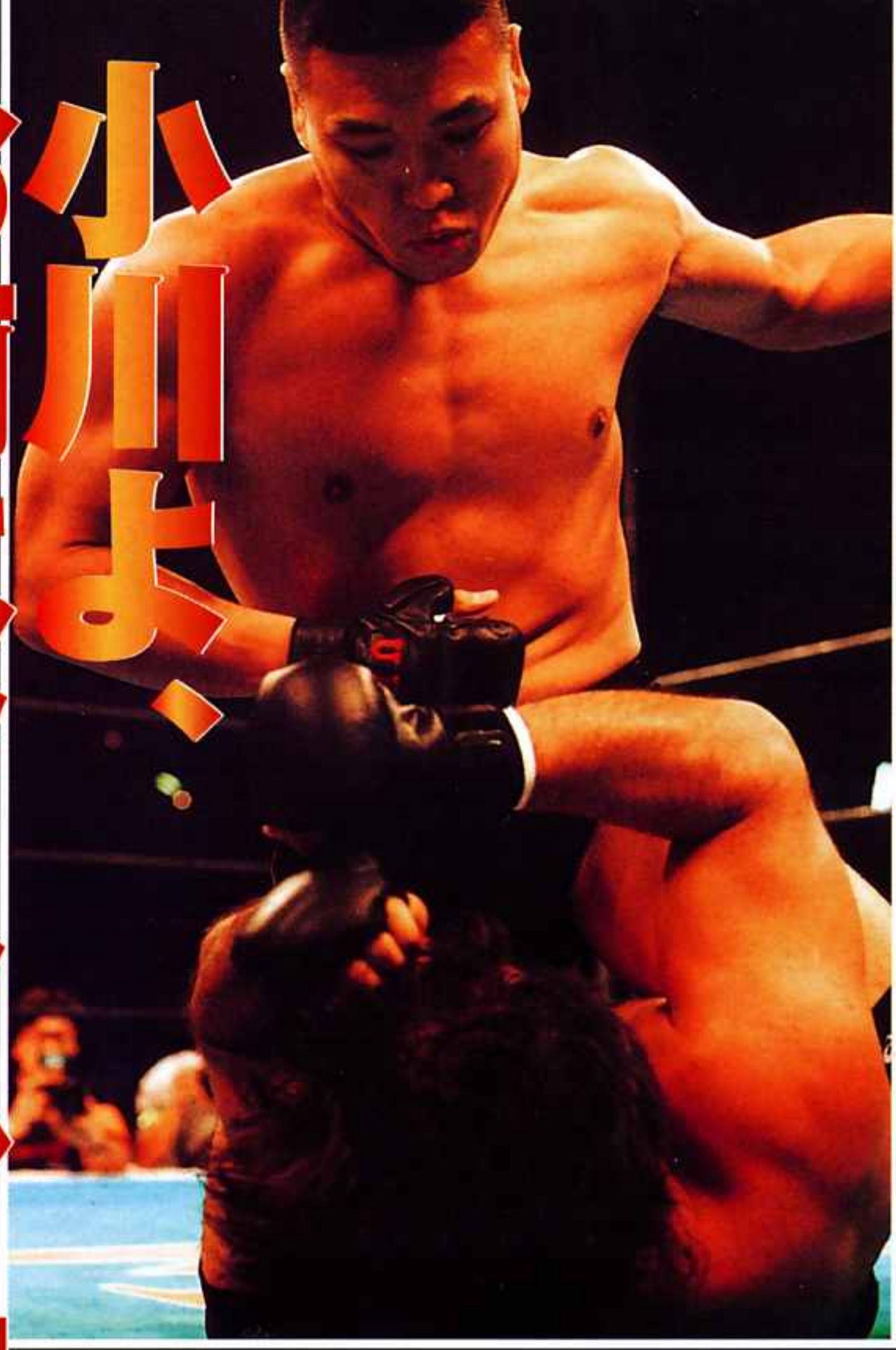
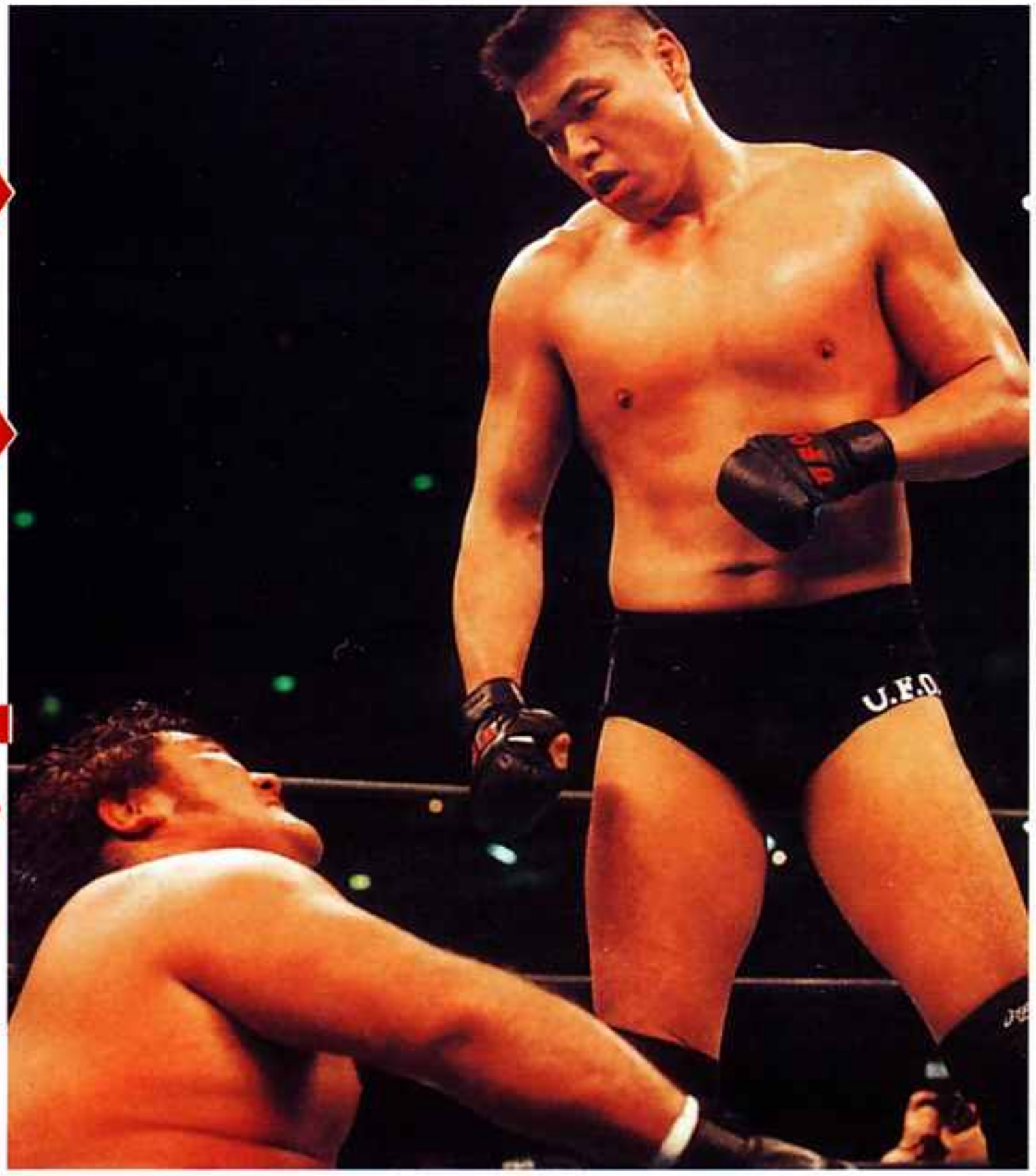
10月11日はプロレスファンにとって“悪夢の日”なのか?

▶前回の1・4以上に、入場時の小川の目はイッちゃってた。それにしてもこのTシャツと表情のアンバランスさはなんだ!?

まさに心ない“パンチ”を容赦なく叩き込む小川。橋本の“心の叫び”が聞こえる!

写真=原 悦生

強すぎる！小川の危険な香りにドームのヴォルテージは最高潮に！

小川よ、お前はフランケンシュタインだ！

◀あの小川を掴んで、気迫のバックドロップ炸裂！

1・4同様に難なくマウントを取ると橋本にタコ殴りを仕掛ける小川（左）。しかしNWAルールのため、橋本がロープに逃げるとレフェリーの藤波社長が必死にブレーク

★NWA世界ヘビー級選手権試合（60分1本勝負）

○小川直也（13分10秒、TKO）橋本真也●
（王者）　（挑戦者）

※レフェリーストップによるTKO。第5代王者小川が初防衛に成功。

▶PRIDE.6のゲーリー・グッドリッジ戦と同じく、得意のV1アームロックを仕掛ける小川

▶この日は小川の真骨頂の投げ技が勝負の分かれ目に。STOの連発はもちろん払い腰や支え釣り込み足、裏投げ気味のバックドロップも飛び出した

思えば平成9年10月11日
あの東京ドーム大会
忘れもしない3年前のことだ
高田がヒクソンと激突した
しかし、あえなく完敗！
それからちょうど1年後
同じく東京ドームだった
雪辱期した10月11日なのに
高田はまたしても
ヒクソンに返り討ちを食らった！
ああ、10月11日は
プロレスファンにとって
〝悪夢の日〟なのか？
そしてやって来た
平成11年10月11日
3年連続の東京ドーム大会は
今年、主催者が交代
『プライド』から新日本へ！
メインのカードは
橋本真也対小川直也だった
な、なんということか？
ま、まさか
2度あることが3度起こった！
橋本真也は高田延彦か？
小川直也は
ヒクソン・グレイシーか？
小川に負けた橋本が
ヒクソンに負けた高田に
なぜか、だぶって見えた！
高田は正真正銘の
プロレスラーだ！
橋本もプロレスラーだ！
ヒクソンは誰もが認める格闘家
じゃあ、小川、お前は一体
何者なんだ？
柔道家？　NO！
格闘家？　NO！
プロレスラー？　NO！
プロ格ファイター？　NO！
格プロファイター？　NO！
NO、NO、NO！
格闘家でもない
プロレスラーでもない小川は

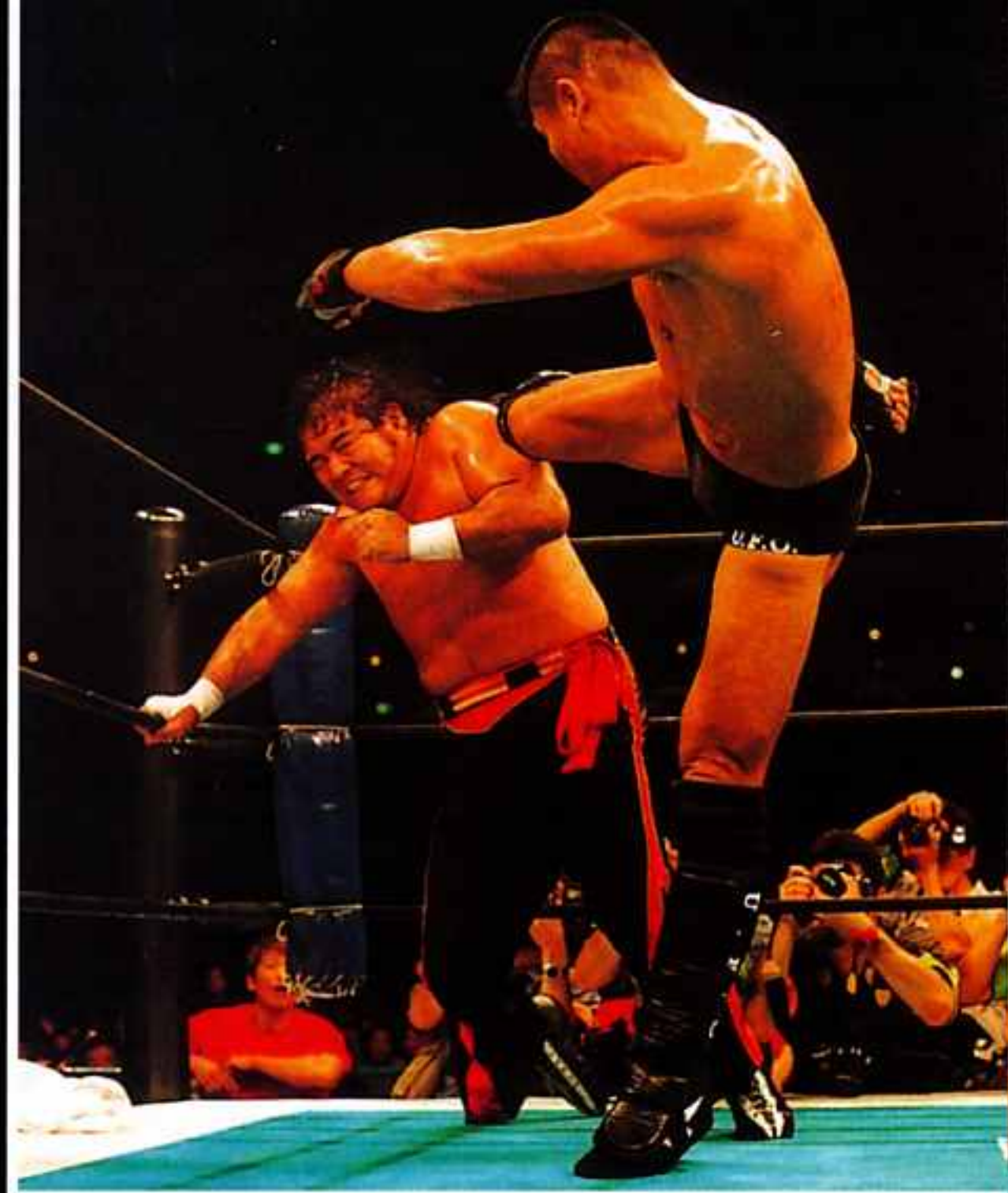
FINAL DOME 1999
10.11★東京ドーム

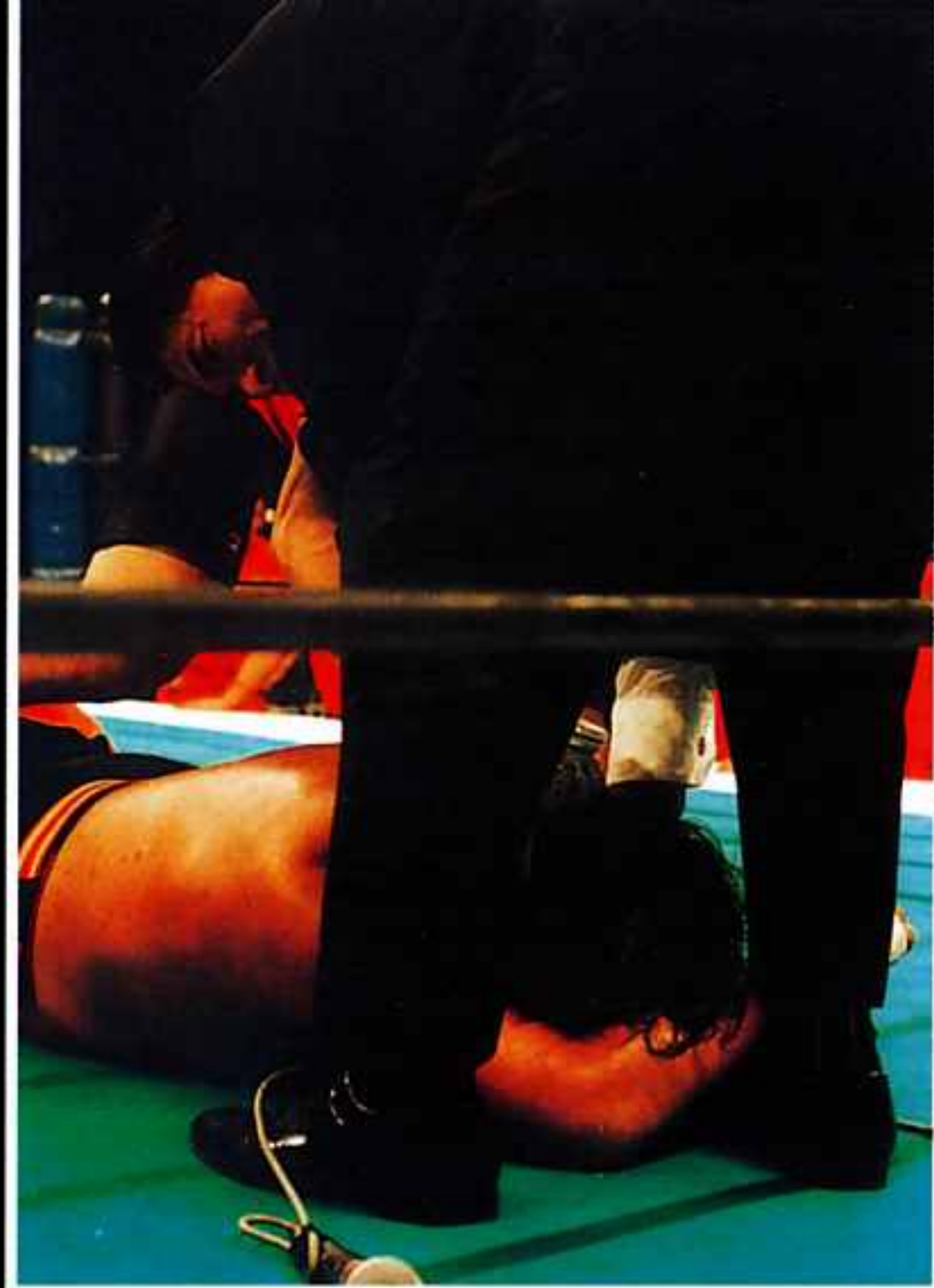
橋本、完全無欠のロボットに魂の逆襲！

▲なんと橋本がヒールホールド！　ブラジルのイワン・ゴメスから伝えられたという新日伝統の裏技にドームが沸き返る

▲「血ヘドを吐かせてやる！」の発言通り、渾身の蹴りを見舞う橋本の攻撃にさすがのロボットも顔をしかめる

◀あの小川を掴んで、気迫のバックドロップ炸裂！

プロレスラーでもない小川は
こいつはとにかく強いぞ
当たり前だ！
なぜなら小川は
〝人造ロボット〟レスラー！
フランケンシュタインだよ
強力な生きたロボットなんだよ
強いはずだよな！
橋本は勝てないはずだよな！
安心しろ、橋本！
小川に負けたのは
お前のせいじゃない
相手はフランケンシュタインだ
見てみろよ
小川の必殺技、ＳＴＯを！
スペース
トルネード
オガワって言うんだろ？
単に柔道の大外刈りだけど
あの技の機械的な動きと
見た感じのイメージは
ロボット的じゃないか？
おっと、小川はＳＴＯで
マットに倒れた橋本を
仕留めにいかなかった
フォールにいかなかった
なぜだ？
おかしいじゃないか？
わからないかなあ！
小川は今、言っただろ？
Ａ・猪木が製造した
最強のロボットレスラー！
特別レフェリーの
藤波さんは
小川が人造ロボットなんて
考えてもいなかった
もし、それを知っていたら
すぐに、本当にすぐに
レフェリーストップにしていた
誰も止めない
誰も止められない
最高権力者の社長でさえも！

▶倒れても倒れても立ち上がる橋本に、小川はとどめのハイキック！

◀猪木乱入の結末にドームはざわつくが、小川の勝利は誰が見ても明白。藤波社長の手で勝ち名乗りを受ける小川を、場内は「オガワコール」で讃えた

▶「猪木さん、ありがとうございました！」と謎の言葉を残し猪木の前に崩れ落ちる橋本。猪木の目にも涙が浮かんでいた。奇蹟の闘魂ドラマは破壊王をも甦らせるのか？

衝撃の結末！なんと闘魂〝人間タオル〟投入

これ以上やったら死ぬだろう…（猪木）

セコンドの飯塚に
タオルを投げる権限は
とてもじゃないがないよね？
一瞬のジレンマと
苛立ち！
その時である
この瞬間を逃さなかった
待ちかまえていた男がいた
なんだ、なんだ、なんだ？
黒い影がリングに飛び込んだぞ
あれは？　あれは？
猪木じゃないか？
オレは見たよ！
生まれて初めて見たよ！
見たんだよ！
〝人間タオル〟を！
そうか、そうだよな
タオルだったら試合中
リングの中に入れるんだ！
あれは反則じゃない
掟破りでもない
違法でもない
ルールにそった正当な行為だ！
う〜ん、それにしても
闘魂が人間タオルになるとは？
またしてもオレたちは
猪木に一杯、食わされた！
いいからもう止めろ！
そう言って人間タオルは
自分が創った最強の弟子を
いましめた！
お前、やり過ぎなんだよ！
でも人造レスラーだから
手加減というものを知らない
それに比べたら
橋本には心がある
ありがとうございましたと
猪木に向かってそう言った
負けて甦った
プロレスラーの心！
それだけでもう十分だ！

（ターザン山本）

前田日明？そんなに吠えるなら、復帰して俺と闘え！

“マット界を覚醒させ続ける男”

小川直也

10・11東京ドームにおいて橋本真也を返り討ちにした小川。
まさしくあのリング上には猪木イズムが宿っていた。
そこには勝ち負けを超えた“何か”があった。
しかし小川は今後どうするのか。非常に気になるところ。
次なるリングは『プライド』かリングスか、それとも新日本か。
格闘ロマンを突き進む小川が吠えた——。

聞き手◎“Show”大谷泰顕
(埼玉医大眼科でも話題騒然!?)
撮　影◎真崎貴夫

——今日は10・11東京ドームで橋本真也選手を返り討ちにした小川さんにバッチリな質問を用意してきたんですけど、あの日以来、ボクに限らず、取材が殺到してるらしいですね。

小川　そうですね、なんか、バンバンきてますけど。ただ、専門誌とかはいつもと変わらないですよ。

——やっぱり10・11ドームが終わって、小川さんの中で気持ちは変わりました?

小川　なんで? あんまり変わってないよ。

——あの～、当然試合もそうなんですけど、ボクは小川さんが試合後にインタビュースペースでうつむきながらというか、コメントをしていた姿が凄く印象的だったんですよね。

小川　なんであれをテレビで放映しなかったんだろうね。残念だなあ。

——そうだよなあ、あれはホントに放映してほしかったよなあ。ただ、橋本選手の意気込みというか、鬼気迫る表情みたいなものは、ビジョンを通じてとはいえ、ボクらには伝わったんですけど、そういうのは小川さんは感じました?

小川　鬼気迫るって、俺の場合は「なんでそこまでして立ってくるんだろう? もういい加減にいいじゃねえか!」っていうのがあったから。

——じゃあ、あの試合は途中からは「もう終わってる」と思ってたんですか?

小川　終わってるっていうか、ほとんど向こうも立つのがやっとだったでしょ。あえてトドメを刺すまでもないな、と。終わってる段階でトドメを刺すのも酷なもんだよ。まあ、あそこまでやらせるほうもやらせるほうだけどね。

——エヘヘヘヘッ。

小川　いや、これは笑いごとじゃなくて!

——ヒャッ! ごめんなさ～い。で、あの日は試合後に「このまま殺さなきゃいけないのかと思った」と言ってましたね。

小川　あそこまで止めないというのは「死ぬまでやれ!」っていう意味だから。いくらなんでもね、死ぬまでやれっていうのは、やるかやられるかっていう瀬戸際だったらもちろんやるけど、殺すか殺さないかっていうことはちょっと勘弁してくれよって話だよ。そりゃあ当たり所が悪ければ偶然死んでしまうこともあるけど、そういう危険を防ぐためにどんな世界でも相手が意識なくなったりしたら、その時点で止めに入るとかいうのがレフェリー(藤波辰爾)だろう! レフエリーが選手の気持ちになるなんてのは考えもんだなあと思うけどね。

▲『プライド』に続き、NWA世界ヘビー王者として新日本のリングにも上がった小川。次なるリングは?

NAOYA OGAWA

新日本勢の「俺たちは」って何? 俺は「たち」なんて付けないよ

——なるほどお。

小川　その気持ちは分かるけどね。

——結果的には猪木さんが出てきて試合を止めたわけですけど、あの時は何が起こったと思いました?

小川　いや、俺はセコンドがまた殴り込んできたかと思ったんだよ(苦笑)。

——あ、そうだったんですか。

小川　うん。でも、よ～く見たら「なんでウチの会長(猪木)がいるんだろう」と思ってね。

——エヘヘヘヘッ。

小川　あの時に我に返りましたよ。

——ああ、そうかあっ!! なんか、良くも悪しくもあの日はボクは凄く懐かしい感じがしたんですよ。きっと久々に猪木イズムみたいなものに触れたような気がしたんだと思うんです。

小川　本当はもっと早い時期にね、俺はずっと望んでいたんだけど。まあ、これだけ時間が経ったからこそああいう試合になったのかもしれないし、どっちがいいのかは一概には言えないけど。俺としたらもうちょっと「鉄は熱いうちに打て!」じゃないけどさ。

——時期を早めたかったと。

小川　だって、この10・11を逃したらまたもっと風化しちゃうし。もう一生懸命に消そう消そうとしてるのは分かるんだけどね。消そうとしたってね、前から言ってたように「ファンのニーズを消すのか!」っていうのがあったからね。

——聞くところによると、試合後に長州力さんが「今一番シンドいのは小川だよ」と言ったらしいんですよね。

小川　べつにそんなね、シンドいたって人それぞれシンドさの度合いってもんがあるし。練習では常にシンドいと思ってるしさ。

——で、ファンとしては今後、小川さんがどうしていくのかが一番やっぱり気になるところだと思うんですよ。

小川　う～ん、今後も何もね、また自分でいろいろな考えをしていかなきゃいけないと思うけど。少なくとも、俺が仮に新日本の若手とか、橋本さんの近くにいる立場であり、橋本さんと一緒にやっているんであればね、あれだけやられて、このままやらせておいてたまるかっていう気持ちが出てくるよね。おかしいじゃない、だって!

——エヘヘッ、まあ確かに。

小川　仲間があそこまでやられて黙ってるってのが。「お前ら、なんなんだよ?」って思うじゃない。

——確かに今、小川さんの名前を具体的に出して「闘いたい」と言ってるのは藤田和之選手くらいですね。

小川　「あとのヤツらは、なんなんだよ?」って話だよ。藤田選手がね、新日本の中ではまだ若手だし、若いとか言われてるけど、それだけのものを担ってるんだからさ、それは凄いことだよ。ただ、

『プライド』でボブチャンチンと闘う？ 俺は消化試合はやらないよ

上の人たちは若手がそこまで言ってるのに「そう言うならお前が行け」っていうのもアホな世界だなと思うよ。

――やっぱり小川さんからすると、「いつ何時、誰の挑戦でも受ける」気持ちがあるわけだから、余計にそれを感じると。

小川 たとえばね！ 自分の仲間がやられてさ、若手が「行く」って言ってもさ、「おい、ちょっと待て！」って上が言うのが普通でしょ？ そういうのもなしに、はい試合終わりました、はい過ぎましたって、「いったい何のこっちゃ？」って感じだよ。

――まだ大上段に構えていられる余裕があるんですかね。

小川 知らないね、俺はよく分からないよ。ただ、よく「仲間意識」とかいう発言が出てるようだけど、「俺たちは、俺たちは」って、何？ その「たち」って。「俺は」にできないの？ 少なくとも俺はいつも「たち」なんて付けないよ。

――そういう意味でも、まだ「俺たちの時代」が続いてるのかなあ。

小川 （無視して）自分の意見を勝手に他人に賛同させるなって！

――「俺たち」じゃないと。で、これはボクの勝手な考えかもしれないんですけど、やっぱり小川さんにはヒクソン・グレイシーを倒してほしいと思うんです。

小川 いや、俺もイヤだとか言ってるわけじゃないし（笑）。俺は自分でも再三言ってるから。ただ、それは『プライド』さんの都合の問題でしょ？ 『プライド』に関しては、「ヒクソン、高田（延彦）の権利を持ってるんだから闘わせろ」って言ってるだけでね。これが全然関係ない、たとえば新日本に「ヒクソンと闘わせろ」なんて言ってるわけじゃないんだから。『プライド』が権利を持ってるから『プライド』に言ってるだけの話でね。

――噂として聞いたのは、イゴール・ボブチャンチン戦をオファーされた、と小耳に挟んだんですけど、それは小川さん的には全然興味ないですか。

小川 べつに「なんでやらなきゃいけねえの？」って。だって、世間的に見て分かんねえじゃん、そんなの。

――エヘヘヘッ、まあね（苦笑）。

小川 それはあっちの都合でさ、押し付けてるだけの話でさ。なんであっちの都合に合わせなきゃいけないのって話だよ。いつもそうじゃない。前回もあっちの都合でゲーリー・グッドリッジ戦を飲んでやったんだからさ、今回はこっちの要望くらい応えろよって。応えられないんだったら、声かけるなって。

――そうなりますか。

小川 そりゃあそうでしょう！ 向こうの要望を受けてさ、「次は私たちが要望を受けます」とか言ってでだよ、なんでお前らの都合しか言わねえんだよって話でさ、誰が聞いてもおかしいよ、そんなの。そうしたら「契約がどうこう」って。そんなこと知らねえって。

――確かに、それは小川さんの問題じゃないもんね。

小川 うん。俺の問題じゃねえもん。契約云々なんて、ファンはそんなこと見たかねえんだよ。本人同士の闘う姿を見たいのにさ、「契約は3試合です」って。「じゃあ、消化試合やれっていうのか」って話じゃない。消化試合をファンに見せるのは失礼だよ。

――じゃあ、もし『プライド』に出るとしたら、相手はグレイシーなり、やっぱり高田選手ですか。

小川 グレイシーは何度も言うように、ヒクソン以外の「なんとかグレイシー」とやったって、結局はヒクソンがあるんだから。

――やっぱりヒクソンじゃないと意味がない、と。

小川 意味ないよ。

――それはたとえばホイスでも同じ？

小川 ホイスだってね、仮にホイスに勝ってたとしても「まだヒクソンがいるよ」って言われたらそれまでじゃない。だから、新日と状態が同じなんだよ。ヒクソンがやられた後で「グレイシーの名にかけて生きては帰さない」みたいに、後から後から来ることに対してはいいよ。親玉の敵討ちっていうのは分かるけど。絶対にそうだと思うんだよ、闘いの図式っていうのは。双六ゲームじゃないんだから、順番に進んでいったらさ、こっちが歳取っちゃうよ、ホントに（苦笑）。

――いつになったら「あがり」なんだと。

小川 うん。そのうちヒクソンも歳取っちゃってさ、お互いによくないよ。

――じゃあ、もう一人のターゲットに当たる高田選手に対しては？

小川 日本のエースでしょ、『プライド』側として。外国のエースにヒクソンを掲げて、日本のエースを高田さんにして始めたわけでしょ、『プライド』っていうのは。今だって日本のエース格じゃないですか、メイン張って。それをなんで狙

▶「新日本のレスラーはあそこまで（橋本が）やられて黙っているのか」と語気を荒げる小川。「いつ何時、誰の挑戦でも受ける」姿勢は変わっていない

プロレスは「最大の格闘技である」ことによって「最強の格闘技である」

っちゃいけないのって話でさ。

——凄いなあ。とすると、小川さんの中では、高田選手の評価は高いんですね。

小川　高いっていうか、高くしてるのは『プライド』じゃない。俺は『プライド』のリングに上がるんだから。

——じゃあ、その高いものを食わないと意味がない、と。

小川　いや、やらなきゃ意味がない。ファンが見たいのはそこなんだから。だって、いつもメインに置かれてて、メインで消化試合やるのかって話でしょ。メインだったら常にやっぱり面白い試合を提供しなきゃいけないんじゃないの？

——いや、ボクらは小川VS高田は見たいけど、小川さんからすると、橋本選手を返り討ちにした段階で「高田はもうどうでもいい」と思った部分もあったんじゃないかなと思ったんですよ。

小川　ファンは「闘ったらどうなるんだろうな？」っていうのがあるわけでしょ。それに応えていくのがプロなんじゃない？　昔からジャイアント馬場とウチの会長がやったらどうなるのかっていうのがあったでしょ？　若い頃、会長がガンガン吠えていた時にさ。確かに、やる前から結果は見えてんだよ。

——エヘヘッ、結果は見えてる（苦笑）。

小川　だけど、それでもやっぱり見たいじゃない。見たいでしょ？

——見たいです。

小川　ただ、相手が受けなかったことによって今に至ったわけでしょ？　でも、今は昔と違ってできるっていう条件が当人同士で整えばいいんだから。できる可能性があるんだから。

——そりゃあB－I対決はもう実現不可能だから、それに比べれば、全然可能性はあるもんなあ。で、小川さん的にはリングスに関してはどうなったんですか？

小川　まあ、チャンスを逃したかなあって言われるけどね。

——意識としては、もう遠のきました？

小川　俺は思うんだけどさ、闘う当人同士が言い合うのはいいんだけど、横からわけの分からないことを言ってるようじゃ、次元が違うよって話でね。

——じゃあ、やっぱり山本宜久選手は視界からは外れたというか。

小川　よく聞かれるけど、実際の話、山本選手に関してあんまりよく知らないんだけどね。前田（日明）さんがあまりにも吠えるからね。前田さんが吠えて「山本、行け！」っていつも言ってんだけど、何なんだって話でしょう、それは。だから、この頃よく言うのは「そんなに吠えるんだったら、自分が復帰してやれ」と。そこまで言い切るならね。だって、年齢だってまだやれる歳なんだからさ。引退してまだ1年経ってないでしょ。だったら、今でも復帰できるじゃない、すぐ。

——それは見たいなあ。

小川　復帰してやれ、と。そうなったらそっちのが面白いよ。山本VS小川より、前田VS小川のほうが絶対にみんな見たいって。俺はそう思うね。

——じゃあ「俺との試合に限って復帰しろ！」と。

小川　そのほうがプロレス（格闘技）のためだと思うよ。

——うん、それは見たい！

小川　俺もある時期ね、「山本選手、山本選手」って言ってても、全然ピンッとこなかったんだけど、それを前田さんにピッと置き換えてみたら「ああっ、これは面白えや」なんて思っちゃって。で、「引退した」って言ったって10年、20年経ってるわけじゃないしさ。何カ月かのもんでしょ。できますよお、まだ。その一試合のためなら。

——確かに、とくにヘビー級のプロボクサーなんかだと、引退してもまたカムバックして試合することは珍しいことじゃないですもんね。

小川　あとはマスコミさんがどこまでアオれるかだね。もう、けっこういろんなところで言ってるから、相変わらず回答が楽しみだよ。ここまで舌戦を繰り広げてるんだからさ。俺はオッケーだけどね。勝ち負けはともかくとしてさ、面白いじゃない。まさに勝ち負けを超えたものが猪木イズムじゃないかな、と。闘魂っていうの？　それが闘う魂じゃないかな。

——そしたら、業界全体が注目しそうですもんね。

小川　うん、いいよお。面白い企画だと思うよ、俺は。

——そうですね!!

小川　うん。俺もね、会長の下で修行させてもらえるから、会長直々に話を聞いたり、まあ生きる辞典というか。

——生き字引ですか（笑）。

小川　まあ神様から教えてもらってるという、いい環境に置かれているからよく分かるんだけど。結局、全体的に考えてみたら、単に枠組みにとらわれずに誰と誰が今闘ったら面白いのかなって考えるじゃない。だから、ホントは新日本とか、UFOとか、リングスとか、K－1とか、そんなんじゃなく、みんなが融合すれば一番いいんだよ。

——それは深い発言だなあ。いや、ホントに格闘ロマンを突き詰めたら、そういうことになりますよね。

小川　「プロレスは最大の格闘技である」っていうのがテーマなんだから。

——ああ、「最強の格闘技」というより、「最大の格闘技」なんですね。それは名言だなあ。

小川　まあ「最大の格闘技である」ことによって「最強の格闘技である」と。

——いやあ、なんだか今日は、ボクの方がバッチリいろんなものが見えたような気がするなあ。

小川　だからリングスも『プライド』も新日本も、グダグダ言ってないで、早く実現させろよ、ということですよ。

——分かりました。ボクも早く自分のやりたいこと全部が実現するように頑張りま～す。■

NAOYA OGAWA

やはり小川は「『プライド』に上がるなら、相手はヒクソン、高田のみ」と言い切った。それ以外が相手には……」こらんの通り興味がない様子

フランス『KARATE・BUSHIDO』誌提携
SRS DX
スペシャル・リング・サイド
No.9 11・11号

CONTENTS

表紙デザイン◎小幡浩史／表紙フォト◎菊地和男

『悪魔降臨』

緊急大布教!

初心者無視! R指定

【お子様の目に入らないようお読み下さい】

出席者◎ますます快調のお馴染みのお二方＋急患約一名
ターザン山本＝プロレス界の宣教師（甦った平成の定義王）
サダハルンバ谷川＝元・光り輝くゴールデン・キューピー
"Show"大谷泰顕＝プチな神が舞い降りた噛ませ犬
司会◎柳沢忠之（本誌発行人）
試合写真撮影◎原悦生＝本誌選定ファンタジスタ（背番号10番）

山本 おい、谷川ぁ！ Ｓｈｏｗはどうしたんだあ！ 今回が復帰戦じゃなかったのかあ！ 自分でそう宣言してたじゃねえかぁ。

谷川 僕は急用があって小川VS橋本戦が見られなかったので今日はＳｈｏｗに語ってもらいたかったんですけど、なんか今日になって背中が痛いとか言って、「立つこともできないので出席できません」って電話がかかってきまして。

山本 チンケだねぇ。プロ根性がなさすぎるよぉ。

――まあ、ド素人以下ですから（笑）。

山本 俺はあいつがどんな形で闘いを挑んでくるか楽しみにしてたんだよぉ！

谷川 敵前逃亡もいいところですねえ。

――でも、本当に来ないの？

谷川 いや、さっきも電話して「プロだったら這ってでも来い！」とは言っておいたんだけど……。

山本 でも、あいつは俺にマウントを取ったんだから休養する必要はないんだよなあ。俺にマウントを取って勝ったと言っている側なんだから、休養したり敵前逃亡してること自体がおかしいんだよぉ！ 勝ち組なのにさ、なんでずーっと出てこないというか逃亡してるのかねぇ？ これもＳｈｏｗのアングルなんかなあ、今日の座談会の。

――そうですね、今日の座談会のテーマは10・11のドーム大会ですからね。最後までどうなるか分かりませんよ！

山本 ええっ、今回は小川VS猪木戦のこと？

――小川VS橋本戦です（笑）。

山本 ああ、なんか、業界のある関係者がこう言ったらしいんだよねぇ。「あんなものはアングルだ！」って叫んだらしいんだよぉ。俺はその言葉を聞いておかし

いなと思ったんだよねぇ。この世界にいる人間からするとそうだと思うんだよぉ。ただ「アングルとは何か？」というのを考えないとおかしいんだよねぇ。僕から言わしたらぁ、セ・リーグとパ・リーグの優勝チームが激突して日本シリーズをやるというのも、これはアングルですよぉ、ハッキリ言ったらぁ！　あるいは極真が4年に一回世界大会をやるのも、これもアングルですよぉ！　だからこの橋本VS小川戦も1・4東京ドームでああいうことがあったからぁ、いろんなよ〜するに想いというか「今後どうなるのか？」「どっちが勝つのか？」、ファン的に言うと「これはシュートなのかプロレスなのか？」という様々な想いがあるという、そういうアングルなんだよなぁ！

——本当に結果が分からない、答えを推理して楽しむアングルですよね。

山本　そうそう。それを結果論で「こんなもんアングルだ！」と言ったら、はじめから答えが分かってるようなアングルと言ってるようなもんでしょ。それは大間違いなんだよなぁ、俺からしたら。そういうアングルの捉え方がまず、一番プロレス界のダメな部分というかねぇ、うん。だから！　ここでは「アングル論」をやらなきゃいけないと思う！　「あれはアングルだったのかどうか？」ということだよねぇ。

——ダハハハハッ！　思いっきり核心に迫りますねえ（笑）。でも山本さん、初心者を大事にするこの『SRS・DX』でいきなり「アングル」って言っても分からないですよ（笑）。説明しないと。

山本　いや、アングルっていうのは「角度」「視点」「観点」というのが言語の意味でぇ、つまりは現実がどう転ぶか分からない時、その状況をどう読めばいいのか、その切り口のことをアングルと呼ぶんですよぉ。切り口の〝角度〟によって状況が見えてくるというわけですよぉ。だからアングルは読まれちゃダメなんだよぉ。アホだよぉ。その「アングルとは何か？」ということをやらないと、今マット界はアングル病でしょ？

谷川　アングル病ですねえ。実際の当日の会場の雰囲気はどうだったの？

——試合中は凄い熱気だったね。試合が終わった後は「ザワザワッ」っていう感じ。最後に猪木さんが飛び込んできたっていうことに訳が分からないっていう感じで、結末として「ザワザワッ」としたわけよ。

谷川　感動はしてないんだ？

——会場のヴォルテージに感動してたファンは多いと思うけど、結果的にはかなり困惑してた（笑）。スタンド席の周りの客には二つの反応があって、「橋本が弱すぎる」っていう反応と、「小川はなんでトドメを刺さないんだ？」っていうその二つに対して、怒ってるファンがかなりいたっていう印象かな。

谷川　山本さんもそう感じましたか？

山本　うん。やっぱりああいう結果に対してはぁ、今のファンの人たちはぁ、自分の中に答えが見つからないよなぁ。自力で答えを見つけるとかぁ、あるいは自分なりにその状況を見て納得するということを、僕たち昭和のプロレスファンはああいう状況の不透明なものに慣れてるから、すぐにピーンッと別の反応をできるわけですよぉ！　反応して喜ぶというかさぁ。ところが今のファンの人たちは答えが見つからないということと、取り残されたということに関してやっぱりさぁ、異化反応するんだよねぇ。

谷川　ただあれは、極端なことを言うとK—1の佐竹VS武蔵の試合で第4Rにいきなり石井館長が乱入して止めて、「佐竹、これ以上やるな！」とかいうような世界ですよね（笑）。

山本　そうそうそう。

谷川　そうしたら、たぶんK—1のファンは物凄く怒ると思いますよ（笑）。そういうのに全然慣れてないですから。昭和のプロレスファンだったら凄く面白がると思いますけど。

“線”でつなげて見るという行為がぁ、俺たちのエリート意識なわけですよぉ！

——今のプロレスファンには、猪木ワールドは難解だよ（笑）。

山本　難解ですよぉ。だって、あのよ〜するに1・4ドームという〝点〟からぁ、10・11という〝点〟までをつなげてね、一つの〝線〟でつなげて見るという行為がぁ、俺たちプロレスファンのエリート意識なわけですよぉ！　だからどんな状況になったとしてもぉ、理解能力はあるわけですよぉ。

谷川　なるほど、どんな状況になっても理解能力はある、と。

山本　それが俺たちの凄みですよぉ。谷川にはそういう理解能力がないから分からんかもしれないけどぉ。

谷川　んあ〜。

山本　で、今のファンはその理解能力に乏しいというか、面倒な作業を拒否している部分があるから、明解な「青」か「黒」か「白」かという答えを求めようとするわけよぉ！

——「青」も明解（笑）。

山本　でも、そうじゃないんだよねぇ。

谷川　あっ、そうじゃない（笑）。

山本　それを求めようとするとやっぱりさぁ、彼らは小川VS橋本戦のあの結末には不満を持つだろうし、納得しないだろうし、ブーたれるだろうし、騒ぐだろうねぇ。

谷川　ふんふんふん。

山本　それがあの状況だよねぇ。でも、俺たちはそういうことにまったく慣れてるんだから、慣れてる人間にとっては答えは一個しかないんだよぉ。

——ああ、今日は一個（笑）。

山本　「猪木が治めた」ですよぉ！　最後のトリを取ったのが猪木であるとゆー形であの状況というのはぁ、俺らからしたら物凄く分かりやすいほど分かりやすい答えなんだよぉぉぉ！

——「ビバ！　猪木」ですよね（笑）。

山本　だからある人が俺に言ったよ、テリー伊藤さんなんだけど。俺の耳元で囁いたよぉ。「山本さん、猪木は悪魔ですね」って（笑）。悪魔があの場を乗っ取ったんだよなぁ、最後に。

谷川　リングアナの最初もそうでしたからね。最初から最後までそうだよなあ。

山本　そういった形であの状況を「猪木は悪魔だった」とか、「猪木が一人勝ちした」とか、そーゆー形で俺たちは治めることができるわけよ。そーゆー少数派のファンとそうでない大多数のファンがあそこにいたということだよねぇ。

谷川　でも、テリー伊藤さんが「悪魔」って言いましたけど、あの猪木さんはひっどいですね（笑）。「橋本はバカじゃないの？」って思いましたよ、僕。

山本　よ〜するにぃ、テリーさんから言わせると「悪魔」という言い方の中には「呆れ果てた」と「感心した」という意味が混在してるんですよぉ。

——キラー猪木を通り過ぎて今や「サタン猪木」ですよ（笑）。

谷川　だって、小川も橋本も藤波もないですよね、あれじゃあ（笑）。

山本　だから、じつを言うとそーゆー答えなんだよねぇ、あれは。橋本も小川も

藤波もこの3人がぜ～んぶ刺身のツマになるわけよぉ。

——見事なツマですね（笑）。

山本　だって、本当はこの人たちが主役なんだよぉ。リングの中でやってる選手とレフェリーの3人が現実を動かしているんだからぁ、この3人が当然メインイベントの主役なわけなんですよぉ。なぜリングサイドにいた猪木さんが、最後にぜ～んぶ取って代わらなきゃいけないのかということじゃないかぁ。

谷川　刺身のツマっていうか、全員が新弟子になってましたよねぇ。藤波辰爾まで新弟子になってるもんなあ。

山本　いや、それはあそこでね、裏切ることだってできるわけよ。藤波が権限を持ってるんだから、レフェリーで。藤波がストップをかけてもいいわけ。それをよ～するにぃ、できないところがアングルのできない人だというんだよぉ。これは凄いことなんだよねぇ。今までの新日のアングルを思い出すと、両国国技館でナウリーダーとニューリーダーの世代闘争があったでしょ。あの世代闘争で急にリングに上がってみんなで言い合いしたわけでしょ。で、最後に出てきた前田日明がぁ「ゴチャゴチャ言わんと誰が強いかハッキリさせたらええんや！」と言ったのは、ホントーにその場の瞬間的な思いつきなんですよぉ。で、それまで他の選手が言ったことがぜ～んぶブチのめされて、あの言葉だけがぁ、急激に浮かび上がったわけですよぉ！　それまでの計画的なアングルがぁ、前田の瞬間的に出た偶然の言葉でぜ～んぶ否定されたよねぇ。「これこそがアングルや！」って前田が言ったらしいよぉ！　だから、その話を聞くとアングルというものがどーゆーものかよ～く分かるねぇ。

谷川　なるほど、すごい、すご～い。さすがは前田日明だなあ。

山本　それをヒントにして考えると、一番強いアングルというのはぁ、「偶然」です！　突発的にして偶然的なものがぁ、それを境にして必然化する、そーゆースケールのものがホントーのアングルなんですよぉぉぉ！

——いよっ、ターザン！（笑）。

山本　ところがぁ、今のプロレス界はたかが10人くらいの選手の中で300人とか500人の観客を相手にした狭い中でぇ、計画的アングルをやってるわけでしょ。それはしかし、物凄いミクロな局地的なちっちゃな世界での仕掛けでしょ。いわゆる小売商店が仕掛けやってるようなもんなんだよぉ。そーゆーものをアングルとして今のプロレス団体がいろいろやってるということはぁ、俺から言わせたら「真のアングルをナメてるのかぁ！」と。さっき言った、歴史的必然につながる偶然によって生まれるアングルというものを「おまえたちは冒涜してるのかぁ！」「ナメてるのかぁ！」「フザケンなぁ！」と言いたいわけよぉ！　それがプロレスをまったくダメなものにしてるわけ。じゃあ、どーゆー偶然が必然に化したアングルがあるかと言ったら、これはやっぱり日本のプロレスの歴史を振り返ってみるとぉ、やっぱりさぁ、真のアングルはあったんだよぉ！

谷川　はいはい、それは何でしょう！

山本　それはやっぱり力道山ですよぉぉぉ！　木村政彦と力道山の試合は、あれは木村政彦からしたら単なる力道山との試合だったわけですよ。そのつもりで安心してリングに上がってるわけよ。ところがあの結果はどうなったかといったら、木村が金的を蹴ったとか言って、力道山が完膚無きまでに木村を叩きのめしたわけでしょ。そーすると木村政彦にとっては「こんなはずじゃなかった」という形になるじゃない。単に二人が日本選手権をやるという一つの試合だったものがぁ、本来なら木村政彦のほうが有名で、柔道の不滅のチャンピオンとしてネームバリューとしても絶対的に上なわけよぉ、歴史的に見てもね。それがあのたった一試合によって、力道山が日本のプロレス界の帝王になってその後の日本のプロレス界のぜ～んぶを牛耳ったというかぁ、占領したというかぁ、独占したわけでしょ。あれはあの試合での偶然が大アングルになって必然化して、日本のプロレスが大爆発してその結果、木村政彦は落ち込んだわけでしょ。あれこそ最大のアングルですよぉぉぉ！

突発的にして偶然的なものが必然化する、それがホントーのアングルなんですよぉ！

——ダハハハッ。素晴らしい！

山本　計画的アングルじゃないわけよぉ。偶然がそこで大爆発して、その後の必然を作ったわけだから。これはホントーに史上最大のアングルですよぉぉぉ！　力道山も気づいてなかったし、木村政彦も気づいてない、その現場にいた人たちもそれがそーゆー形のアングルになっていくとは誰も思ってないから、あれこそが最大のアングルですよぉ。どー思います？

——いいアングル論ですねえ。もっと例を出しましょうよ。

山本　力道山が死んだのも最大のアングルだよねぇ。力道山があそこで死んだのも力道山自身は「こんなはずじゃなかった」と思ってるわけよ。

——死んでるのに？（笑）。

山本　そうそう。だってまったく偶然でしょ、刺されて。で、生き延びられたのに入院中に水を飲んだりして、まあどーなったかは分からんけどとにかく死んでしまった。死んでしまったのはまったく偶然で、しかし死んだことによって馬場・猪木の二大対立時代が生まれて、1999年、馬場が死ぬまで猪木・馬場の対立の時代を作ったわけでしょ。力道山は木村政彦で自分の時代を作り、自分が死んだことによって馬場・猪木の時代を平成11年まで作ったという大アングルの功労者ですよぉ。これに勝る二大アングルはないもん。

——なるほどねえ。力道山が次の世代への「世代交代」を果たす上で、「自らの死」をアングルにしたっていうのは、誰も予想できない、誰も真似できない究極ですよね。

山本　つまりアングルに一番重要なのはぁ、俺が定義したんだけどぉ。

——定義しましたか（笑）。

山本　ホントーのアングルの中には神が宿ってるんですよぉぉぉ！　これを称して「ゴッド・アングル」というんですよぉ！　しょうもない人間が作るアングルというのはねぇ、ホントーにレベルが低いわけよぉ。ヒューマン・アングルというのはくだらないわけ。

谷川　ヒューマン・アングルはくだらないですよねえ、確かに（笑）。

山本　まったくくだらないわけ。ヒュー

マン・アングルというのはゴミ箱のようなものなんですよぉ。偶然の中には神が宿ってるし、究極のアングルの中には神が宿ってる。つまり神が必然を作るわけですよぉ！

――それはいい話だ（笑）。ゴッド・アングルは見事ですね。

谷川　そうそう、人間が作るものはつまらないですね。

山本　つまらない。だから、たまたまやったことで、たまたま起きたことの中に神が宿っていたらぁ、それが物凄いビッグ・アングルになってゴッド・アングルになって、必然化してその後の歴史の流れを決めるとゆー、そーゆーものがホントーのアングルですよぉ！　インディーの団体がコチョコチョとやってるものはぁ、人間が考えた物凄い低級なアングルなわけよ。もうどーしようもないわけ、歴史の必然じゃないから。なぜかというと神が宿ってないから、そのアングルの中には。このアングルの理解をやっぱり皆さんに教えなきゃあいかんねぇ、この概念を。

谷川　それは皆さんに教えなきゃあいけませんよねえ。

山本　うん、谷川も含めてしっかりと教えなきゃあいかんねぇ。

谷川　んあ～。

――つまり人間が仕掛けて、そこに神が舞い降りるようなものが一番高級ですよね。

山本　降臨するというかねぇ。

――たとえば安生のヒクソン道場破りとか、髙田VS北尾戦とか、人間が仕掛けるんだけどそこに神が舞い降りたような、結果的に見事なアングルになるっていうものはいいですよね。

山本　だって髙田と北尾なんて、誰が考えたって5Rやって引き分けになるよねぇ、あれは。よ～するに神が宿ったために髙田が勝っちゃったわけよね。安生がヒクソンの道場に行ったのも宮戸が止めようとしてるわけですよぉ。で、その日のうちに行って見事に道場破りに失敗したでしょ。あれは負の神が宿ったんだよねぇ。

谷川　その負の神もいいですよねえ。

山本　負の神が宿ったから、その後の歴史は負の歴史になるわけですよぉ。

――それこそアングルですよね。

山本　俺たちの人知を超えたアングルになるわけですよぉ。

――でも、ゴッド・アングルはアングルの定義としては抜群ですね。

谷川　格闘技に期待するのも、みんなそういうのが見たいんでしょうねえ。

山本　人間のやることはどんなことだってアングルなんだからね。そのアングルにいかに神が宿るかだけなんだよぉ、問題は。神が宿らなかったら小さい自己満足、人間の自己満足で終わっちゃうんだよぉ。その場で消されるというかぁ。アングルを活かすのが神だから。

谷川　さすがは神様だなあ。

――んあ～。でも歴史的に見て、もっとも神の降臨率が高いのは前田日明かもしれないですね。

山本　前田はそういうことに対して最もさぁ、本能的に皮膚感覚で、生々しい男なんだよねぇ、彼は。その生々しさだけで生きてるというかぁ、自分を作り上げ

力道山があそこで死んだのも力道山自身は、「こんなはずじゃなかった」と思ってるわけよ

てきたというかぁ、前田幻想、前田フィクションというものを作ってきたから。彼の場合は試合内容云々じゃないわけよぉ。その生々しいアングルというか、瞬間的なよ～するに彼の生々しさだけでここまで築いてきたんだよねぇ。

――前田日明は神とスイングしてましたよね（笑）。

山本　うん。時代とスイングしてたんだよねえ、前田は。つまり神というのは「時代」だから。その時代の空気とか流れと合致しないことには神は降りてこないんですよぉ、絶対にぃ！

谷川　そうですよねえ、時代の空気なんですよねえ。

山本　その時代の空気っていう意味で、史上最大のアングルがあるんだよぉ！

――なんですか、それは？

山本　猪木さんも自分の意識の外にあったことで、偶然に起きてその後のプロレス界を決定的にしてしまったアングルが一個だけある。

――だから、なんですか？

山本　猪木さんも予想外で、その場の一瞬の判断でそうなって、今の日本のプロレスを決定づけたアングルがある。

――だから、何なんですか！（笑）。

山本　長州の「噛ませ犬発言」ですよぉぉぉ！

――ああっ、はいはいはい。

山本　あれはあの日、猪木さんの中にもなかったアングルなんだよねぇ。で、長州としては「もうガマンできない」と。人間ってもっと出世したいとか欲望がいろいろあるじゃない。そのためにメキシコから帰ってきて、このまま埋もれたくないというんで長州は「オレは藤波の噛ませ犬じゃないんだ！」とひとこと言い切ったことが、ホントーにあの偶然のひとことの中にムチャクチャに時代の神が宿ってしまったんですよぉ！

――宿りましたねえ（笑）。

山本　あの長い間低迷して、もうどうにもならないほどさぁ、鬱積していた長州の不満が、ファンの心や時代の空気と合致して大爆発したんだよねぇ。あの「オレは藤波の噛ませ犬じゃないんだ！」は、偶然にして必然の最大のビッグ・アングルですよぉぉぉ！　一気によ～するに藤波を乗り越えて長州が今日の権力者になる最初のキッカケでしょ。あれはよ～するにぃ、猪木さんも及びもつかなかった世界でねぇ。でも、猪木さんは及びもつかなかったことでもやらせてみる人なんだよねぇ。やらせてみるという意味では、猪木さんはアングルを自分の中に内包している人なんだよねぇ。やらせた瞬間に自分のものになるというかぁ。

――クリスチャン並みに神を肯定しますよね（笑）。

山本　神しか肯定してないというかぁ。

――だから「天の声」って言うんですよ（笑）。

山本　もう一つあのアングルが凄かったのは、あのひとことが日本のプロレスの歴史を変えたんだよねぇ。それはどーゆーことかというと、「オレは藤波の噛ませ犬じゃない！」ということは別の言葉で置き換えられる。「オレはスーパースターの噛ませ犬じゃない」と言ったんだよねぇ。つまり！　それまでの構造はみんながたった一人のスーパースターの噛ませ犬だったわけ。力道山の噛ませ犬、ジャイアント馬場の噛ませ犬、アントニオ猪木の噛ませ犬という形になっていたわけ。で、猪木さんが最初に馬場さんの噛ませ犬じゃないというアピールをしたんだけども、それをさらに大きく広げたのは長州で、

よ～するに長州というのは普通の人だから、普通の人がスターを否定するという形でスターの噛ませ犬じゃないと言ったばかりにぃ、今のような多団体時代になってみんなが長州化したわけですよぉ！

――なるほど、なるほど。

山本　みんなが長州化して、多団体時代になって細かく分裂してインディーが出てきたのも、ぜ～んぶ長州のあのひとことなんですよぉ！　長州がもう一つ言った言葉で、藤波に勝った日に「オレにも一生のうちに一回くらい幸せがあってもいいだろう」っていうのはそれに符合していて、よ～するに普通の人たちがスターに反抗して、自分がスターになるという幻想を与えた意味では、長州がやったことは最大のアングルにして最大の悪なんですよぉ！　日本のプロレス界のスターの幻想を壊したという意味では、長州が最大の悪です。今の状況がまさにそう。スターがいないとゆー時代は長州があの言葉によって作ったんですっ！

――スター不在はスター否定から始まったということですね。

山本　スター（カリスマ）を否定するというかぁ、反抗するというのは一番やってはいけないことで、それは神に反抗することなんですよぉ！　だけど長州はそれに成功したでしょ。だから、みんな第二第三の長州2号、長州3号みたいなのがい～っぱい出てきて、ＵＷＦも大仁田もぜ～んぶそうじゃない。スターの否定から出てきてのし上がってお山の大将になったというかぁ。それは今のプロレス界を究極的にダメにした決定的なアングルだったんだよねぇ。オレはあそこにすべてがあったと思う。

――分かりやすいですね。

山本　もう一つのアングルをやったのがぁ、やっぱり佐山ですよぉ。よ～するにぃ、タイガーマスクを捨ててシューティングを作ったというあのアングルですよぉ！　あのアングルがよ～するに格闘技というもう一つのアングルを作った。佐山のアングルも凄いよぉ。あれも物凄く大きく神が宿ってるよぉ。

谷川　自覚症状はないと思うんだけどなあ、いまだに（笑）。

山本　佐山に宿った神と、長州に宿った神というのはぁ、非常に正当な神に疎外

長州の「噛ませ犬」発言は史上最大のビッグ・アングルですよぉぉぉ！

▲10・11東京ドームで橋本に快勝した小川は、試合後の長州の言葉をどう受け取ったのか!?

された別の意地悪な神が宿ってしまったんだねぇ。主流派ではない反主流派の神がいて、反主流派の神が長州と佐山の中に入ってしまったわけよぉ。

――なるほど、神にも主流・反主流があるんだ（笑）。素晴らしいアングル論だなあ。

山本　それが今の1999年の状況であり、それがすべて出ているのがあの小川VS橋本戦ですよぉ。橋本がよ～するに正当な新日本プロレスの代表選手としてのいわゆる力道山～馬場・猪木の流れの末裔みたいな感じになってるんだけど、佐山的な流れを汲んだポジションとして小川が立ち向かってるんですよぉ。対立構造になってるわけ。

――ほほぉ。で、1・4の小川VS橋本戦には神が宿ったじゃないですか。

山本　宿っていたよぉ。

――今回の10・11は神が宿っていたんですか？

山本　今回は宿ってないよぉ。神がＮＧを出したためにアントニオ猪木という悪魔がそれを占領してしまったわけ。

――別の言い方をするとアントニオ猪木が神になったわけですね（笑）。

山本　そうそう。本当の神が宿る前に猪木さんがぜ～んぶ奪い取ってしまったわけよぉ。

――でも、アントニオ猪木が神に見えるくらい、そのアングルは我々にとっては凄く懐かしい、いい感じを与えられたじゃないですか（笑）。

山本　俺たちにとっては、神が宿る前に猪木があの場を略奪してしまったのは快感だよねぇ。カタルシスですよぉ！「やっぱり猪木か－！」というねぇ。その場を治める力を持ってたのは猪木だけだからねぇ。よ～するに藤波も止められなかったんだから。小川はもちろん長州も治められなかった。結局、誰がその場を取るかといったら、1・4は長州が取ったんですよ。猪木さんが出てくる前に長州が出てきて、あの場を最後に治めたんですよぉ。で、今度は猪木さんが逆襲して10・11は猪木さんが場を取って長州は何もできないで、よ～するに控室に引き込んでいた、と。これは長州と猪木さんの闘いなわけよぉ。だから、長州の噛ませ犬の論理が生きてるわけですよぉ。スターとしての猪木が長州に対して逆襲したわけですよぉ。だから長州が出てくる場がなかったもんねぇ、今回は。

谷川　でも、二人ともたいしたもんですよね。そういう時に必ずどちらかが引っ込んでいて。藤波社長はあれでいいんですかあ（笑）。

――いや、でも結局はみんな神の噛ませ犬ですからね（笑）。

山本　そーゆーことです！

――神の噛ませ犬をやらせたら、猪木さんはもう宇宙一と言ってもいいくらいうまいですよ（笑）。

山本　ホントーに長けてるねぇ。神が乗り移った現人神ですよぉ。だから、たとえ悪魔化しても現人神に対しては「ありがとうございました！」って言うしかないもんねぇ、橋本は。最後はよ～するに新日本プロレスは何もできなかったので、悪魔の略奪に頭を下げるしかなかったというのが10・11ドームだよねぇ、坂口も長州も藤波も橋本も武藤もみんな。

――まあ、今回の試合に神が宿らなかったとしても、現人神は小川ではなく橋本にほほえみましたよね。

山本　そうそう。よ～するに立ち上がっていくドラマとか出直していくドラマとかが橋本に与えられたわけだよねぇ。

――試合を見終わって目がいったのはや

っぱり橋本でしたからね。小川の今後より橋本の今後が気になった。「小川の今後」を消してしまったのは、さすが悪魔ですよね（笑）。

谷川　そこに不満感があるな、凄く。「小川の今後」に期待させてくれと思うんだよ。素材として橋本が悪すぎるからさあ、僕は「橋本の今後」の期待はないんだよなあ。やっぱり見ていて小川のほうがいいなあという。

――だから見事にスカされたわけだよ。でも、なんで今回、神から小川にNGが出てしまったんでしょうか、さあ、教えてターザン？

山本　今回の試合レポートでも書いたけど、小川は猪木が作った「人造ロボット」レスラーなんですよぉ。フランケンシュタインなんですよぉ。単なる格闘サイボーグというかぁ、プロレスの血が通ってないわけ。ただ強いだけ、ただ凄いだけという。

――だから小川は人間が見えにくいのか。全然、橋本のほうが人間が見えますもんね。

谷川　僕は見えすぎちゃってガッカリするんだけどさあ（笑）。

山本　小川に人間が見えないのは仕方ないんだよぉ。それは猪木が作った「人造ロボット」だから。まず巡行とか道場生活をやってないから、プロレスラーとしての血が通わないんだよぉ。神が宿らないんだよぉ、そーゆー男には。

――やっぱり「人知」にいっちゃってるんだ。

山本　「人痴」といってもいいけどねぇ。だから、よ〜するに最後に長州力が「一番しんどいのは誰だと思う？　小川だよ」と言ったのは言い得て妙というか、いわゆる巡行や道場や新弟子を経験してない男は苦しいよ、ということだと俺は理解したね。

――長州は見事に小川をフォローしましたよね。あのひとことで急に「小川の今後」に興味が沸いたからね。

山本　長州は自らが負の時間を過ごしてきたから、そういうものが見えるんだよぉ。パッと瞬間的に陰になってる世界が見えるわけ。反応するわけ、感性が。

――長州が小川を救いましたよね。

山本　場としては猪木が最後に取ったけど、長州もあのひとことで猪木に一本だけ技を返したね。

谷川　あの発言だけドキッとしますもんねえ。

山本　お見事と言いたいねぇ！　全然控室から一歩も出なかった男がさ、一本返したよぉ。やっぱり一度は神が宿った男だから。

――山本さんとしても「敵ながらあっぱれ」といったところですね（笑）。

山本　さすがは俺の宿敵ですよぉ！

――「一番しんどいのは小川だよ」っていう意味を小川は理解したのかな？

谷川　正直な話、勝ったことが嬉しいんじゃないの？

――んあ〜！

山本　だから「人造ロボット」レスラーなんですよぉ。点と点を結ぶ〝線〟も作れないし、空間的な広がりもないというかねぇ。分かりやすく言ったらプロレスという時間を生きてないでしょ。橋本はプロレスという時間をしつこいほど生きてきたからねぇ。その一点だけでも有利だよぉ、どんなにボロ負けしようが。

――小川の〝線〟に期待できないとなると、後は小川は〝点〟としての爆発を過剰にやり続けることしかないんですかね。

山本　『プライド』でボブチャンチンを半殺しにするとかさぁ、そういうことでしょ、もう。

悪魔の略奪に頭を下げるしかなかったのが、10・11東京ドームだよねぇ

――そういうことで〝線〟を自力で作っていく以外ないっていうことか。

谷川　なるほど、よ〜く分かりました。

山本　ホントに分かったのかぁ、谷川ぁ？

谷川　ちぇ〜っ、それくらい分かりましたよお、僕だって。

大谷　ヒャッ！　す、すいませ〜ん。なんとか頑張って来てみましたあ〜。

谷川　あっ、Showだ！

山本　おまえ、今頃のこのこと何しに来やがったぁ！

大谷　だって谷川さんが「這ってでも来い！」っていうから。

山本　終わった瞬間にちょうど来やがってぇ！　凄いアングルだなぁ。

――ぷぷぷっ、山本さん、Showにも神が宿ったんですか？（笑）。

谷川　凄いなあ、アントニオ猪木並みだ。なあ、キミは（笑）。

山本　治めに来やがったよぉぉぉ！

――おまえが早く来ないから、もう終わっちゃったよ。定義にお前はまったく必要なかったけど（笑）。

大谷　そ、そうですかあ、お疲れさまで〜す。じゃあ、いち、に、さん、だぁ〜っ！

山本　俺は今気づいたよぉ！　主流派の神と反主流派の神がいると言ったけど、プチな神もいたんだねぇ！

谷川　いるんですねえ、そういう米粒みたいなちっちゃな神が（笑）。

大谷　ヒャッ!?

■

▲人知を超えたタイミングで座談会に現れ、今回のトリを略奪。ビバ！　Show

"Show"大谷泰顗の

プチ・ヒューマン・アングル

「藤・波・社・長」「石・井・館・長」、あっ、最後の「長」しか一緒じゃないや！

ソーリー、ソーリー、ごめんなさ〜い。前号で復帰宣言をしたのに座談会当日、背中に原因不明の激痛が走り残念ながら欠席してしまった。近日新創刊される『スコラ』（株式会社スコラマガジン）で藤波辰爾社長と石井和義館長の超ビッグ・スクープ対談をボクが企画してしまったのだが、この激痛はたぶん座談会の前にまとめていたこの対談の原稿が原因だと思う。やっぱり超大物二人の対談を原稿化したために、いつも以上に神経を使い、緊張の糸がプッツリと切れてしまったんだろうなあ。ボクの復帰を楽しみにしていた読者の皆さまには申し訳ないけど、10・11東京ドーム直後の秘蔵話も満載の『スコラ』誌上の対談はボクにしか企画できないグーな内容なので、そちらをぜひ読んでもらいたい！　次号では必ず復帰しま〜す！

※ということで、陰に隠れて見ていたかのように絶妙のタイミングで座談会に駆けつけたShowならではの発想の藤波社長×石井館長対談は、『スコラ』新創刊発売号（11月4日発売／定価490円／全国書店、コンビニエンスストアで一斉発売）で！

10/28 THU〜11/11 THU
CALENDAR

10/28 THU	★『SRS・DX』9号発売日 ■リングス/東京・国立代々木第2体育館(19:00〜)⬅p54
10/29 FRI	■修斗/大阪・なみはやドームサブアリーナ(18:00〜)⬅p56
10/30 SAT	■新日本キックボクシング協会/東京・後楽園ホール(17:15〜)⬅p57 ◆K-1グランプリ'99決勝戦/チケット一般発売⬅p54
10/31 SUN	■ニュージャパンキックボクシング連盟/神奈川・club HEAVEN(16:00〜)⬅p58
11/1 MON	
11/2 TUE	
11/3 WED	◆リングス・RISE 7th/チケットWOWOW先行予約⬅p54 ■バトラーツ/TOKYO FMホール⬅p55
11/4 THU	●フジテレビ系『SRS』(25:20〜25:50)放送⬅p77 ■修斗/東京・北沢タウンホール(18:30〜)⬅p56
11/5 FRI	■掣圏道/神奈川・横浜文化体育館(19:00〜)⬅p55 ■極真会館(松井派)第7回全世界空手道選手権大会(第1日目)/東京体育館(11:00〜)⬅p58
11/6 SAT	■極真会館(松井派)第7回全世界空手道選手権大会(第2日目)/東京体育館(11:30〜)⬅p58 ■掣圏道/群馬・新田町総合体育館(18:30〜)⬅p55
11/7 SUN	■極真会館(松井派)第7回全世界空手道選手権大会(第3日目)/東京体育館(11:30〜)⬅p58 ■シュートボクシング/大阪・NKGスタジオ⬅p56 ◆リングス・RISE 7th/チケット一般発売⬅p54
11/8 MON	
11/9 TUE	
11/10 WED	
11/11 THU	●フジテレビ系『SRS』(25:20〜25:50)放送 ★『SRS・DX』10号発売日

格闘技パーフェクトガイド
Perfect Guide

GUIDE & TICKET
大会ガイド&チケット情報

◎主なチケット発売所は、P83『イエローページ』をご覧下さい

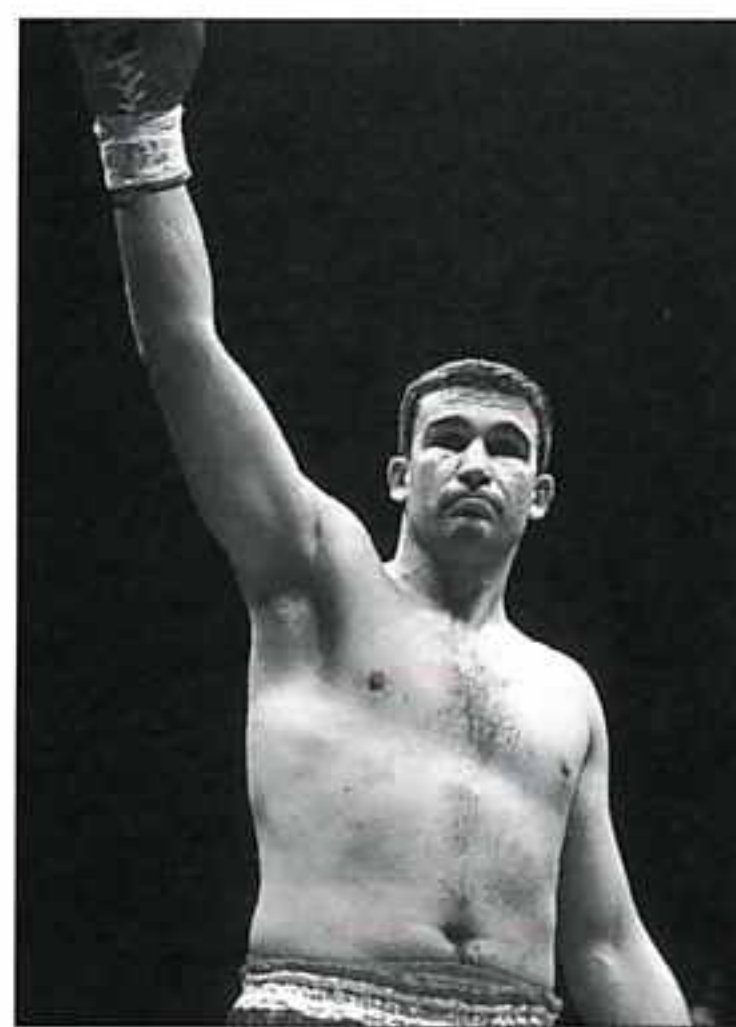
K-1

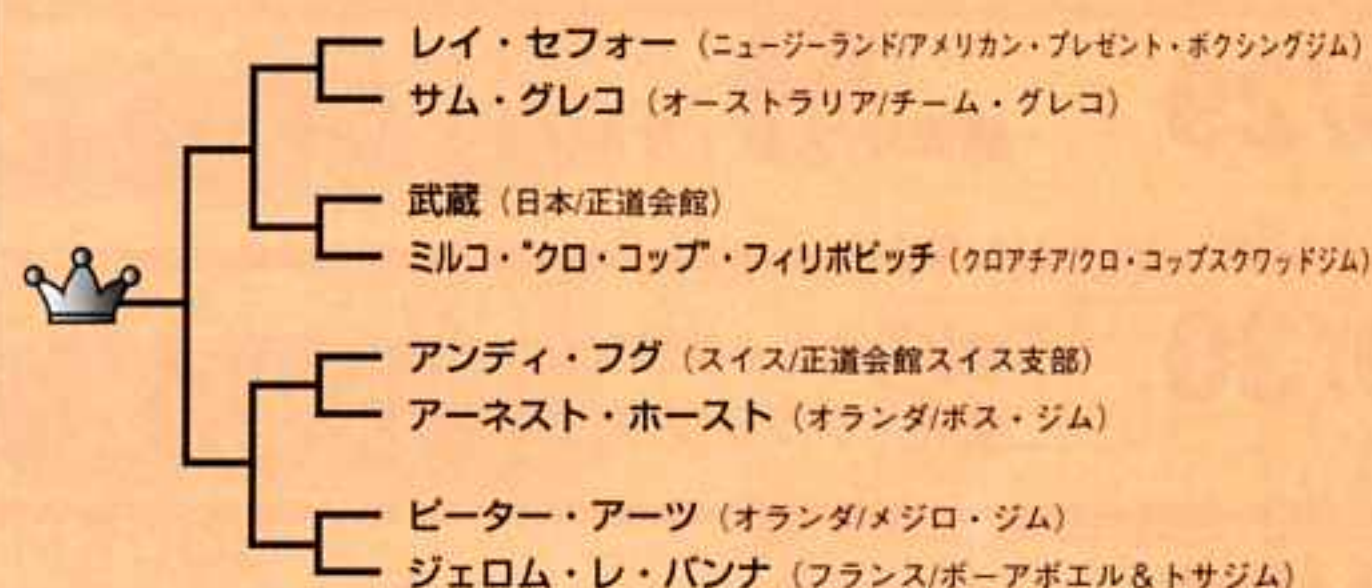
K-1 グランプリ・シリーズ

K-1 GRAND PRIX'99 決勝戦
12月5日（日）　東京ドーム

決勝トーナメント組み合わせ決定
史上最大の大荒れの予感！

10月6日（水）、フジテレビで行われた公開抽選の結果、K-1GP決勝トーナメントの組み合わせが決定した。波乱が付きもののK-1だが、なんと今回は組み合わせからして大波乱。これまでの王者3人が同じブロックに入ることになったのだ。特に注目されるのは、昨年の王者ピーター・アーツと、開幕戦で一躍、優勝候補に躍り出たジェロム・レ・バンナの対決。バンナはアーツを『2Rで倒せる』と豪語しているが、その勝負の行方は…。

◆開場/14:30　試合開始/17:00
◆入場料/SRS席32,000円　RS席21,000円　SS席17,000円　S席11,000円　A席7,000円　B席5,000円
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆チケットに関するお問い合わせ/キョードー東京☎03-3498-9999
◆大会に関するお問い合わせ/K-1 GRAND PRIX事務局☎03-3796-2977
◆ダイヤルQ2情報/フジテレビ格闘技ニュース☎0990-542-808

◎K-1 GRAND PRIX'99 決勝トーナメント

- レイ・セフォー（ニュージーランド/アメリカン・プレゼント・ボクシングジム）
- サム・グレコ（オーストラリア/チーム・グレコ）
- 武蔵（日本/正道会館）
- ミルコ・"クロ・コップ"・フィリポビッチ（クロアチア/クロ・コップスクワッドジム）
- アンディ・フグ（スイス/正道会館スイス支部）
- アーネスト・ホースト（オランダ/ボス・ジム）
- ピーター・アーツ（オランダ/メジロ・ジム）
- ジェロム・レ・バンナ（フランス/ボーアボエル&トサジム）

『K-1 GRAND PRIX'99 決勝戦』チケット発売所

〈一般発売開始〉
10月30日（土）　10:00〜

チケットぴあ　特電☎03-5237-9933
※10月31日（日）〜　☎03-5237-9999

CNプレイガイド　特電☎03-5802-9911
※10月31日（日）〜　☎03-5802-9999

ローソンチケット　特電☎0570-00-0065
※10月31日（日）〜　☎03-3573-1015　Lコード31918

キョードー東京　特電☎03-5720-9911
※10月31日（日）〜　☎03-3498-9999

総合格闘技&ノールール系

リングス

リングス勢危うし!?
オープントーナメントに
強豪が続々参戦

10月28日（木）、代々木第2体育館で開催される『ワールドメガバトルオープントーナメント』Aブロックの出場選手とトーナメント表が発表された。かなり充実したメンバーが揃っているが、これでもまだ半分（Bブロックは後日発表）なのだから恐ろしい。前田日明がUFCを観戦した際に注目していたブラッド・コーラーをはじめ、アメリカ、ブラジルから強豪が大挙して参戦してくる今回のトーナメント。はっきり言って、リングス勢の上位進出も危ない!?

RISE 6th
10月28日（木）　東京・国立代々木第2体育館

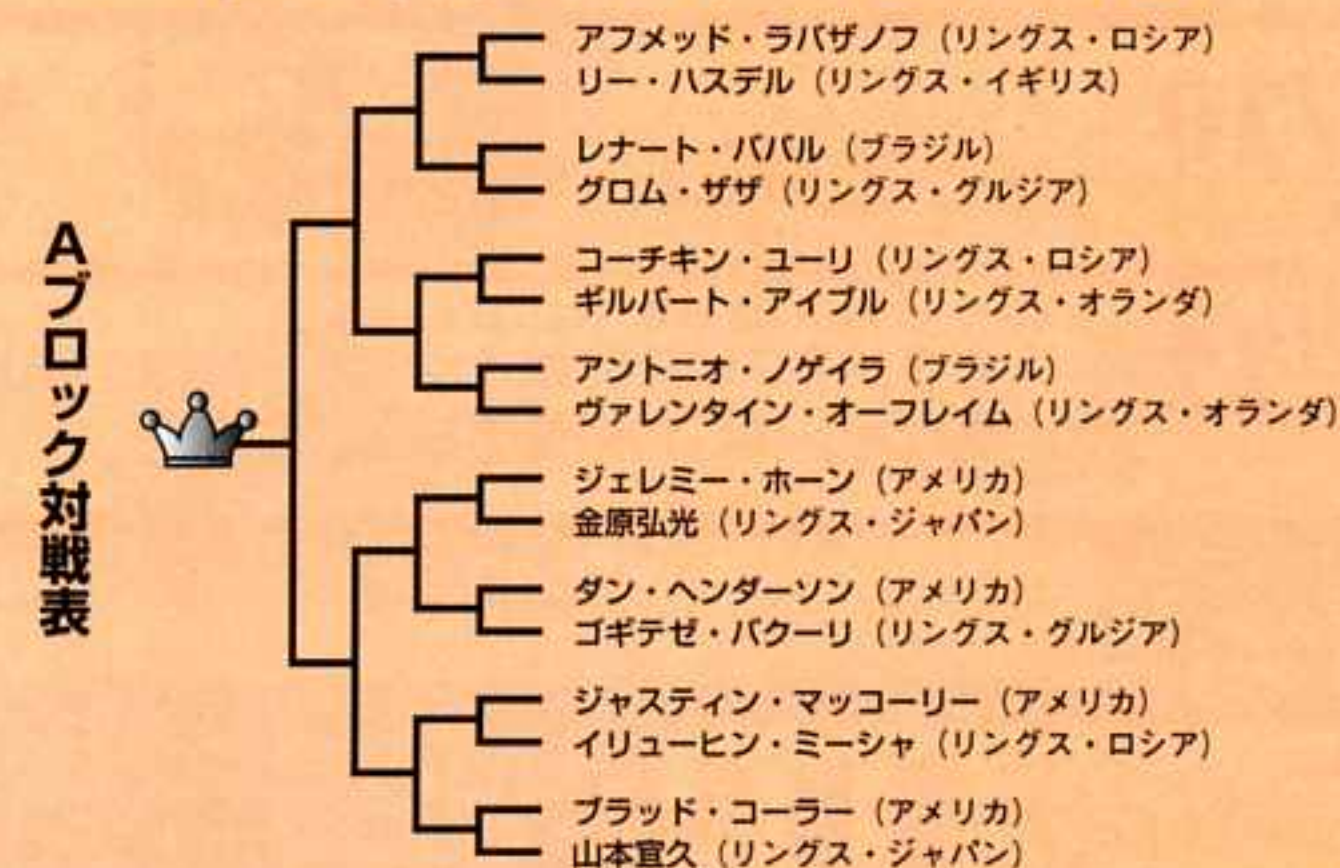
◆開場/18:00　試合開始/19:00
◆入場料/ロイヤルリングサイド20,000円　アリーナリングサイド15,000円　リングサイド10,000円　スタンドS7,000円　スタンドA5,000円　スタンドB3,000円　学生特別優待席A2,000円　学生特別優待席B10,000円　※学生特別優待席は高校生以下、チケットぴあのみでの販売（購入時に学生証の提示が必要）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット（Lコード39788）、後楽園ホール、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、書泉ブックマート、大山アメリカン、チャンピオン、フィットネスショップ水道橋店、ファイター新宿店
◆会場アクセス/JR山手線原宿駅、地下鉄千代田線明治神宮前駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/オデッセー☎03-3796-9999、WOWOW情報ダイヤル（24時間テープ案内）☎045-683-8009

RISE 7th
12月22日（水）　大阪府立体育会館

◆開場/17:30　試合開始/18:30
◆主な対戦カード/ワールドメガバトルトーナメント　KING of KINGS　Bブロック1・2回戦
◆入場料/ロイヤルリングサイド20,000円　アリーナリングサイド15,000円　リングサイド10,000円　アリーナSS6,000円　スタンドS7,000円　スタンドA5,000円　スタンドB3,000円　学生特別優待席A2,000円　学生特別優待席B1,000円　※学生特別優待席は高校生以下、チケットぴあのみでの販売（購入時に学生証の提示が必要）
◆チケット発売所/チケットぴあ☎06-6363-9999、ローソンチケット☎06-6369-6633（Lコード57049）、チャンピオン☎06-6645-1378、バディスラム☎06-6645-1378、リングソウル☎078-351-1550、リングス大阪インフォメーション☎06-6364-9115
◆チケット発売/［WOWOW先行予約］11月3日（水）9:00〜20:00　☎045-683-8031［一般発売］11月7日（日）10:00〜
◆会場アクセス/南海難波駅、地下鉄なんば駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/リングス大阪インフォメーション☎06-6364-9115、WOWOW情報ダイヤル（24時間テープ案内）☎045-683-8009

◎ワールドメガバトルトーナメント　KING of KINGS

Aブロック対戦表

- アフメッド・ラバザノフ（リングス・ロシア）
- リー・ハスデル（リングス・イギリス）
- レナート・ババル（ブラジル）
- グロム・ザザ（リングス・グルジア）
- コーチキン・ユーリ（リングス・ロシア）
- ギルバート・アイブル（リングス・オランダ）
- アントニオ・ノゲイラ（ブラジル）
- ヴァレンタイン・オーフレイム（リングス・オランダ）
- ジェレミー・ホーン（アメリカ）
- 金原弘光（リングス・ジャパン）
- ダン・ヘンダーソン（アメリカ）
- ゴギテゼ・バクーリ（リングス・グルジア）
- ジャスティン・マッコーリー（アメリカ）
- イリューヒン・ミーシャ（リングス・ロシア）
- ブラッド・コーラー（アメリカ）
- 山本宜久（リングス・ジャパン）

PRIDE

桜庭vsホイラー、アレクvsヘンゾ 日本の"グレイシー狩り"が始まる！

エンセンvsケアーに続き、新たに5つのカードが決定した『PRIDE.8』。桜庭vsホイラー・グレイシー、アレクサンダー大塚vsヘンゾ・グレイシーという、注目の対決が用意された。これまで、ビクトーやブラガなど、ブラジルの強豪を次々と下してきた桜庭と、"路上の王"マルコ・ファスを破ったアレクが、いよいよ敵の本丸ともいうべき、グレイシー一族との対戦に挑む。日本の、それもプロレスラーが、VTの象徴ともいえるグレイシーを倒すとなれば、まさに大事件といえるだろう。

PRIDE.8

11月21日（日）　東京・有明コロシアム

◆開場/15:00　試合開始/17:00（予定）
◆入場料/SRS20,000円　RS13,000円　S7,000円　A5,000円
※桜庭和志応援シート＆エンセン井上応援シートも発売中（RSのみ。予約受付はドリームステージエンターテインメントまで）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ローソンチケット（Lコード32420）、チケットぴあ、チケットぴあ（スポーツ専用）☎03-5237-9977、チケットセゾン、チケットセゾン（スポーツ専用）☎03-3250-9911、CNプレイガイド、サークルK、後楽園ホール、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、大山アメリカン、書泉ブックマート、フィットネスショップ格闘技、チャンピオン、チケット＆トラベルT-1☎03-5275-2778、AOコーナー、アイドール、ファイター、神奈川新聞プレイガイド関内セルテ店☎045-651-1431、神奈川新聞プレイガイド横浜シアル店☎045-316-0001、相鉄ジョイナスプレイガイド☎045-319-2456、公武堂☎052-241-2511、高田道場☎03-3755-1444
◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-3552-6300

決定対戦カード

エンセン井上 vs マーク・ケアー
（日本/PUREBREDシューティングジム大宮）（アメリカ/ハンマーハウス）

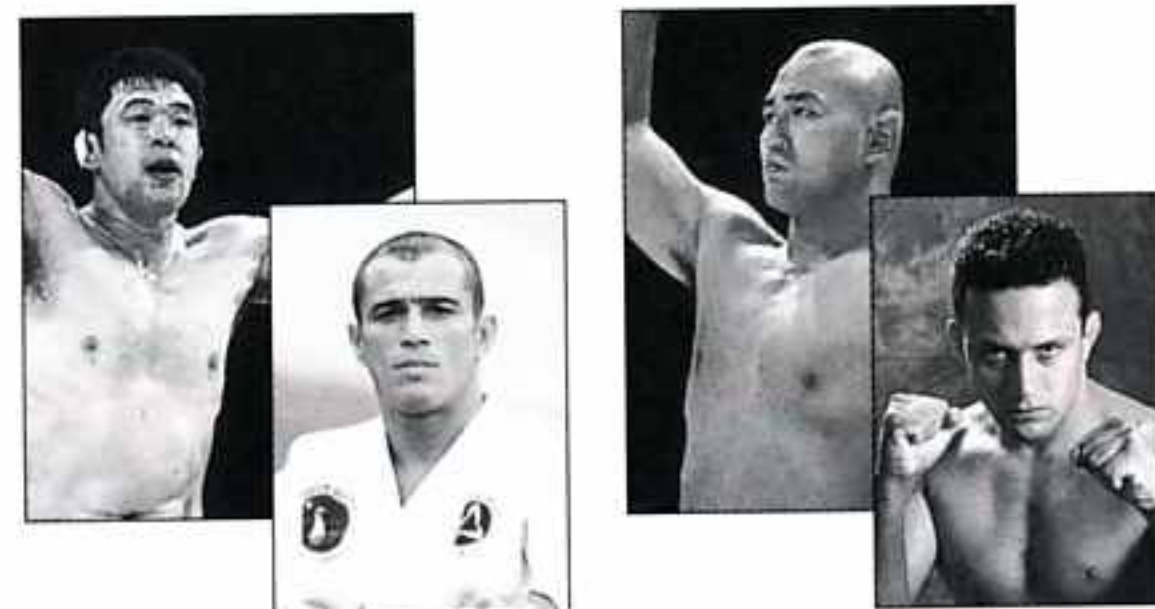
桜庭和志 vs ホイラー・グレイシー
（日本/高田道場）（ブラジル/アカデミア・グレイシー柔術）

アレクサンダー大塚 vs ヘンゾ・グレイシー
（日本/格闘探偵団バトラーツ）（ブラジル/ヘンゾ・グレイシー柔術アカデミー）

マーク・コールマン vs ヒカルド・モラエス
（アメリカ/ハンマーハウス）（ブラジル/アブダビ・コンバット）

アラン・ゴエス vs カール・マレンコ
（ブラジル/カーウソン・グレイシーチーム）（アメリカ/格闘探偵団バトラーツ）

松井大二郎 vs ヴァンダレイ・シウバ
（日本/高田道場）（ブラジル/シュート・ボクセ・アカデミー）

※桜庭vsホイラーは15分2R、延長、判定なしの特別ルールで行われる

UFC-JAPAN

対戦カードが一部決定 日本でUFCタイトルマッチが行われるぞ！

ついに、UFC-JAPANの対戦カードの一部が発表になった。日本チャンピオン決定トーナメントの最後の一名にシューティングジム大宮の藤井勝久が決定したほか、なんとUFCのヘビー級チャンピオン決定戦も行われることに。バス・ルッテンが返上した王座を賭けて闘うのは、ケビン・ランデルマンとピート・ウィリアムス。レスリングの世界で名を馳せ、ノールールでも実績十分のニュースター・ランデルマンの試合は必見だ。

'99 ULTIMATE FIGHTING CHAMPIONSHIP IN JAPAN

11月14日（日）　千葉・東京ベイNKホール

◆開場/14:00　試合開始/15:00
◆入場料/ロイヤルシート20,000円　アリーナS席15,000円　アリーナA席10,000円　2階S席7,000円　2階A席5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、丸井チケットぴあ☎03-5385-9999、チケットセゾン、ローソンチケット、CNプレイガイド、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、チャンピオン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、プロレスマニア館、アイドール、チケットトラベルT-1、格闘チケット（インターネット予約）http://interq.or.jp/tokyo/ticket/　UFC-J事務局
◆会場アクセス/JR京葉線舞浜駅からホテル循環バス5分
◆お問い合わせ/UFC-J事務局☎03-3343-2444

主な対戦カード

〈UFC世界ヘビー級チャンピオン決定戦〉
ケビン・ランデルマン vs ピート・ウィリアムス

〈スーパーファイト〉
安生洋二 vs UFCファイター
（フリー）
山宮恵一郎 vs ユージン・ジャクソン
（パンクラス）
ジェイソン・デルーシア vs UFCファイター
（パンクラス）

〈UFC-JAPANチャンピオン決定トーナメント出場選手〉
山本喧一（パワー・オブ・ドリーム）
高瀬大樹（和術慧舟會）、矢野倍達（RJW）
藤井勝久（PUREBREDシューティングジム大宮）

◎チケット払い戻しを希望する場合は、チケットを購入したプレイガイドにて払い戻しするか、簡易書留または宅配便などで下記の住所までチケットを送付する。観戦を希望する場合は、そのままのチケットで観戦可能。
〒163-0430
東京都新宿区西新宿2-1-1　新宿三井ビル30F
UFC-J事務局　☎03-3343-2444

掣圏道

初代タイガーマスク・佐山聡が本格復帰 アレクサンダー大塚と対戦！

11月5日（金）に行われる横浜大会は、SAプロレスの本格的な旗揚げ戦。この大会で、初代タイガーマスク・佐山聡もプロレス本格復帰を果たすこととなった。対戦相手はアレクサンダー大塚。過去、UFOのリングで2回対戦し、いずれも敗れている佐山だけに、今回は「しっかりスタミナのトレーニングをしてきます」と、かなりの意気込みだ。また、おなじみの虎の仮面とコスチュームもリニューアル、まったく新しいものになるそうなので、そちらも楽しみ。

SAプロレス・HARD BATTLE 蘇る虎伝説

11月5日（金）　神奈川・横浜文化体育館

◆開場/18:00　試合開始/19:00
◆入場料/SRS10,000円　RS7,000円　SS5,000円　2F4,000円
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、チャンピオン、チケット＆トラベルT－1ほか、都内各プレイガイドにて発売
◆会場アクセス/JR京浜東北線関内駅南口より徒歩5分、地下鉄伊勢佐木長者駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/掣圏道協会☎03-5456-7333

主な対戦カード

初代タイガーマスク　vs　アレクサンダー大塚
〈ロシアンアブソリュート・タイトルマッチ〉
ミハイル・アビティシャン（ロシア）VS　ファチフ・コカニス（トルコ）

長井満也VS ヤキメンコ・ヴラジスラフ（ウクライナ）
※ほか、石井雄規、タイガーマスク、田中稔、アジアンクーガー、木村浩一郎が出場予定

群馬大会

11月6日（土）　群馬・新田町総合体育館

◆開場/18:00　試合開始/18:30
◆入場料/特別リングサイド7,000円　リングサイド6,000円　自由席4,000円　2階席3,000円
◆チケット発売所/スーパータイガー北関東ジムほか
◆チケット発売/発売中
◆会場アクセス/東武鉄道木崎駅より車で10分、中央バス「新田町役場入口」より徒歩10分
◆お問い合わせ/スーパータイガー北関東ジム☎0276-37-2700

バトラーツ

秋〜冬もバチバチ全開！ 恒例のタッグリーグも開催

みちのくプロレスとの合同興行『兄弟愛♥』横浜大会も大成功に終わり、ますます波に乗るバトラーツ。今後も、アレクの『PRIDE.8』参戦や、横浜大会の試合後に飛び出したザ・グレート・サスケvs石川雄規の社長対決など、話題が尽きることがない。11月からは、毎年恒例になっているタッグバトルも開催。季節に関係なく燃えまくるバチバチファイトを見逃すな！

J.J.C presents DRAGON BASH
◆11月3日（水・祝）　TOKYO FMホール

B-TOGETHER～兄弟愛　東京慕情編～
◆11月9日（火）　東京・後楽園ホール

ビバ・アミーゴ　ツアー
◆11月12日（金）兵庫・神戸サンボーホール
◆11月13日（土）徳島市立体育館
◆11月16日（火）長野市運動公園総合体育館

バトラーツ　タッグバトル'99
◆11月21日（日）　京都KBSホール
◆11月22日（月）　三重・四日市オーストラリア記念館
◆11月23日（火・祝）　三重・四日市オーストラリア記念館
◆11月27日（土）　静岡・ピアオオトミ・イベントホール
◆11月28日（日）　新潟フェイズ
◆12月4日（土）　千葉・船橋アリーナ・サブアリーナ
◆12月5日（日）　埼玉・西武本川越ペペホール『アトラス』

お問い合わせ/バトラーツ☎0489-63-0005

総合格闘技&ノールール系

修斗

佐藤ルミナの対戦相手がついに決定 何よりも"ルミナらしさ"が見たい！

10.28大阪大会での、佐藤ルミナの対戦相手が、レスリング出身で、NCAAチャンピオンとなった経歴を持つ、フィル・ジョンズに決定した。試合まで間がないため、相手を想定した練習などは十分には行えないだろうが、ファンが期待しているのは相手云々ではなく、あくまでルミナらしい闘いぶり。強さ、カッコよさ、そしてあまりにも鮮やかな技の数々といった、ルミナの魅力を、存分に味わいたい。

修斗 the Renaxis 1999 in OSAKA

10月29日（金）　大阪・なみはやドーム　サブアリーナ

◆開場/16:00　試合開始/18:00
◆入場料/1階RS席10,000円　1階SS席7,000円　1階S席5,000円　1階A席4,000円　2階パノラマ席6,000円　2階A席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ☎06-6363-9999、チケットセゾン☎06-6232-9999、ローソンチケット☎06-6387-1900、CNプレイガイド☎06-6776-1199、シューティングジム大阪☎06-6390-5010、
◆会場アクセス/地下鉄長堀鶴見緑地線門真南駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/修斗大阪事務局☎06-6233-8890

主な対戦カード

佐藤ルミナ（日本/K'zファクトリー） vs フィル・ジョンズ（アメリカ/シルバーバックス）
須田匡昇（日本/クラブJ） vs マルタイン・デ・ヨング（オランダ/マルタイン道場）
中尾受太郎（日本/シューティングジム大阪） vs ラフルス・ラロス（オランダ/マルタイン道場）
阿部和也（パレストラ） vs 三島☆ド根性ノ助（格闘サークルコブラ会）
ザ・ばばんば（パレストラ） vs 池本誠知（ライルーツコナン）
北川純（直心会格闘技道場） vs 井上正也（パレストラ）
三宅力（総合格闘技夢想戦術） vs レッド・スレイヤー・ガイ

THE GATEWAY TO EXTREMES

11月4日（木）　東京・北沢タウンホール

◆開場/17:00　試合開始/18:30
◆入場料/S席6,000円　A席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/書泉ブックマート、後楽園ホール、ファイター、フィットネスショップ
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/K'zファクトリー☎042-740-5710

主な対戦カード

マモル（シューティングジム横浜） vs X
桜井隆多（総合格闘技TOPS） vs 竹内出（K'zファクトリー）
大河内衛（木口道場川崎支部） vs 高山義幸（シューティングジム横浜）
阿部和也（パレストラ） vs 三島☆ド根性ノ助（格闘サークルコブラ会）
秋本仁（K'zファクトリー） vs 太田吉信（四王塾）

VALE TUDO JAPAN'99

12月11日（土）　千葉・東京ベイNKホール

◆開場/15:00　試合開始/16:00
◆主な出場選手/佐藤ルミナ、桜井"マッハ"速人ほか
◆入場料/［1階］SRS席20,000円　RS席15,000円　SS席10,000円　S席7,000円［2階］パノラマ席10,000円　S席8,000円　A席6,000円　B席5,000円　C席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、書泉ブックマート、後楽園ホール、フィットネスショップ水道橋、ファイター
◆会場アクセス/京葉線舞浜駅よりホテル循環バス5分
◆お問い合わせ/バックステージプロジェクト☎03-3357-8080

札幌フリーファイト2

11月14日（日）　北海道・札幌市白石区体育館

◆開会式/14:20　試合開始/14:30
◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄東西線南郷7丁目駅下車徒歩5分、市営バス南郷7丁目ターミナル下車、中央バス南郷6丁目下車
◆お問い合わせ/パレストラ東京☎03-5984-3209、パレストラ札幌☎0705-600-6765

パンクラス

パンクラス1999年の集大成 12.18横浜大会で船木がパンクラチオン戦

12月18日（土）に開催される横浜文化体育館大会は、大会名に"PANKRATION"とある通り、船木誠勝がパンクラチオンマッチを行う。今年一年、パンクラチオン路線を突き進んできた船木。果たして今回はどんな選手と闘うことになるのか。カード発表が待たれるところだ。また、この横浜大会では、欠場中の鈴木みのるの復帰戦も予定。ルールが変わり、さらに厳しくなったパンクラスでのリングで、鈴木がどんな闘いを見せるのか、注目したい。

PANCRASE 1999BREAKTHROUGH TOUR

11月28日（日）　大阪・なみはやドーム

◆開場/15:30　試合開始/17:00
◆主な対戦カード/キング・オブ・パンクラスタイトルマッチ・近藤有己vsセーム・シュルトほか
◆入場料/SS15,000円　RS-A8,000円　RS-B6,000円　2F-A7,500円　2F-B5,000円※当日券は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ☎06-6363-9999、チケットセゾン☎06-6232-9999、ローソンチケット☎06-6369-6633、チャンピオン大阪☎06-6645-5186、バディスラム☎06-6645-1378、エース☎06-6636-5468、神戸ステーキ桜井ポートアイランド☎078-303-3901、神戸住吉・富万☎078-811-6222、パンクラス
◆会場アクセス/地下鉄長堀鶴見緑地線門真南駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/GAORA☎06-6374-0002、パンクラス☎03-5792-0815

PANCRASE BREAKING THROUGH PANKRATION

12月18日（土）　横浜文化体育館

◆開場/16:30　試合開始/18:00
◆主な対戦カード/船木誠勝のパンクラチオンマッチ、鈴木みのるの復帰戦を予定
◆入場料/SS16,000円　RS-A8,000円　RS-B6,000円　2F-A10,500円　2F-B7,000円　3F5,000円　※当日券は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、後楽園ホール、チャンピオン、プロレスマニア館、アイドール新宿、ファイター、フィットネスショップ水道橋、パンクラス
◆会場アクセス/JR京浜東北線関内駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

キックボクシング

シュートボクシング

SBが満を持して復活 注目の大会を続々開催！

7月の大阪大会以来、プロ興行を開催していなかったシュートボクシングが、ついに再起動することになった。しかも、11月の大阪では女子のトーナメントを行い、12月の後楽園では中国武装警察（名前からしていかにも凄そう！）の散打選手、ドラッカも参戦と、興味深いラインナップが組まれている。多彩な顔触れが揃った中、現在のSBの主軸を担う土井、森谷にかかる責任は重大だが、彼らなら、おつりがくる位のファイトを見せてくれるだろう。

SHOOT!! ザ・超合金 ～バトル・クイーン・グランプリ～

11月7日（日）　大阪・NGKスタジオ

◆試合開始/13:00　◆入場料/3,500円（全席自由）
◆チケット発売所/龍生塾
◆チケット発売/発売中
◆会場アクセス/JR難波駅下車徒歩5分
◆お問い合わせ/龍生塾☎06-6351-7994

主な対戦カード

〈バトル・クイーン・グランプリ〉

岡本千代子（龍生塾）
熊谷直子（不動館）
石本貴子（龍生塾）
ジェット・イズミ（アクティブJ）
大畑千鶴（剛道館）
小田上優子（龍生塾）
稲垣由利子（龍生塾）
中沢夏美（不動館）

〈SB公式戦〉

坂口立起（龍生塾） VS 瀧口隼人（大阪ジム）

※ほか、フレッシュマンクラス、SB・キック・グローブ空手の交流戦も予定

AGAINST1999 4th

12月1日（水）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:30　試合開始/18:30
◆入場料/RS10,000円　SS8,000円　S6,000円　A5,000円　B4,000円
◆チケット発売所/チケットぴあほか、各プレイガイド
◆チケット発売/発売中
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会☎03-3843-1212

主な対戦カード

土井広之（シーザージム） vs 散打強豪選手（中国武装警察）
X vs クロアチア強豪選手
若宮一樹（風吹ジム） vs ダニー・スティール（アメリカ）
ジャンブラット・アマンタエフ（ロシア） vs 東金タロー（東金ジム）
森谷吉博（シーザージム） vs 散打強豪選手（中国武装警察）
前田辰也（寝屋川ジム） vs クロアチア強豪選手
滝川翎（シーザージム） vs 散打強豪選手（中国武装警察）
全日本レディース選手 vs 散打女子強豪選手（中国武装警察）
井瀬活大（シーザージム） vs 坪井淳浩（風吹ジム）

全日本ライトアマチュアシュートボクシング選手権大会

11月3日（水・祝）　東京・台東リバーサイドスポーツセンター3F・第一武道場

◆試合開始/11:00　◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄銀座線、浅草線、東武伊勢崎線浅草駅下車徒歩10分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会☎03-3843-1212

全日本アマチュアシュートボクシング選手権全国大会

12月12日（日）　東京・文京スポーツセンター

◆試合開始/11:00　◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄丸の内線茗荷谷駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会☎03-3843-1212

MA日本キックボクシング連盟

ラビット関が王座防衛戦 本領発揮で輝きを取り戻せ！

11.26後楽園大会のメインで、ラビット関がスーパーバンタム級の王座防衛戦を行うことになった。挑戦者の永島と関は、以前にも対戦したことがあり、その時は関が勝利している。だが、最近の関はいまひとつピリッとしない試合が続いているだけに、永島にもつけいるスキは十分にある。上下に連打する得意な蹴りのコンビネーションが出れば、関の優位は固いが…。関が以前のような輝きを取り戻せるかどうかが、勝負のカギになりそうだ。

マーシャルアーツ・スピリット
11月26日（金）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:15
◆入場料/SRS20,000円　RS15,000円　S10,000円　指定A席7,000円　指定B席5,000円　立見3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、連盟事務局
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/MA連盟事務局☎03-3485-7063

主な対戦カード

〈MA日本スーパーバンタム級タイトルマッチ〉
ラビット関 vs 永島真彦
（山木ジム）　（白龍）

チャンデット・ソー・パァンタレー vs X
（タイ）

中林勇人 vs サムランサック・ムンスリン
（ビクトリージム）　（タイ）

天野哲成 vs 山田健博
（マイウェイジム）　（東金ジム）

大会名未定
12月24日（水）　東京・後楽園ホール

詳細未定
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/山木ジム☎03-3485-7060

Topic
10・10袖ヶ浦大会で名選手・西村鋼太が王座防衛、無敗のまま引退

10月10日（日・祝）、千葉・袖ヶ浦市臨海スポーツセンターで行われた興行『ADVANCE Ⅱ』で、フライ級チャンピオンの西村鋼太（花澤ジム）が田中信一（山木ジム）と引退試合となるタイトルマッチを行った。西村は多彩なコンビネーションで終始優勢。2Rには右ストレートでダウンを奪い、判定勝ちを収めた。「悔いはないです」と選手生活を振り返った西村。フライ級で抜群の実力を誇った名選手は、無敗のままリングを去った。また、メインではミドル級の王座決定戦が行われ、山上健吾（花澤ジム）が永田健一（マイウェイジム）を2RKOで下し、新王者となった。

新日本キックボクシング協会

早くも12月大会のカードが決定 巻き返しを期す蔦謙介がメイン登場

10.30後楽園大会、11.28ラジャダムナン大会に続き、早くも12月の後楽園大会のカードが決定した。メインに登場するのは、藤本ジムの蔦謙介。蔦は前回の試合で菊地剛介にKO負けし、長期政権が予想されていたバンタム級の王座を追われている。だが、そのパンチの破壊力には定評があるだけに、巻き返しを図る12月の試合では豪快な勝利を期待したいところ。ベルトを奪還するためにも、絶対に負けられない一戦となる。

Road to Muay Thai 2
10月30日（土）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:15
◆入場料/SRS席20,000円　RS席15,000円　A席7,000円　B席5,000円　立見4,000円（当日券のみ）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、伊原プロモーション
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/伊原プロモーション☎03-3718-8941

主な対戦カード

小野寺力 vs コムサントーピタック・ゴラガーン
（藤本ジム）　（タイ）

武田幸三 vs ジェームズ・フラー
（治政館）　（イギリス）

小笠原仁 vs 鎌田正司
（伊原ジム）　（治政館）

深津飛成 vs インシーノーイ・ギャットヨンユット
（伊原ジム）　（タイ）

菊地剛介 vs ドン・ミラー
（伊原ジム）

鷹山真吾 vs ピーター・チャールズ
（尚武会）　（イギリス）

石井宏樹 vs 中川タカシ
（藤本）　（トーエル）

KICK-GENERATION
12月5日（日）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:15
◆入場料/SRS席10,000円　RS席7,000円　A席5,000円　B席4,000円　立見3,000円（当日券のみ）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、伊原プロモーション
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/伊原プロモーション☎03-3718-8941

主な対戦カード

蔦謙介 vs 小出智
（藤本ジム）　（治政館）

パロミ・ファロー vs ケイゾウ松葉
（トーエル）　（藤本ジム）

禹英鉄 vs 中川タカシ
（伊原ジム）　（トーエル）

建石智成 vs ミークルラット・ジョー
（尚武会）　（タイ）

頼　信 vs 斎藤熊五郎
（トーエル）　（治政館）

全日本キックボクシング連盟

五十嵐ヨシユキvs小林聡 因縁のリマッチを制するのは!?

5VS5マッチ以外にも、今大会では注目のカードが2つ、ラインナップされている。増田博正vs佐久間晋哉の王者対決と、五十嵐ヨシユキvs小林聡のリマッチがそれだ。小林は全日本キック復帰戦となる7月の大会で五十嵐に2度のダウンを奪われ、まさかの敗北を喫している。10.8後楽園大会のリング上で「次はマジメにやります」と吐き捨てるように言った小林だが、内心はかなり燃えるものがあるはず。また五十嵐も、「打ち合いなら望むところ」と語っており、前回以上の壮絶な試合になりそうだ。

WAVE Ⅷ
11月22日（月）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/SRS席15,000円　RS席10,000円　S席8,000円　A席6,000円　B席4,000円　一般立見4,000円（当日券のみ）
※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、書泉ブックマート、ファイター、チャンピオン、全日本キック　※全日本キックで予約すると、5vs5マッチに出場する日本人選手のサイン入り大会ポスター（非売品）をプレゼント
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

対戦カード

〈全日本キック対世界・5vs5マッチ大将戦〉
魔裟斗 vs "イーヴィル" エヴァル・デントン
（藤ジム）　（イギリス/トロージャンジム）

〈副将戦〉
土屋ジョー vs アーメッド・レン
（谷山ジム）　（フランス/ワッピージム）

〈中堅戦〉
金沢久幸 vs グレゴリー・トロンビニー
（富士魅ジム）　（フランス/パンチジム）

〈次鋒戦〉
新田明臣 vs 金勲
（SVG）　（韓国）

〈先鋒戦〉
立嶋篤史 vs リンフォード・メーボーン
（谷山）　（イギリス/トロージャンジム）

〈スペシャルマッチ・第2試合/全日本ライト級挑戦者決定戦〉
五十嵐ヨシユキ vs 小林聡
（J-NETWORK/アクティブJ）　（藤原ジム）

〈スペシャルマッチ・第1試合〉
増田博正 vs 佐久間晋哉
（J-NETWORK/アクティブJ）　（K-U/八王子FSG）

士道館

第19回士道館杯争奪 ストロングオープントーナメント 全日本空手道選手権大会

11月21日（日）　東京・後楽園ホール

◆開場/9:30　試合開始/10:00
◆入場料/特別席5,000円　自由席3,000円
◆チケット発売/10月1日（金）発売
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/（株）ニュージャパンケイプロモーション☎03-3642-3845

大道塾

'99オープントーナメント 北斗旗全日本無差別選手権

11月21日(日)　東京・国立代々木競技場第2体育館

◆開場/9:30
◆入場料/SS席5,000円　S席4,000円　A席3,000円　高校生以下1,500円　※当日券はSS、Sが1,000円増し、A、高校生以下が500円増し
◆チケット発売/未定
◆会場アクセス/JR山手線原宿駅、地下鉄千代田線明治神宮前駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/大道塾総本部☎03-3931-6856

成蹊館

第1回全日本ジュニア空手新人戦

12月19日（日）　京都・岡崎武道センター本館

◆試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/京阪丸太町駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/成蹊館☎075-722-7878

白蓮会館

'99ファイティングオープントーナメント 白蓮会館全日本空手道選手権大会 (15周年記念大会)

10月31日(日)　大阪府立体育会館第1競技場

◆出場予定選手/未定（64名による無差別級トーナメント）
◆開場11:00
◆入場料/前売り2,500円　当日3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、大会事務局
◆会場アクセス/南海難波駅、地下鉄なんば駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/総本部・大会事務局☎06-6783-7833

全日本新空手道連盟

第55回新空手道交流試合

11月21日(日)　東京武道館・第一武道場

◆試合開始/12:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄千代田線綾瀬駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/大会事務局☎047-435-6365

第7回新空手道千葉大会

12月12日(日)　千葉・船橋武道センター

◆試合開始/12:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR船橋駅より徒歩15分、京成線大神宮駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/大会事務局☎047-435-6365

極真会館（松井派）

第7回全世界空手道選手権大会

11月5日(金)、6日(土)、7日(日)　東京体育館

◆5日/10:00開場、11:00開会式　6、7日/10:00開場、11:30開会式
◆入場料/SS席50,000円（前売りのみ/アリーナ3日間通し券）各日S席15,000円（前売り13,000）　A席8,000円（前売り7,000）　B席4,000円（前売り3,000）
[完売した席種]
SS席（3日間とも）、S席（7日）、A席（7日）、B席（7日）
当日券は3日間とも9:30より発売。7日のチケットは、混雑が予想されるため一人一枚までの購入となるのでご注意を。
◆チケット発売/発売中
◆会場アクセス/JR千駄ヶ谷駅より徒歩1分
◆お問い合わせ/極真会館チケット係☎03-5992-9900
※チケットプレゼントあり⬅P82

KOBE'S CUP'99 第1回兵庫県空手道選手権大会 第12回全関西空手道選手権大会

11月28日(日)　兵庫・神戸市立神戸中央体育館

◆開場/10:00
◆会場アクセス/地下鉄大倉山駅下車すぐ、JR神戸駅より徒歩8分
◆お問い合わせ/兵庫・大阪南支部☎078-531-0664

第15回全四国空手道選手権大会

11月28日(日)　愛媛総合運動公園体育館

◆会場アクセス/伊予鉄道松山市駅から「砥部方面行き」バス乗車、「陸上競技場」下車
◆お問い合わせ/愛媛支部☎0895-22-7497

正道会館

第10回オープントーナメント '99東日本新人戦空手道選手権大会

11月21日(日)　埼玉・戸田市スポーツセンター柔道場

◆開場/9:00　試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR埼京線戸田駅下車徒歩7分
◆お問い合わせ/正道会館☎03-5285-1966

第10回オープントーナメント '99中部新人戦空手道選手権大会

12月23日（木・祝）　愛知県武道館2F柔道場

◆開場/9:15　試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄名城線東海通駅下車、バスで5分
◆お問い合わせ/正道会館中部本部☎052-221-9555

ワールド大山空手

'99全日本選手権大会

11月28日(日)　神奈川・横浜文化体育館

◆開場/13:00　試合開始/14:00
◆入場整理券料金/3,000円（全席自由）
◆入場整理券購入方法/希望枚数、住所、氏名、電話番号を明記して、料金を〒220-0051神奈川県横浜市西区中央藤棚郵便局留め『ワールド大山空手大会入場整理券係』まで送付
◆会場アクセス/JR 京浜東北線関内駅南口より徒歩5分、地下鉄伊勢佐木長者町駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/大会事務局☎045-324-0379

日本キックボクシング連盟

'99躍進シリーズ・ファイナル

12月12日（日）　東京・後楽園ホール

今年最後の大会は小野瀬が締める 強豪タイ人の"挑戦"を返り討ちだ！

今年最後の興行となる12月の後楽園大会、トリをとるのはやはり、エース・小野瀬邦英だ。今回の対戦相手、チャイナロンと小野瀬はかつて対戦しており、小野瀬が勝利を収めている。日本で数多く試合を行い、日本人選手のクセを読み切っているはずのチャイナロンに、小野瀬の型破りな強さが勝ったのだ。今回はタイ人の"リベンジ"を受けて立つ形の小野瀬には、スカッとする勝利で、一年を締めくくって欲しい！

主な対戦カード

小野瀬邦英 vs チャイナロン・ゲッソンリット
（渡辺ジム）　（タイ）
川島康人 vs 海老沢朋和
（村越ジム）　（平戸ジム）
※その他、日本キック連盟vsNJKF交流戦も予定

◆開場/17:00　試合開始/17:30
◆チケット料金/リングサイド10,000円　指定A5,000円　指定B3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/後楽園ホール、チケットぴあ、ファイター、日本キックボクシング連盟
◆お問い合わせ/日本キックボクシング連盟☎03-3691-4536

ニュージャパンキックボクシング連盟

横浜征徳会主催　ヤングファイト

10月31日（日）　神奈川・club HEAVEN

◆開場/15:30　試合開始/16:00
◆主な対戦カード/大谷浩二vsヌンポントーン・バンコクストア（エキシビジョンマッチ・3分3R）ほか、公式戦5～7試合を予定
◆入場料/自由席A5,000円　立見2,500円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/横浜征徳会
◆会場アクセス/JR根岸線石川町駅下車徒歩20分、JR・東急東横線横浜駅・桜木町駅よりバス乗車、『貯木場前』下車徒歩5分
◆お問い合わせ/横浜征徳会☎0427-82-7102、NJKF事務局☎03-3239-7703

J-NETWORK

大会名未定

2000年2月4日（金）　東京・後楽園ホール

◆主な出場予定選手/増田博正、五十嵐ヨシユキ、ジェットイズミ、長谷川康也ほか
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/J-NETWORK☎03-3419-0536

アジア太平洋キックボクシング連盟

大会名未定

11月19日（金）　東京・後楽園ホール

詳細未定
◆お問い合わせ/みなみジム☎045-542-7193

アマチュア

虎鷹拳院

1999第2回全日本搏撃大会 中国拳法オープントーナメント

1月21日（日）　東京・練馬区開進第一中学校体育館

◆試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄有楽町線氷川台駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/搏撃大会事務局☎03-3993-1042

日本コンバットレスリング協会

第3回全日本コンバットレスリングオープン選手権大会

11月21日（日）　東京・町田市総合体育館第一武道場

◆開会式/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR横浜線成瀬駅下車徒歩5分
◆お問い合わせ/日本コンバットレスリング協会・木口宣昭☎0466-26-3676

日本テコンドー連盟

全日本テコンドー選手権大会

11月28日（日）　東京都夢の島総合体育館

◆開会式/10:00（予定）
◆入場料/無料
◆会場アクセス/有楽町線・JR京葉線新木場駅下車徒歩10分
◆お問い合わせ/総本部☎03-3350-0550

真武館

第14回オープントーナメント '99全日本格闘技選手権大会

11月21日（日）　東京・町田市総合体育館第一武道場

◆開場/10:00　試合開始/10:30
◆入場料/一般2,300円　中・高校生1,500円　※当日券は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ローソンチケット☎092-844-5945、チケットぴあ☎092-708-9999、真武館
◆会場アクセス/地下鉄大濠公園駅下車徒歩12分
◆お問い合わせ/真武館本部☎092-862-1006

精龍會中國拳法道場

第9回闘龍比賽

11月28日（日）　栃木県立県北体育館

◆試合開始/9:30（予定）
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR宇都宮線西那須野駅、野崎駅下車、車で15分
◆お問い合わせ/精龍會中國拳法道場統括事務局☎0287-29-2063

TAMA

格闘技サミット・トーナメント

11月3日（水・祝）　東京・都立多摩スポーツ会館・柔道場

◆開場/10:30　試合開始/11:00
◆主な対戦カード/〈特別試合〉和知正仁vsキャノンボールKAZU
◆入場料/ 無料
◆会場アクセス/JR青梅線東中神駅より徒歩2分
◆お問い合わせ/長瀬正和〒185-0031 東京都国分寺市富士本1-23-5　☎0425-72-6795、090-4829-3773

コンプリート・ファイティング・コミッション

第12回アマチュア・コンプリート・ファイティング・トーナメント

11月7日（日）　岩手県営武道館　柔道場

◆試合開始/10:30
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR盛岡駅より『岩手牧場行き』バス乗車、『城北小学校』下車
◆お問い合わせ/CFC事務局☎0564-55-9070（16:00まで）、0120-00-4524（17:00以降）

第13回アマチュア・コンプリート・ファイティング・トーナメント

11月14日（日）　愛知・岡崎中央総合公園　第2練成道場

◆試合開始/10:30
◆入場料/1,000円（パンフレット付き）
◆チケット発売/当日、会場にて販売
◆会場アクセス/名鉄岡崎駅より車で15分
◆お問い合わせ/CFC事務局☎0564-55-9070（16:00まで）、0120-00-4524（17:00以降）

パレストラ

第1回全日本ブラジリアン柔術オープントーナメント カンペオナート・ジャポネーズ

11月6日（土）　東京・台東リバーサイドスポーツセンター3F・第1武道場
11月7日（日）　東京・中央区総合スポーツセンターB1F・第1武道場

◆試合開始/10:30（両日とも）
◆入場料/無料
◆会場アクセス/［11月6日］地下鉄銀座線、浅草線、東武伊勢崎線浅草駅下車徒歩10分［11月7日］地下鉄新宿線浜町駅下車徒歩2分、地下鉄日比谷線、浅草線人形町駅下車徒歩10分
◆お問い合わせ/パレストラ東京☎03-5984-3209

第17回柔術ワンマッチ交流戦 SHIZUOKA BJJ JAM2

11月28日（日）　静岡・富士宮市民体育館柔道場

◆試合開始/14:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR身延線富士宮駅よりバス乗車、「ふじのみやスポーツ公園入り口」下車徒歩10分
◆お問い合わせ/シューティングジム静岡☎0545-57-1180

総合格闘技　空手道禅道会

第12期中部地区グラウンド戦

11月7日（日）　長野・飯田市武道館柔道場

◆試合開始/10:30
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR飯田駅、桜町駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/空手道禅道会☎0265-24-9688

第27期交流試合

12月5日（日）　長野・飯田市武道館柔道場

◆試合開始/12:30
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR飯田駅、桜町駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/空手道禅道会☎0265-24-9688

成蹊館

第4回スタンドアンドファイト'99

12月18日（土）　京都・岡崎武道センター本館

◆試合開始/17:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/京阪丸太町駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/成蹊館☎075-722-7878

空手

極真会館（松島代表）

第31回オープントーナメント 全日本空手道選手権大会

11月7日（日）　茨城県武道館

◆開場/10:00　試合開始/11:00
◆入場料/2,000円　※当日券は1,000増し。小学生以下無料
◆チケット発売所/各地の道場、大会事務局
◆会場アクセス/JR常磐線水戸駅よりバス15分
◆お問い合わせ/大会事務局☎029-254-5830

極真会館（三瓶代表）

第7回全世界空手道選手権大会

12月4日（土）、5日（日）　東京体育館

◆チケット料金/［二日通し券］SS席25,000円　［4日］SS席15,000円　自由席3,000円［5日］SS席15,000円　S席8,000円　A席5,000円　B席3,000円　※当日券は1,000増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、国際武道センター
◆会場アクセス/JR千駄ヶ谷駅より徒歩1分
◆お問い合わせ/国際武道センター☎03-3268-5671

第3回オープントーナメント マスターズ空手道選手権大会

11月7日（日）　京都市武徳殿

◆会場アクセス/JR京都駅から「北小路」行きバス乗車、「熊野神社前」下車
◆お問い合わせ/大会実行委員会☎075-864-2667

プロ団体連絡リスト

K－1事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-31-14☎03-3796-2977

修斗コミッション
〒173-0001 東京都板橋区本町34-4石田コーポラス501 ☎03-3961-2704

リングス
〒150-0036 東京都渋谷区南平台町13-1 サトウビル2階202号 ☎03-3461-0257

ワールドパンクラスクリエイト
〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25 2F☎03-5792-0815

格闘探偵団バトラーツ
〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町2-158-1☎0489-63-0005

高田道場
〒146-0082 東京都大田区池上4-27-13 トウセン池上ビル ☎03-3755-1444

UFO
〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5OK白金台ビル7F ☎03-5447-2121

ドリームステージエンターテインメント
〒104-0033 東京都中央区新川2-3-9新川第2ビル ☎03-3552-6300

掣圏道協会(SA)事務局
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-6-14恵比寿スカイハイツ607☎03-5456-7333

マーシャルアーツ日本キックボクシング連盟
〒155-0031 東京都世田谷区北沢2-6-5☎03-3485-7060

全日本キックボクシング連盟
〒169-0074 東京都新宿区北新宿1-6-21☎03-3365-1171

日本キックボクシング連盟
〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-2-7江戸屋ビル4F ☎03-3691-4536

新日本キックボクシング協会
〒150-0034 東京都渋谷区代官山町7-8☎03-3718-8696

ニュージャパンキックボクシング連盟
〒102-0076 東京都千代田区五番町12-7ドミール五番町1-055(5F)☎03-3239-7703

J－NETWORK
〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-14-12三元ビル5F ☎03-3419-0536

K－U(キック・ユニオン)
〒144-0052 東京都大田区蒲田4-40-10グレースワン603 ☎03-5713-8061

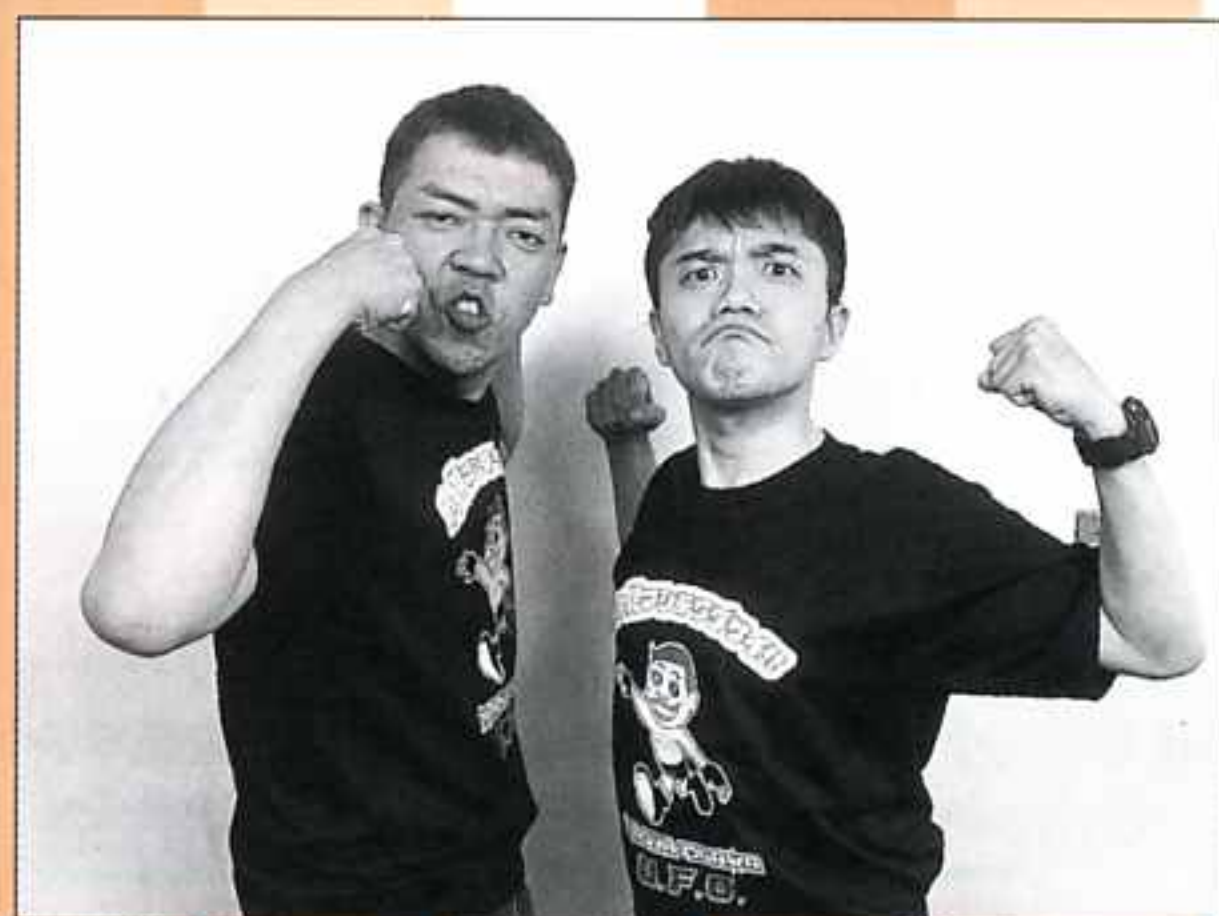
シュートボクシング協会
〒111-0033 東京都台東区花川戸2-2-8ワコー花川戸ハイツ1,2F ☎03-3843-1212

浅草キッドの

底抜けアントンハイセル

キッドのイチ押し

極真会館（松井派） 第7回全世界空手道選手権大会
11月5日（金）〜11月7日（日） 東京体育館

芸能界随一の格闘技マニアが選んだ10/28〜11/10の最注目大会はこれだ！

浅草キッド…プロレス・格闘技マニアとしても有名な、水道橋博士（右）と玉袋筋太郎の、超実力派漫才コンビ。この秋も数多くの学園祭に出演するキッドの二人。10月30日（土）は都立科学技術大学、10月31日（日）は茨城女子短大と昭和音楽大学、11月7日（日）は東京工芸大学で、それぞれライブが行われる。
◎浅草キッドHP《キッドリターン》
http://www02.so-net.ne.jp/~a-kid/

フィリオ、グラウベの極秘特訓はあの"ゴムパッチン"だった！

博士 10・11東京ドームは、小川直也のTKO勝利に終わった。

玉袋 1・4に比べると穏便な試合だけれどもプロレスルール内でも、オーちゃんの突出した地力の強さが際立った。

博士 試合後の興奮が後に引いて賞味期限の長い、余韻と、謎の残る、朝まで語り明かしたいほどの試合だったね。

玉袋 最近のプロレスはまさにそこがかけてるんですよォォ！

博士 おまえまで、ターザンになるなよ！でも、この、後に引く味付けのポイントは、やっぱり猪木でしょう！

玉袋 リングアナのタキシード姿、小川の猪木眼（まなこ）、最後の乱入、橋本との抱擁と泣き顔…。

博士 とにかくこの試合の背後には、猪木の一喜一憂、喜怒哀楽が爆発した試合だった。21世紀に向けてのプロレスのスタイルの進化がWWF化であるとしたら、その劇場の主役が猪木であるなら…俺たちは許せるな〜。

玉袋 猪木がビンス・マクマホンJrの役どころならね。前夫人倍賞美津子との復縁、愛娘寛子ちゃん誘拐、敵役に宿敵、新間寿が登場しようと猪木なら何をやってもいい…。ああ、想像するだけで面白そうだ…。

博士 妄想しすぎだろ！ でも、猪木が中心に紡ぎだす根太いドラマにはやはり、他人にはマネできない格闘技の勝負を越えたものを感じるね。

玉袋 プロレス界の盟主である新日本には、WWF化が進むなら猪木イズムを交えた実力偏重主義、「プロ格」対応のストロングスタイルの継承をお願いしたい。

博士 しかし、敗者の橋本真也の去就が注目されてるけど…。

玉袋 引退して故郷の沖縄でお店を出すそうです。

博士 それはSPEEDの島袋になってるだろ！ 橋本も誰よりも大きな物語を背負っているのだから、この後も苦悩から立ち上がるストーリーを見せてほしい。

玉袋 そんな中で佐竹のK—1離脱もとりざたされて、今、専門誌から目が離せないよ。

博士 小川との合体も夢ではない。

玉袋 柔道と空手の合体は、さくら銀行と住友銀行の合併よりも、大ニュースだ。

博士 ビックリと言えば、坂本一生が掣圏道に入門を直訴してるぞ。

玉袋 坂本一生が遂に旭川にある道場「尻の穴」に入門するんですか？

博士 道場は「尻の穴」じゃなくて「虎の穴」だよ！ 坂本一生は、芸能界から少し距離を置いて中古車屋さんで、車を磨いているらしいからな。

玉袋 それもすべて掣圏道入門への修業ですよ。

博士 違うだろ〜？ 食うためにやってるんじゃないか？

玉袋 車のボディーを円を描くように磨く事によって、相手の突きをさばく。ミヤギ老人が教えてくれた沖縄拳法の極意ですよ！

博士 坂本一生は懐かしの空手映画「ベストキッド」を地でいっていたのか？

玉袋 掣圏道に入ったら、カレリン戦を夢想するより是非とも芸能界因縁対決の工藤兄弟とのリマッチを期待する。

博士 そして今回のおすすめは、4年に一度の極真会館（松井派）の「全世界空手道選手権大会」だ。チケットも爆発的な売り上げで、決勝が行われる3日目は当日券以外ソールドアウト。

玉袋 極真の底力を見せる大会ですな。我々的には、日本シリーズ・サッカーW杯・沖縄サミット・2000年問題よりも重要です。

博士 空手大国ニッポン危うし！ って毎回言われるけど、今回は絶体絶命、本当に危うしだ。

玉袋 なんと言っても大会の脅威は磯部師範率いるブラジル勢ですよ。

博士 フィリォとグラウベ相手に凄いトレーニングをすることで有名だけど、今回の世界大会に向けてブラジル勢がチューブトレーニングを越える秘密トレーニングを開発したらいいぞ。

玉袋 オレはその秘密特訓の情報を掴んだよ。

博士 本当か？ その情報は日本選手も絶対欲しい情報だ。スッパ抜いてくれ！

玉袋 フィリォとグラウベが向かいあって、ゴムをお互いの口にくわえて、引っ張って離す。

博士 それじゃ、ゆーとぴあのネタだろ！

玉袋 よろしくね！

博士 やかましい！ 大山総裁は昔から世界大会で日本選手が負けたら「腹を斬る！」と宣言していたが、今回は本当に誰か腹を斬る事になりそうだぞ！

玉袋 極真の人が腹を斬る前に、巨人が優勝しなかったんだからテリー伊藤が早く腹を斬れ！

博士 テリーさんは関係ないだろ！ 負けたら本当大変だよ。

玉袋 日本選手の最後の砦はなんといっても、数見肇選手だ。

博士 優勝してほしいねぇ。

玉袋 今年、見事にフィリォも楽々と成功した「100本抜き」を完遂しましたから、肉体的・精神的に辛い大会も乗り切りますよ。

博士 オマエは毎回それ間違えてるけど「100人組手」だよ！ 「100本抜き」ってどんな売れっ子ヘルス嬢だよ！ この3日間は極真ファンは白装束で小太刀をもって集合だ！

玉袋 天国で総裁が見守っている！ 勝利は日本にあり!!

編集長インタビュー

前田さん、たい焼きのお味はいかがでしょうか？

前田 RINGS CEO 日明

聞き手◎谷川"グレキュー"貞治
撮影◎山口比佐夫

――す、す、すいませ〜ん！　遅くなってしまいましてぇ。

前田　俺はね、今日けなげにも、前回のインタビューの時に遅刻したから、「今日はわざわざ朝から家の神棚に、ローデスの成功と社員の無病息災をお祈りして、精進潔斎を心に誓って睡眠時間を削ったよ」なんていう大嘘を考えながら、眠い目をこすって10分前には着いてたのに！

――んあ〜、申し訳ございませ〜ん。

前田　それなのに、こんな中途半端なたい焼き買ってきやがって！

――そ、それでもう一つお約束のモンブランの万年筆が見つからなかったので、モ、モ、モンブランのケーキを買ってきてしまいましたぁ。

前田　何、それ？　あのね、キミはそういう人のケツの穴をナメるようなことをしてると、来世はナメクジに生まれ変わって、生まれ変わった俺に塩かけられて遊ばれるで！

――そ、そんな（笑）。ちょっと万年筆が見つかるまで、しばしこれでご勘弁いただければ……。

前田　こんな甘いもんばっかり食わして俺をどうしようと思ってるの？　俺はね、洋菓子は食わないの。つぶあん愛好家だから。日本の伝統文化を守る男だから。

――僕は和菓子がダメで、つぶあんが苦手なんですよ。

前田　やっぱりなあ、日本の伝統文化を破壊する男だけあるね。ちょっとそこのドア閉めてくれる？

――は、はい！　き、金庫のドアですか？

前田　なんで金庫やねん！　入り口のドアや。

――そうですよねえ、僕も金庫のドアじゃないだろうなあとは思ったんですけど。

女性社員　失礼しま〜す。お茶をお持ちいたしました、どうぞ。

友だちのいない生徒会長みたいなヤツだね、『プライド』の森下社長は

前田　どう？　ウチの女子社員、粒揃いの美女だらけになってきたでしょ？

――あっ、そうなんですか？

前田　「そうなんですか？」って。当人を前にして失礼だねえ（笑）。

――いや、リングスの女子社員っていったら僕は昔いらした飯島さんや阿部山さんくらいしか知らないですから。

前田　飯島さんは『オバQ』のO次郎みたいな顔してたでしょ。阿部山さんなんて『忍者ハットリくん』のジッポウっていう忍者怪獣にそっくりやったからな。あの頃は毎日会社に行くのが楽しかったよ。

――ひ、ひどいことを（笑）。阿部山さんは今でも会場でよくお目にかかりますよ。ウチではアベヤマ・オブライトと呼ばれてますけど。ところで、たい焼きのお味はいかがでしょうか？

前田　おいしい！　でもね、麻布十番の「浪花屋」のはね、皮が異常に薄いねん。カリカリでさあ。今ね、トンカツとたい焼きに凝ってるんだよ。

――トンカツは、どちらのがいいんですか？

前田　白金のね、ガード下の「丸金ラーメン」の隣の店。あとね、成城の「椿屋」。でも白金のほうが好きだね。なんでかっていうと、キャベツとご飯と味噌汁がおかわり自由っていうのと、キャベツがシャキシャキしてるの。肉もね、白金のほうが大きい。大きいことはいいことだ！

――はあ（笑）。ところで前田さん、本題に入りたいんですけど、今度のトーナメントはお世辞抜きで面白い感じがするんですけどね。

お約束のたい焼き

前田　でもね、やれUFCのトップだとかブラジル柔術のね、一位の連中だとさ、99年のチャンピオンだとかを連れてきても、一般受けしないんだよ。客が入らなかったらダメじゃないですかって話でしょ。本当はそれを動員に結びつけなくちゃいけないんだけど。

――でも、初期のリングスの匂いがあるんですよね、あのトーナメントの中には。あざとさがないっていうか。

前田　あざとさって何よ？　それは悪人に陰口たたくときに使う言葉だよ。ちょっと本とか読んでるからって難しい言葉使わないでよ。

――ボ、ボクはマンガしか読んでないんですけどね。

前田　アホの子のくせに変なカッコつけするんじゃないよ！　でもね、今回はリングスを立ち上げた時と同じように自分の目で試合を見て、全体に選手が発してる雰囲気ってあるじゃない。それを重視してね。だから、どんな実績があってもパッと見てなんかさあ、「今の時点ではどうなんかな？　こいつ昨日エイズと梅毒をもらってコンディション悪くなってるかもしれないな」っていうのがあるじゃない。

――そうですね（笑）。初来日で名前がなくても、もの凄い雰囲気があって実力もあるっていう選手を連れてくるのが前田さんはうまかったですよね。だから、ヴォルク・ハンにしても、初期のリングスには「未知の強豪」が見られる楽しみがあったんですよ。今回のトーナメントにはその雰囲気があるっていうか。

前田　そう。「無知の強豪」っていうのは頭悪すぎてたいしたことないからね。10月と12月のトーナメント勝ち上がって優勝したら、間違いなく、まあ世界ナンバー・ワンとは言わないけど、世界のベスト3に入る実力を現状で持ってるっていう選手に胸を張って間違いなくなってくるからね。

――ふんふん、そうですか。

前田　間違いない！　間違いなくヒクソンに勝てると思いますよ。グラウンドでね、顔面打撃をある程度セーブしてたら技術が思いっきり出てくるから。で、今回嬉しかったのはブラジリアン柔術の連中に「ブラジリアン柔術は顔面打撃がないと何もできないって言ってるよ」ってからかったら「そうじゃないんだ！」っていうのがブラジルから出てきたから。物凄くムキになってさ。そういうプライドを持って出てくるヤツを出せたからさ。

――ああ。なんて言ったらいいんでしょうね、トーナメント表を見てると凄く無垢な感じがするんですよ。

前田　ブラジル人ってね、今回いろいろ話してみてね、好きだねえ、いいねえ。話してて大好きになったよお。なんかさ、アメリカ人と話をすると「対戦相手は誰なんだ？」って話をするじゃない。一応ブラジル人にも聞くんだよね。で、「まあ、

これから帰っていろいろカードを組んでいくんだ。でもトーナメントを勝ち上がっていかなければいけないんだから、誰だって同じだろう」って言ったら、「そうだ、俺は誰が相手でも関係ない」って。そのシンプル・イズ・ベストが好きやねえ。

——いやあ、そういう選手ばかり集めたほうがいいですよ。格闘技の選手は本当に注文が多すぎますよ。

前田 ちょっとエンセンしっかりしてほしいねえ！「顔面打撃がないから、勝てないから出ない」とかグズグズ言ってんだよね。そんなこと言ってる場合じゃないと思うんだけどね。

——エンセンもアメリカ育ちですけど、そういうアメリカ人っぽい選手が凄く多いじゃないですか。とくに総合系の選手って。やらないヤツが多いんですよね。

前田 だからアメリカとかヨーロッパでは武道は生まれないんだよ。

——ゴチャゴチャ言わんと誰が強いかやればいいのにって。

前田 なんか、どっかで聞いた言葉だね（笑）。

——ええ。なんかどの団体に聞いても、あいつはこう言ってて今こういう状況だから、こういうカードは組めないとか。

前田 勝負と女はやってみないと分からない！

——だから、そういう意味でも、ロシアとかグルジアの選手たちって、ハングリー精神も凄いし、腹も据わってて魅力的ですよね。

前田 ロシア人は凄かったよお。「ルールなんか何でもいい。俺たちが優秀に決まっているから」って。

——トーナメントはそういう威勢のいい選手ばっかり集まりましたよね。逆に飛び抜けたビッグネームがいないから「シンプル・イズ・ベスト！」の前田ワールドをより感じられて、僕は好きだなあ。

前田 問題はね、選手が無名だとスポンサーが出てこないんだよ。スポンサーには当然そういうネームバリューが必要だから。そうなんだけど、やっぱりそういうヤツらを呼ばなければいけないというのは苦しいんだよ。

——でも、僕は純粋に「未知の強豪」を楽しめる前田ワールドが好きです。

前田 みんなそういうふうに言ってくれたらいいんだけど。

——猪木さんはこの前モンゴルに行きましたけど、モンゴルの知らない巨人を連れてきたりとか、そういうことって猪木さんや前田さんにしかできないと思うんですよ。実績や名前がなくても、前田ワールドに入るだけでそれがメチャメチャ説得力があるわけじゃないですか。それは『プライド』はできないですから。

グレキュー INTERVIEW

前田 だからさ、マーク・ケアーのことも確かめたらさ、『プライド』側と話してみたら「独占契約をしてる」と。「分かりました」って言ってたら、「『プライド』で来年賞金トーナメントやるんです」ってわざわざウチの前に記者会見やりやがって。なんかあいつら、見栄えだけじゃなくて頭と性格と根性も悪い！ 後出しジャンケンばっかりで本当にキレるよ！「このノータリン！」ってね。そんなのばっかり『プライド』は。友だちのいない生徒会長みたいなヤツだね、森下社長は。なんかアマゾンの干し首をションベンで戻したみたいな顔しやがって！

——生徒会長とケンカ番長の対決なんだあ（笑）。それは凄いなあ、『プライド』とリングスがよ～く見えるなあ。ところで前田さんはトーナメントの優勝候補は誰だと思ってるんですか？

前田 分からない、正直言って誰が優勝するか分からない。

——あの『東スポ』に出ていたロシアのサンボ・チャンピオン（ラバザノフ・アフメッド）は？

前田 いや、あれはサンボ・チャンピオンじゃなくて、つい最近までロシア軍にいたんだよ。ロシア軍にいて白兵戦のチャンピオンで。

——白兵戦のチャンピオン!?

前田 白兵戦っていうのはね、銃剣だけを持って「突撃！」って言われて敵と肉弾遭遇して闘う戦闘状態のこと。最後は素手素足だけ。1対2とか1対3とかでも闘う。コマンド・サンボはコマンド・サンボなんだけど、金原たちの話を聞いたら凄くいい選手らしいから。

——そういうところが魅力的ですよね。

前田 いいのはね、打撃とかもちゃんと自分の目で確かめて練習したいって、わざわざ日本に来たんだから。

——じゃあ、前田道場で寝泊まりして練習してたんですか。

前田 もちろん！

——でも、今はちゃんとそうやって外国人選手を育てられるところがないじゃないですか。

前田 リカルド・フィエートも道場に来たけど、あいつなんか凄くクソ真面目だよ。フィエートなんかね、あれはプロってことをよく知ってるよ。

——ホントに道場で外国人選手を育てられるというのは凄いですねえ。

前田 連中は実際に日本に来て勝ったり負けたりする。「負けたのはなぜだろう？」ってまた来る。自分なりに考えて練習して、いろんな人に教えてもらって、それが3回目になったら「日本で練習したい」って。だからみんな真面目ですよ、真面目。

——でも、そういうのを受け入れる土壌って、今の他の団体にはないんじゃないですか。それは外から見ると前田さんの余裕に見えるんですけど、それが一番大事なことじゃないですか。

前田 余裕なんて、冗談じゃないよお。今は選手は2カ月に一回試合だけど、試合ない時もギャラ出すんだからね。大変ですよ。

——やっぱり日本の精神文化じゃないけど、磯部師範がフィリォを育てたりとか、やっぱりそういうのってあるじゃないですか。だから経済的にはもちろん大変でしょうけど、種をまこうっていうのは重要ですよね。前田さんも前に言ってたじゃないですか、「猪木さんも後継者が小川っていうのは寂しいよね。外からチャンピオンを引っ張って来るんじゃなくて、新日の道場からそういうのを育てなきゃ

俺を見なさいって。この世界のことを考えて いろんなところに貢献してるんだから

いけない」って。

前田　他人の道場で育ってさ、ちょっと傷ついてアウトレットになって、それを引っ張ってきてさ、「はい〜、ブランドもんですよ」って言ってるのと同じじゃない。でしょ？　小川にしてもアウトレットもんじゃない。

──アウトレットねぇ（笑）。そう考えるとビターゼ・タリエルとかも極真の選手っていうことで引っ張ってきたっていう印象じゃないですからね。リングスで育てたって印象があるじゃないですか。

前田　タリエルは「グルジアに凄くとんでもないのがいる」と。人を殴り殺したりとか、当時のグルジアは内戦状態だから、ゲリラを捕まえて3対1の乱闘になって、相手はナイフとかを持っていたのにそのうちの二人を半殺しにしたとか聞いて。で、山羊だか牛をつかまえてシメたとかね。ホントかねえ？　と思ったんだけど、2メートルで140キロある、と。最初はただのデブかなあと思って、会ってみたらさ、あれだもん。元ソ連邦の砲丸投げのチャンピオンだって。

──松井館長もタリエルの基礎体力は凄いって言ってましたね。

前田　骨格のゴツさといったら太いなんてレベルじゃないんだよ。

──弟も凄いですしねえ。そういう野性的な選手ばっかりですよね、リングスって。そこが魅力的ですよ。

前田　だからそういう野生を活かす意味でも、エスケープとかなしの一本勝負でやらせないといけないんだけど、初期の頃はリングスの状勢が許さなかったからさあ。みんなにはかわいそうだったんだよ。UWFでもリングスでも後から勝手なことを言われるんだけど、たとえルールの一行でもね、選手が着ける防具の一個でも全部理由があってやったんだよ。そのルールを作らなきゃいけないような状況があったんだよ。で、今っていうのは選手の意識も客の意識もその当時の状況と全然違うし、そう客を引っ張って育てたのは俺たちだからね。

──総合の世界も大きく変わりましたからねえ。

前田　だから今回初めて、みんな自分の力を出せるんだよ。

──そんな感じがしますよねえ。

前田　だってファースト・エスケープの早取りで考えたら、ロシアって強かったよお。

──ああ、そうでしたね。VTでもロシアは幻想ありますからね。イリューヒン・ミーシャもVTで実績残してるし。そういえば、髙阪選手はUFC─Jに出るんですか？

前田　今さあ、UFCとの関係をちゃんとしようと思ってるんだよ。だから今の段階ではニュートラル。UFC─Jはよく分からないんだよ。ちょっと問題が出てさ。どうしようかっていうところだから。

──髙阪選手に関しては、前田さんは出してもいいと思ってるんですか？

前田　なんかUFCのチャンピオン決定戦とかそういう話があるんで。いいとは思うんだけど、中途半端な大会に出るよりも、どっちにしてもUFCと提携するんだから、その力をバックにしてね。日本でいくら人気があってもアメリカで人気が上がらないとダメなんだよ、髙阪は。アメリカに出した先兵隊みたいなもんだから。だからアメリカでチャンピオンになるのが一番いいんだよ。

──リングスのためにも、アメリカで人気が出るほうが全然いいですよね。

前田　そのために俺の秘蔵の日本刀とかさ、やったんやから。時価数百万だよお。入場の時に持って出てくるように。

──でも、髙阪選手はトーナメントにも出るんですよね、12月に。

前田　髙阪はね、「おまえ、もしUFC─Jに出ることになっても大丈夫か？」って聞いたら「絶対に出ます！」って。あいつも優勝賞金ででっかいクルーザーを買うつもりでいるよお。山本は山本でフェラーリ買うとか言ってるし。で、田村にさ、「おまえ、優勝したら俺に1割でいいから小遣いちょうだいな」って言って指切りしようとしたら、必死に逃げ回るんだよ（笑）。可愛くないね、人の苦労も知らないで。

お約束のモンブラン？

──でも、ホントにリングスルールだから分からないですね、誰が優勝するか。それこそアルティメットだけで強い選手なんて勝てないでしょう。

前田　オープン・フィンガー・グローブにしたんで本当に分からない。

──12月のカードは、いつ決まりそうですか。

前田　発表は大会の一月前。中途半端に出しちゃうとね、なんかインパクトがないでしょ。とりあえず12月参加のリングス・ネットワークの選手を先に発表してね。なんかエンセンとか日本でメインでやってる選手はね、アメリカ人みたいに「金です」って言ってくれると分かりやすいんだけど、「金か？」って聞くと「う〜んっと、ルールがねえ……」って言って、「ルールか？」って聞くと「でも、お金もねえ……」みたいに誤魔化すんだよね。

──ホントに今の格闘家はみんなヒクソン病ですよ。ヒクソンみたいに闘わないで幻想を作りたいんでしょうね。

前田　ヒクソンもあと一試合くらいでしょ、誰とやろうか迷ってるんだよ。

──船木選手っていう話もありますよね。

前田　実現は分からないけど、船木が勝つかどうかってどうなんかね。あいつもちょっと呑まれてるところがあるからね。それがなかったら大丈夫だと思うんだけど。ブラジルの選手にコテンパンにやられたろう。あれでちょっと評価が落ちたよねえ。でも髙田にしても船木にしても、団体のことを考えてやらなきゃいけないって追い詰められてんでしょ、かわいそうにねえ。

──前田さんとしてはヒクソン対船木戦は実現してほしいですか？

前田　いや、船木じゃなくて次の世代の選手にやらせないとダメだよなあ。格闘技界のためには、ホント。俺を見てみなさいって、この世界のことを考えていろんなところに貢献してるんだから。『プライド』のスタッフの養成とかさ。K─1のビジネスの進め方、選手の発掘、選手

の育成、選手の認知度のプレゼンテーションヨン、ロシアの開拓……、なんかプロフィールに書きたいよお（笑）。

――壮観だなあ（笑）。そういえば、来年2月のトーナメント決勝戦の組み合わせはどうなるんですか？

前田　10月と12月のトーナメントで2ブロックのそれぞれベスト4まで決まる。8人までいったら抽選させようかと思ってる。

――抽選は面白いですねえ。ところで賞金総額50万ドルっていうのは採算が取れるんですか？

前田　もう取れる取れないの問題じゃないですよ。やるしかない！

――いよっ！　シンプル・イズ・ベスト！　いいですねえ。

前田　藤原紀香がパンツ脱いで待ってて、その上過去にどんな男にヤラれていようが、俺の知ってる男にヤラれてるかもしれなくて、そいつと兄弟になるかもしれなくても、それはやるしかないでしょ！

――んあ～！　その藤原紀香さんの例えはやめて下さい！

ケーキじゃ誤魔化されないよ、キューピーちゃん！

グレキュー INTERVIEW

前田　収めるところに収めるしかないみたいなね（笑）。剣は抜いたら使わなきゃダメ。抜いたのに使わないと士道不覚悟。抜くからには闘わないと。

――なるほどねえ。ところで前田さん、小川VS橋本戦は見たんですか？

前田　見てない！　見る気もしないよ。なんかもう50代のオッサンとさあ、30過ぎた男が人前で涙を流しながらうっとり抱き合って。人が見たら誤解するで。でもね、「よくやった！」「猪木さん、ありがとうございました！」ってさ、ちょっとなんかねえ、橋本は猪木さんにこっそりとケツでも掘られたんかなと思って、話聞いて恥ずかしくなってきたよ。猪木さんもカッコの付け方分からなくなってきたね、ホントに。だから俺にニセもんのハバナシガーを見破られて怒られるんだよお。なんかさあ、「このあいだ、前田に怒られちゃいまして」って言ってるらしいよお（笑）。

――わ、分かりました。最後に、ターザン山本さんが前田さんに詫び状を書くって言ってましてけど、まだ書いていないんですか？

前田　書いてない。あいつ、なんかラブレター書くのに忙しいみたいで詫び状書く時間がないんだよね。

――キャバクラでも忙しいみたいです（笑）。

前田　なんかさあ、二十何歳も歳の離れた女にさ、アホなラブレター書いてさ、「これが文学だ」とか言ってる場合じゃないよ。そのうち誰も相手にしなくなるよ。でもね、小さい頃から「失礼なことをしたヤツには怒れ！」と。でも「素直に謝ってくれるんだったら、どんなに腹にためることがあってもその時は気持ちよく許してあげよう」と。それが男らしいってことだよって教えられているから。だから女々しいヤツは大嫌い。素直に謝ってくれれば許してやるんだよ！　谷川クンもお詫びの印のたい焼きまでは良かったけど、モンブランの万年筆、嘘だと思ってるだろ？　なんなら本当に折れたモンブラン持ってきて、その汚いクソと乾いてこびりついたティッシュだらけのケツに突っ込んでやろうか!?　ケーキじゃ誤魔化されないよ、キューピーちゃん！

――いやいや、そ、そんなつもりは（笑）。

前田　まさかキミ、このまま帰るんじゃないよね。帰って仕事あるって？

――は？　と、とりあえずありますけど……。

前田　キミねえ、30分近くも人を待たせておいて、なんの償いも考えてないっていうんじゃないだろうね？　たぶんトンカツぐらいはおごってくれると思っていたのに。まあ、一緒にメシでも食いに行って、谷川クンお得意の他人の悪口でもじっくり聞かせてもらおうか！　さあ、行くぞ、グレキュー（グレたキューピーの略）！

――んああああああ～っ！■

■学園祭・講演会情報

◉11月1日（月）　京都産業大学　神山ホール
15：00～16：30
【お問い合わせ】神山祭実行委員会
☎075-705-1557

◉11月2日（火）　中央大学白門祭
中央大学多摩校舎8号館
13：00～15：00
【お問い合わせ】白門祭実行委員会
☎0426-74-2899

◉11月12日（金）　社団法人　静岡建設業協会
アゴラ静岡
14：30～16：00
対象：中小企業経営者　300人
【お問い合わせ】（株）日本綜合経営協会
☎03-5386-3341

日清カップヌードル
THE KING OF KINGS
K-1 GRAND PRIX'99
決勝戦
12・5 東京ドーム大会情報

K－1GP決勝戦トーナメント決定！

レイ・セフォー
（ニュージーランド◎アメリカン　プレゼント　ボクシングジム）

サム・グレコ
（オーストラリア◎チーム・グレコ）

武蔵
（日本◎正道会館）

ミルコ・“クロ・コップ”・フィリポビッチ
（クロアチア◎クロ・コップスクワッドジム）

アンディ・フグ
（スイス◎正道会館）

アーネスト・ホースト
（オランダ◎ボス・ジム）

ピーター・アーツ
（オランダ◎メジロ・ジム）

ジェロム・レ・バンナ
（フランス◎ボーアボエル&トサジム）

いくら公開抽選で自らの意志で決めたとはいえ、こんな組み合わせを誰が想像した？

今年のK－1GPは、例年と違い2回戦の組み合わせはK－1史上初の公開抽選で決定することになった。10月3日に行われたK－1GP開幕戦で激戦を勝ち抜いた8名は10月6日、フジテレビ本社屋オフィスタワー22階フォーラムに集結。自らの意志で、12・5K－1GP決勝戦のトーナメントを決定した。そこには、抽選とはいえ信じられない組み合わせが……。その模様を詳しくお伝えする！

撮影◎中島ミノル

▲さすがフジテレビと言うべきか。まるで「ものまね王座決定戦」のようなトーナメント表を作成。何から何まで前代未聞な記者会見だった

K－1史上初の公開抽選は2部構成！まずステップ1で抽選順番を決定した！

2部構成で行われたK－1GP決勝戦トーナメント公開抽選会。まず第1部では、ステップ1と称しステップ2で行われるトーナメント選択の順番を決定する抽選が行われた。この抽選の順番は、K－1GP開幕戦でKOタイムの速い順から引き、判定決着に関しては合計ポイントの差の大きいものから引くことになる。例えば、ホーストvsバイラミだったら、三者ともに50-47だったので、それぞれ合計して150-141となり9ポイント差がついたことになる。その差が大きい者から引いていけるのだ。それによって、このステップ1での抽選順は、①ミルコ・"クロ・コップ"・フィリポビッチ、②アンディ・フグ、③ジェロム・レ・バンナ、④レイ・セフォー、⑤アーネスト・ホースト、⑥武蔵、⑦ピーター・アーツ、⑧サム・グレコとなった。各選手がどんな表情でボールを選んだかは、写真で楽しんでいただきたい。それぞれ、箱の中からボールを引いて、トーナメント選択順の番号が書いてあるが、この時点ではその番号にはステッカーが貼ってあり、誰もその番号は分からない。しかも選手には、全員がボールを引き終わった時点で、ステップ2で行われるトーナメント選択を自分で決めることが伝えられた。自分の運命は自分で決めるのだ！　選手たちは戦々恐々とした表情のまま、ステップ2へ進む！

▲記者会見は、2部構成になっており、ステップ1は、石井和義館長と、須賀勝彌フジテレビ常務取締役のあいさつから始まった

▲1番手はミルコ。いつ何時でもクールで無表情なミルコは、ボールを取るときも同じ。余韻もなくあっさりと選んだ

祈る！

▲2番手はアンディ。マスコミ慣れしているだけあって、サービス精神旺盛。押忍！　と十字を切ったあと、なぜかお祈りをしてまじめな顔で選んだ。でもそのお祈りもむなしく……（？）

▲3番目に登場したバンナは、ミルコと同じくあっさりと選んだが、なぜか三宅アナウンサーにウインク（？）。三宅アナもタジタジ

箱ごとゲット（？）っておいおい

▲このあたりから、何かやらないといけないという妙な空気が流れ、4番手に登場したセフォーはいきなり箱ごと持っていこうとして、三宅アナに突っ込まれていた。そのあとは、笑顔でボールをゲット。このパフォーマンスが、のちに幸いするとは誰も予想しなかった（？）

のぞく！

▲セフォーに触発されたのか、なんと5番手に登場したホーストまで、ボールを選んだあとに、番号が書いてある上に貼ってあるステッカーをすかして見ようとするパフォーマンス。これはすべてファイターの意志でやってますので、念のため

▲だんだんいい雰囲気になったところで登場したのは武蔵。だが、今までの空気を断ち切るかのように、あっさりと無表情で引いて「押忍」。6番目に引いたけど、いい番号ゲットしてたんだよねぇ

▲7番目に登場したアーツは、ホーストが引くときに散々後ろからちょっかいを出していたにもかかわらず、自分が引くときは普通に。確かに、あと2つしかボールは残っていなかったから、何もしようがないと言えばないのだが……

悩んだって1個しかボールはないっつーの！

▲どう考えても1つしかボールが残っていないのに、グッドパフォーマンスを見せてくれたのが、8番手のグレコ。迷うわけないのに、わざわざスーツの袖をまくって、悩みながら箱の中をまさぐっていた。1個しかボールはないっつーの！　みなさんグッドパーフォーマーでした！　だが……

それでは、運命のステップ2へ！

ステップ2でなんと歴代王者3名が同じブロックに？ 驚愕のK－1GP決勝戦トーナメント決定！

K－1の女神はいたずら好き（BY石井館長）

ステップ2と称して行われたのは、この日の大命題であるトーナメントの枠組みが決定！　ステップ1で選んだボールにその選択順が書いてあるのだが、ステップ1ではステッカーで番号は隠されていたので、ようやくここで自分の選択順が明らかになる。三宅アナにより「ステッカーを剥がしても、他の人には番号は見せないで下さい」とアナウンスがあったので、選択順は選手本人にしか分からない。なんてドキドキする方法なのだろう。三宅アナが「それでは○番の選手お立ちください！」とコールするたびに、マスコミ陣からは「オオ～」というどよめきが起こった。選手は自分で好きな枠に入っていくことが出来る。しかし、前半の4名が終わった時点で、ピーター、アンディ、ホーストと3名の歴代王者が残る異常な事態。例年通り石井館長がトーナメントを決定していたら、絶対にありえない組み合わせだ。公開抽選おそるべし！　一体どうなるK－1GP決勝戦！

公開抽選スタート！ 一番手はセフォーだ！

▲A～Hのボックスに入るのは、すべて自分の意志。あとは何番のボールを引いていたかの運！

▲一番のボールを手に軽快に歩いてきたセフォー。おそらくAに入るだろうという予想はしていたが

▲案の定、Aのボックスに入ったセフォーは、ナンバー1と指で示してニッコリ。まぁ、最初ですから順当といえば順当

▲2番を引き当てた武蔵は、ニヤニヤしながらステージへ。でも、何も考えてはいない！

◀記者席からも、「セフォーの横にいくよなぁ」という声も上がったなか、さて、武蔵はどのボックスに入るか？

▲武蔵はセフォー戦を避けて、第2試合のCのボックスを選択。何か意味があるのかと思ったが、ほとんど意味はなし！

▲ステップ1同様に、無表情でステージに向かうミルコ。セフォーか武蔵を選べる状況だが、果たして……

▲ほとんど迷わずそそくさと武蔵の横を選択したミルコ。この時点で第2試合は武蔵vsミルコ戦に決定！

▲4番目を引き当てたのは、グレコ。後ろの席に残った、アンディ、ホースト、アーツ、バンナに視線を送りながらステージへ。もし、ここでグレコがセフォーの横にいったら、大変なことになるのだが！

▲涼しい顔をしてセフォーの横を選んだグレコ。第1試合セフォーvsグレコ戦が決定して、さぁ、大変。これで前半戦のブロックはすべて埋まった

前半戦フィニッシュ！ あれっ？

ちょっと待て！ 残りはアーツ、ホースト、アンディ、バンナ！ キャ～！ 歴代王者が同ブロックで潰し合いだ

◀どんよりした空気の中、5番目を引いていたのはアンディ。きっと前半ブロックの誰かと闘いたかったんだろうなぁ……

▲妥当とも言える後半戦の初っぱな、第3試合のEブロックを選択。さぁ、次は誰だ？

▶6番目はホースト。武蔵とは違ってステージに行く間に随分と悩んだらしいが……

▲ホーストが選んだのは、アンディの隣り。思わずアンディがニヤ～っとした。ということは、ここで目玉カードが決定！

ということは……

▲7番目を引いたのは、アーツ。対戦相手はバンナと決まっているが、アーツが選べるのは赤コーナーにするか、青コーナーにするか。迷わず赤コーナーへ

▲まさか、開幕戦直後に「東京ドームではアーツと闘いたい」と宣言したバンナが初っぱなから当たるとは！　念願のアーツ戦をゲットしてニヤっとするバンナ

▲ステージに上がり、ボックスに入ろうとするバンナと抱き合うアーツ。第4試合は2回戦最大の目玉カード、アーツvsバンナとなった

12・5東京ドーム K－1GP決勝戦トーナメント完成！

▲どうですか、このトーナメント。石井館長も「K－1の女神はいたずら好き」と話していたが、まさにその通り。特に後半のブロックは、公開抽選ならではの組み合わせだ

K-1女神のいたずらに悲喜こもごも!

縁起を担いで第1試合を選んだ!

レイ・セフォー

(第一試合を選んだ理由は?)自分としては、自分以外の7名誰と闘っても凄い大変な闘いになるということは分かっていたので、第一試合の最初のボックスを選ぶと、もしかしたらその日の夜のナンバーワンになれるかもしれないんじゃないかという、縁起担ぎの意味もあって最初のボックスを選んだ。自分も含めて他のファイターに幸運を。(グレコが自分を選んだ時にどう感じましたか?)サム・グレコ選手はご存じのように、K-1の世界ではベスト中のベストと言われる素晴らしい選手です。でもサム・グレコ選手だけではなくて、他の選手もグランプリに出てくる選手と闘う場合は戦争だと考えています。その戦争を通して、自分も一つ何か得るものがあればいいと思っていますし、その素晴らしい選手と一緒に闘うことで自分のためにもなると思いますから。そして、どういう結果になるかは自分でも楽しみ。二人ともいい試合をしましょう。

〈会見後の記者会見〉

(相手のグレコに対して)グレコ選手はさっき決まったばかりで、細かいことはまだ考えていません。グレコ選手は強い選手で、その彼に立ち向かうわけですから、試合に向けて一生懸命トレーニングをしたいと思う。(本当は誰か選びたかったのでは?)自分としては誰も選びたくなかった。本当に1番が来てくれと願っていた。自分としてはこの1番に選ばれたことは本望です。(武蔵は自分の所に来ると思ったか?)一瞬来るかな、という気がしたけど、たぶん来ないだろうなぁと思った。あとから聞いたら、アンディとサムは、武蔵はきっとボクのところに行くと思っていたらしい。(グレコ戦に向けての秘策は?)今までやってきたことに磨きをかけるということが主眼になる。あとは一晩で何人もの相手をして、長丁場になるということに対しての備えをする必要があるのではないかと思っています。

本当は親友のアンディと闘いたかった!?

サム・グレコ

(このボックスを選んだ理由は?)特にこの2番目の箱を選んだ理由はないけど、8人のベストファイターの中で闘う場合、誰と闘ってもシビアなハードな試合になることは間違いないし、またその日の運というのも大きな影響を及ぼすと思うので、その結果がいいか悪いか分からないけど、とにかく自分は最善を尽くすまでだ。ファイターすべて非常にハードなトレーニングを積んでくると思う。ただ、本当のところは親友のアンディと闘いたかった。でも、アンディのボールの番号を見たらちょっと離れていたので、自分が誘ってもアンディがそれに乗ってこない、ついて来てくれないだろうから、そういうことに賭けるよりも自分の考えを尊重した。セフォー選手は新しいK-1ファイターで、今まで闘ったことのない選手だから、自分にとってもいいテストになると思うので、お互いに頑張ろう。

〈会見後の記者会見〉

(このトーナメントに関して満足かということと、優勝を狙っていますか?)満足です。これはこの位置がとれたから満足ということではなくて、どの位置にいったとしても自分としては満足だったと思う。親友であるアンディと第1戦を心の中では闘いたいと思っていた。でも、セフォーはいい選手で非常にタフなファイトになることは分かっている。いい試合が出来ると思うので、自分としても楽しみにしてるけど、勝ち抜いていって自分の最終目標というのは、決勝まで進んで一番上に立つこと。(グレコ選手は毎年惜しいところで負けてるけど、長丁場を闘う秘訣や作戦はありますか?)今年は例年と一つ変わっていることがあって、それは自分の娘のラティーシャが日本に来ていること。娘が生まれたことは自分にとって大きな励みになっている。先日の大阪にも来ていたけど、その娘に自分の勝利を見せるためにも、やはり自分の一番のゲームプランというか、戦略としてはラティーシャを喜ばせるために一番になるという気持ちで闘うことだ。

'96年に出場した時と同じブロックを選んだだけ

武蔵

(ミルコ選手がいの一番に選んでボックスに入ってきた感じがしましたが、どんな印象でこれを見ましたか?)特には何もないですけど。ミルコが来たなって思いました、ハイ。ただそれだけです。(ミルコ選手の試合、武蔵選手もご覧になってたと思いますが、どんな印象を?)残念ながら、大阪の試合を見ていないんですけども、ハイ。試合の順番が自分はあとの方だったんで、熟睡してました。でも、強い選手というのは分かっているので、頑張りたいと思います。(日本代表、日の丸を背負うという気持ちをお聞かせ下さい!)そうですね、まぁ、トーナメントに出るというのがずっと目標だったんで、96年に一度(GPには)出たんですけど、その時にここのブロックだったと思うんで、それでただ選んだだけなんですけど。まぁ、その時の気持ちをまた思い出して、頑張りたいと思います。

〈会見後の記者会見〉

(2番目に選べるということでセフォーになぜいかなかったのか?)まぁ、そうですね。誰とやってもきつい試合になると思ったんで、誰かとやりたいということは全然考えてなかったので、だからとりあえず前回出たときのところにいこうかなぁとそれだけしか思ってなかった。特に何も考えてなかったです。(96年のK-1GPと比べて良くなっていることは?)前回出たときはデビューして1年たってなかったので、本当にただ勢いだけで出たような感じだったんですけど、もうだいぶ経験も積んで、ベルトもとりましたしある程度自信がついたなかで今回は出場してるんで、自分の今の実力がどれくらい出せるかなぁっていう部分は、自分も楽しみなんですけど、ハイ。(久しぶりのグランプリの本戦で温めていた必殺技とかはありますか?)まぁ、トーナメントなんで選手が勝ち進むと変わるっていうのがあるんで、特にこれだというのはないんですけど。自分の動きをどの選手に対してでもできるというか、ずっとその動きを続けられることですね。

誰かを選ぶかより選びたかったので武蔵!

ミルコ・クロ・コップ・フィリポビッチ

(そのボックスを選んだ理由は?)こういう抽選方法ですと、自分が選ぶか選ばれるかのどちらかですね。自分としては選ばれるよりも、選ぶ方を選びたいということで、武蔵選手を選ばせていただいた。武蔵選手は非常にいい選手だと思っていますし、いい闘いになるのではないでしょうか。(ベルナルドを破った気持ちは?)みなさんに同じ事を何度も聞かれたんですけど、素晴らしい気持ちだ、これ以外は何も答えようがない。

〈会見後の記者会見〉

(悩まずに武蔵にいったように見えたけど、セフォーにいこうとは思わなかったのか?)やはり選ぶか選ばれるかということになれば、選ぶほうを選びたかった。どうして武蔵選手の方にいったのかと聞かれてもよく分からないけど、今まで日本人選手と一度も闘ったことがないので、たぶんそういう意識が働いて、武蔵選手の隣りに足が進んだんだと思います。(クロアチアではどんな練習をしてますか?)K-1のトーナメントに関しては今までのトレーニングを少し変えなければいけないと思っている。一晩のうちに多い場合は3人と闘わなければならないトーナメントだから、それようの準備をしなくてはいけないと思っているが、通常は自分にパワーをつけるトレーニングというか、スパーリングの数をたくさんこなすということを中心にトレーニングを積んでいます。(武蔵との対戦に当たって、何パーセント勝てると思っていますか?)この闘いは勝てると思います。武蔵選手は非常に強い選手ですので、逆の結果もあり得るとは思いますけど、自分としては勝つために来るわけですから、勝つと信じて闘います。

トーナメント決定後の選手の声は…

紆余曲折の末にK-1GP決勝戦のトーナメントは決定したが、ここではトーナメント決定後の選手の声をお届けする。共通していたのは、誰と当たっても最初からハードな闘いになるという言葉だったが、誰が本当に運が良かったのかは12月5日、東京ドームで決まる！

ラッキー3にかけて第3試合を選択！

アンディ・フグ

（ボックスがすでに埋まっていたが、なぜそこを選んだのか？）ラッキー3というナンバーにかけて、第3試合を選んだ。（3番でいいことがあった？）K-1GPに出るようになって、最初の1、2回目は参加しただけで終わったけど、3年目でタイトルがとれた。そしてそれから2年間タイトルから遠ざかったけど、また今年3年という周期がめぐってくるということで、ラッキー3が重なるといいな、と。

〈会見後の記者会見〉

（このトーナメントをどう思うか？）チャンピオンになるという目標は持っているし、タフな一日になることもわかってるけど、ただこういう組み合わせになってくれたことは、自分にとってはいい結果に繋がるんじゃないかと思う。例年だと、1、2回戦で当たる選手はなぜかわりと楽な選手で、勝ち上がるにつれて強い選手と当たる図式だった。今年に関しては、最初からホーストという強い相手と当たるし、ピーターvsジェロム戦は、重たい大きな二人の潰しあいだから、どちらが勝つにしても相当なダメージを受けると思う。そのダメージを受けた上でのピーターやジェロムと闘うのは、自分がホーストに勝ち上がった場合だけど、有利に働くと思う。一番注意しているのは、ピーター。例えば、ピーターと闘うのが、セフォーやミルコ、武蔵のような軽い選手との対戦だったとしたら、自分がピーターと当たるときに非常に困難な状況に自分がなるんじゃないかと思うので、最初にジェロムとやってくれるのは嬉しい。（優勝をしたらヒゲを伸ばすか？）チャンピオンになったら、俳優学校にいこうかな。

アンディとは3回闘ったけど物足りないから！

アーネスト・ホースト

（アンディとの対戦を選んだのは？）今までに3回闘っているんだけど、3回じゃ物足りないので4回目をぜひやりたいから。この正直なところ、第3試合を選んだことはそんなに簡単な結論ではなかったけど、横を見るとジェロムとピーターが残ってて、自分を除いたあとの3人を比べても、誰を選んでも強いファイターなんで、最終の4試合目を選ぶよりは、第3試合を選んだ方がいいのではないかということで、アンディを選ばせていただきました。

〈会見後の記者会見〉

（東京ドーム大会までに体調は大丈夫か？）大阪でのコンディションはよかったけど、あまりよく休めなかったこともあって、寝れなかったことによるだるさが残って、スッキリはしなかった。睡眠不足も自分のコンディションとしては良かった。だけど、コンディションとしては良かった。（2年ぶりの優勝の自信は？）アーツとバンナのどちらと闘いたいか？）自分としては、自分自身がK-1チャンピオンになる条件は揃っていると思っている。自分の闘いとしてはタフな闘いになるとは思うけど、K-1チャンピオンになる自信はある。ピーターとジェロムのどちらとの対戦になったとしても、簡単な試合にはならないと思うけれども、これからハードなトレーニングを積んで、ぜひK-1チャンピオンになりたい。

ジェロムもハッピーでボクも嬉しい！

ピーター・アーツ

（すでに自分の番がまわってきたときには、対戦相手は決まってました。どんな気持ちでしたか？）まず選択の余地がなかったけど、赤コーナーが選べて嬉しかったよ（笑）。この結果に関しては、誰と闘ってもハードな闘いになるし、ジェロムと闘うのは大変なんだけども、ひとえにジェロムは僕とやりたがっていたので、そういう意味ではジェロムもハッピーでボクも嬉しい。ジェロムぐらいだよ、ボクとやることが決まって喜んでいるのは（笑）。

〈会見後の記者会見〉

（このトーナメントが決まった時の気持ちは？）相手が決まって、強いのが来ちゃったなっていうふうには思ってたけど、特に誰とやったところで、自分に有利に働くとかいうのはないと思うので、同じK-1だからいいよ。（決勝で対戦する相手は誰でしょうか？）ワカラナイ（日本語で）。難しすぎてお答えできないよ。Bブロック（第3、4試合）は本命中の本命の人間が揃って、Aブロック（第1、2試合）は同じ意味あいで実力が非常に拮抗した人間が揃っているんで、その中で誰が勝ち上がってくるかを予測するのは、同じくらい難しいことだね。（開幕戦での天田の試合については？）短かったので、あまり印象が……。でも、少し見た中でアマダに言えることは、もっと勉強しないとまだまだK-1のレベルじゃないね。（今年も優勝したとしたら、賞金は？）最近はお金に固執しないというか、もちろん生きていく上でお金は必要なんだけれども、賞金をどうのこうのよりも、チャンピオンになる、タイトルをとるということに自分としては重要な意味を持っている。それに賞金をいただいたとしても、彼女に渡すと全部彼女が使っちゃうので、ボクには何の権利も残らないんだ（笑）。

ピーター、本当はキミが怖いんだ！

ジェロム・レ・バンナ

（最後にアーツと二人で残ったときの心境は？）本当にピーターと闘えるので嬉しい。2日ほど前に自分にとって嬉しいことがあったので、嬉しいことが重なってよかった。（2日前の嬉しいことは？）2日前の試合が終わったときにジャーナリストの皆さんから、予選を勝ち抜いたということで、誰と闘いたいかという質問が出たんだけれども、その時に自分としてはピーターとやりたかったので、そういう自分のやりたかった結果に繋がったことが嬉しい。顔では笑っているけども、心は脅えていると。ピーター、本当はキミのこと凄く怖いんだよ（笑）。

〈会見後の記者会見〉

（久しぶりのK-1登場だったが、K-1の魅力は？）K-1のファンの皆さんや、会場のファンのみなさんが自分にとっては非常に魅力だ。イベントを成り立たせているプロの人達の仕事ぶりも魅力があると思うし、K-1を離れていた間、そういうプロの仕事に出会えなかったことが寂しかった。（バンナはパンチの印象が強いが、キックの練習は？あと、アーツのハイキック対策は？）ピーターのキックに対する策は特にないけど、自分としてはアメリカの方でトレーニングを積んできて、特に自分のジムではキックの練習はずいぶんしているので、万全だけど、自分のゲームプランとしては、パンチが先に出てキックでしめると。だけどキックまでいかないで早く決着がついてしまうこともあり得る。特にピーターのキックに対する対策は考えていない。

佐竹にアプローチしたい団体があるなら、僕は話し合いにいきます。僕は認めませんから。

抽選会後、石井館長が今後のK－1と佐竹問題について語った

抽選の結果、トーナメントの組み合わせが決定したが、これを受けて抽選会終了後、石井館長はマスコミ向けコメントを発表。すると、話題は今トーナメントへの見解から、2000年のK―1、ヨーロッパ進出構想、そして注目の佐竹の去就についてなど、様々な発言が飛び出した。石井館長のコメントを心して聞け！

《会見上での石井館長の挨拶》

あのー、誰よりも驚いているのは、ここにいる記者の皆様方じゃないでしょうかね。もしも僕がこういう組み合わせを自分でやったら、たぶん記者の皆様方から非常にヒンシュクを買うと思うんですけども（笑）。あのー、最近「ヒンシュクは金を出してでも買え」という言葉が流行ってますが、まさかこういう組み合わせになるとは思いませんでした。それが第一点ということですね。

よく「K―1のリングには魔物が棲む」と言われますが、その魔物というか女神はいたずら好きだと思いますね。なぜならば、第1試合&第2試合をAブロック、第3試合&第4試合をBブロックとします。

そうしますと、BブロックにK―1グランプリのチャンピオンが3人入っているんですね。そして、全てがリベンジマッチになっています。たぶんホーストの（気持ちの）中では誰よりも闘いたかったのはアンディだと思うし。で、Bブロックはピーターもアンディもホーストもそうなんですけど、ジェロムにとって、リベンジマッチなんですね。だからまあ、非常にドラマチックな組み合わせだと思います。

まず、ファーストマッチに関して言いますと、オセアニアではドリームマッチなんですね。レイ・セフォーとサム・グレコの試合、この試合が決まった瞬間に、僕はオーストラリアのテレビ局に放映権をお売りしたいと思いました（笑）。

だから、これはワーナーブラザーズのプレジデントであります、グランバーグさんにお願いしてみようと思います。両選手ともに頑張ってください。

で、第2試合の武蔵選手VSミルコ選手。これはお互い新生同士の一戦で、ホントに小気味のいい、キレのある試合が繰り広げられると思います。またミルコ選手が（開幕戦を）勝ったことにより、地元クロアチアでは大変盛り上がっていまして、テレビのゴールデンタイムの放送が決定したりですね。これを起点にクロアチアでも、ま、もちろんジェロムが参加することでフランスでも盛り上がってますが、クロアチアでも火を点けて、ヨーロッパにK―1ブームを巻き起こしたいと思います。

で、この組み合わせによって、優勝の行方がまったく分からなくなりまして、僕でも予測できません。以上です。ありがとうございました。

▲抽選会後の挨拶をする石井館長。この後、記者陣に囲まれると、「みんな1万円ずつ出し合って優勝予想やらへん？　すいません、不謹慎なこと言って（笑）」と石井館長はその場を和ませた

これで選手たちも、僕がどれだけ組み合わせで苦労しているか分かったと思いますよ（笑）

《会見が終了後、マスコミに対しての石井館長のコメント》

◆2000年のK―1

来年はフランシスコ・フィリォが復帰して、オールキャストが揃って2000年のチャンピオンが決定するという、流れ的には、まぁ、最強の布陣が戻ってきて、いい流れになっていきますよね。そこに新星でノブ・ハヤシとか中迫とか、いろんなファイターが戻ってきて、新しい展開につながっていくんじゃないかと思いますね。僕としては、今年また新しいドラマが生まれて、2000年を迎えたいというのが正直な気持ちですよね。ドラマチックな。僕は一生懸命やって、あとは天に任せる、というのが今までのやり方なんで。あしようこうしよう、というのはロクな結果を産みませんからね。今後のジャパンの日程？ 1月くらいにやろうと思ってます。ノブには参加してもらいたいですね。

◆トーナメントに関して

ファイターの心理って面白いよね。だから、これで選手たちも、俺がどれだけ組み合わせで苦労しているか分かったと思いますよ（笑）。いつもなんやかんや、言われてるわけやん。ファイターはともかく、ジムの会長とかね

佐竹の今後について？ 契約云々の問題じゃないでしょう。道義的な問題ですよね。

(苦笑)。ハーリックにしろ、ヨハンとか「おかしいやないか」と言ってますけど、お前らやってみいって(笑)。だから今年はホントに楽しく組み合わせを見てましたよ。久し振りにエンジョイできましたよ。

相性があるからね。強さの基準でいえば、マット・スケルトンを基準に考えられると思うんですよ。スケルトンはけっこうみんなと当たっているじゃないですか。グレコともロイド・ヴァン・ダムともやっているし。ピーターとやってるしジェロムともやってる。で、ヴァン・ダムはスケルトンに勝ってますよね。ピーターもスケルトンに勝ってますけど、最初はピーターが押されてましたよね。それをジェロムが1ラウンドで簡単に片付けたというところは、ヤバいですよね。ただ、それだけで計れないのが組み合わせですから。スケルトンみたいにガンガンいくところはジェロムもいいのかも分からんし。ピーターは距離の取り方がうまいから。ただ、もう少しパンチのディフェンスをキチッとせんと、ジェロムのパンチが当たりそうですね。

◆ヨーロッパ制覇構想

今年はジェロムが参加していることもあって、フランスのチャンネルプラスは色めき立ってます。12月に放送もやります。ドイツ、スイス、フランス、クロアチア、イギリス(BBC)ですね。だからチャンネルプラスとBスカイBがみんなやり出すと、ヨーロッパというのは中近東も含めて南アフリカ、あのエリアですね。あの辺は全部カバーされていきます。(フランスで)ライブでやるのは初めてだと思います。ただ、ライブは大変なんで断りたいんですよ。衛星を上げなくちゃいけないし。それからその作業が忙しいということです。日本だけだと3千万人くらいですけど、そうなれば何億人の人が見ることになりますから。それを早くしようと。当然、オーストラリアもそうでしょうし、ニュージーランドも。それにしてもジェロムは嬉しそうでしたね。ピーターと決まってあんなに嬉しそうなのはジェロムだけでしょうね。ピーターが難しそうな顔をしてましたよ。これでフランスは大ブームになりますよ。今、K―1をフランスでやれば超満員になることは間違いないです。だから、いつやろうかと思ってね。

◆佐竹問題

佐竹とは一回話をしようと思ってます。佐竹のポイントはジャッジングでしょう。ジャッジとレフェリーに関しての抗議。やり場のない怒りを僕に向けただけであってね。ただ、第三者でジャッジングをすることは、武蔵も含め、佐竹も話し合って了解済みなわけだから。確かに、佐竹にはアンラッキーだったですよね。まあ、今までのレフェリングに対しても不満だったみたいだし。

ただ、今回負けたことと、佐竹の方向性とは別次元の話。佐竹としては、今年が終わったら、来年どうしようか、という部分でね。だからK―1がどう、というよりも今後の人生設計、プランニングの問題でしょう。佐竹はK―1の財産を持って、第二の人生へ進みたかったみたいだし。ただ、佐竹もK―1で自分の力を出しきってないし、まだまだ強くなるんだからK―1で頑張ってほしいですよね。

確かに契約はワンマッチごとですから、契約上の問題はありません。ただ、契約云々の問題じゃないでしょう。道義的な問題ですよね。流れもありますから。というより、それに関しては僕個人は佐竹本人からそんな話は聞いていないし、佐竹もそんなことを言ってないでしょう。契約の問題じゃないですから。ただ、もしそういうことを言っているのなら、そういう言い方はよくないよ、と言ってあげたいですね。今までお世話になったところに対して、そういうことは言っちゃダメです。辞めるなら辞めるでケジメをつけて辞めるべきですよね。

もしも現段階でというか、今後も含めて、佐竹にアプローチしたい団体があるなら、僕は話し合いにいきますよ。僕は認めませんから。それは、今まで一緒にやってきた仲間だから、いい意味で送り出して、みんなに祝福されてね。そう(佐竹には)伝えるつもりです。せっかくあそこまで頑張ってきて、そこのチョイスは間違わない方がいいですよ。

佐竹が「第二の人生を」と言えば、心よく送り出すし。「また頑張る」といえば、「頑張れ」と言ってあげたいし、応援してやりたいと思うから、K―1批判はしない方がね。彼は日本の財産なんだから、いい意味で成功させてやりたいんですよ。

とにかく(佐竹とは)話し合いでしょうね。やっぱり僕としては、武蔵に勝つための応援はしたとしても、佐竹がこういう形で負けるとも思ってないし、こういう形に(モメごとに)なるとは思ってないですから。急に湧いた話だしね。僕自身も今日で一段落つくから、明日でも明後日でも本人と直接話し合いたいとは思いますしね。

僕の希望としては、礼儀があるから、冷静になって考えてほしいし、やっぱり佐竹は貴重な戦力だしね。

正道会館の師範代としての役割? いや、それとは関係ないですよね。正道会館というのはアマチュアの団体で、佐竹自身がプロの格闘家として「怪獣王国」に所属して、そこと契約しているわけでね。だから、今までの実績を踏まえて、佐竹はこれからも応援してあげたいし。

ただ、アドバイスはできても、決めるのは本人ですから。間違ったジャッジを下さないように「休む」と言ったら、それはそれでしょうがないし。僕は佐竹が一度「休みたい」と言った時も、「復帰したい」と言った時もそうさせてあげたわけだしね。

だから、多少のワガママは聞いてあげたいけど、K―1や人の批判はしない方がいいでしょうね。マスコミの方々も誘導尋問みたいな形で佐竹にそれを言わせないようにしてもらいたいですよね(苦笑)。決してプロレス的に僕が言わせているわけではないし。それに関しては湊谷(コーチ)には注意しましたよ。湊谷へのペナルティ? それはこれからですね。まあ、やっぱり佐竹にしても、冷却期間をおいてね。とにかく(K―1グランプリの)コマは進んでいるわけだから、武蔵には細かい部分は気にしないで、佐竹の分まで頑張ってほしいですよね。ハーリックなんて、「ノブVS佐竹を12月の東京ドームでどうか」なんて言ってきましたからね……(笑)。ということで、みなさん、佐竹をかわいがってあげてください。

某エッチ系雑誌編集部から信じがたいタレコミ情報発覚！
フリーライターSの極悪ナンパ術

TOKYO GINZA

読者プレゼント●銀座風味

ごっつぁん銀座

もう嘘でもいいから　Special Ring Side　整形したってゆって…

TRADITIONAL TASTE

FRONT

BACK

【全日本キック提供】

魔裟斗シルバーウルフTシャツ
(2ndバージョン／赤・黒、サイズ／L)　各1名様

あからさまに大人気の魔裟斗Tシャツ第2弾。今度は赤と黒！　全日本キックでは通信販売もおこなっているのだ。（購入方法／現金書留にて住所、氏名、電話番号とTシャツのカラー、サイズ（XL・L・M）、枚数を書いたメモを同封の上、代金（一枚¥3,000）と送料（何枚でも¥300）をお送りください。
〒169-0074　東京都新宿区北新宿1-6-21　全日本キック「通販係」まで。なお、数に限りがあるため、ご注文の際は電話にてご確認ください。
☎03-3365-1171

11・22『WAVE Ⅷ』ポスター　5名様

全日本キック今年最大のビッグマッチの大会ポスター

【イーフォース・ジャパン提供】

FRONT

BACK

奇人エキセントリックTシャツ　1名様
(サイズ／M～XL、白)

イラストレーターとしても奇才ぶりを発揮する奇人のNEW Tシャツ。
定価¥4,000

FRONT

BACK

エンセン井上CD発売記念Tシャツ　1名様
(サイズ／S～XL、ネイビー)

あの話題のエンセン入場曲の歌詞がプリントされたTシャツ。定価¥4,000

頑張れエンセン!!
甦れ朝日昇!!

FRONT

BACK

エンセン井上P・S・S・DTシャツ　1名様
(サイズ／S～XL、黒)

猿渡哲也先生によるイラスト入りのエンセンNEW Tシャツ。定価¥4,000

※イーフォース・ジャパングッズに関するお問い合わせは、イーフォース・ジャパン
☎047-378-6403まで

【真樹日佐夫先生提供】

魔除けワルTシャツ　3名様
(サイズ／LかキッズM)

あの大反響を呼んだワルTの通信販売が決定!!　タイの高僧に拝んでもらった赤い糸が左ソデに縫いこまれており、本当に魔除け効果があるのだ！このTシャツを着て街を歩けば、悪いヤツに絶対絡まれなくなるか、絶対に絡まれるかのどっちかだ!!　購入したい人はメールorFAXにて注文しよう。

お問い合わせ先／AFGサービス株式会社
メールアドレス／afg@mb.infoweb.ne.jp
FAX／03-5690-1665
☎／03-5690-1600まで

FRONT

BACK

ブルース・リーが編み出した格闘技、ジー・クン・ドーの素敵なTシャツ。
定価¥4,000

ブルース・リーIUMA技＃1　1名様
(サイズ／M～XL、白)

押忍、押忍、押忍！
この秋要注目の
掣圏道グッズ3連発を
喰らってくださ～い

【本誌・ハッシシ提供】

掣圏道携帯ストラップ　2名様　**掣圏道キーホルダー　2名様**　**掣圏道ブレスレット　1名様**

SはShowだった!!

応募券　ごっつぁん銀座　第9号

『SRS・DX』特選 完全無欠の U.F.O.オフィシャル グッズ通信販売

今こそっ、格闘グッズの道を突き進め、オガワーッ!!
(by Mr.ウォーリー)

❶オーチャンTシャツA

❸Mr.ウォーリーTシャツ（白・黒）

FRONT

BACK

❹UFO Tシャツ

❷オーチャンTシャツB

❺オーチャンステッカー

Tシャツはすべて￥3,500（税込）
ステッカーは￥1,000（税込）

オイオイオイ、もう長袖の季節かよ!?

■ご注文方法

創刊2号から迷わず始めたUFOグッズ通信販売。エー、ズバリ言って非常にマニアックな層というか、多くの方から注文をいただいております。というわけで、これから購入ご希望の方は、住所、氏名、電話番号、希望商品（サイズも）を明記したメモを添えて、希望商品の代金と送料（何枚買っても500円）を現金書留で、編集部までお送りください。商品は、ご注文をいただいてから5日～3週間位でお届けします。

❶オーチャンTシャツA（黒／サイズL・M）
❷オーチャンTシャツB（ラグラン／サイズL・M・S・XS）
❸Mr.ウォーリーTシャツ（白・黒／サイズL・M）
❹UFO Tシャツ（サイズL・M）
❺オーチャンステッカー

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F
SRS・DX編集部『UFOグッズ通販』係 まで

【ダブルクロス提供】

エッチが大好きなK・Hさん（ダンナはもっと好き）プロデュースの紙プロTシャツ第2弾。UWFのロゴをパクった素敵なデザインだけど、「ユニバーサル・マガジン・フェデレーション」って何だよ。『紙プロ』誌上通販かチャンピオン東京&大阪店、リングパレスで購入できま～す。￥3,800。
お問い合わせは、ダブルクロス ☎03-3403-5188まで。
大西ちゃん大好き!!

FRONT

BACK

UMF Tシャツ　3名様
（サイズ／S（赤のみ）、M、L　カラー／赤・黄・青）

【ソニー・ピクチャーズエンタテインメント提供】

ビデオ『K-1 GIRLS'99 Colors』5名様

今年も出ました、K-1ガールズのイメージビデオ。シャワーシーンや水着姿、ホクロやまつ毛までをも収録した超接写映像などの衝撃シーンが満載。Show垂涎のビデオだ

【新日本キック提供】

10・30『ロード・トゥ・ムエタイ2nd』ポスター　5名様

小野寺力という生き様を見てくさ～い

【ヴァリス提供】

ただいま絶賛発売中の新日ジュニアのノーTVマッチばかりを収録した本作（定価￥3,700。90分）。9・13新潟でのオーちゃんと破壊王の舌戦を唯一映像に押さえたヴァリスさんが、またまた提供してくれました。次号では『G1クライマックス・タッグリーグ戦』のビデオもプレゼントします！

ビデオ『THEジュニアイズムⅡ』　3名様

■応募方法

右ページ右下の応募券を官製ハガキに貼って、
①郵便番号・住所・電話番号　②お名前
③年齢・ご職業　④希望プレゼント名
⑤今号で面白かった記事（複数可）
⑥今号で面白くなかった記事（複数可）
⑦10・11橋本VS小川戦の感想（もちろんTV観戦OK！）
⑧『プライド8』でもっとも注目するカードとその理由
⑨『SRS・DX』で作ったら面白い格闘技グッズを企画してください
⑩本誌に対するご意見・ご感想を山ほどどうぞ！
を書いて、ビシバシ応募してください！

あて先は、〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F
SRS・DX編集部『ごっつぁん銀座⑨』係まで
締め切り…11月18日(木) 当日消印有効。

番組インフォメーション

10/28、11/4の見どころ

SRS SPECIAL RING SIDE

情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域により放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは10月20日現在のものです。
都合により多少の内容変更の可能性がございますのでご了承下さい。

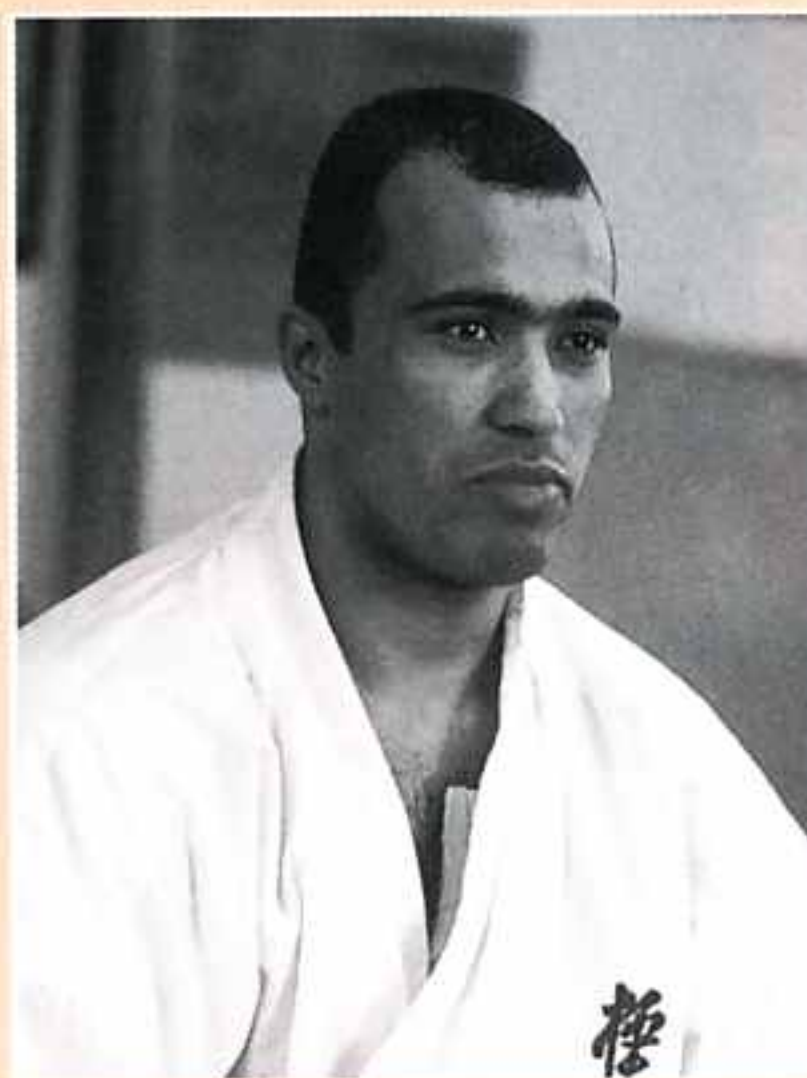
『SRS』は毎週木曜日深夜25時20分～25時50分フジテレビ系で放送中。お見逃しなく！

10/28

11・5～7　極真カラテ世界大会直前企画

フランシスコ・フィリォ百人組手特集

10/28（木）放送　25:20～25:50

極真カラテ世界大会を約２週間後に控えたこの日の放送では、優勝候補の最右翼と言われるブラジル代表のフランシスコ・フィリォを特集します。極真カラテの中でも最大の荒行と言われる百人組手は、今年３月に数見肇が完遂し、ＳＲＳでも放送してその苛酷な内容が話題となりましたが、遡ること４年、1995年の３月には、フランシスコ・フィリォも完遂、しかも、極真史上最高の勝率で成し遂げているのです。その百人組手をダイジェストで放送し、フランシスコ・フィリォの凄さに迫ります。ゲストは大槻ケンヂと本誌編集長・サダハルンバ谷川。２人のトークもさることながら、この放送を見れば、本当のフィリォの実力の一端が垣間見れるはず。まさに驚異的とも言える強靭な肉体と精神。今年の世界大会でカラテ王国・日本の前に大きく立ちはだかる壁・フランシスコ・フィリォ。「カラテ人生の全てを賭けて世界王者を狙う」と語り、Ｋ－１にも出場せずに、この大会に賭けてきているだけに、ホントのホントに今大会はやばそう！？

11/4

数見ら日本勢のコンディションは？　城南支部最新情報

11・5～7　極真カラテ世界大会　超　直前特集

11/4（木）放送　25:20～25:50

果たして、牙城を守ることができるのか――。日本のエース・数見肇、志田清之、高久昌義、岩崎達也ら４人の世界大会代表が、直前の調整を行う城南支部に取材を敢行し、極真史上最も多くの王者を育てた名伯楽・廣重毅師範にインタビュー。さらに代表選手たちにも今大会に賭ける熱い意気込みを聞いています。４年に一度の、カラテ界のオリンピックとも言うべき極真世界大会。その人気はすさまじく、チケットは早々に完売（5、6日の分と当日券は若干あるようです。詳細はP58の大会ガイド＆チケット情報参照）。空手を、そして極真を愛するファンの皆さんにとっては、もう居ても立ってもいられない、そんな大会ですが、前週で驚異の百人組手を放送したフランシスコ・フィリォ、そしてブラジル第二の怪物・グラウベ・フェイトーザら外国人選手が非常に力を付けており、今度こそ歴史が変わる可能性大。なんとか牙城を守ってほしい！？　日本は本当に大丈夫なのか？　――とにかくこの日の放送で、数見選手らの大会直前の勇姿を見て下さい。

フジテレビ系列の番組から

11/7

『第７回極真全世界空手道選手権大会』

11月７日（日）　23:45～25:15

大会最終日の23時45分から90分の放送決定！何があっても見逃せないゾ！

極真大好きの皆さんもあまり興味のなかった方々も、今号の直前企画を読んで、きっと極真世界大会を見たい！　と思っているのでは？　ホントは会場でその臨場感をとことん味わうのが一番ですが、残念ながら会場に行けない人、また、会場で感じた興奮をもう一度じっくりと味わいたいアナタに、嬉しいテレビ放送のお知らせです。ナント大会最終日の11月７日、夜23時45分から25時15分までのタップリ90分、初日からのダイジェストを含め、極真世界大会の中継が行われます。数見肇とフランシスコ・フィリォ、両者の闘いぶりはいかに――。果たして日本は王座を死守できるのか、それとも初の外国人チャンピオンが誕生するのか。今からドキドキの極真世界大会、11月７日の放送はゼッタイに見逃すな！

フジテレビ739

11/13（土）14:00～17:00
25:00～28:00

『第７回極真全世界空手道選手権大会・完全保存版』

１週間遅れながらＣＳ衛星放送の『フジテレビ739』ではさらに充実した内容（時間）で放送されます。ナント３時間！　ＣＳ衛星放送ならではの、まさに『完全保存版』。
ＣＳ放送が見れる方は、こちらも必見です！

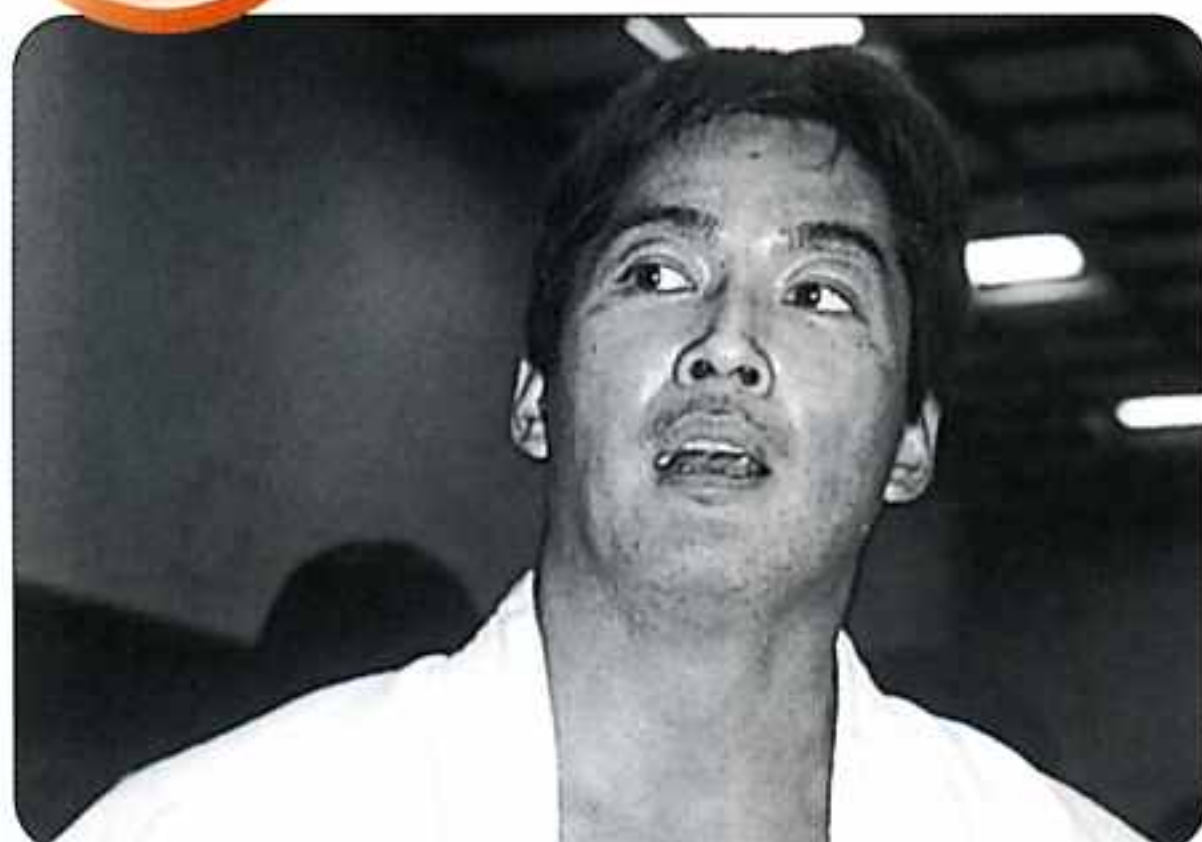
SRSホームページにアクセスしてみよう！　http://www.fujitv.co.jp/

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
10/28（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト	19：00～20：00 23：00～24：00	98.4.12にオランダ・アムステルダムで開催された『ミックスファイトトーナメント1』を放送。日本でも有名なギルバート・アイブル、ボブ・シュライバーも出場
	GAORA	全日本キックボクシング	20：00～21：00	10.8後楽園ホール『WAVE7』を放送。対戦カードは魔裟斗vsニック・ミッチ、千葉友浩vs内田康弘、熊谷直子vs高橋洋子ほかを予定
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	20：00～21：30 24：00～25：30	10.1開催のニュージャパンキックボクシング連盟『Achievement8』の模様を放送。鈴木秀明がタイの現役ランカーと対戦する
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22：00～23：00 26：30～27：30	さまざまな格闘技の最新情報を紹介する番組。毎回格闘家のゲストも登場し、ファイターの等身大の魅力に迫る
	フジテレビ	SRS	25：20～25：50	⬅P77
10/29（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7：00～ 8：00 12：00～13：00	10/28を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14：00～15：30	10/28と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	闘いのワンダーランド	17：00～18：00	髙田延彦編　アントニオ猪木＆髙田延彦vsスティーブ・ウイリアムス＆オーエン・ハート戦ほか全3試合を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト	18：00～19：00	10/28と同内容
	SKY sports 3	ブラジル格闘技'99　VT	23：00～24：00 27：00～28：00	第4回IVC大会トーナメント（前半戦）の模様をパンクラスの髙橋義生をゲスト解説に迎えて、1回戦3試合とスーパーファイト2試合を放送
10/30（土）	SKY sports 3	ムエタイ	19：00～20：00 27：00～28：00	タイ国内のムエタイ中継番組をそのまま放送。日本に居ながらにして本場の熱気を味わうことができるマニア必見のプログラム
	テレビ朝日	リングの魂	24：40～25：11	人気番組『幸せ家族計画』のパロディ企画『幸せ団体計画』を放送。インディー団体の社長（グレート小鹿）がレスラー、社員への豪華賞品をかけて難題にチャレンジ！
	SKY sports 3	ブラジル格闘技'99　VT	26：00～27：00	10/29と同内容
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26：10～27：10	10.11開催の東京ドーム大会『FINAL DOME 1999』の模様を放送
10/31（日）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	9：00～10：30	10/28と同内容
	SKY sports 3	ムエタイ	10：00～11：00	10/30を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト	11：00～12：00	10/28と同内容
	GAORA	PANCRASE DAYS	13：00～14：00	95.6.13の札幌中島体育センター大会から、鈴木みのるvsラリー・パパドポロス、バス・ルッテンvsジェイソン・デルーシア戦ほか全7試合を放送
	WOWOW	リングス1999	18：00～19：55	⬅Pick Up②
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	20：00～21：30 24：00～25：30	10.17横浜文化体育館でのみちのくプロレス＆バトラーツ合同興行『兄弟愛♥～横浜純情編～』Part1を放送（PPV有料放送）
	日本テレビ	全日本プロレス中継30	26：25～26：55	10.30日本武道館大会より、三冠ヘビー級選手権、三沢光晴vsベイダー戦
11/1（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14：00～15：30	10/31と同内容（PPV有料放送）
	日本テレビ	超K-1宣言	25：45～26：15	内容未定
11/2（火）	GAORA	格闘伝説ムエタイ	17：00～18：00	ムエタイの魅力・迫力たっぷりの60分。鈴木秀明vsチャーンノーイ・ソー・ワーニット戦ほか
11/3（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトステ・アンコール	14：00～15：30	98.12.26開催のMA日本キックボクシング連盟後楽園ホール大会の模様を再放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	20：00～21：30 24：00～25：30	10.17横浜文化体育館でのみちのくプロレス＆バトラーツ合同興行『兄弟愛♥～横浜純情編～』Part2を放送（PPV有料放送）
11/4（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14：00～15：30	11/3と同内容
	GAORA	格闘伝説ムエタイ	18：00～19：00	11/2と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト	19：00～20：00 23：00～24：00	95.6.3ベルギー・アントワープで開催された『ケージファイトトーナメント1』からボブ・シュライバーvsエド・デ・クライフほか全5試合を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	20：00～21：30 24：00～25：30	10.6に東京・北沢タウンホールで開催の修斗『Shooter's Ambition』大会の模様を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22：00～23：00 26：30～27：30	10/28を参照
	フジテレビ	SRS	25：20～25：50	⬅P77
11/5（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7：00～ 8：00 12：00～13：00	10/28を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14：00～15：30	11/4　20：00～と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	闘いのワンダーランド	17：00～18：00	髙田延彦編　髙田延彦vs山崎一夫、髙田延彦vs越中詩郎（いずれもトップ・オブ・ザ・スーパージュニア公式戦）を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト	18：00～19：00	11/4と同内容
	SKY sports 3	ブラジル格闘技'99　VT	23：00～24：00 27：00～28：00	10/29と同内容
11/6（土）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14：00～15：30	11/3と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	16：00～17：30	10/31　20：00～と同内容
	SKY sports 3	ムエタイ	19：00～20：00 26：00～27：00	10/30を参照
	テレビ朝日	リングの魂	24：40～25：11	今回も人気番組のパロディ企画『かけられず嫌い王選手権』を放送。レスラーに技をかけてもらい、どの技がリアクション的に“おいしくないか”を推理する。技をかけられるのはもちろん、リアクション芸人の上島竜兵と出川哲朗

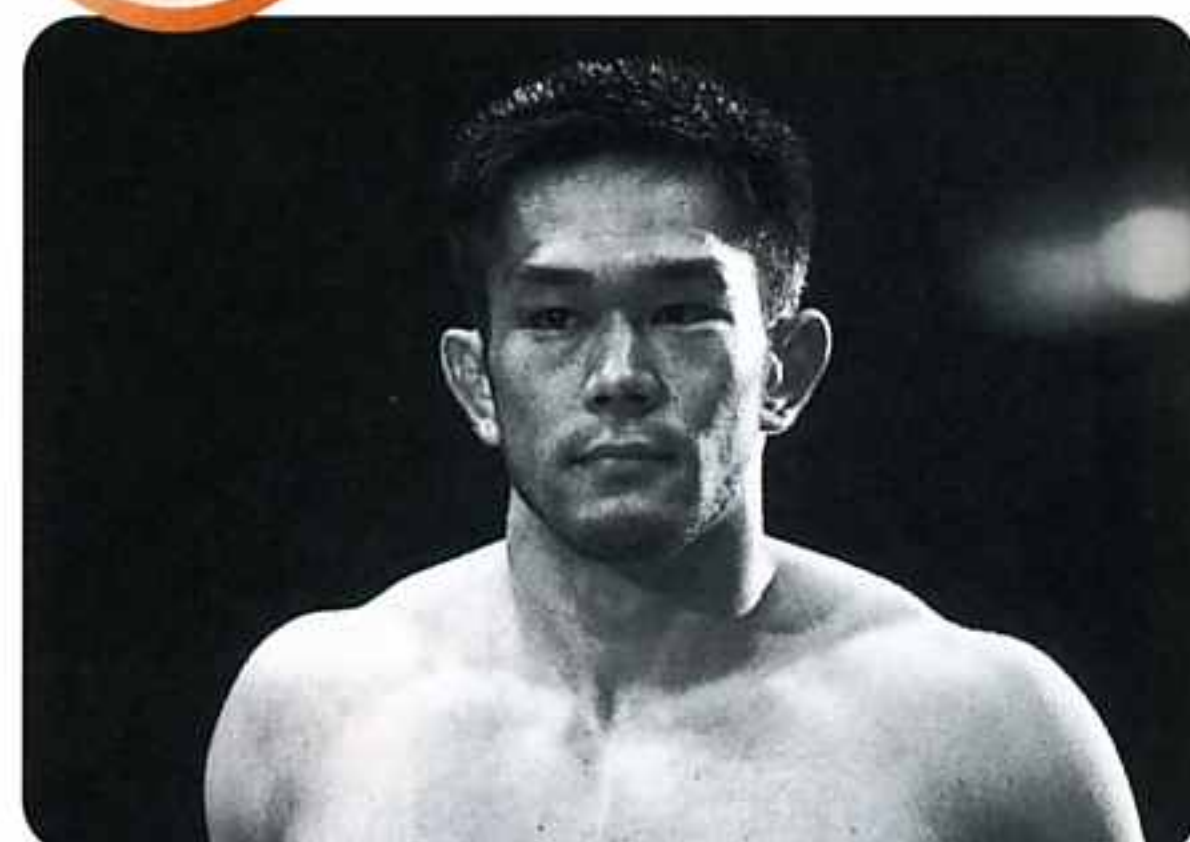
ON THE AIR 10/28～11/11

格闘技番組ガイド TV&RADIO

Pick Up 1
『プロ野球ニュース』
〈極真世界大会直前情報〉
フジテレビ 11月1日（月）～11月6日（土）
/23:40～24:10（月～金）、24:40～25:10（土）
※放送時間は変更になる場合があります

『プロ野球ニュース』の中の1コーナーとして、11月5日（金）～7日（日）に開催される極真会館（松井派）世界大会の直前レポートが放送される予定だ。自身も極真の門下生である長嶋一茂が、数見肇、野地竜太といった日本期待の選手や、今大会で最大の脅威となるブラジル勢に体当り取材を敢行する。4年に一度の大一番を控え、日増しに高まる選手たちの熱気と緊張感を、連日目のあたりにすることができる。

Pick Up 2
『リングス1999』
〈10.28 RISE 6th〉
WOWOW
10月31日（日）/18:00～19:55

かつてない規模と、高額の賞金付きで開催される、リングスの『ワールドメガバトルオープントーナメント』。そのAブロック1、2回戦の模様をオンエアする。山本宜久vsブラッド・コーラーなど、“リングスvsVTの強豪”といった対戦が数多く見られるこのトーナメント。前田日明は「ジャパン勢全滅もある」と語るが、果たして…。また、この大会からリングス参戦を果たす、現コマンドサンボ王者のアフメット・ラバザノフにも注目だ。

Pick Up 3
『バトルステーション』
〈修斗10.29
大阪・なみはやドーム大会〉
FIGHTING TV SUMURAI!
11月11日（木）/20:00～21:30ほか

大阪では久々のプロ興行となる、10.29『修斗 the Renaxis 1999 in OSAKA』なみはやドーム大会を中継。大阪での大会ということで、須田匡昇をはじめとする関西のシューターが多数、参戦するこの大会だが、メインを務めるのは、やはり修斗のエース・佐藤ルミナだ。待ちに待った復帰戦となるこの試合、ルミナらしい鮮やかなファイトぶりが期待される。当日、会場で観戦できないファンも、ルミナの雄姿をテレビでしっかりチェック！

TV （右ページから続く）

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
11/7（日）	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26：10～27：40	10.17神戸ワールド記念ホール大会の模様を放送
	SKY sports 3	ブラジル格闘技'99 VT	27：00～28：00	10/29と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	9：00～10：30	11/4 20：00～と同内容
	SKY sports 3	ムエタイ	10：00～11：00	10/30を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト	11：00～12：00	11/4と同内容
	フジテレビ系	第7回全世界空手道選手権大会	23：45～25：15	⬅P77
	日本テレビ	全日本プロレス中継30	25：30～26：00	10.30に行われた日本武道館大会から、ノーフィアー（大森＆高山組）vsバーニング（小橋＆秋山組）のタッグマッチを放送
11/8（月）	TBSテレビ	東京フレンドパーク	19：00～20：00	アンディ・フグと角田信朗が出演
	日本テレビ	超K-1宣言	25：45～26：15	内容未定
11/9（火）	GAORA	格闘伝説ムエタイ	17：00～18：00	コチャサーン・シンクローンシーvsエーガサヤーム・チョークアヌシット戦ほか
	GAORA	パンクラッシュ！ PANCRASE	18：00～20：00	9.18東京ベイNKホールで行われた『キング・オブ・パンクラスタイトルマッチ』の模様を放送
11/10（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトステ・アンコール	14：00～15：30	99.2.21MA日本キックボクシング連盟後楽園ホール大会の模様を再放送
	GAORA	全日本キックボクシング	18：00～20：00	10/28と同内容
11/11（木）	GAORA	PANCRASE DAYS	18：00～20：00	10/31と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト	19：00～20：00 23：00～24：00	98.2.14ロシア・サンクトペテルスブルグで開催された『ミックスファイトトーナメント2』Part1を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	20：00～21：30 24：00～25：30	⬅Pick Up③
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22：00～23：00 26：30～27：30	10/28を参照
	フジテレビ	SRS	25：20～25：50	

※BS、CS放送は加入しないと視聴できません。加入のお申し込みに関するお問い合わせは下記までご連絡下さい。

■スカイパーフェクTV！
☎0570-039-888 ☎03-5802-5550
(9:00～21:00)

■ディレク・ティービー
☎044-862-0011
(9:00～21:00)

■GAORA
〔スカイパーフェクTV！/ディレク・ティービー〕
☎03-5280-1104/06-6374-0002
（月～金 10:00～18:00）

■スポーツ・アイ-ESPN
〔スカイパーフェクTV！/ディレク・ティービー〕
☎03-5474-3344
（月～金 10:00～18:00）

■FIGHTING TV SAMURAI！
〔スカイパーフェクTV！/ディレク・ティービー〕
☎03-5351-4055
(12:00～20:00)

■フジテレビ721＆739
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5550-8888

■SKY SPORTS 1&SKY SPORTS 3
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-3488

■ディレクTVボクシング
〔ディレク・ティービー〕
☎044-862-0011（9:00～21:00）

■J-SPORTS
〔スカイパーフェクTV！/ディレク・ティービー〕
☎0120-197-520
(9:00～20:00)

■WOWOW
☎0570-008-080
(9:00～20:00)

BOOK
話題の本＆新刊情報

〈話題の一冊〉

『武道通信　七ノ巻』
杉山頴男事務所
1,000円（税込）/発売中

前田日明"編集長"が、論客・福田和也、小林よしのりとの真剣勝負に挑む

リングスCEO・前田日明が編集長を務め、"人は何のために闘うか？　たとえ敗れるとわかっても闘うべき、守るものとは何か？"をテーマとするこの雑誌では、毎号、前田と、様々な論客たちとの対談が収録されている。今回の編集長対談に登場するのは、現在、最も注目されている若手評論家の福田和也。二人の憂国の士が語る、日本人の魂の在りかとは――。また、前田の『新しい歴史教科書を作る会』への問題提起に対する、小林よしのりからの批判文『前田日明への返答』も掲載されており、今後の展開が注目される。

PRESENT!
今回このコーナーで紹介した『武道通信　七ノ巻』を、『SRS・DX』5名様にプレゼント！　希望者はハガキに住所、氏名、年齢、職業、電話番号、今号の感想を明記して下記までご応募を。締め切りは11月8日（月）の消印有効。

◆あて先/〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F
SRS・DX編集部『武道通信』係

〈新刊紹介〉

『アウト・オブ・USSR～"天国"からの脱出』
ジャック・サンダレスク著
稲垣收・訳
小学館
本体価格2,000円/11月1日発売

極真の伝説的人物が綴るその数奇な半生に驚愕！

極真会館の伝説的人物で、『空手バカ一代』にも登場している、ジャック・サンダレスク。実はマンガ以上に劇的な人生を歩んできた人物なのである。本書には、サンダレスクの青年時代。ソ連軍の捕虜としての抑留生活と、そこからの命からがらの脱出が迫力たっぷりに描かれている。また、日本版には、新たに書き下ろした大山倍達とのNYでの生活や、当時の貴重な写真も多数、収録されており、極真ファンならずとも必読だ。

〈おすすめの一冊〉

『強くて淋しい男たち』
永沢光雄著
筑摩書房
本体価格1,800円/発売中

通好みな人選が素晴しすぎるスポーツ選手へのインタビュー集

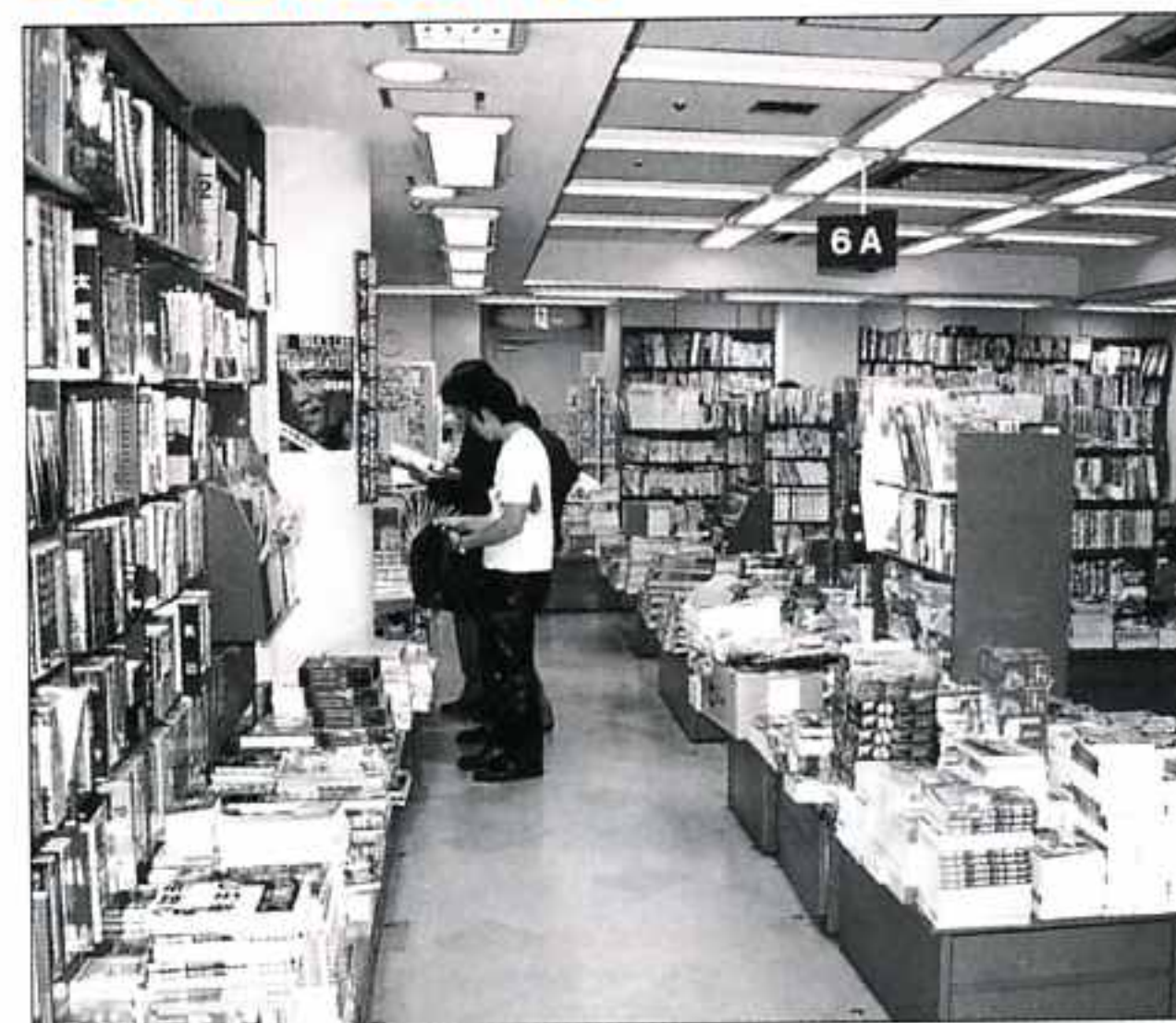
『AV女優』で話題となった、気鋭のルポライター・永沢光雄が、過去に様々な雑誌で発表した、スポーツ選手へのインタビューを収めた一冊。2月の発売以来、高い評価を集めている。なにより素晴しいのがその人選で、FMWで活躍した上田勝次や、渕正信、木村健悟、プロ野球でも金村義明や愛甲猛など、かなり通好みなメンバーが揃っており、それだけに興味深い。彼らのプロとしての誇りと、その裏にある哀しみが、独特の手法で綴られている。

BOOK RANKING（9/22～10/6調べ）

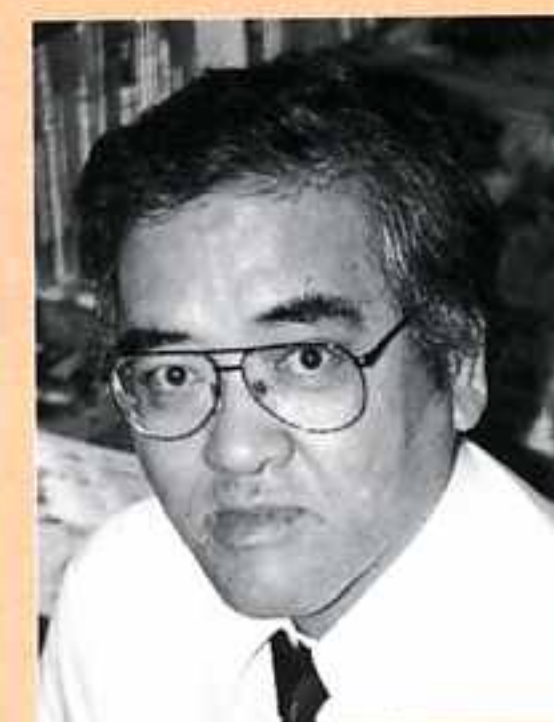
1. 『自分の頭と身体で考える』 養老猛司・甲野善紀著/PHP研究所 本体価格1,400円
2. 『不二流体術』 田中光四郎著/壮神社 本体価格5,000円
3. 『実戦格闘技論』 小島一志著/ナツメ社 本体価格1,500円
4. 『ザ・格闘家』 光文社 本体価格1,200円
5. 『格闘技』 森永製菓株式会社健康事業部 本体価格2,667円

1位 『自分の頭と身体で考える』
『カラダ』の専門家にして異端、注目のコンビによる対論が1位に

解剖学の権威にして、異端。『紙のプロレス』誌上でのインタビューや前田日明との対談も印象深い養老猛司氏と、異色の武術研究家・甲野善紀氏。熱心な読者を持つ二人の対論が、今回の1位となった。独自の論理や語り口は、読んでいて思わず引き込まれること受け合い。解剖学と古武術、それぞれの視点から見た日本社会の姿とは――。

書泉ブックタワー
東京都千代田区神田佐久間町1-11-1
☎03-5296-0051（代）

▲ランキングにご協力いただいている『書泉ブックタワー』の店内。6Fのプロレス、武道、格闘技のコーナーは、充実した品揃えだ

書泉ブックタワー 後藤　実副主任
「最近はやはり、トレーニング関連など、格闘技をやる人のための書籍が好評ですね。スポーツの秋ということもあって、今後も売れ行きが伸びそうです。また、世界大会を控え、極真の本も多数、出版されています」

GOODS
懐かしキャラのフィギュアがランキング登場

〈おすすめグッズ〉 Recommend!!

『修斗 ENZO Tシャツ』
4,000円 発売中

『大和魂』シリーズの新作が発売
エンセンがモデルのコミックキャラをデザイン

『大和魂』Tシャツに、またもや新作が登場！ 今回は、『週刊ヤングジャンプ』に連載中の人気マンガ『タフ』（猿渡哲也作）に登場するキャラクター、エンゾがデザインされている。このエンゾ、実はエンセンをモデルにしたキャラで、マンガの中でもかなりの人気とか。

〈新作紹介〉 It's HOT!

『黒澤道場 THE SPIRIT OF FAITH Tシャツ』
3,500円 発売中

奇蹟の復活をとげた“格闘マシーン”
黒澤浩樹のTシャツで男を磨け！

強烈無比な下段蹴りで空手界を席巻、“格闘マシーン”“ニホンオオカミ”などの異名を持つ黒澤浩樹。7月の『PRIDE.6』での、奇蹟の復活劇も感動を呼んだ。そんな“男の生き様”を激しく感じさせる黒澤のオリジナルTシャツは、やはりハードでカッコいいデザインに仕上がっている。このTシャツを着て、君も男を磨け！

ワールドスポーツプラザKINGS
河田規郎店長

「待望の格闘技のトレーナー、パーカーが続々入荷中です。エンセン井上の『男で生きたい』パーカー（7,000円）など、多数取り揃えております。ほかにも、『PRIDE.8』に向け、グレイシーグッズも充実しています」

ワールドスポーツプラザKINGS
東京都渋谷区神南1-9-5ワールドスポーツプラザWEST 1F（渋谷消防署前）
☎03-3462-1001 通信販売受付 ☎03-3462-7775
営業時間/11:00～20:00 通信販売受付/11:00～19:00

GOODS RANKING（9/22～10/6調べ）

1. **キャラクターヒーローズ**
エポック社/各900円
2. **浪速シューターTシャツ**
修斗/3,500円
3. **K-1 '99選手ロゴTシャツピーター・アーツ666バージョン**
K-1/3,000円
4. **ファッカイTシャツ**
修斗/3,000円
5. **オーチャンTシャツ**
UFO/3,500円

1位

あの『タイガーマスク』が2頭身フィギュアに

今回の1位は、懐かしのアニメ『タイガーマスク』のデフォルメフィギュアシリーズ。写真のタイガーマスク、グレートゼブラ（実は馬場。バレバレ）のほかにも、ミスターXや赤き死の仮面もあるぞ。

Et cetra

極真会館（松井派）世界大会最新情報 チケット完売続出！ 当日券は9:30より発売

◎11月5日（金）～7日（日）に開催される極真会館（松井派）世界大会のチケットは、売れ行き好調で、現在、下記の席種が完売となっている。残りわずかなプラチナチケットを、今すぐゲットせよ！

［完売した席種］
SS席（3日間とも）、S席（7日）、A席（7日）、B席（7日）なお、当日券は3日間とも9:30より発売される。7日のチケットは、混雑が予想されるため一人一枚までの購入となるのでご注意を。

◎10月18日（月）～11月1日（月）まで、山手線の一編成（1両目～11両目）を極真がジャック！なんと、車内の広告のすべてが極真のものとなる。しかも、備え付けのモニターでは過去の試合の一本勝ちのシーンが映し出される。この、"極真列車"は、山手線の外回りを一日13周しているので、何度でも乗るべし！それが極真魂ってもんです。

PRESENT!

大会を目前に控え、盛り上がりまくっているこの大会のチケット（初日と2日目のB席）を、『SRS・DX』読者各10名様にプレゼントします！ 希望者は住所、氏名、年齢、職業、電話番号と今号の感想、世界大会で優勝して欲しい選手の名前を明記して、下記までお送り下さい。

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12神田NSビル8F
『SRS・DX極真チケット』係
〈締切は11月1日（月）必着〉

ビデオ『K-1 GIRLS'99 Colors』待望のリリース！

本誌で撮影の様子をレポートしてからというもの、読者からの問い合わせが殺到した、ビデオ『K-1 GIRLS'99 Colors』が、10月22日（金）に発売された。6人のK-1ガールズそれぞれのオリジナル・カラー（個性・魅力）をテーマにしたこのビデオ。お約束のシャワーシーン、水着姿から、ホクロやマツ毛まで収録した超接写映像など、セクシーショット＆衝撃シーン満載の、まさに全男子垂涎の傑作に仕上がっているぞ。

K-1 GIRLS'99 Colors

販売：ソニー・ピクチャーズエンタテインメント
45分/3,800円（税別）

トークイベント『PRIDEとは何か？』第2弾開催決定

9月にも行われ、大好評だったトークイベントの第2弾『PRIDEとは何か？Ⅱ』の開催が決定！ DSEの森下直人社長をはじめ、『紙のプロレスRADICAL』の山口日昇編集長、谷川貞治本誌編集長、そしてこのイベントの仕掛人であり、自身のプロレスカードも制作されるなど絶好調の島田裕二レフェリーが参加する。『PRIDE.8』の見所や、『プライド』シリーズにまつわる噂の真相を、森下社長がズバリお答え！ また、当日は『プライド』グッズなどが当たる抽選会も予定されているぞ。

◆日時/11月4日（木）18:30開場、19:00開始
◆会場/渋谷ロックウェスト
◆料金/無料 ※1ドリンク以上のオーダーが必要
◆お問い合わせ/渋谷ロックウェスト☎03-5459-7988、バトラーツ☎0489-63-0005

『プロレス＝格闘技トークライブPartⅡ』にエンセン井上が登場！

本誌でも絶賛執筆中のライター・"Show"大谷泰顕が司会を務める『プロレス＝格闘技トークライブPartⅡ』が、11月3日（水・祝）、18:30より（開場17:30）、東京・渋谷のロックウェストで開催される。ゲストはエンセン井上と、本誌編集長・サダハルンバ谷川。『PRIDE.8』での大一番、マーク・ケアー戦を控えたエンセンの過激なトークに期待！ Showの『バッチリな質問』にはもっと期待!?

◆料金/前売り1,800円、当日2,000円 ※ワンドリンク付き
◆チケット発売所/渋谷ロックウェスト（渋谷駅より徒歩7分、東急ハンズ前）
◆お問い合わせ/渋谷ロックウェスト☎03-5459-7988、メディアワークス「オルタブックス編集部」星野☎03-5281-5248

マーク・ケアーがバーリ・トゥードセミナー開催

"霊長類ヒト科最強の男"マーク・ケアーが、バーリ・トゥードの極意を伝授するセミナーを開催する。VT界でも最高レベルの肉体とパワー、そしてレスリングのテクニックに裏打ちされたその実力を間近で感じよう！ もしかしたら、エンセン戦の秘策が聞けたりするかも？？

◆日時/11月14日（日） 14:00～
◆会場/高田道場（東京都大田区池上4-27-13）
◆定員/100名
◆申し込み、お問い合わせ/高田道場☎03-3755-1444

新日本キック協会12.5後楽園大会チケットプレゼント

12月5日（日）に行われる、新日本キックボクシング協会の後楽園ホール大会『KICK GENERATION』に、『SRS・DX』読者10組20名様をご招待！王座奪回を狙う元・日本バンタム級チャンピオン、蔦謙介がメインに登場する、注目の大会だ。希望者は住所、氏名、年齢、職業、電話番号と今号の感想、今後のキック界に期待することを明記して、下記のあて先まで応募を。

〒101-0054東京都千代田区神田錦町3-14-12神田NSビル8F
『SRS・DX新日本キック・チケット』係〈締切は11月8日（月）消印有効〉

Goods & Ticket

イエローページ

チャンピオン 西田ビル6F
〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-8-1西田ビル6F
☎03-3221-6237
年中無休 営業時間11:00～22:20

レッスル渋谷 南口徒歩4分 第2野々ビル3F（1F茜屋）
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-17-2第2野々ビル
☎03-3464-0078
営業時間（平日）10:00～19:00（日祝）10:00～18:00

レッスル池袋 豊島区区役所真向かい 池袋陽光ハイツ3F（1Fうどん屋）
〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-36-3池袋陽光ハイツ306
☎03-3989-0056
営業時間（平日）10:00～19:00（日祝）10:00～18:00

板橋大山アメリカン
〒173-0014 東京都板橋区大山東町24-11
☎03-3962-6443
年中無休 営業時間（平日）10:00～20:00

書泉グランデ / 書泉ブックマート
〒101-0051 東京都千代田区神保町1-21-6（書泉ブックマート）
☎03-3294-0011
営業時間（平日）10:30～19:00（日祝）10:30～18:30

プロレス・マニア館 ラーメン屋の3F
〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-7-14 たかのビル3F
☎03-5276-0304
営業時間（平日）12:00～21:30（日祝）11:00～21:30

アイドール 加藤ビル4F
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-1-3 加藤ビル4F
☎03-3371-5211
毎週月曜日定休 営業時間 11:00～19:00

ファイター 都営地下鉄新宿線・丸の内線「新宿3丁目」駅C4出口より徒歩1分
〒160-0022 東京都新宿区新宿3-3-9-B1
☎03-3354-1903
毎月第3水曜日定休 営業時間 11:00～19:00

フィットネスショップ格闘技 寺本ビル2F
〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-6-13 寺本ビル2F
☎0120-4646-81

横浜AOコーナー YOKOHAMA AO CORNER
〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島2-8-5 篠崎ビル2F
☎045-440-3355 毎週月曜日定休 営業時間（火～土）14:00～19:00（日祝）12:00～18:00

■主要チケット発売所一覧

発売所	電話
チケットぴあ	☎03-5237-9999
チケットセゾン	☎03-3250-9999
ローソンチケット	☎03-3569-9900
CNプレイガイド	☎03-5802-9999
オデッセー	☎03-3408-0331
渋谷東急文化チケットセンター	☎03-3406-1513
レッスル渋谷店	☎03-3464-0078
レッスル池袋店	☎03-3989-0056
板橋大山アメリカン	☎03-3962-6443
チャンピオン	☎03-3221-6237
書泉ブックマート	☎03-3294-0011
後楽園ホール	☎03-5800-9999

星座別 タロット占い

10/28 Thu. 〜 11/10 Wed.

宇月田麿凛慧
marie utsukida

プロフィール　フォーチュンクリエーターとして、ハッピネスファクトリーを主宰。独自の占術「ダ・マーヤー占星術」を中心にタロットカード西洋占星術、四柱推命などオールマイティな占いを使う。極真世界王者の八巻建弐(現ホリプロ所属、俳優)のプロデュースも手掛けた。現在、雑誌・映像などで活躍中。
URL http://www.happiness-f.com/

牡羊座 3/21〜4/20

全体運　好調期に突入。今まで弊害になっていた物や、越えられなかった壁を乗り越えられるとき。いくらトレーニングしてもできなかった技が、ちょっとした拍子に会得出来たり、決まらなかった仕事が、突然決まったりしそう。ちょっとしたヒントで、大きな成果を得られるチャンス。恋愛では思い切った作戦が相手の心を動かしそう。

勝負運　勝利の女神が微笑んでいる。大技を狙って！

健康運　性病などの生殖器系の病気に注意したいとき。

金　運　気になっていた借金を返済できそう。

ラッキーアイテム：**雑学書**

ラッキーカラー：**グレイ**

牡牛座 4/21〜5/21

全体運　ゆったりとした気持ちになれるとき。自然と周囲の人に優しくなれたり、気遣いが出来るので、日頃疎遠な人達とのコミュニケーションをとるにはグッドチャンス。特に目上の女性を味方にしておくと、将来サポートしてくれそうな暗示。恋愛ではシングルは仲間の中に恋人候補が。さりげないトークで魅力を発揮させるとグッド。

勝負運　相手の動きが見えるとき。スキを狙って！

健康運　贅沢＆脂っぽい食事で少々体重オーバー。

金　運　目上の女性がご馳走してくれそうな予感。

ラッキーアイテム：**リング**

ラッキーカラー：**ブルー**

双子座 5/22〜6/21

全体運　スポーツの秋。勝敗を気にしない趣味的なスポーツをエンジョイして。サークル的なノリで、仲間と紅葉が美しいスポットに繰り出してみよう。心身共にリフレッシュできるハズ！　恋愛では前半に焦るとダメ！　最後にタイプの人が現れるか、関係を急ぎ過ぎたために嫌われてしまう可能性が。誠意を示すことがポイント。

勝負運　自信かないままの勝負は決まりづらいかも。

健康運　ストレスを感じるようなことは避けて。

金　運　秋の行楽シーズン。多少の出費は諦めて。

ラッキーアイテム：**ダイレクトメール**

ラッキーカラー：**ベージュ**

蟹座 6/22〜7/23

全体運　対戦カード待ちだった人は相応しい相手が決まるとき。油断したり、過剰に緊張をしては、相手のペースに巻き込まれ負けるか、勝負なしになる可能性が。適度な緊張感で臨むとグッド。不安な気持ちはベストパートナーがアシストしてくれそう。恋愛は恋人候補はいるもののゲットは難しいとき。ペアは不安材料が出てきそう。

勝負運　逆転される恐れが。最後まで手を抜かないで。

健康運　好調と思っても急に風邪をひいたりしそう。

金　運　証券会社の貯蓄プランをするとグッド。

ラッキーアイテム：**右手**

ラッキーカラー：**ボルドー**

魚座 2/20〜3/20

全体運　ノリが良いとき。仲間とカラオケに行ったり、居酒屋で騒いだり、楽しいことを連発したくなりそう。試合や審査がないときには、たまにはハメをハズして、思い切りリフレッシュしてもOK！　恋愛では、そんなスポットで隣に居合わせたグループと意気投合して、カップリングの期待。すぐに深い関係になっちゃいそう。

勝負運　勝敗意識が薄れるものの勝運の方が強いとき。

健康運　避妊グッズはいつでも持っていた方がよいかも。

金　運　飲んで歌えば出費するのは当たり前。

ラッキーアイテム：**ワイン**

ラッキーカラー：**モスグリーン**

水瓶座 1/21〜2/19

全体運　比較的安定した運気。前半は絶好調で、母親など年配の女性がグッドなアシストをしてくれそう。また、レギュラーや出場選手の選抜にギリギリセーフで選抜されたりと、ラッキーハプニングの予感も。でも怠けると厳しい現実が待っているので気を抜かないで。恋愛は、恋人に昔の恋人の写真などを発見される心配があり。

勝負運　粘り強さは前半まで。前半に勝負を賭けて。

健康運　下半身にケガしやすそう。関節技には要注意。

金　運　CD、ビデオレンタルに凝ってちょっと出費。

ラッキーアイテム：**ウエスタングッズ**

ラッキーカラー：**ブラウン**

獅子座 7/24〜8/23

全体運　満天に輝く星が美しく感じられるとき。運気は好調期に入り、プラン通りに進行してまずは順調。あなたの強い意志とビジョンが原因で、周囲も賛同してくれる様子。出会いのスポットはお酒の場。夜のムードとほろ酔い気分も手伝って恋に酔いしれそう。ペアも新たな出会いから恋愛に進展しそう。現恋人とは危険信号の暗示。

勝負運　華麗な展開の後、泥仕合の末、勝利あり。

健康運　パワーはあるけどお酒の飲み過ぎには注意。

金　運　秋冬物のファッションを購入して出費。

ラッキーアイテム：**栄養補給ドリンク**

ラッキーカラー：**イエロー**

乙女座 8/24〜9/23

全体運　全体的に好調なとき。賞金が出るような大会やちょっとしたギャンブルで、運試しをしてみては？　後半からギャンブル運はダウンするので、堅実思考に切り替えて。恋愛は愛情よりお金を意識した恋愛に。そんな恋路を先輩に反対されたり、妨害されたりする可能性が。恋人と別れるか、周囲を味方につけるか、あなた次第？

勝負運　お金が懸かると勝負運はアップ。

健康運　運動神経がアップ。レベルアップを目指して。

金　運　ギャンブル運があるのでチャレンジしてみて！

ラッキーアイテム：**携帯電話**

ラッキーカラー：**オフホワイト**

山羊座 12/23〜1/20

全体運　マニュアルに拘り過ぎの傾向。ときには教科書から離れて、応用を活かしていかないとカチコチの頭脳と技作りになってしまいそう。研究心を持って、オリジナルのアレンジを加えるとグッド。勝運がアップするハズ！　遠距離恋愛をしている人は、うまくコミュニケーションがとれないとき。恋人とこまめに電話やメールを。

勝負運　レベルアップをしていれば勝運はあり。

健康運　薬の副作用が。なるべくなら栄養剤で補って。

金　運　余裕のお金は定期外貨預金をするとグッド。

ラッキーアイテム：**コイン**

ラッキーカラー：**グレイ**

射手座 11/23〜12/22

全体運　目的意識が明確になるとき。意識レベルではイケそうだけど、体が付いてこないのが現実。ジックリと構えていこう。恋愛は、楽しいはずなのになぜか疲れる環境を自ら作っていそう。見栄や体裁を取り繕い、高級レストランに行くよりも、ナチュラルなあなたで。お金のないときにはムリせず、居酒屋でも行けばスッキリしそう。

勝負運　イメージングだけはOK。勝負はまだまだ先。

健康運　健康状態は良くないので体と相談して行動を。

金　運　必要不可欠な物が多くなり経費で消えそう。

ラッキーアイテム：**時計**

ラッキーカラー：**ネイビーブルー**

蠍座 10/24〜11/22

全体運　体力ダウンと裏切りに注意。パートナーがあなたの悪口を言っていたり、裏切り行為が発覚。信頼を取り戻すか、パートナーとの縁を切ってしまうかは自由だけど、あなたにも原因があることを悟って。恋人とはお互いに魅力や色気を感じないで、マンネリした関係になっていきそう。フェロモンを意識してみるとグッド。

勝負運　勝利の可能性は少ないとき。瞬発性に賭けて。

健康運　体調ダウン。疲れたらゆっくり睡眠をとって。

金　運　余裕のお金で保険契約をするとグッド。

ラッキーアイテム：**グラス**

ラッキーカラー：**ブラック**

天秤座 9/24〜10/23

全体運　キチっとした生活習慣を心掛けたいとき。生活のリズムが狂いがちなので、1日のスケジュール表を作って実行するとグッド。意外にロスタイムがあることに気付くハズ！　オフタイムには恋人とテーマパークなどに行ってリフレッシュすると愛を深められて一挙両得。でも恋人に夢中になり過ぎは、生活の弊害になる場合も。

勝負運　集中力がダウン。シャキッとしていこう。

健康運　遊びと不規則な生活を避けないと体調ダウン。

金　運　レベルの低い遊びにハマり浪費しそうな予感。

ラッキーアイテム：**帽子**

ラッキーカラー：**イエローグリーン**

一撃コラム 連載第9回

会社を辞めて改めて知ったのは、世間の格闘技に対する偏見だった

ベースボール・マガジン社の格通を辞めた私は、しばらくの休養をとる間もなく、三井物産が推し進めていた格闘技専門チャンネル「サムライ」の立ち上げに参加することにした。

もちろん私ひとりでできるわけがない。「サムライ」には実に多くの業界メンバーが集まってきた。

しかし、「サムライ」に来て一番味わったのは、一般世間の格闘技に対する偏見だった。特に「プロレス」という4文字に対するアレルギーがこんなにあることは、ベースボール・マガジン社を辞めて初めて知ったことだ。

ビジネス的には、プロレス・格闘技に対する興味は持っている。しかし、根本的な部分で、「こんなもののどこがそんなに面白いんだ」という態度を世間は必ず持っている。格闘技に関しては、いまだにヤクザとのつながりがあるのではないかと、そういう目で見ているのだ。もちろん、私は15年近く格闘技の人と付き合っているが、いまだに一度もヤクザに脅されたことはない。格闘技というだけで、そんなイメージがあるのだ。

CS衛星放送という新しいメディアの誕生で、格闘技専門チャンネルを作るということは、そうした世間との闘いでもあった。なにせ、「やろう」と決めたのに三井物産内でも稟議が下りない。一緒にやろうとしている人達でさえ、本質的には味方ではないのである。

これは今のフジテレビの格闘技委員会でも同じような苦労が常にあると聞いている。フジテレビがK―1や極真空手といった格闘技ソフトを、なんの問題もなく広めていこうとしているかと言えばそうではない。フジの格闘技委員会の社内調整という根回しがあって、世間の偏見をひとつずつ取り除いている努力があるから、成り立っているのである。K―1に大手スポンサーがつくようになったのも、こうした偏見と闘う姿勢があって勝ち取ったものなのだ。

こうした世間の偏見と闘うには、まずどんな形でもスタートさせ、実績で黙らせるしかない。偏見のある人は、大抵の場合、格闘技というジャンルを知らないし、理解しようとする気持ちもない人が多い。そういう人達を納得させ、黙らせるのは実績しかないのである。

これは週プロが証明してくれたことだ。もちろん、ベースボール・マガジン社の中でも、プロレスに対する偏見は強かったが、週プロはドル箱になっていたため誰も編集方針には文句を言わなかった。K―1もそうだろう。K―1に対する偏見は、世間だけでなく同じ格闘技業界にもあった。しかし、石井館長が実績を重ねることで、誰も文句は言わなくなったのである。

プロレスや格闘技は、常にそういう宿命を背負ったジャンルである。その偏見と闘う姿勢がないと成り立たないのだ。

「サムライ」で私たちが相手にしなければならなかったのは、そういう世間のオジサンたちだった。まず彼らを納得させる事業計画を作らなければならない。そこに説得力を十分持たさなければならない。そして、その事業計画に対する実績を作ることだ。

我々が立てたプランは、月2500円の視聴料金を取って、加入者が7万人集まればペイできるという計算だった。これは3年前の専門誌の売れ行きを考えれば実際に手応えを感じる数字である。決して無理もしていない。そのために何をすればいいかも、すでに経験している。

月2500円という料金は、専門誌を毎週買う金額よりも安い。東スポを1カ月買い続ける金額よりも安い。それで24時間映像で見られるのだから、それを求めるファンは10万人以上は確実にいる。ベースボール・マガジン社でも経験したが、他のスポーツよりプロレス・格闘技は専門チャンネルのキラーコンテンツと成りうる可能性をもっていた。

我々が作ったこのプランで、三井物産でもようやく稟議が下りた。そうして、「サムライ」を放送するグローバル衛星放送という会社も立ち上がり、我々も本格的にそこに参加することを決め、社員募集も行うようになった。その頃は、本当に誰もが夢を抱いて燃えていた。

ところが、いざ会社が始まると、経営陣は当然のことながら意欲が湧いてくる。そうなると、ついこの間までプロレス・格闘技に何も理解がなかった人達が、自分で判断しようとし始めた。

たとえば、そういう人達が「今後、WARは魅力的なソフトになるんだろうか」とか「キックボクシングはどこの団体がいいんだろう？」「極真は松井派か、大山派か？」と考え出したら、どういうことになるだろう。我々はその度に説明し、意見を闘わさなければならない。

当然、経営者なら心配もするだろうが、逆に業界内を体験した者でなければ、わからないのがこのジャンルの厄介なところである。ソフトの取捨選択が、すべての鍵を握ると言っても過言ではないのだ。

正直に言うと、専門家にまかせて寝ていてくれる経営者だったら、このジャンルは絶対にうまくいくだろう。それで1年か2年、やらせてみてうまくいかなかったら、切ればいい。そういう腹がないと、うまくいかないのがこの業界の特殊なところだ。

実際、ベースボール・マガジン社の会長も社長も、1度も編集に対する口は挟まなかった。「売り上げが落ちたら切りますよ」という姿勢で、あとはまかせてくれた。フジテレビの格闘技委員会にしても、うまくいっているのは、社内で格闘技に対する情熱のある人を集め、社外ブレーンもしっかり置いているからだ。その難しさを私は「サムライ」で痛感した。

▶サムライの開局時に行った24時間テレビでは、なんと猪木さんと古舘伊知朗が出演してくれた

U-NETの新エース、増田&五十嵐

まるで、敗者のような口調だった。メインイベントで見事に勝利

日本キック連盟

'99躍進シリーズ

10.16★後楽園ホール

〝童顔の壊し屋〟大塚一也、中島稔倫との王者対決で本領発揮できず…

大塚劇場・最終回？ 否！ これは予告編にすぎない

大塚のコメント

「（判定の結果は）まったく分かりませんでした。勝った気もしないし、負けた気もしないし。中島選手は、あのスタイルで徹底してましたね。弱みを見せるもんなんですけど。勉強になりましたね、そういう意味では。向こうがやってくれるなら、もう一回やりたいです。次は向こう、（NJKF）のリングでもいいです」

中島のコメント

「ラモン・デッカーとタイ人の試合のビデオを見て、そんなイメージで闘いました。左のミドルでリズムを取ろうと。腰をケガして、練習ができなかったから、その分大塚選手の遅いリズムに合った。調子が良かったら逆に勝てなかったかもしれないです。王者対決はもういいでしょう。後味の悪い結果になるし」

破壊力抜群のパンチを持つ大塚だが、中島に攻撃を阻まれてしまう。ラウンドを重ねるにつれ、大塚の顔には焦りの色が——

★第8試合（日本キック連盟・NJKF交流戦／3分5R）

△ 大塚一也（ドロー）中島稔倫 △
（渡辺ジム） 5R判定0-1 （大和ジム）

▶一度は勝利を告げられた中島だが、ジャッジは一転してドローに。中島はブ然とした表情を見せ、場内からは激しいブーイングが起こった

▼セミファイナルでは、佐藤ツヨシが杉木応臣と対戦。2Rにダウンを奪われた佐藤だが、3Rに左フックで大逆転のKO勝利を収めた

▲大塚の強力な右が中島の顔面をかすめる。もし連打を許していたら、中島も危なかった

▲小気味いい左ミドルを連発して、中島は大塚のパンチを寸断した

試合の後味は、決していいものではなかった。日本キック連盟の大塚一也と、ニュージャパンキックの中島稔倫によるフェザー級チャンピオン対決。ジャッジの裁定はドローだったのだが、運営側の不手際で中島の勝利とコールされたのだ。リングアナがあわてて訂正のアナウンスをしたが、その時、中島はトロフィーを手にリングを下りようとするところだった。

騒然とする後楽園ホール。セミの試合では、レフェリーが明らかなダウンを見逃し、しかもダウンを奪った側の選手に向かってダウンカウントを数えるという最悪の大失態を見せている。その上メインでもこれでは、観客が主催者に不信感を抱いてもおかしくない。

だが、何があろうと、闘った二人の価値だけは、決しておとしめることはできない。

大塚の試合のビデオを擦り切れるほど見て研究したという中島は、左ミドルを中心とした戦法で、大塚に決定的なチャンスを与えなかった。大塚のローでダメージを受けていたはずなのに、自分のスタイルを貫き通したその精神力には、強気で知られる大塚も「大したもんです」と脱帽したほどだ。

そして、初めての交流戦で予想以上の苦戦を強いられてしまった大塚。中島の巧さの前に、持ち前の獰猛なファイトを全開にすることができず、今後に課題を残したが、逆に言えばまだまだその実力には伸びる余地があるということだ。後になって、我々は気付かされることになるだろう。これまでの試合は、大塚にとって予告編にすぎなかったのだ、と。（橋本）

J-NETWORK

KICK the KICK 1999 Stage3

10.14★後楽園ホール

J-NETの新エース、増田&五十嵐 タイ人を相手に実力を証明

未来は僕らの手の中

★第12試合（日・タイ国際戦/3分5R）

○増田博正（5R判定3-0）ソンチャイJMTC●

（アクティブJ）　　　（タイ）

※ソンチャイは4Rに左ローキックでダウンを喫した

▲ムエタイ戦士・ソンチャイに判定勝ちを収め、控室に引き上げる増田博正。本人は内容に反省しきりだったが、立派にメインの役割を果たした

増田のコメント

「変に『ガンガン行こう』っていう気持ちになって、自分であせっちゃった。ダメですね。結果はついてくるんだけど、内容が伴わなくて。蹴りも左ばかりになってしまったし。相手はそんなに強くは感じなかったです、僕が弱いってだけで。内容が立嶋戦から変わってない。こんな試合してたら上に行けないですね」

五十嵐のコメント

「やってる方としては、一方的な内容でしたね。相手のパフォーマンスは、最初から分かってたから、気になりませんでした。もっとガンガン行こうと思ったんですけど、前蹴りとかミドルで入れなかった。（パンチで押していたが？）全然そうは思わなかったです。世界9位に入ってますけど、恥ずかしいですよ」

◀セミに登場した五十嵐ヨシユキは、BBTVのランカー、ピミニット・ソーチタラダと対戦。トリッキーかつシャープなピミニットの蹴りに良く耐え、得意のパンチを仕掛けていった

▶5Rにヒジ打ちで出血してしまった五十嵐。ドクターストップが宣せられた瞬間、マットに倒れ込んだ。だが、4Rまでの内容は決して悪くなかった

▲2R以降はさかんにハイキックも放っていった増田。巧みに上下に蹴りを散らしていた。前回のタイトルマッチでは、このハイでKO勝利している

▶増田は初回から徹底して左ローを放ち、4Rにはダウンを奪った。これで勝負の流れは決定的に

まるで、敗者のような口調だった。メインイベントで見事に勝利を飾ったというのに、増田博正の口から出てくるのは、反省の弁ばかり。

「ダメですねぇ。前から全然変わってない。こんな試合してたら上に行けないですね」（増田）

全日本キックのフェザー級王者ではあるが、増田が目指す地点は、まだまだ先にあるのだろう。

セミファイナルに出場した五十嵐ヨシユキも同様だ。

「やってる方からすれば、一方的な内容でしたね」（五十嵐）

あまりの落胆ぶりに、記者陣が「そんなことないでしょう。いい試合でしたよ」ととりなす一幕もあったほど。実際、二人ともそう悲観するような試合ではなかったように思う。

増田は、自分の9倍（!）にあたる90戦のキャリアを持つソンチャイを相手に左の蹴りで押しまくり、4Rにはダウンも奪って勝利を収めた。最終ラウンドはソンチャイのしつこいヒザ攻撃にあい、KOを逃してしまったが、文句のない判定勝ちだ。

五十嵐も、最後はヒジ打ちでカットされてTKO負けとなったが、対戦相手・ピミニットの鋭い蹴りを凌ぎ、何度もフック、アッパーをヒット、特に4Rに見せたボディ攻撃は、確実にタイ人を嫌がらせていた。

結果は明暗を分けたが、二人ともJ—NETWORKを支えるエース的存在として、まずは十分な働きをしたといっていいだろう。観客も、きっと満足してホールを後にしたはずだ。（橋本）

NEXT ISSUE 次号予告

SRSDX
スペシャル・リング・サイド

毎月第2・第4木曜日
定価680円
No.10

11・5～7 第7回 極真世界大会

速報号

大山総裁はたぶん
「極真魂」を一番持った男が
世界チャンピオンになると
考えているかもしれないけど、
数見か？　フィリォか？

感じろ！ナショナリズム
感じろ！日本人
それが極真の世界大会だ！！

次号の発売日は、11月11日（木）です。

これは面白い！　本誌も応援！
10・28リングス
代々木第2体育館大会
KING OF KINGS
賞金総額50万ドル・トーナメント

10・29
修斗・大阪決戦！
佐藤ルミナ、大阪初見参
浪速っ子にも、修斗大ブレイク!?
復活なるか？

10・30
新日本キック
ラジャダムナン大会を目前に
日本のキックボクサー燃える！

ディレクTVで
格闘技をお腹いっぱい観よう!

ディレクTVなら本場USAのUFC大会はもちろん、GAORAやファイティングTV SAMURAI!!が思う存分観れる!

DIRECTV

今がチャンス その1

●ディレクTVでは、2000年1月15日(当日消印有効)までに加入申し込みをして頂いた方にもれなく**15,000円キャッシュバック!**するキャンペーンを実施中!

※加入料3,000円、毎月基本料+視聴料(消費税別途)

今がチャンス その2

●㈱企画シーアイでは、12月中旬までに下記手続きを終えられた方にオリジナルキャンペーン①として下記メーカーの受信セット(チューナー+アンテナ)を激安の**19,800円で販売!**

更にチャンス その3

●更にオリジナルキャンペーン②として12月中旬までに下記手続きを終えられた方に㈱企画シーアイよりもれなく

別途4,800円キャッシュバックします!

つまり!!

ディレクTVキャッシュバック	+15,000円
受信セット販売価格	−19,800円
企画シーアイキャッシュバック	+ 4,800円
合計	0円

※ただし、別途にディレクTV加入料、毎月基本料金+視聴料、送料(受信セット)、商品代引き手数料(もしくは、振込手数料)などがかかります。

※TOSHIBA、Panasonic、MASPRO製があります。在庫に限りがございますので、メーカーを選べない場合も予想されます。必ずTELにてご確認下さい。

お申し込み方法は…

下記電話番号へ問い合わせ下さい。(在庫・メーカーも確認してね!)

↓

こちらから、ⒶディレクTV加入申込書　Ⓑ口座確認用紙
Ⓒサービス内容確認書を発送します。

↓

上記Ⓐ～Ⓒ到着後、内容を確認。必要事項を記入、捺印してⒶⒷⒸ共に返送して下さい。

↓

送られてきたⒶ～Ⓒを確認後、ディレクTVに申請。
お客様には「商品代引き」か、「口座振込(前金)」いずれかのお支払い方法(19,800円)でチューナーセット(チューナー+CSアンテナ)を発送します。
※商品代金の他に消費税、及び送料、商品代引きの場合は代引き手数料、口座振込の場合は振込手数料がかかります。
又、口座振込の場合は振込後、振込伝票をFAXして下さい。

↓

チューナーセット到着後すぐに設置してください。
※東京23区、都下・埼玉・神奈川・千葉の一部にお住まいの方に限り、有料にて設置工事承ります。(基本工事費13,000円別途)
最寄りの電気店でも設置工事を依頼できます。

↓

ディレクTVが申込み受理後2週間以内にお客様の口座に15,000円をキャッシュバック!!
プラス、当社より申込み受理後3週間以内に4,800円をキャッシュバック!します。

↓

手続き完了後思う存分ディレクTVをお楽しみ下さい!!

※アンテナ設置に関しては、AM11:00に太陽のあたる場所に設置する必要があります。
加入時に「ゴールドパック」を必ずお選び頂く必要があります。(ただし、2000年1月31日まで無料で視聴出来ます。)詳しくはお電話で気軽にお問い合わせ下さい。

■ディレクTV正規代理店
株式会社企画シーアイ　TEL.03-5822-4571～3　FAX.03-5822-4585
〒101-0031　東京都千代田区東神田1-5-6　MK第5ビル 3F

QUEST VIDEO 好評発売中!

和術慧舟會 ～勝利への道～

カラー45分　税込¥5,880

常勝軍団慧舟會、その強さの秘密に迫る!

●その練習体系とは
●補強運動とは一体何か
●何故ウエイトトレを行わないのか?
等、独特の理論を徹底検証

格闘技の試合において見られる華麗な技の数々。しかし、いくら技の種類を身につけたとしても、その技に入ることが出来る体勢を作らなければ、実戦では使うことができない。敵の攻撃を捌き、自分が攻撃できる態勢に持ち込んで初めて、様々な技を仕掛けていくことができるのである。
いかにして相手を制し、有利なポジションを取るのか。実戦の攻防の中に見られる体捌きには、エビや足廻しなど様々な基本の動きが組み合わされている。基本を正しく理解し、しっかりと身につけることが、勝利への第一歩となる。
このビデオでは、実戦を想定した型練習をまず紹介し、型の中に含まれる基本運動をひとつひとつに分解、それぞれの動きの意味や使い方、さらに実戦での様々な応用などを丁寧に紹介している。
すぐ実戦に生かすことが出来、最も効果的で重要な技術、それが基本運動なのだ。

収録内容
■寝技の基本動作
■寝技の基礎練習
エビ、逆エビ、絞り、足蹴り、足廻し(内)、足廻し(外)、足交差、回転ブリッジ、肩抜きブリッジ
■補強運動
足先の強化、股の強化、捻り、足交差、腹筋、背筋、寝蜘蛛、飛行機、腹筋バービー、腕立て伏せ(9種類)
■スパーリング
宇野 薫 VS 廣野剛康
小路 晃 VS 高瀬大樹

11月上旬発売予定

THE CONTENDERS-Ⅱ

99.10.17東京FMホール
カラー120分(予定)　税込¥6,930

"組み技の何でも有り"大会として注目のコンテンダーズが早くもビデオ化。宇野薫vs渋谷修身という大一番の他、5輪レスラー三宅靖志vs修斗の新星五味隆典、吉本収vs和田拓也、阿部裕幸vs今村剛、門脇英基vs米澤迅三郎、楪沢智治vs五木田勝、廣野剛康vs勝村周一郎など全9試合。他に、1.31下北沢で行われたCONTENDERS-1より、宇野薫vs三宅靖志、小路晃vs矢野倍達、五木田勝vs廣野剛康戦なども特別収録。

田中光四郎
不二流　体術　基本編
カラー40分　税込¥5,880

1980年代、アフガン・ゲリラ<ムジャヒディン>とともに、強大な旧ソ連軍を相手に敢然と闘った日本人がいた。世界各国のジャーナリストたちは彼を"サムライ"と呼び世界にその名を報道した。現実の戦場に身を置き、自ら編み出した武術確立のために研鑽を重ねた武道家、田中光四郎。これは、究極の実戦武術と呼ばれる体術の、根本原理である交叉法をはじめ、歩法、呼吸法、そして具体的な技の数々を、田中光四郎本人が実演、解説した極めて貴重な作品である。

合気道養神館
塩田剛三　神技伝授
カラー56分　税込6,930円

合気道の達人として、今なお多くの人に語り継がれる故塩田剛三。不世出の素晴らしき演武、技の秘密を解明する一端が垣間見える指導風景など、生前の映像を1本に集約。収録されているすべての映像が今回初めて公開されるものばかりであり、達人の技を後世に伝える資料的価値も極めて高い。遺された数少ない演武の中から、これまで未公開だった演武を厳選。そして研修会、黒帯会における指導時、高弟たちに見せた極意の数々。さらに発掘された古フィルムの完全ビデオ化。これは、故塩田剛三の神技を伝授する、最強最後の作品である。

修斗バイブル
カラー111分　税込6,930円

ライト級チャンピオン・朝日昇が初めて公開する修斗の技術。それは、打撃、組技、寝技、3つの極を組み合わせた総合のテクニックであり、それぞれの技術が複雑に絡み合い、体系化されている。修斗の試合に出場するために必要な技術を、これ1本でマスターすることができる画期的なビデオである。

ムエタイ9冠王
チャモアペットのスーパーテクニック
カラー62分　税込6,930円

チャモアペット・チョーチャモアン　ムエタイの2つの殿堂、ルンピニーとラジャダムナンの両スタジアムにおいて、前人未踏の9つの王座に輝き、400年を数えるムエタイの長い歴史の中で最も成功を収めた男。その強さの秘密は、蹴り、パンチ、ヒジ、ヒザ、あらゆる攻撃に優れているだけでなく、鉄壁の防御とカウンターのテクニック、それらすべてが高い次元でバランス良く組み合わされているところにある。これは、最強の男チャモアペットが、その芸術的テクニックのすべてを、具体的な実戦用法を中心に紹介した初めてのビデオである。

修斗10周年記念大会
1999年5月29日横浜文化体育館 カラー90分　税込¥6,930

かつてこれほど見る者の心を震わせる結末があっただろうか?　ルミナはそのニックネーム通り、まさに狼のように牙を剥き、危険な攻撃を繰り出していった。この時には、誰もが秒殺、力の差、順当な結末といった言葉を連想していたはずだ。しかし、圧倒的劣勢にもかかわらず、宇野薫は最後の一線を守り通し続けた。あくまでも攻撃の手を緩めないルミナ。その間隙を縫い反撃する宇野。2人の闘う気持ちが、大一番にふさわしいスリリングな名勝負を生み出した。そして訪れた衝撃的なラスト。
10年間という歴史を積み重ねてきた修斗がたどりついた頂点。それがこのウェルター級選手権試合、佐藤ルミナvs宇野薫の一戦である。

1999年のヤマトダマシイ
2本組カラー120分　税込8,400円

エンセン井上をA面、B面の2方向から映像化する初めてのビデオ。A面は人生に、そして格闘技に正面から取り組む格闘家としてのエンセンをシリアスに追うドキュメント。フジテレビ系「NONFIX」で放送されたものに未公開映像を加えた完全版。B面は、バリジャパ'96イゴール・ジノビエフ戦からアブダビでのマリオ・スペーヒー戦、PRIDE-5での西田操一戦まで、全8試合をエンセン自身の解説で振り返るとともに、グアム&ハワイロケを含むプライベート映像「エンセンの休日」、格闘家同士がテクニックを交換し合う「エンセンの友達の輪」など明るく笑顔が絶えないエンセンの素顔を描く。

★お求めはお近くの書店、レコード店、ビデオショップ、電器店か、直接当社にて。

〈通信販売要領〉
①現金書留　②郵便振込　口座番号…00190-9-753158　①・②いずれかの方法で下記住所へご送金下さい。ビデオの送料はサービスですので広告記載の代金のみで結構です。どちらの場合でも住所・氏名・年令・TEL・希望商品名の明記をお願いします。(郵便振込の場合は用紙裏面の通信欄に記入)※βに関しては事前に在庫の有無をお問い合わせ下さい。

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-3-1 ユニオン駅前ビル5F　TEL.03-3360-3810 FAX.03-3366-7766
QUEST 株式会社クエスト
http://www.bekkoame.ne.jp/~questnet/　E-mail:questnet@bekkoame.ne.jp
クエストビデオカタログをご希望の方は270円切手をお送り下さい。通販ご利用の方にはもれなく差し上げています。
★最新ビデオカタログ(99年夏版)できました!

※当社でのお求めは通信販売でのお申し込み、もしくは下記ショップへご来店下さい。

格闘技&武道ビデオショップ クエストⅡ

小社及び国内で発売されているあらゆる格闘技、武道のビデオを揃えております。
●JR高田馬場駅から歩いて1分
●営業時間
月～金 AM10:00～PM6:00　土 AM10:00～PM5:00
日・祝・祭休み

早稲田通り
高田馬場駅
BIG BOX
クエストⅡ
ユニオン駅前ビル5F
マクドナルド

修斗

修斗ライト級選手権試合　朝日vs巽

カラー74分　税込6,930円

朝日と巽、待ち望まれた対戦がついに実現。互いに一歩も譲らぬ最高峰の技術戦に加え、ライト級王座を狙うノゲーラと実力者大石の対戦。大観衆熱狂の桑原vs五味戦。さらには大河内vs植松、植松vsペイン、佐々木vs桜井など、1月から5月までの北沢大会から名勝負を収録。

タイトル	収録	価格
ルミナ 6 秒の閃光	カラー90分	税込6,930円
バーリトゥード・ジャパン'98	カラー110分	税込6,930円
エリック・パーソンvs須田匡昇	カラー90分	税込6,930円
修斗 vs 欧州最強軍団	カラー72分	税込6,930円
桜井速人vs中尾受太郎	カラー90分	税込6,930円
朝日の復活、ルミナの敗戦	カラー105分	税込6,930円
バーリ・トゥード・ジャパン'97	カラー86分	税込6,930円
エンセン井上vsジョー・エステス	カラー60分	税込6,930円
修斗vsレスリング　激突 3 対 3	カラー80分	税込6,930円
エンセン井上vsズール	カラー70分	税込6,930円

パンクラス

パンクラス激闘の軌跡～1つの王座と2つの道場～

カラー110分　税込6,930円

東京＆横浜、双頭の鷲へと姿を変えたパンクラス。新しい力の台頭と、激しさを増す王座を巡る争いを描く。キング・オブ・パンクラスの王座を争い、し烈な戦いが続くパンクラスマットに新たなウェーブが巻き起こった。東京と横浜の２つに道場が分かれることになったのだ。個人としての戦いに加え、道場同士の切磋琢磨が生まれ、パンクラスの戦いは次のステージへと移った。変貌を続けるパンクラスの激動の1年間を追う。

タイトル	収録	価格
新たなる挑戦	カラー120分	税込6,930円
パンクラス五周年記念大会	カラー120分	税込6,930円
船木誠勝故郷凱旋試合	カラー120分	税込6,930円
鈴木vsローバー シュルトvs高橋	カラー118分	税込6,930円
船木誠勝vsガイ・メッツァー	カラー90分	税込6,930円
鈴木vs山宮 船木vsシュルト	カラー120分	税込6,930円
鈴木vsシュルト＆道場対抗戦	カラー116分	税込6,930円
船木誠勝　真実の17分05秒	カラー90分	税込6,930円
近藤有己vs船木誠勝	カラー90分	税込6,930円
近藤vs高橋 船木vsゴドシー	カラー60分	税込6,930円
近藤有己vsリオン・ダイク	カラー60分	税込6,930円
近藤有己vsジェイソン・デルーシア	カラー90分	税込6,930円

バーリ・トゥード

PRIDE.6

99.7.4横浜アリーナ　カラー90分　税込9,975円

人類最強の男マーク・ケァーに高田延彦が挑んだ勇気ある挑戦。桜庭和志がエベンゼール・フォンテス・ブラガを下した注目の一戦。そして噂の男小川直也が初のバーリトゥードで闘ったグッドリッジ戦。他に小路晃vsガイ・メッツアー、黒澤vs角田、ボブチャンチンvsバヘット、松井vsニュートン、マレンコvsイーゲン、全8試合収録。

タイトル	収録	価格
PRIDE-1～5	各巻カラー90分	税込9,975円
VALE TUDO JAPAN OPEN 1995	カラー120分	税込9,991円
ヒクソン・グレイシー王者の真実	カラー98分	税込6,090円
フアス・バーリトゥード1～7	各巻カラー30～45分	税込5,880円
バス・ルッテンのスーパーテクニック1～5	各巻カラー33分～50分	税込5,880円

極真会館

キングオブテクニック

カラー50分　税込8,800円

王道を歩んだ大山倍達、王者となった松井章圭、王者を育てた廣重毅、王道をゆく数見肇。今、キング・オブ・テクニックが明かされる。大山倍達最後の直伝指導と猛牛決戦、ストリートファイトの名シーンを初公開。世界の王者松井館長と王者を育てた廣重毅を中心として伝授された、勝つための間合い、さばき、技の数々。さらに郷田勇三師範が大山道場時代の一撃必殺を再現。貴重映像満載の王道伝授ビデオ。

タイトル	収録	価格
100人と戦った男、数見肇	カラー60分	税込8,800円
第30回全日本空手道選手権大会	カラー90分	税込9,800円
意拳　孫立	カラー40分	税込7,800円
一撃必殺　廬山初雄	カラー60分	税込9,800円
第6回全関東空手道選手権大会	カラー60分	税込8,800円
第15回全日本ウェイト制空手道選手権大会	カラー80分	税込9,800円
組手最前線パート2　3秒で倒せ！	カラー60分	税込9,800円
最終兵器　数見　肇	カラー80分	税込9,800円
極真空手全集　全3巻	各巻カラー75分	税込9,800円
第29回全日本空手道選手権大会	カラー85分	税込9,800円
この稽古でチャンピオン達は生まれた　上・下巻	各巻カラー50分	税込8,800円
組手最前線	カラー60分	税込9,800円
極真世界制覇バイブル	カラー80分	税込9,991円
この技で勝ちを狙え	カラー90分	税込9,991円
極真空手バイブル	カラー90分	税込9,991円
人間・大山倍達	カラー50分	税込9,991円
牛殺し　大山倍達	カラー50分	税込9,991円

レスリング

セルゲイ・ベログラゾフ

レスリングの奥義

カラー100分+テキスト32頁　税込5,880円

レスリング・フリースタイルに君臨した偉大な王者。あのカレリンに次ぐ実績を誇るS・ベログラゾフが世界を制した最高峰のテクニックを詳しく紹介する。誰もが真似をすることができないような秘技ではなく、シンプルな技の組み立てで相手を追いつめる真の奥義。これは、組技競技を志すすべての人々に向けたバイブルである。練習に携行できるテキスト付き。

タイトル	収録	価格
最強のレスリング	カラー90分	税込5,880円

空手

二宮城光　ENSHIN METHOD

カラー53分　税込6,930円

極真空手の黄金期に、その華麗な組手で戦国時代を勝ち抜き、貴公子、天才児と称された二宮城光。長年の実戦経験を基に考案した円心空手は、攻防における円の動きとポジショニング、独特の崩し、捌き、投げのテイクダウン、相手のパワーを最大限に利用するカウンター攻撃を特色とする。このビデオでは、華麗にして重厚な円心会館のテクニックと精神を、二宮館長が自ら解説する。

タイトル	収録	価格
白蓮会館・柔法篇～逆技の極意～	カラー60分	税込6,930円
白蓮会館・剛法篇～最強の組手～	カラー75分	税込6,932円
山崎照朝の実戦空手［基本篇］	カラー70分	税込5,914円
山崎照朝の実戦空手［移動稽古篇］	カラー75分	税込5,914円
山崎照朝の実戦空手［組手基本篇］	カラー50分	税込5,914円
格闘空手大道塾	カラー60分	税込6,932円
格闘空手大道塾　実戦組手編	カラー80分	税込6,930円
THE WARS 4	カラー120分	税込7,980円
THE WARS 5	カラー80分	税込6,930円
世紀末カラテ他流試合	カラー81分	税込10,290円

ボクシング

ボクシングスーパー教則ビデオ　初級、中級、実戦編

各巻カラー35分　各5,098円

日本ボクシングコミッション公認。基礎トレーニングから実戦での高等技術までをわかりやすく解説した教則ビデオの決定版。初級編は基本テクニック-フォーム、攻撃、防御、基礎トレーニング、ジムワーク等収録。中級編は、中級技術-攻撃、防御、中級トレーニング等収録。実戦編は、高等技術-攻撃＆防御、ジムワーク、プロテストとは、実戦の分析等を収録。

タイトル	収録	価格
エディ・タウンゼント王者への必殺パンチ	カラー33分	税込8,971円
ファイティング原田のボクシング教室 基礎編	カラー31分	税込3,990円
ファイティング原田のボクシング教室 応用編	カラー25分	税込3,990円
ワールドドリームビッグマッチ	カラー115分	税込6,932円
ワールドチャンプビッグフェスティバル	カラー71分	税込6,930円

合気道

神技・塩田剛三

カラー40分　税込8,971円

実戦合気道の総本山、合気道養神館を率い、現代に生きる数少ない達人の一人として、素晴しい演武の数々を披露して見せた塩田剛三。その若き日の映像から演武大会での最後の演武まで、貴重な秘蔵映像で綴るドキュメントビデオ。その小さな体から繰り出される技はまさに神技である。

タイトル	収録	価格
合気道養神館	カラー60分	税込8,971円
合気道養神館[演武篇]	カラー32分	税込6,321円
映画　合気道	モノクロ27分	税込4,894円
技術全集１～10	各巻約40分	税込各8,155円
塩田剛三スペシャル１～10	各巻約30分	税込各8,971円
合気道　極意	カラー90分	税込6,930円
塩田剛三の高弟達　井上強一	カラー90分	税込6,930円

K-1

最強への道

カラー43分　税込5,250円

世紀末、絶大なるブームを巻き起こしたK-1グランプリ。その原点を辿るドキュメントは、門外不出、幻の奥義が満載の現代格闘技大全となった。スクリーンに刻まれたK-1最強伝説がビデオとなって甦る。フグ、アーツ、ベルナルド、フィリョ、佐竹、ムサシ、金、角田。そして黒澤、野地、立嶋、前田、小野寺、吉鷹、港らスーパーファイター多数出演。

タイトル	収録	価格
K-1 GRAND PRIX '98 FINAL	カラー120分	税込12,600円
K-1 GRAND PRIX '98開幕戦	カラー120分	税込12,600円
マイク・ベルナルド・ストーリー	カラー75分	税込10,500円
ピーター・アーツ・ストーリー	カラー75分	税込10,500円
アーネスト・ホースト	カラー75分	税込10,500円
K-1 DREAM '98	カラー120分	税込12,600円
K-1 EUROPE GRAND PRIX '98	カラー120分	税込12,600円
K-1 BRAVES '98	カラー120分	税込12,600円

キックボクシング

KICK CHAMPION'S NIGHT

98.9.19後楽園ホール　**カラー60分　税込6,930円**

土屋ジョーvsラビット関。意地と気迫が真っ向からぶつかりあったバンタム級王者対決に加え、伊藤隆がジョン・ウェインを血祭りに上げた一戦、フェザー級王者砂田vs無冠の帝王山口、コンディション抜群の両雄が対戦した金沢vs山崎、初のボクシングマッチに挑戦したSBクイーン中村ルミvs高野など、注目の対戦が連続した全日本とMAキックの合同興行。

タイトル	収録	価格
キックボクシング完全教則ビデオ　初級、中級、上級編	各巻カラー50分	各税込6,930円
BURNING-5	カラー60分	税込6,930円
SHOOT THE SHOOT XX	カラー120分	税込6,090円
SK DOUBLE CROSS 2nd	カラー120分	税込6,090円
小野寺力	カラー90分	税込6,930円
立嶋篤史	カラー60分	税込6,932円
前田憲作	カラー60分	税込6,932円

日本武術

水口修孝　至高の柔道

カラー80分　税込6,930円

プライドシリーズで大活躍中の慧舟會・小路晃、そして日本における柔術の第一人者・中井祐樹らが指導を受け、その技術の奥深さに驚いたという水口修孝の柔道。一本を取るために研き抜かれた究極の技を、水口修孝は体現している。嘉納治五郎から三船久蔵、水口修孝へと続く、柔道が本来持っていた素晴らしき技の数々。その中に隠された理を、ビデオはひとつひとつ解明していく。

タイトル	収録	価格
高専柔道	カラー68分	税込6,930円
中井祐樹　柔術バイブル	カラー90分	税込6,930円
神技・三船十段	モノクロ30分	税込6,930円
大東流合気柔術	カラー60分	税込8,971円
柳生心眼流竹翁舎ビデオ教傳所	カラー80分	税込8,971円
天然理心流	カラー60分	税込8,971円

中国武術

澤井健一直伝　大気拳

カラー31分　税込5,880円

大気至誠拳法・大気拳、その極意は気であり、その真髄は過去、現在、未来、一切の万物に至るまで妙応無方なる気の本領を顕現することである。臨機応変、攻防自在、本能の力、自然の法則の従い、自然に体得する形あって形無し無敵の拳法、大気拳。在り日の拳聖・澤井健一の秘蔵映像を約6分間収録している他、直弟子、飯島弘志五段練士がその秘伝を紹介する。

タイトル	収録	価格
酔八仙拳～藍采和の型～	カラー37分	税込5,880円
真傳　尚雲祥派形意拳	カラー40分	税込6,932円
楊氏太極拳～散手対打・化勁～	カラー55分	税込8,971円
程聖龍内家拳～八卦掌～	カラー54分	税込8,971円
程聖龍内家拳～形意拳～	カラー55分	税込8,971円
程聖龍内家拳～陳氏太極拳～	カラー41分	税込8,971円
螳螂拳	カラー42分	税込6,930円

コマンド格闘術

毛利流総合戦闘格闘術

カラー53分　税込5,880円

軍隊格闘術のエキスパート毛利元貞が、そのサバイバルテクニックのすべてを明かす初めてのビデオ。危険を事前に回避するための心構えや行動、そして危険に遭遇してしまったときの格闘術、実戦における四大原則「防止」「警戒」「対処」「離脱」などを、格闘時の基本、ボディガード流接近格闘術、軍隊流戦闘格闘術の3部構成で紹介。

タイトル	収録	価格
コマンドサンボ基本技術	カラー54分	税込5,914円
コマンドサンボ応用技術200	カラー84分＋テキスト/123頁	税込7,137円
実戦コマンドサンボ百科上巻	カラー90分＋テキスト/116頁	税込7,137円
実戦コマンドサンボ百科下巻	カラー90分＋テキスト/116頁	税込7,137円
ポポフ流コマンド格闘術	カラー123分	税込5,880円
スラブ式格闘術	カラー120分	税込5,880円
ポポフ流コマンド格闘護身術	カラー51分＋テキスト/128頁	税込7,137円

忍術

古武道の奇本

カラー60分　税込6,300円

最後の忍者マスター初見良昭が初めて明かす武道のエッセンス。あらゆる武道の元になる動き・基本八法が正しく出来なければ、その武道はものにならない。骨指基本三法、捕手基本型五法、そして宝拳十六法（鬼角拳、手起拳、不動拳、起転拳、指針拳、指端拳、蝦蛄拳、指刀拳、指環拳、骨法拳、八葉拳、足躍拳、足起拳、足逆拳、体拳、心拳）を完全収録。

タイトル	収録	価格
神伝不動流八方秘剣　上・中・下巻	各巻カラー60分	税込各4,830円
剣　太刀　刃	カラー70分	税込6,300円
虎倒流骨法術	カラー30分	税込6,321円
高木揚心流柔体術	カラー30分	税込6,321円
九鬼神伝流鎧組討	カラー24分	税込6,321円
玉虎流骨指術	カラー30分	税込6,321円
戸隠流忍法体術	カラー30分	税込6,321円
神伝不動流打拳体術	カラー30分	税込6,321円

チャクリキ・グッズ

※表示価格は消費税・送料込です。

商品	価格
Tシャツ A	黒・白各¥3,200
Tシャツ B	黒¥3,200
Tシャツ C	黒(会長写真入)¥3,400
タンクトップ	白¥3,200
トレーナー	黒・紺・グレー各¥6,300
ブルゾン	¥20,000
トランクス	¥4,100
ウォームアップスーツ	赤・黒各¥16,000
ジョギングパンツ	黒・紺各¥4,400
キャップ	黒・黒地につば赤各¥2,800
ディパック	黒・赤各¥10,300
スポーツバッグ	黒・赤各¥17,800

SRS・DX Editor's Talk
編集部トーク 裏事情

気になる石井館長と佐竹の動向

A まず気になるのは、K—1の開幕戦で「K—1撤退」発言をした佐竹の動向なんだけど、今号はそこから始めようか。

B 読者の人も関係者の人も「どうなってるんですか?」と聞くけど、今のところ動きは全くないみたい。本当は今号でも取り上げなければならないんだけど、締切りまでに石井館長と佐竹が話し合ったという情報も伝わっていないんだから仕方がないよ。

C でも、いったいどうしてこんなことになってしまったんでしょうね。あんなことって、K—1にはなかったスキャンダルでしょう。

A まず佐竹がキレたのは、判定でしょう。これは非公式ながら関係者の多くは「49—48」で佐竹。最悪でも「48—48」と言ってる人がかなりいる。ただし、あくまでも従来のK—1の基準で考えるとという前提があるんだけどね。もし、ヨーロッパやタイの基準だったら「48—46」で武蔵になるという人も多い。これは、マストシステムと言って、必ずどちらかに点数を付けるという前提があると、そういう結果になるってことなんだけどね。

B あの時は石井館長が公平を期するためにと、3人とも外国人のジャッジを起用しましたからね。

A ウン。ただし、選手の側としては、判定に対する不満があれば大会終了後、1週間以内に文書で提出するというK—1のルールがあるんだ。だから、厳密にいえばそれを佐竹選手が石井館長に閉会式中に言うのはおかしい。しかし、今回はグランプリの側からすれば、の開幕戦で、東京ドームに行けるかどうかの大事な試合。相手が後輩の武蔵選手ということもあって、そんなこと言ってられないという想いがあったと思うんだけど。

C 佐竹選手はあの試合の判定だけで、そんなに怒ったんですかね。やっぱり話を聞いてみたい気がするんですけど。

A いや、まだ石井館長と話し合うまで佐竹選手は動かないでしょう。

B アンディ・フグは佐竹選手のことを「心が弱い」と言っていたし、前田日明は「相談にのるが、引き抜くつもりはない。佐竹はもったいない素材なので、アメリカかなんかでがんばれば…」と。また小川直也は「10・11東京ドームに来い」なんて言っていたけど(笑)、関係者の反応もいろいろだね。もうK—1以外といったら、立ち技格闘技は考えにくいんで、総合格闘技かプロレスということになるんだけど、本当にどうなるんだろう。

A 気になると言えば、石井館長が本誌のインタビューでも言ってたように、石井館長も総合格闘技やプロレスに進出しようという気持ちがあること。来年からそれを本格的にやろうと考えている。そうなると、佐竹は重要な存在になるんじゃないかな。

B ウン。やっぱり今回で重要なのは、K—1のスキャンダリズムをどうパワーに変えていくかということにあると思う。いずれにせよ、佐竹選手は開幕戦をある意味で乗っ取った。これをどうつなげるかで、K—1でも高田VSヒクソン戦や、小川VS橋本戦以上の線でつながるドラマに展開するはず。そういうところに期待しているファンやマスコミは多いでしょう。

C ただ僕が思うのは、今回の件は武蔵選手には全く関係のないこと。武蔵選手が3人のジャッジであの場で大差の勝利をあげたんだから、やっぱり武蔵選手の勝ちなんですよ。僕は逆に『プライド』でボブチャンチンがケアーに勝っていながら、試合後にノーコンテストになったことの方がおかしいと思う。もちろん石井館長が言うように「これで佐竹を越えたことにはならない」という意見には同感だけど、やっぱり決勝大会に出ていく武蔵選手は日本人として応援しないと。

A もちろん、それはそうだよ。特に神のいたずらで今回の武蔵選手にも大きなチャンスがある。武蔵選手が今回どこまで勝ち上がるかで、また佐竹VS武蔵戦も出てくるんじゃないかな。■

▶K—1では珍しいスキャンダルに発展した佐竹離脱問題

◎今回のターザン座談会の「アングル論」は、かなりの反響があるだろう。初心者にとってはわかりにくい話だが、団体関係者や専門マスコミの人たちをかなりうならせるはずだ。最近、「アングル」という言葉は負のイメージで使われている。それを逆にプラスのイメージに変えてしまったところに、ターザンさんの凄さがあるのだ。さすが私の師匠である。ところで、格闘技界と言われるところは、ターザンさんのいう「ゴッドアングル」がプロレスより遥かに生まれやすい土壌にある。しかし、その「ゴッドアングル」をうまく利用できないのが、逆に今の格闘技界である。そこがプロレスというジャンルにいつまでも話題をとられる理由だ。どちらかというと、その「ゴッドアングル」を隠そうという傾向さえ見られるのである。そういう意味で、今の格闘技界は実に全日本プロレス的である。「ゴッドアングル」が起こった時、その点を線としてつなげる逞しさを持った猪木さんのような人間が現れれば、格闘技界はもの凄く幅が広がる。その可能性を持った人に、私も一番期待したい。猪木さんなんて、本当にスキャンダルを自ら起こし、強烈なゴッドアングルをあびてプロレスの歴史を作ってきた。大山倍達もまたしかりである。とにかく、今回のターザン座談会はじっくり何度も読んでいただきたい。そして、点を生み出し、点と点を結ぶ線につなげていくとはどういうことか、考えていただきたい。それが、格闘技界を面白くする最大のポイントである。そして、平成のファンにも格闘技を単発ではなく、線のドラマとして楽しんでほしいのだ。(谷川)

SRS DX
次号の発売日は11月11日(木)です。

発行元:株式会社フジテレビ出版/株式会社ローデス
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F ☎03-3295-4445
販売元:株式会社扶桑社
〒105-8070 東京都港区海岸1-15-1
☎03-5403-8888
発行人:柳沢忠之 編集長:谷川貞治

DESIGNER:梅村あゆみ、小幡浩史、水町由美子、IDS、su・plex、佐藤敦

ヒクソン・グレイシー 緊急インタビュー

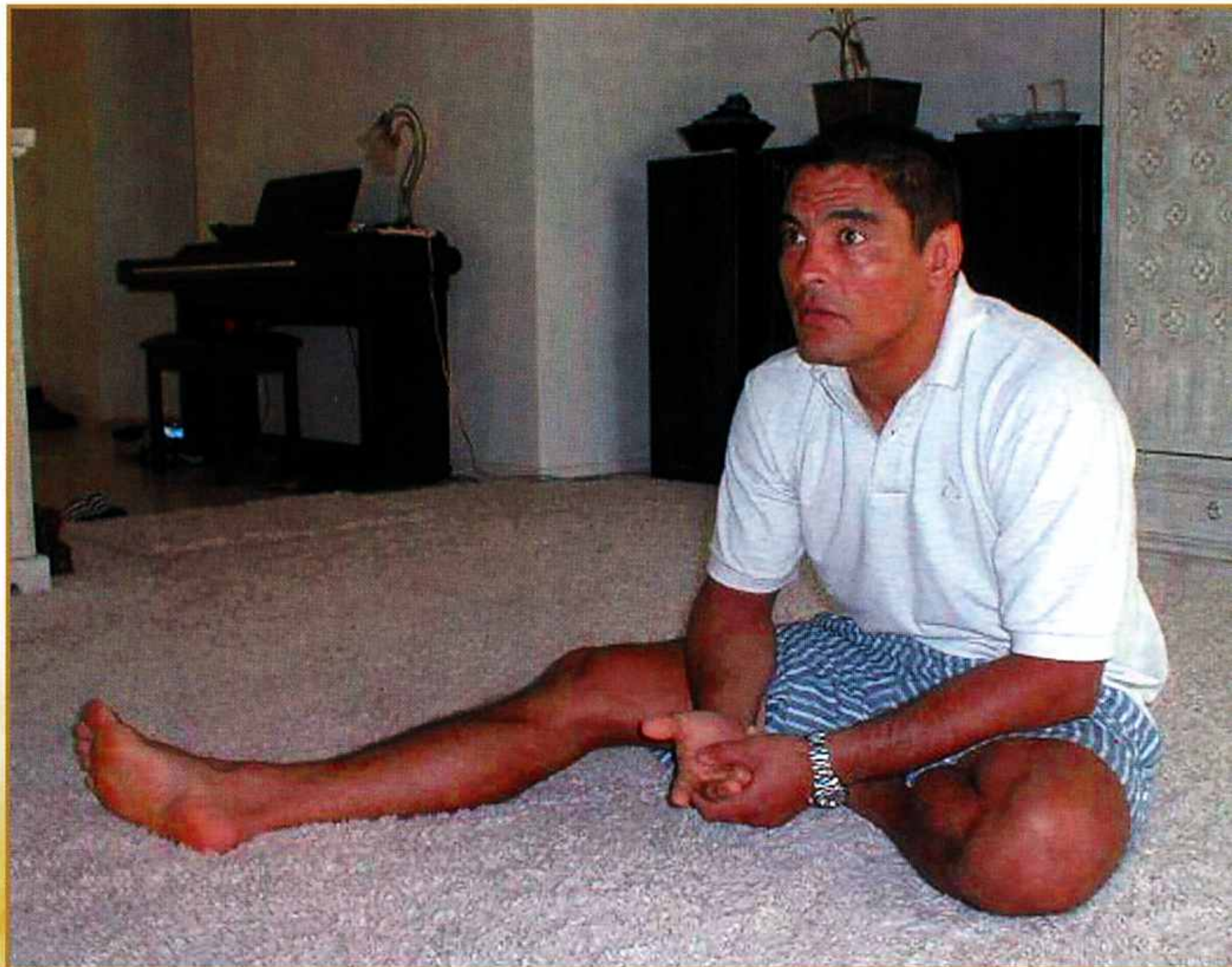
取材・撮影／サーモジェン山本（本誌ロス駐在員）

自らも近い将来のVT参戦を表明！
そのリングとは『プライド』なのか？ それとも…

ホイラーが桜庭に負けたら？
その質問に答えはない。
なぜなら、ホイラーは絶対に
負けないからだ！

▼LAのパシフィック・パリセイズにあるヒクソン宅でインタビュー収録。

RICKSON GRACIE

いくつか試合のオファーを受けているが 今は具体的に検討するタイミングではない

——今あなたに一番お聞きしたいのは、あなたもご存知かもしれませんが、日本の格闘技ファンあるいは外国人ファイターの間では、あなたはもうバーリ・トゥード（VT）から引退したのではないか、もう二度と格闘技のマットに上がらないのでは？　という噂についてです。そのあたりは、どう考えているんですか？

ヒクソン　まず、何度も別の機会に説明しているが、引退ということは全く考えていない。これは今まで何度も言っているが、ここで改めて言いたい。VTの試合については、実際近い将来出場したいという気持ちも抱いているんだ。

——もちろん、そういう噂も日本では囁かれています。具体的にいつ、どこのリングで、誰と闘うかは決まっているんですか？

ヒクソン　現在いくつかオファーは受けているが、残念ながら今は具体的に検討するタイミングではない。

——というと、試合をする上で何か障害があるということですか？

ヒクソン　私はプロフェッショナルなファイターの一人だが、他にも多くの役割を担っている。4人の子供の父親でもあるし、道場経営者としての立場もある。今はファイターとしてより、グレイシー柔術の宣教師としての役割や、他のビジネスプランを優先すべき時期なんだ。そのことを分かってほしい。その時がきたらキミのマガジンに真っ先に教えてあげるよ（笑）

——こっそりとお願いします（笑）。で、具体的には試合に優先すべきビジネスプランというのはどういうものなんですか？　それは格闘技とは関係のないことですか？

ヒクソン　いや、残念ながらそれもまだ言えない（笑）。今日は柔術について話をしよう。柔術の活動についてならプランを話してあげるよ。

——はあ（笑）。

ヒクソン　私には幸いなことに格闘技の経験と知識がある。これまでも、世界中の国々に格闘技の素晴らしさを啓蒙してきたと自負してはいるが、今後は日本を中心にセミナーなどを行って汗を流したいと考えているんだ。なぜなら、日本は過去に闘いの機会を与えてくれた国で感謝をしているし、我々の全てである柔術を生んだ国だ。これは試合を通じて感じたことだが、日本は格闘技に対し最も真摯な評価をする国だ。流された血を見て酔っ払いながら喜ぶ人はいない。このことは日本の皆さんが誇るべきことだと思うよ。

——これから誇るように頑張ります（笑）。

ヒクソン　私が今やろうとしていることは、柔術を通じて精神と身体の両面を貫く新しいライフスタイルのガイドラインを世界に提唱していくことだ。その中でも日本は特別な国だと考えている。格闘技を学ぶことのメリットは、おそらく皆が考えているよりはるかに大きいものだ。かつての日本において、格闘技は単なる闘いの技術ではなくライフスタイルの一部、あるいは全てであったと認識している。

——たしかに我々の何世代も前の時代まではそうだったかもしれません。

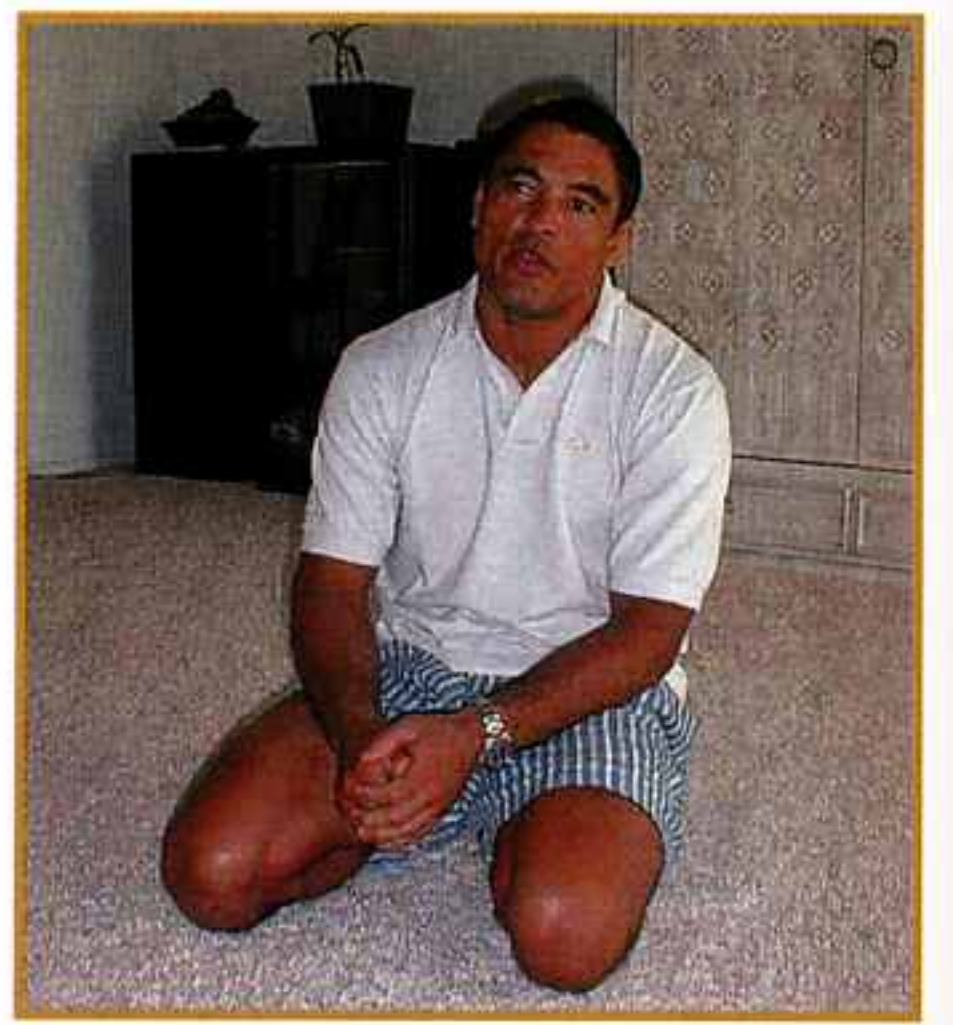
ヒクソン　現在の日本がそうではないということも理解しているよ。ただ、人々のライフスタイルが変わり、武道の有効性も失われてしまったように思われているが、実はそうではないんだ。

——武道は現代社会においても有効で、価値のあるものだということですね？

ヒクソン　もちろんだよ。武道、特に柔術とは単なる闘いの技術ではないんだ。

▲インタビューはキム夫人も同席し、終始リラックスしたムードで行われた。

11・21 PRIDE.8 プロレスvsグレイシー 攻防の行方——

強い相手には「ネズミ」となって勝機を伺うが 組み易し相手は「ライオン」になって襲いかかる

そのセオリーは生活の中で毎日直面する事態、仕事、人間関係、新しいテクノロジーなどストレスに満ちた現代社会の中で勝利する方法の一つである、と私は信じている。

——私は現代社会の中で敗北だらけです（笑）。

ヒクソン キミも柔術をやった方がいい（笑）。もちろん柔術は具体的な闘いの技術をたくさん学べるが、日常ではファイターである必要は全くないよ。ただ、武士道のようにそれが自分の中心に在ることで、自分の内部に誇りと尊敬を抱きつづけられることの方がはるかに重要だと思う。実際私は道場生にチャンピオンになることなど求めていない。柔術を通して「Better Way to Live（いかにより良く生きるか）」を学ぶ機会を与えているつもりだ。

——私はどうせならチャンピオンにもなりたいのですが（笑）。

ヒクソン いいかい、これは私の人生の目標でもあるが、成功とは継続したものでなくてはならないよ。一つの目標、敵に勝利したとしても、それらは既に過ぎ去った過去でしかない。次の日から人生は容赦なく続くんだ。私には新しいチャレンジが必要なんだ。他の人がどういう日常を過ごしているかは知らない。毎日同じ電車に乗り、同じ仕事を終えることの繰り返しに埋没する人もいるだろう。しかし、私は違う。格闘技は真に私の助けになる。柔術は毎日をエキサイティングなものに変えることができるんだ。

——ああ、柔術はエキサイティングですか。

ヒクソン いや、勘違いしてほしくないが、柔術のコンセプトは「いかに負けないか」ということなんだ。いたずらに攻撃的になるのではなく、状況を冷静に判断し、チャンスをじっと待ち、最後には有効な技で勝つというのが基本なんだが。柔術を学ぶことは体の大きさや体重に全く関係がない、老若男女を問わず全て同じセオリーが当てはまる。

——柔術の話はよく分かりました。それで、今のお話に出てきた柔術の「いかに負けないか」というコンセプトは、VTという観客の前で行うプロフェッショナルな競技としては消極的すぎて面白味に欠ける、という意見もよく聞きます。

ヒクソン 「攻撃的ではない」ことが「消極的」だとはならないだろう。

——たしかにあなたが日本で見せたファイトは、決して消極的な印象ではないですね。

ヒクソン 私の場合を言うと、実は「ネズミ」と「ライオン」とを使い分けるようにしているんだ。

——は？「ネズミ」と「ライオン」？

ヒクソン そうだ。体が大きくパワーの強い相手と闘う場合は、まず「ネズミ」となって機会を伺う。他のファイターのように最初から「ライオン」となって未知の相手に安易に短時間に勝とうなどと無謀なことはしない。まず自分の中に在るものを信じて、心を空にし、邪念を排除してふさわしい時と技が出るのを待つのさ。逆に組み易しと思われる相手には「ライオン」となって最初から襲いかかることもある。

——なるほど。「ネズミ」になっている時でも、決して消極的なのではなく、勝機を伺っているというわけですね。

ヒクソン もちろんだよ。闘いの場だけでなく、実は日常でもこれと全く同じ方法を採っている。日常生活での敵はまず「プレッシャー」と「恐れ」、そして「不安」であることに誰しも変わりはないだろう。これらに上手く対処し、クリアーする方法は、むやみに積極的に排除することではないと思う。まず置かれた状態をトータルに理解することからすべきだ。柔術の方法論はいかに状況を判断し、いかに自己を対峙させるかとも通じているからね。それから正しい行動に移る。そのためには3つの要素、「インテリジェンス（正確な情報）の入手」、「リサーチ」、「充分な予習と実行」を何度も何度も繰り返すことだ。日常でも闘いの場でも、素早く的確な状況判断の力と、後は自分を信じて、神を信じて、最善と思われる策を実行する力が大事なんだよ。

——日本にもそういう判断力と実行力を兼ね備えた、優秀なファイターがいます。

ヒクソン 誰だい？

——桜庭和志選手です。

ヒクソン ああ、彼は素晴らしいファイターだね。

——その桜庭選手とあなたの弟のホイラー選手が、今度の『プライド8』で闘うことになりましたが、あなたはどう思われますか？

ヒクソン ホイラーは兄弟の中でも最も近い関係にあるし、チームメイトとしても最も重要な存在だ。ホイラーには私の技術、魂そのものが宿っていると言ってもいい。今回ホイラーは我々を代表して桜庭と闘うが、そういう意味ではこれは私と桜庭の闘いでもあるんだ。

——おお！そうなると、これはますます重要な試合になりますね。実際に日本

▲ヒクソン邸は海岸を見下ろす丘の途中にあるので海風が吹き抜け、涼しい。

▼ヒクソンは得意のサーフィンの帰りか、髪の毛が張り付いていた。

——では、桜庭選手はホイラー選手に勝って、次はあなたと闘いたいというコメントを出していますが、それについてはどうですか？

ヒクソン　その質問に対しては、私の答えは無いよ。

——どうしてですか？

ヒクソン　ホイラーは絶対に負けないから。

——凄い自信ですねえ。

ヒクソン　やる前から負けることを考えるファイターはいない。

——素晴らしいセリフですね。ここで私を殴ってもらいたいくらいです（笑）。ところで桜庭選手はアマチュアレスリングをバッグボーンにした選手ですが、最近のVTでは特にアマレス系の選手の優位性が叫ばれていますね。

ヒクソン　たしかにレスリングの技術はVTでは有効な場合が多い。だがレスリングを含め他の格闘技と柔術は根本的に違う。柔道と柔術も似て非なるものだ。その違いは「Competition（競技）」と「Gentle Art（穏やかな技）」とでも言えるかもしれない。

ホイラーは我々を代表して桜庭と闘うが これは私と桜庭の闘いでもあるんだ

——ジェントル・アート！　なんか「格闘芸術」みたいですね（笑）。

ヒクソン　本来、柔術はゲームでもバイオレンスでもないし、単なる勝ち負けが問題にされるべきものでもなかった。そういう意味では最近ブラジル等で行われている柔術の試合が、本来のものから外れてきてしまっているのは残念としか言いようがないがね。

——では、あなたは何を目的に闘うのですか？

ヒクソン　これは分かってほしいんだが、父や私が過去ブラジルにおいてやってきたVTの闘いはあくまで我々の柔術をアピールする一つの手段に過ぎなかったということだ。VTの闘いは柔術を広く知らしめるための手段だ。そういう意味ではセミナーや道場経営と同じで、ゴールではない。それに、私もVTのイベントでは良いアスリートとして、出来るだけ新しい闘い方や技術を表現することを心がけてはいるが、実はそこでの闘いと柔術の試合では全く同じ闘い方をしているんだ。目に見えない戦略もね。VTは柔術の一部さ。

——ということは、やはり柔術のアピールに必要な機会が訪れた時は、あなたがVTのリングに立つということですね？

ヒクソン　そういうことになるだろう。最初に言った通り、それは近い将来実現させたいと思っている。

——分かりました。では最後に、日本のファンの皆さんに伝えることがあれば、どうぞ。

11・21 PRIDE.8 プロレスVSグレイシー 攻防の行方——

RICKSON GRACIE

ヒクソン　特に日本の皆さんは、私の試合を見て初めて柔術に興味を持って頂いたり、そのコンセプトを好きになっていただくことが多いようです。中には実際にLAの道場まで来て一緒に汗を流して下さる方々も多いのですが、実際にトレーニングしてますます好きになったと言って頂くのが何より嬉しいです。大変光栄なことですし、感謝もしています。これから予定している日本でのセミナーにも、より多くの方が参加して実際に柔術の素晴らしさに触れていただくことを願っています。■

ヒクソン柔術セミナーのスケジュール

東京　11月23日（祝）
台東リバーサイドスポーツセンター
（浅草駅下車　徒歩10分）

名古屋　11月27日（土）
露橋スポーツセンター
（名鉄ナゴヤ球場前駅下車　徒歩6分）

大阪　11月28日（日）
講道館国際センター
（地下鉄中央線深江橋下車　1号出口北へ200m）

◆受付時間：10時40分～11時30分
◆講習時間：12時00分～19時00分（途中休憩有）
◆セミナー講習料：2万4000円
（ヒクソン選手も愛用のフリースジャケット付）
※お申し込みは現金書留のみで、当日受付はできません。
◆締め切り日：各会場セミナー3日前必着
◆お問い合わせ先：
☎090－1297－9155
広瀬（午後10時まで）

▲庭の垣根には赤い花が咲いている。プライベートのトレーニングを行う玄関横のガレージにダンベルセットやマットが積み重ねてあった。右はキム夫人。

「アイ〜ン!」

桜庭和志衝撃発言!!

聞き手◎“Show”大谷泰顕
撮影◎山口比佐夫

ホイラーは、志村けんの「アイ〜ン!」で倒します。

志村けんの「アイ〜ン！」でホイラーに勝つと宣言した桜庭だが、心なしかポーズが違うような……。その辺も桜庭流！？

きっとホイラーは、この桜庭スマイルに悩まされるに違いない。
そして、次はいよいよ……

——前回の桜庭さんのインタビューが読者的に大好評だったので、今日もバッチリな質問をたっぷりと用意してきました。

桜庭 本当にバッチリなんですか?

——バッチリですよお(苦笑)。えーっと、ついに『プライド』で、桜庭さんとホイラー・グレイシーの試合が決まってしまったんですけど、エヘヘヘッ。

桜庭 はい。

——だから今日は「ついにグレイシーと激突!」というところから、まずは聞きたいな、と。

桜庭 でも、ホイラーは体重が軽いので。体重が軽いぶんテクニックはあると思いますけど。僕としては同じくらいの体重の人とやりたいんですけどね。向こうが「やらせてくれ」ってしつこかったみたいですけどね。

——なんでですかね? エヘヘヘッ。

桜庭 勝てると思ったんじゃないですか。

——というよりも、桜庭さんがガンガン、ブラジル勢に勝っちゃうから、このままだとブラジルの威信が……と思ったんじゃないですかね。

桜庭 それは思ってないと思います。本人が勝てると思ったから「やらせてくれ」って言ったんじゃないですかね。

——桜庭さん的には常々「もうちょっと強いヤツとやらしてくれ」という気持ちを持っているわけだから、今回はそういう相手としては当てはまると思いますか、ホイラーって。

桜庭 強いけども……、当てはまらないですね。

——えっ、それはなぜですか?

桜庭 ちょっと軽いから。

——ああ、体重が。強いかもしれないけども、体重が軽いと。

桜庭 僕はアマレスをやってたから。アマレスは階級別じゃないですか。階級が違うと全然違うんですよ。僕は68キロ級だったんですけど、80何キロ級の人とやると力が全然違うっていうのを練習でやっていても感じていたんで。

——じゃあ、逆に言うと桜庭さんの方に今回はリスクがあるっていうか、まあやる前から負けることを考える人はいないっていっても、もし負けたら「なんだよ、

KAZUSHI SAKURABA

モンゴリアン・チョップに続いて、脳天唐竹割りを出すつもりです

桜庭、あんな体重の軽い相手に」って言われるじゃないですか。

桜庭 まあ、負けるかもしれないですけどね(笑)。

——またまた(笑)。

桜庭 それはやっぱり、やってみないと分かんないし。『プライド』って正式には10分2Rじゃないですか。でも、それだと向こうはOKしなくて、向こうが向こうに有利なルールでやらせてくれって言ってきてるわけだから。それでしょうがないから「いいですよ」って。

——なぜホイラー側は「15分2R(時間切れの場合は判定、及び延長なしでドロー)」を要求をしてきたと思います?

桜庭 たぶん僕のスタミナが切れると思ってんじゃないですかね。

——スタミナ切れ狙いの作戦なのかぁ。

桜庭 だから今、スタミナをつける練習をしてますよ。

——でも、15分2Rになるっていうことは、ちょっと闘いにくいですか、普段10分2Rで闘ってる人としては。

桜庭 えー、闘いにくいというか、僕は10分2Rが『プライド』のルールですから、それで闘いたかったです。

——で、今回はたとえば前回のアンソニー・マシアス戦みたいに「ダブルアーム・スープレックスを出そう」とか、そういう気持ちはあるんですか?

桜庭 チャンスがあれば出したいとは思いますけどね。ホイラーはタックルに来ますよね。だから出しやすいんじゃないですかね、体重も軽いし。

——エヘヘヘッ。そうすると、ダブルアームでグレイシーが投げられる姿が見られるかもしれないと。

桜庭 前回ほどは狙わないですけどね。狙いすぎるとまたかからなくなるんで。

——マシアス戦は桜庭さんのオリジナル・テクニックがいっぱい出てましたけど、あの試合は楽しかったですか?

桜庭 楽しかったですね、はい。

——聞くところによると、1Rと2Rの間に「他に何か出してない技ない?」ってセコンドに聞いたらしいですね。

桜庭 ああ、松井(大二郎)に聞きましたよ。なんかもったいないから。

——もっと出さないともったいないと(笑)。その時に松井選手はなんと?

桜庭 なんて言ってたかなあ、ちょっと忘れましたけどね。「あれくらいじゃないですか」とか言ってたのかなあ。

——あの試合は「炎のコマ」まで出てましたもんね。

桜庭 あれはちょっと回転が悪かったですけどね。だから(マシアスも)軽いヤケドで済んだんじゃないですか(笑)。

——エヘヘヘッ、軽いヤケドかあ。

桜庭 「炎のコマ」は体重の重い人はヤケドしやすくなるんですよね。重力で摩擦が大きくなりますから。あれは体重の重い人が5、6周回ったらもう「アチ、アチ、アチッ!」って(笑)。

——なんか、桜庭さんが「プロレス界の救世主」と言われる意味が、ちょっと分かってきました。

桜庭 えっ、なんでですか?

——要するに、ニッコリ笑ってバサッと人を斬るタイプなんだなあと。

桜庭 あっ、そうですか?

——そうですよお。で、マシアス戦では

試合後に「モンゴリアン・チョップはリング上に行ってから思い浮かんだ」みたいなことを言ってたじゃないですか。

桜庭　いや、リング上じゃなくて入場を待っている時です。前からやろうとは思ってたんですけど、試合前になるとそんなことは浮かばなくなるじゃないですか。あの時は、たまたま浮かんだんですよ。

──ガード・ポジションになればモンゴリアン・チョップも出せる、と（笑）。

桜庭　たぶんスタンドだと、両手を開いた瞬間に相手がバーッと来ると思うんで、グラウンドだったら相手が下からパンチとかを出しても、ちょっと後ろに下がればいいじゃないですか。それでやってみようと思って。

──あの試合の桜庭さんの試合リポートの中で、過去に佐山聡さんの書いた『ケーフェイ』には「シューティングの試合ではモンゴリアン・チョップは使えない」と明言してあったけど、桜庭さんはそれを見事に覆した、と谷川編集長が書いてたんですよ。

桜庭　いや、あれは十分使えると思うんですけどね（笑）。バチーンッとやると横をガードするじゃないですか、その後に上からパンチとか入りましたからね。

──凄いなあ。次はダブルアームに続き、何か秘策はありますか？

桜庭　最近はスパーリングをやってもプロレス技が出ていないので、とくにないんですけどね。試合は打撃があるので、打撃系で。

──打撃系のプロレス技を？

桜庭　プロレス技じゃなくて普通の打撃系の技。たぶん出さないと思うんですけど……。

──チラッと小耳に挟んだんですけど、「脳天唐竹割り」を練習しているとか。

桜庭　それは出すつもりです。モンゴリアン・チョップを出して、横からフックをバチーンッと。その後が凄いんですよ。

──さらに凄い技があるんですか!?

桜庭　ええ。もう一回行くフリをして志村けんの「アイ〜ン!」って。

──ア、ア、アイ〜ン!?

桜庭　ちょっと考えたんですけど、それをやったら怒っちゃいますかねえ。

──いやあ、反則じゃないでしょうから、べつにいいんじゃないですかあ（笑）。

桜庭　いつもこういうフェイントをやっていて、癖でアゴが出ちゃったって。

──グーですね、それは（笑）。ただ、桜庭さんがどんどんイロモノになっていくような気が……。

桜庭　あと、寝転がって下から蹴ってくるじゃないですか。それをチョップで叩くフリをして「アイ〜ン!」。

──それ、桜庭さんは冗談じゃなくマジでやるもんね、リング上で。相手からしたら怖いですよ、それは。

桜庭　ただ、やっぱり相手が怒っちゃうかなあ、と。「フザケてやるんじゃない!」って。怒るならダメかなあ、と。

──いや、勝てば問題ないでしょう。

桜庭　それを出してその後に絞め落とされたらアホみたいですからね（笑）。落ちるところまで志村けんで落ちてよおっと。

『グリコ』はオマケ（ホイラー）を開けてから、じっくりキャラメル（ヒクソン）を味わいますよね

11・21 PRIDE.8 プロレスVSグレイシー 攻防の行方──

──いいなあ（笑）。じゃあ、ちょっとホイラー戦は楽しみにしています。で、当然ホイラーにはヒクソンというお兄さんがいるっていうところを、どうしても期待するっていうか、エヘヘヘッ。

桜庭　はい。ホイラーはテクニックは凄いし認めますけど、やっぱりグレイシー一族の中では、悪く言ってしまえばお菓子のオマケ。子どもの時に『グリコ』を買って、まずはじめにオマケの箱を開けて、それから『グリコ』のキャラメルを食べるじゃないですか。だから、はじめにやるのがホイラー。で、後からじっくり『グリコ』のキャラメル（ヒクソン）を味わうという（笑）。

──ああ、なるほどお！　ヒクソンは『グリコ』のキャラメルだったんだあ!!

桜庭　「一粒３００メートル」（笑）。でも、それは悪く言えば、ですよ。だから、ヒクソンさ〜ん、もしこれを読んでも怒らないでくださいね〜。ちょっと悪いたとえ話でしたね。もうちょっとうまくたとえられればいいんですけどね。

──そのヒクソンは桜庭VSホイラー戦に関して「ホイラーが負けたらどうするか？　いや、絶対に負けない」ってコメントしているらしいですね。

桜庭　絶対に負けないけど、絶対に勝たないですからね。

──ああっ、そうかあっ!!

桜庭　負けない試合はするけれども、引き分けか負けない試合ですから。勝つことはないと思いますよ。

──確かにヒクソンだって「４００戦全勝」じゃなくて「４００戦無敗」と名乗っているわけだし、そのうち僕らが見たのは10試合もないんですもんね。あとの３９０回は引き分けてるかもしれないってことだもんなあ。

桜庭　４００戦全勝だったら凄いですけどね。ただ、４００回も試合するってことは凄いことだと思いますよ。

──でも、道場のスパーリングも入れてでしょう？

桜庭　えっ、それも入れちゃってるんですか？

──確認したわけじゃないけど、そういう話らしいですよ。だから、桜庭さんが松井選手や豊永稔選手からタップを取った数を入れてるようなもんですよ。

▲マシアス戦で決めた「炎のコマ」。果たして桜庭は、ホイラーにも決めるチャンスをつくるのか

プロレスラーには種類がありますから、僕はその中のある一部の種類のプロレスラーです

桜庭　それなら1週間くらいでできるじゃないですか。1週間は無理か、1カ月あれば「400戦無敗」はできますよね。疲れたら「今日はやめ！」って感じで。

——そしたら桜庭さんも「400戦無敗」になれるじゃないですか。

桜庭　いや、僕はバテたら相手に取られるから。でも、それは道場破りに来た人も入っているんですか？

——一応、入ってるらしいですけど、たぶんたまにしか来ないんじゃないですかね。逆に聞きますけど、道場破りって、そんなに頻繁に来るんですか？　だって、髙田道場には道場破りは来ます？

桜庭　いや、来ないですよ。お祭りの時に酔っぱらいのオヤジが時々入ってきますけど（笑）。

——酔っぱらいのオヤジが「髙田延彦と闘わせろ、ウイッ！」って言うんですか？

桜庭　「サインくれ～！」って（笑）。

——なるほど（笑）。ただ、髙田道場とグレイシーというと、髙田選手とヒクソンの一件もありましたけど、佐野VSホイラーもやってるじゃないですか。だから佐野選手の雪辱戦みたいな意味合いとか、そういう側面もあると思うんです。

桜庭　僕はとくにそういうのは考えないです。まあ見てる人がそう思うんだったら、それはそういう考えを持ってる人の自由ですけどね。

——当然、グレイシーっていうと、日本のプロレスラーっていうか格闘家が数多くやられてるから、ついに桜庭さんがグレイシー狩りに乗り出したみたいな感じなんですけど、そういうのはあんまり意識してませんか？

桜庭　とくには。だって、今回はアレクサンダー大塚さんも「対グレイシー」じゃないですか。

——そうそう。桜庭さんもアレク選手も、ついにグレイシー狩りに進んでくれるから、これは楽しみだと思ってるんですよ。

桜庭　…………。

——エヘヘッ。そんなにプレッシャーをかけてるつもりはないんですけど、桜庭さんとしてはあんまり意識しないと。

桜庭　はい。

——ということは、今までの対戦相手と同じ感覚なわけですね。

桜庭　今までの相手の中で一番体重が軽い人。名前は重いと思いますけどね。

——ああ、はいはい。とすると「プロレスラー」を名乗ってる桜庭さんやアレク選手がグレイシーに勝てば、プロレス界のリベンジになるから、やっぱり「プロレスラー」でグレイシーに決着をつけたいという願望はありますか？　もし、たとえば先に日本の空手家がグレイシーに勝っちゃったら、とは思いません？

桜庭　いや、そんなことはないですよ。日本人が勝てば誰でもいいと思います。

——ただ、アレク選手に関していうと、本誌のインタビュー（第5号）の中で「桜庭さんの考え方だとかハート的な部分はプロレスラーを感じるんだけど、本当のプロレスラーという仕事を現実にしてないんじゃないかなあ。これは決して桜庭さんに対して批判的だとか嫌いだという意味ではないんです」と言ってるんですけど、これに対してはどう思いますか？

桜庭　100人いたら100人の考えがあるんで、それは大塚さんの考え方ですから。それはそれでいいんじゃないですか、べつに。

——当然、桜庭さんは自分ではプロレスラーとしての仕事をしてる、と。

桜庭　仕事というか……。

——プロレスラーを職業にしてると。

桜庭　そうですね。一口に「プロレスラー」っていっても、いろんな種類のプロレスラーがいるじゃないですか。僕はその中のある一部の種類の「プロレスラー」だと思います。魚屋とか肉屋とか八百屋とかそんな感じじゃなくて、「プロレスラー」っていろんな種類の人がいるので、そこの一部分の仕事はしてると思いますよ。全部の仕事はできないし、僕は血も流したくないし、火を噴いたり噴かれたりとか、バットで殴られたりとか、ああいうのはイヤですからね。まあ、トップロープは上がるかもしれないけど（笑）。

——やっぱりそれは桜庭さんの趣味嗜好の範囲とちょっと違うというか……。

桜庭　趣味じゃないし、僕の考えに合いませんから。だいたい僕はバットを持ったら人を殺しますから。バットの他にはどんなのがありましたっけ？

——う～ん、サーベルとか鎌とか……。

桜庭　鎌を持ったら楽勝で人を殺せますからね。まあ、あれはあれで面白いですけどね。

——分かりました。今日は素敵な発言がいっぱいあったのでよかったです、エヘヘッ。

桜庭　グレイシーのところは、ちょっと柔らかく書いてくださいね。

——柔らかくというと、「～なんじゃあ!!」とかっていう感じですか？

桜庭　ダメですよ、ダメですよ。それだとキツくなっちゃうじゃないですか。

——じゃあ「ホイラーちゃんはオマケなのよ、うふ」とか？

桜庭　言葉の最後に♥を付けたり（笑）。

——そういうのはボクは得意ですから、いっぱい付けておきま～す。■

11・21 PRIDE.8 プロレスVSグレイシー 攻防の行方——

KAZUSHI SAKURABA

本誌読者にアイ～ン級のお知らせだ!!

アイ～ン・その❶
桜庭より本誌読者にプレゼント！

な、なんと桜庭選手より本誌読者に朗報。髙田道場のファイターコース会員になりたい方へ、本誌持参で先着2名にかぎり入会費無料とのこと。これは使わない手はないぜ!!　また髙田道場では随時会員を大募集中。詳細は髙田道場（☎03—3755—1444）まで

アイ～ン・その❷
桜庭とともに『プライド』を盛り上げるエンセン井上トークライブ決定!!

本誌でも活躍中の〝Show〟大谷泰顕がお送りする『プロレス＝格闘技トークライブ』。その第2弾に「エンセン井上」が登場。開催日は11月3日PM6時半より、場所は渋谷ロックウエストにて。なお当日は本誌編集長・サダハルンバ谷川も参戦予定。詳細はメディアワークス（☎03—5281—5248　担当・星野）まで。キミもプライド8直前情報をゲットせよ！

◀本誌読者に太っ腹なプレゼントを決めてくれた桜庭

“それでもフリーファイトの鍵を握る男”

髙田延彦

ホイラーの後ろにヒクソンがいることを考えると、当然思い入れが変わってくるよ。

聞き手◎″Show″大谷泰顕
撮影◎山口比佐夫

ついに決定した桜庭VSホイラー戦。これを桜庭本人とはまた違った感覚で、熱く感じとった男こそ髙田である。最初のヒクソン戦から丸2年を経た今、髙田はグレイシーになにを思うのか。髙田の言葉にはフリーファイトの今後の動向が隠されているはずだ。

髙田 今日は『格通』の取材？

――違いますよ（苦笑）。

髙田 じゃあ『ゴン格』か。

――いやいや『SRS・DX』です。

髙田 あっそう。で、今日は何？ 俺はバッチリじゃないよ、何もないから。

――いえ、そんなことないはずですから。

髙田 申し訳ないけど何もない、ハッキリ言ったら。なんか探りに来たの？ でも、俺らが考えてることとかさ、知ってるだろ、Showは。

――いやいや、全然知らないです。

髙田 もう新鮮味がないだろ、Showは俺と会っても。

――そんなこと言わないでくださいよお。ボクは髙田さんと会えることが楽しみなんですから。

髙田 あっ、そう。どこへ行ってもそういうこと言ってんだろ。だろっ？

――えっ……（苦笑）。とにかくボクはプロレスラー（格闘家）が好きなんで。

髙田 だから、どこへ行っても同じこと言ってんだろ？

――いや、言わない人だっていますもん！

髙田 誰？

――……ノー・コメントです（苦笑）。

髙田 まあ、いいや。で、何？

――あの～、髙田さん。最近ボクはちょっと分かってきましたよ。

髙田 何を？

――なんていうのかなあ、ちっちゃいながらも専門誌って、いろんな人に影響を与えるもんなんだなっていうことが。

髙田 うん。小さな世界だからねえ。30年経っても「村」だから。電気が通ったかどうかも分からないくらいだからね。自給自足だよ。

――ホントに自転車操業なんですよね。

髙田 で、今日のメインは何なの？

――桜庭VSホイラー戦というか、グレイシー絡みの話なんですけど。その前に髙田VSアレク戦を軽く振り返ると、あの試合でボクは髙田延彦のローリングソバットを見れたのが嬉しくて嬉しくて。

髙田 うん。

――いや、あの打点の高さがよかったですよ！

▼最初のヒクソン戦から丸２年。その間、高田はフリーファイト界で「時の人」となっていった

高田　打点高いでしょ。もうすぐバレーボールのワールド・カップだから。

──ああ、なるほどお！　で、桜庭VSホイラー戦なんですけど、今まで日本の格闘技界がグレイシーにやられてきた部分へのリベンジというか、そういう見方がありますよね。

高田　うんうん。

──まず桜庭VSホイラー戦が決まった時に、高田さんはどう思ったんですか？

高田　これは「面白くなるなあ」って思ったよ。一つ大きなテーマがあるでしょ？　桜庭自身も、そして『プライド』のリングの中にも「超原点的御題目」がまた甦った、ということだよ。誕生したと言ってもいいね。サクにとっては新しいテーマになるかもしれないけど、これはベストテーマだと思うよ。

──当然、グレイシーと自分の後輩がやるってことで、ちょっと今までと気持ちが違うというか……。

高田　やっぱり、ホイラーの後ろにヒクソンがいることを考えると、当然思い入れが変わってくるよ。その相手と桜庭がやるわけだから、自分の試合のようなね緊張感と、嬉しさ、興奮、それに似たようなものがあったよな。

──ああ、まるで自分のことのように、ですか。

高田　うん。やっぱり「腐ってもヒクソン」だから、誰だって闘いたいわけだよ。でも、なかなかそういうチャンスはもらえない。そのチャンスを俺と最も近いところにいる桜庭が得る可能性があるというのは……って、そこまで先を考えると、もちろん他人事じゃないよ。自分の身に関わることと全く変わらない想いがあるね。それは、桜庭がそんなに感じる必要はないんだけど、「ああ、桜庭もまた一つ大きなものを背負ったな」と。それがおそらく、日に日に分かってくるんじゃないかな。それがプロだよ。サクがそこまで登ってきたってことだよ。

──ああ、はいはい。

高田　背負うものがあってのプロなわけでしょ？　背負うものがなければ4回戦ボーイのボクサーでいいんだから。ひょっとしたら桜庭って、もともとそういうものを背負うことがタイプじゃなかったのかもしれない。それが現実として、そういうポジションまで来たことが選手冥利に尽きるし。桜庭がやってきたことが

NOBUHIKO TAKADA

今の新日本は新日本であって新日本じゃないんだよ

そういう現実を生んだということだからね。

──ああっ、そうかあっ！

高田　もしホイラーを単品で見るんだったら、あえてやる必要はないし、それほど魅力はないよ。やっぱり後ろにヒクソンがいることが大きな大きなポイントなんだよね。

──確かにそうだよなあ。で、今回の試合はホイラー側の要求で、ルールが若干変わったと聞いたんですけど、高田さんから見ると、グレイシーらしいなという感じですか？

高田　相変わらずね、自分のほうから「お願いだからサクラバとやらしてくれ」と言ってるわりには、言ってることとやってること違うんだよ。「どんなルールでもやりますから、やらしてくれ」と。それが本来の彼らの今回置かれている立場としては、当たり前の姿勢だよな。ただ、所詮はこんなものなんだろう。そんなものに躍起になって、ルールのこの部分を……って細かく言うよりも、とにかくアクションを起こしてリングに上がってブチのめすのが一番早いわけでしょ。

──その方が早いですよね。で、今回はアレクサンダー大塚VSヘンゾ戦もあるし、グレイシー包囲網というかたちになってるんですけど、やっぱり日本人が、というよりもプロレスラーがグレイシーを倒さないとダメなんですよね。

高田　そうだね、やっぱりプロレスラーが倒さないとな。彼らはプロレスラーで太ったんだから、プロレスラーが倒さなきゃダメだね。

──あ、プロレスラーが倒さないと。じゃあ、それに関連する話をすると、最初の高田VSヒクソン戦からは、もう丸2年も経ってしまったんですけど、高田さんはこの1年なり2年は長かったですか？

高田　短かったね、短いよ。ただね、最初のヒクソン戦は凄く昔に感じる。でも、早いんだよ。

──えーっと、凄く昔に感じるのに……、早い？？？

高田　たぶん、あまりにもぼんやりしたものしかないんだよ、今。だからね、「ああ、そんなことあったなあ」っていうくらい大昔のような気がする。時間の経過と凄く反比例なんだけど、凄くこの2年は早く感じたよ。「あっ、もう2年？」っていう。だけど、その時のことを自主的に前後を思い出したりとか、当日の試合会場の風景とかを思い出すと、セピア色なんだよね。カラーじゃないんだよ。そのくらい昔。ぼんやりしちゃうんだよね。病院に行ったら、「そんなセピア色のわけがない。ボケです」って言われちゃうかもしれないけどね（笑）。

──いやいや（笑）。というか、まあ、良くも悪くも93年に初めてアルティメット大会（UFC）が開催されて、グレイシーが出現してから、この6年間のマット界はグレイシーに悩まされ続けてきたけれども、逆の見方をすれば、グレイシーで食ってきたというか、そういう部分はあると思うんですよね。

高田　一つの大きな起爆剤になったんだろうね。それはプロレス界に対しても、他に対しても、世界を含めてさ。「な

に？　こんな競技があったの」という、それはたくさんの人がね、目からウロコだったと思うよ。そういう意味では一つの脅威というものが起爆剤として、そして今、Ｓｈｏｗが「それで食ってきた」と言ったけど、要するにマット界を引っ張る一つの原動力になってるのは間違いないね。

――「打倒グレイシー！」みたいになってますもんね。ところで、結果的に去年の髙田VSヒクソン戦から丸1年後に、小川VS橋本戦が、場所も同じ東京ドームであって、内容的なことは多少見聞きしているんですけど、髙田さんなりの印象っていうのはどうなのかなあと。

髙田　まず、見てないから分からないね。どんなだったの？

――一方的に小川選手が勝ったんです。

髙田　期待通りの試合だったの？

――ボクは面白かったですね。

髙田　ふう～ん。じゃあ良かったじゃない。だってそれがすべてだもん。面白かったらそれでいいじゃない。

――いや、まったく。ただ、やっぱりボクはその輪の中に髙田延彦が入ってほしいなあと思っちゃうんですよ。

髙田　またか!?

――やっぱり10月11日を超えた人たちでドラマを作ってほしいなあ、と。

髙田　それも強引だよねえ（笑）。

――というと、今のところは小川直也なり橋本真也なり、髙田さんには興味としてはないですか。

髙田　ないね。今のところは、まったく見えないよね。

――でも、この前の新日本のドーム大会にはアントニオ猪木の匂いがしたんです。「ああっ、これが新日本なんだよ！」っていう匂いが。で、当然髙田さんからも猪木さんを感じる時があるし。だから、その遺伝子がクロスしないかなあ、と。

髙田　それは緊迫感だよ。新日本の会場と全日本の会場の違いっていうのは、緊迫感でしょう。何が起こるか分からないっていうさ。

――そうそうそう！

髙田　今までそれを新日本が猪木さんによって注入されてきたっていうか、作られてきた一番大きな財産であり、凄いコンセプトなんだから。そういう部分が消えつつあったっていうね。ただ、あそこに緊張感を運び込んだのは小川だから、小川があの中にいなければ、その部分はないんだよ、今の新日本にはまったく。それがなければ、新日本も全日本も一緒なんだよ。新日本にはあれだけ選手がいて、新日本の遺伝子みたいなものがたくさんあるわけだから、なぜそれを作り出せないのか。そうしなければ、永久に続かないと思うんだよ。外から引っ張ってきても、「じゃあ中身は何なの？」ってさ。だから、今の新日本は「新日本」と名乗ってはいるけど、新日本じゃないんだよね。空想っていうか空虚っていうか。ただ、外から引っ張ってきたものによってその空気は単なる緊張感から、普段の新日本の会場で味わえない、昔嗅いだことのある緊張感が覆っているものを敏感に感じ取って、懐かしいなあっていうものを感じさせられたんだろうね。それ以外ないよ。

佐竹のK―1撤退？　どんなフリーファイトをするのか見てみたい

11・21 PRIDE.8 プロレスVSグレイシー 攻防の行方――

――でも、髙田さんっていうか、一時のUインターや『プライド』からもそういうものが見られたし、それがプロっていうか「プロレス」なんじゃないかなって気がするんですけどねえ。

髙田　まあ、非常に難しい問題だと思うよ。口ではあまり表現できないよな。

――確かに言語化は難しいというか。

髙田　見て感じるしかない。行って耳とか五感でさ、感じ取るものだからね。それが一番の説得力で「これだ！」って分かるんだから、分かる人は。

――前回の髙田さんのインタビュー（本誌6号に掲載）にも「今さら『ストロングスタイル』って眠いよね」みたいな言葉がありましたもんね。

髙田　うん、眠い。

――あ、やっぱり。で、あの～、ちょっと話が変わりますけど、最近、「佐竹雅昭、K―1撤退」という話があったんですけど、それを聞いた時に髙田さんはどう思いましたか？

髙田　う～ん、あんまり何も思わないね。「あ、そう」って感じ。

――佐竹選手と髙田さんの接点といえば、昨年の4月にあったK―1で、試合後に花束を渡した時くらいですよね。

髙田　あとは（今年の4月に）シアトルでちょっと一緒にいたけどね。

――ああっ、そうかあっ！

髙田　でも、どんなフリー・ファイトするのか、客観的な目で見てみたいよね。潜在的にどんなものを持ってるのか。

――それは見たいですよね。で、髙田さんとしては、今現在決まっている試合はホイス戦になるわけですよね。

髙田　うん、そうなるんじゃないかな。

――可能性としての話でいいんですけど、ホイス相手にソバットが出ることもありますかね。

髙田　出るんじゃないの、チャンスがあればソバットだって。だからすぐにタックルに来ないでもらいたいな。離れてりゃあ向こうにも害はないんだから、離れておけ、ってね。ヒクソンみたいに立ってるのがイヤだからすぐに組み付きに来るじゃない。そうするとハイキックもできないし、裏拳もできないしさ。

――その辺がアマチュアなのかなあ。

髙田　とにかく「待っとけ！」と。まあ、そう言うと意地になって最初からつかみに来そうだから、まあいいや。寝てソバット出す練習しようかな（笑）。

――じゃあボクも、それを期待して今から胸を踊らせてま～す。■

▲「小川VS橋本は見ていない」と言った髙田。ぜひとも次回はビデオを見た感想を聞きたいところだ

「山本さんは時代遅れなんですよ」

超ハイテンション対談

アレクサンダー大塚×ターザン山本

（恐るべき振り幅の「言語の魔術師」）　（時代遅れの大卑屈な53歳）

アレク　最近山本さんはキャバクラにハマッてるそうですね。

山本　そう！　キャバクラにはキャバクラの間合いがあるんですよぉ。その間合いを楽しむわけよぉ。相手は商売で引っかけようとしてるんだから、自分から間合いを詰めちゃうと相手は逃げちゃうわけよぉ。その間合いを楽しんで間合いを遊戯にするわけよぉ。それをうまくやると有意義な時間になるわけですよぉ！

アレク　自分も遊ぶし相手も遊ぶということですか。プロレスと同じですね。

山本　同じ！　相手は商売なんだからぁ。でも、1％ほどやっぱりさぁいい男に出会いたいという気持ちがあるわけよぉ。その1％に食い込めるかどうかということはぁ、神の思し召しですからぁ！

アレク　アハハハハッ。

山本　そーゆーことです！　で、まず大塚さんに聞いてみたいのはぁ、『プライド7』で髙田選手と闘いましたよねぇ。あれ僕は、あんなことをやったら『プライド』は終わりだという文章をドカーンッと書いたわけよぉ。それは大塚さんの目にも止まってると思うんだよぉ。あれについて正直なね、「ターザン山本はけしからん！」とか「また勝手なことを言ってる」とかいろんな想いがあると思うんだけど、その答えはなんでしょうか！

アレク　な、なんかクイズみたいですね（笑）。まあ、純粋な気持ちとしては僕の選手としてのあの試合へのモチベーションとか……。

山本　それはあるよねぇ。

アレク　は？　いや、そういうモチベーションをあんまり見てくれてないから、山本さんはああいう答えになったのかなあと思いましたね。

山本　そのモチベーションはどんなモチ

ベーションなんですかぁ。それはメッセージとして僕らに伝えようとしてるわけでしょ。

アレク　メッセージとしては、「僕はいろんなところでいろんなことをやるよ」と。さらに個人的に髙田選手へのアプローチというか、僕の質問なり、髙田選手に出してもらいたい答えなどを聞き出す闘い方をしただけだったんですよね。

山本　手応えはどーだったんですかぁ！

アレク　それはありました。

山本　あったぁ!?　じゃあ、自分のモチベーションに期待した答えは個人的には全うしたわけですかぁ。

アレク　そうですね。及第点は取れたと思います。

山本　自分の中で及第点はあるけれども、物事というのはぁ、自分以外の他者の人が評価するというもう一つのベクトルがあるでしょう。

アレク　そうですね。だからあの試合に限っては本当に自分のワガママをかなり大きく出した試合だと思います。

山本　あっ！　どんなに外野席の僕たちが突っ込んでいったとしても「私はこのモチベーションでやる」という形を貫いて、それなりの答えをつかんだからぁ、自分の中では完結してるわけ？

アレク　そうですね。で、さらにそこで山本さんが言う「『プライド』のリングだから」という、そういう部分を逆にブチ壊してみて、新しい発見があるかもしれないっていう部分も僕は試してみたかったんですよ。

山本　えっ！　じゃあ、僕たちが幻想を抱いていた『プライド』の流れとか、そーゆーものを自分のモチベーションとして、一旦ブチ壊したいという意味で髙田さんとのカードをあえて組んだということはぁ、僕たちに対する挑戦状ですかあ！

アレク　アハハハッ、まあ挑戦状と言えば、見ている側の人間への挑戦ですよね。だって常に挑戦ですよ。

山本　恐ろしいことをするねぇ！

アレク　アハハハッ、いいですねえ、こういうテンションのインタビューは初めてですから楽しいですね（笑）。

山本　だって恐ろしいことだよぉぉぉ！

アレク　だから見てる観客の人たちは常に僕たちに、自分たちの望んでいる答えを要求してるわけじゃないですか。逆にそれに対して僕たちは、僕たちの答えを投げ返しながら闘ってるわけですよ。

山本　まあ、ひとことで言うと髙田さんに負けてほしくなかったんだよぉ、僕の個人的な気持ちではぁ。

アレク　そういう期待を持ってくれた人も多かったですよ。まあ、でもそういう見方をしてくれる人もいれば、ある意味、これも僕の挑戦状になるかもしれないですけど、山本さんは時代遅れなんですよ、時代遅れ。

山本　…………僕がぁ？

アレク　はい（笑）。

山本　ターザン山本が時代遅れ？　初めて言われたよぉ、プロレスラーからぁ！

アレク　それはもう古い考えなんですよ。たとえばグレイシーに関しても、トップレベルでやってる選手、まあ僕はそんなトップレベルじゃないんですけど。桜庭さん、髙阪さん、外人で言えばフランク・シャムロックとかマーク・ケアーとかそういう選手から言わせれば、やっぱりヒクソン・グレイシーはプロレスラー的な幻想を自分で作って大きく見せてるわけじゃないですか。そこでいわゆる対戦相手を選んでると言われながらも、やっぱり無敗を築いてきてる。そういう部分があるにもかかわらず、実際にそういうトップレベルでやってる選手からすれば、彼の時代は終わっていってるし、今はピークから下り坂の時期だから、対戦してくれないんだったら対戦しなくてもべつにいいんじゃないという。

等身大が奥深いんですよ、僕は（笑）

11・21 PRIDE.8 プロレスvsグレイシー 攻防の行方——

キミはある意味で「言語の魔術師」だねぇ

山本　あっ！　僕たちは過剰にヒクソンというものをね、強いという幻想を物凄く作り上げて、まだヒクソン、ヒクソンと言ってるけども、大塚さんの時代感覚からするともうヒクソンは終わってる、と。それに僕たちがいまだにヒクソンが強いと言ってることは超時代遅れというわけですねぇ？

アレク　まあ、超時代遅れとまでは言わないですけれども（笑）。

山本　ボケナス！　頭が古い！　と。

アレク　まあ、それにすがりつきたい気持ちも分かるんですよ、凄く。ファンの人たちにせよ、どうしてもヒクソンがタップするところを見たいというのはあると思うんですけど。実際にやってる選手側からしてもそれを見せたい気持ちは凄くあるけど、試合ができない現状というものがあるわけですよ。

山本　できないということはぁ、ヒクソンが逃げてるということですねぇ。

アレク　そうでしょうね、たぶん。

山本　もう宮本武蔵みたいなもんだねぇ、勝つ試合しかやらないというか。

アレク　そうですね、分からないですけどね。

山本　でも、やりたいんだけど逃げてるということで言うならばぁ、大塚選手の中ではもう見捨てた、と。

アレク　まあ、偶然に出くわして僕が対戦できることになれば、もちろんやりますけど。

山本　俺たちは古いんかぁ〜？？？　まだヒクソンに幻想を抱いてるということは俺は時代の尾てい骨かぁ〜。たしかにそう言われると、大塚さんのほうが物凄く進化してるよなぁ。100歩くらい進んでるというかぁ。ハッキリ言って、大塚さんがこんな面白い人だとは知らなかったよぉぉぉ！　等身大のアレクサンダーだと思ってたよぉ、俺はぁ。

アレク　いや、その等身大が奥深いんですよ、僕は（笑）。

山本　等身大が奥深い!?　若い時代からそういう言葉を使うというのはぁ、キミはある意味で「言語の魔術師」だねぇ。

アレク　アハハハッ。不思議ですねえ、僕は口べたなんですけどね（笑）。

山本　で、『プライド8』では大塚さんは、とうとうグレイシー一族のよ〜するにヘンゾ・グレイシーとやるわけね。じゃあ、『プライド7』で僕はさぁ、大塚さんにアンチテーゼを送ったんだけども、それに対して今回そのヘンゾ戦で見返してやろうという、そーゆー気持ちはある？

アレク　ええ、自分の中ではあります。

山本　もうプランできてる？

アレク　うーん、ある程度は。

山本　「ターザン山本があんなふうに『プライド7』のことを言ったから、『プライ

古いと言われたのはショックだよぉ

ド8』の俺はこういうものを見せてやる！」というものはあります？

アレク　はい、ありますあります、自分の中の課題というか。だから、今回の『プライド8』が『プライド7』のあの試合内容によって、さらに大きく評価してもらえるようなプランを考えてます。

山本　でも、一つの答えっていったら、ヘンゾに勝つしかないと思うんだよね、僕は。負けちゃいけないと思うんだけど、どーですか？

アレク　それはもちろんそうだと思いますけど、「勝つしかない」というのはさっき言った時代遅れの部分でそういう言い方をすると思うんですよ。

山本　あっ！「勝つしかない」という言い方がもう時代遅れなんですかぁ。

アレク　そうでしょうね。

山本　グレイシー即「敵」と考えるのは、これは古くさい？　もう。

アレク　いや、そんなこともないとは思いますよ。でも、グレイシーに属しながらも肩身の狭い想いをしてるヤツもいるかもしれないですよ。「俺もあんなプロレスをやりたいなあ」って思ってるヤツがいるかもしれないじゃないですか。格闘技側の人間にもプロレスをリスペクトする気持ちのある人間とない人間がいるし、グレイシーでもプロレスをリスペクトするハートの持ち主であれば、全然ノー問題だと思います。キチンと一線を引いてプロレスラーとして自覚を持ってやってる選手からすれば、格闘技系の選手でトップレベルの選手というのは本当にプロと変わらないくらいの力を持ってるのは凄くよく分かってるんですよ。

山本　あっ！アレクサンダーさんから見ると、たとえばシューティングの人たちとかいますよねぇ、いろんな選手が。そーゆー人たちを評価してるということですか？

アレク　僕は評価してますよ。まあ、でもプロレスをやれるかといったら、彼らはできるかどうか分からない。人によってはできるかもしれないですけど、その選手次第ですよ、やっぱり。僕は格闘技側もリスペクトしてるし、彼らがプロレスをリスペクトしていれば、自然に入り込めるんだと思いますよ。

山本　じゃあ、プロレスと格闘技には壁がないとゆーことですか？

アレク　壁がある人もいれば、壁がない人もいるし、意識的に壁を作って行き詰まってる人もいると思います。

山本　じゃあ、プロレスと格闘技は行き来可能なんですねぇ。

アレク　全然行き来可能ですよ。だって、僕は行ったり来たりしてるじゃないですか。慧舟會にいて、今ＵＦＯの村上一成選手だってウチのリングに上がってますし。だから、これは一つの家なんですよ。

山本　えっ！バトラーツと慧舟會は一つの家なんですかぁ？　じゃあ、家族ですかぁ！

アレク　家族……かなあ（笑）。まあ、家でなければ一つの植木鉢の中に入ってるんです。同じ土なんですよ。

山本　驚いたねぇこれは！　土が一緒だってえ!?

アレク　地層があるじゃないですか。格闘技側とプロレス側の地層は微妙にズレてるけど、底の地層に行けば行くほど同じ地質に近づいてくるんですよ。

山本　あっ！それを探っていくと最後の地層のところになると同じ土であるとゆーことですね！

アレク　はい、そうです。なんか今日はいいこと言うなあ（笑）。

山本　なんか今日は丸め込まれてるみたいだなぁ（笑）。じゃあ、核心に入るんだけど11月に入ると大塚さんは5日に掣圏道で佐山さんと闘う。で、9日に後楽園でミスター・デンジャーの松永光弘と闘う。で、13日にはメキシコでやってたマスクマンになって徳島で闘う。最後は『プライド8』で……。

アレク　いや、徳島では新崎人生さんとタッグを組んで闘うことも決まったんですよ。

山本　えっ！徳島で二興行あるわけ？

アレク　いや、13日の一興行で僕が2試合するんです。

山本　あちゃ〜っ！　ダブルヘッダー？

アレク　はい。

山本　恐れ入るねぇ、そっちは。で、最後は『プライド8』で締めるんだけど。

アレク　いや、『プライド』で締めないですよ。その後にまだタッグバトルが4試合残ってますから。

山本　……なんか、俺は凄く古いという感じがするねぇ。まあとにかく、その一連の流れを見ると、大塚さんはレスラーとして凄い振り幅だよねぇ。ピーンッと掣圏道に行ったと思ったらデスマッチのほうに行く。で、今度はマスクマンになる。タッグを組む、『プライド』に行く。で、シリーズに戻る。物凄い飛び散り方というかぁ、振り幅が凄いねぇ。その振り幅を持つというのは自分にとって自然なことなのか？　快感なのか？　気持ちいいことなのか？　どうなんですか。

アレク　全部ですね。

山本　ぜ〜んぶっ？

アレク　楽しいし、刺激的だし、快感もありますね。身体的なことだけ考えると、辛いなあ、大変だなあと思うんですけど、終わってみてまあゴールインじゃないけど、たどってきた道筋を振り返れば「ああ、楽しそうだなあ」って思えますよね。

山本　でもね、レスラーって今まではUWFでいうと、Uのテーマという一テーマというか一アイデンティティでやってきたわけですよぉ。そーゆーものがもてはやされた時代から「振り幅」ということは、UWF的世界からすると物凄く無茶というか考えられない世界だと思うんだよねぇ。

アレク　だって、今現在の日本を見てくださいよ。コンビニエンス・ストアがいっぱいあって何でもあるじゃないですか。

山本　重いし複雑だよねぇ。いろんなものが視界に入ってるねぇ。

ファンタジーとしてのアメリカン・プロ

古いけど新しいんですよ、山本さんは

日本人というのは元々そういうのが好きなんですよ。薬屋さんが米とか野菜とか売り始めてる時代ですからね。

山本　今コンビニに行くと鮭の切り身もアジの開きも売ってるもんねぇ。

アレク　そうやって日本人の感覚がどんどん変わってきて、まぁ一部でしょうけどプロレスラーの感覚も変わってきて、僕はそういうレスラーであるということなんでしょうね。

山本　世界一の品揃えの「振り幅」があるコンビニ・レスラーですよぉぉ！

アレク　で、僕は賞味期限が切れる前にどんどんお客さんに買ってもらうということですよ。コンビニなんだけど、早く行かないと僕を手に入れることができないよっていうレスラーになりたいなって感じですかね。

山本　その振り幅の中に好き嫌いはあるんですか？

アレク　そうですねえ、最近は男女のミックスド・マッチをやってないんで、それがあればいいですね。それが不満です。

山本　あちゃ～っ！　どういうレスラーなんだぁ？　古い僕が言うのは申し訳ないんだけど、やっぱり価値観を考えると『プライド』が一番高くて、あとのものはちょっと低く見えちゃうんだけど、その考えも古い？　おかしい？　大丈夫？

アレク　うーん、ある意味で古いかもしれないですねぇ（笑）。でもそんなに卑屈にならないでください（笑）。

山本　大卑屈ですよぉぉぉ！

アレク　いやいや（笑）。でも、僕の感覚からなんですけど、やっぱり日本人の精神的な感覚の部分をずっと追求していけば、山本さんが言ってることのように結局勝負論に到着すると思うんですよ。だから、ある意味で日本でWWFやWCWのようなことをやったとしても受け入れられるのは本当にずーっと先のことじゃないかなあと思うんですけど。

山本　勝負論を持ってることがもう古いこと？　それはもうガンですかぁ？

アレク　いや、それが全然悪いっていうんじゃないですけども、ただ単にああいう勝負論のないエンターテイメントを日本で日本人がやろうとしても、日本人のファン層には受け入れられないから難しいんじゃないかな、と。

山本　よ～するにプロレスが生き延びていくには勝負論という好奇心もあるし、

11・21 PRIDE.8 プロレスVSグレイシー 攻防の行方――

ファンタジーとしてのアメリカン・プロレスもあるけども、これがうまく絡まないというか壁やギャップとかがあって、プロレスが育っていかない、と。

アレク　今はすべて勝負論にこだわってる人もいれば、ファンタジーを楽しんでる人もいて、すべてがミックスしてるから僕はそれなりに評価されてると思うんですよ。ですけど、もし仮に日本人が勝負論っていうのを全然無視できるようになっていったら、果たして僕みたいなレスラーは生き残れるかどうかっていったら分からないですね。

山本　あっ！　よ～するに大塚さんは勝負論も見せてるから、それが評価の一因になってるということですかぁ。

アレク　今はそうでしょうね、はい。でも、逆に勝負論がなくなった世界でも僕はそれで生きていけるように努力してるつもりです、常に。だから『プライド8』のヘンゾ戦は完全な100％勝負論で見てほしくはないですね。あくまでもプロレスラーとしてリングに上がる以上、勝負以上にお金を払って見に来てる人たちに、この興行、この試合が楽しかったと思って帰ってもらうっていうのが底辺にありますから。そういう部分で100％勝負論というつもりは僕にはないです。

山本　じゃあ、負けてしまう可能性もあるねぇ。負けたらショックだよねぇ。

アレク　でも、喜ぶ人がいますよ。格闘技側のプロレスをリスペクトできない人たち。「ほら見ろ、マルコ・ファスに勝ったからって……」って喜ぶと思いますよ。だから、そういう人たちを喜ばせないように僕は頑張っていかなければいけないと思います。その人たちのハートを変えていくためには、今回の勝負っていうのは重いものがあると思いますよ。

山本　重いし複雑だよねぇ。いろんなものが視界に入ってるねぇ。

アレク　だから、僕にとっては11月の頭からこれだけ忙しいっていうのは、ヘンゾに勝った後に優越感に浸る格好の条件という部分があるんですよ。

山本　そこまで言うかぁ！

アレク　だから、昔のレスラーとはやっぱりちょっと違いますね。

山本　勝負論がすべてだと俺たちは思うけど、それがすべてじゃないと考えてるところは現代的だよねぇ。

アレク　だいぶまとまってきましたね（笑）。

山本　ようやく見えてきたよぉ。

アレク　見えてきましたか（笑）。

山本　今日は一つだけハッキリしたことがあるよぉ。古いと言われたのはショックだよぉ。俺のアイデンティティが壊れたよぉ。

アレク　でも、古い部分もありますけど、新しい部分もありますよ。それがキャバクラですよ、今は。

山本　俺の新しさはキャバクラだけぇ？

アレク　いや、だけどキャバクラ＝プロレスの話なんて感心しましたよ。今までに聞いたことないですから（笑）。

山本　嬉しいこと言ってくれるねぇ（笑）。俺も振り幅をしてるわけですよぉぉぉ、キャバクラで。

アレク　やっぱり山本さんは根本でプロレスを離れられないから、そういうところに行っちゃうんですね。だから、古いけど新しいんですよ、山本さんは。

山本　なるほどねぇ。でも俺は今日、大塚さんにタップさせられたよぉ！

アレク　アハハハッ、それも僕の振り幅ですね（笑）。

山本　そーゆーことです！

■

超合体技〝眉山〟サク烈！

サスケを抱え上げたアレクを、人生がさらにジャーマンでブン投げる。これが二人が地元・徳島での合同練習であみだした必殺技〝眉山〟だ！

ヘンゾ戦まであと1カ月――

アレクはこんなにスゴい試合をしていた！

隔世遺伝は美しい！

もう、この一言に尽きる。10・17横浜文体のみちのく&バトラーツの合体興行は、断じてあれは「兄弟愛」じゃない！

「義兄弟愛」だ。A・猪木を隔世遺伝として受け継いだ2人の田舎者（失礼）が、猪木の孫の世代として義兄弟になったのだ。

だってサスケは岩手県盛岡市に拠点を持ち、一方の石川は埼玉県越谷市に道場を構えている。

どちらも田舎。空間的にも猪木イズムは、はるか遠くの地で受け継がれているのだ。

猪木の身近にいすぎたものは猪木の偉大さは認めても、身近にいたことで逆に猪木イズムに対してアレルギー症状を起こす。

藤波しかり。長州しかり。坂口しかり。闘魂三銃士しかり。新日本のフロントしかり。

それに比べたらサスケと石川は楽。猪木と利害関係がない。これは猪木ファンも同じである。

つまり利害関係のない者にしか真の猪木イズムは、伝承されていないのだ。〝猪木チルドレン〟とは彼らのことを言う。

こうして10・17横浜文体は「猪木イズム隔世遺伝の祭り」となったのである。

メインに登場したアレク、人生組と闘った2人は、共に団体の社長レスラー。猪木イズムの後継者を名乗るのだったら、彼らのように社長のような立場の組織のトップにいなければならない。

ただし、部下は猪木イズムとはまったく関係ない。そこがまたサスケと石川の面白いところ。

結局、2人は団体の中で独り相

みちのくプロレス&バトラーツ

兄弟愛♥～横浜純情編～

10.17★横浜文化体育館

◎全試合結果

★第0試合
○ つぼ原人　（4時間52分53秒、スモールパッケージホールド）　リレー少年 ●

★第1試合
○ 日高郁人（バトラーツ）　藤田稔（みちのく）　（18分29秒、ショーンキャプチャー）　マッハ純二（バトラーツ）　土方隆司（バトラーツ）●

★第2試合
○ グラン浜田（みちのく）　望月成晃（武輝道場）　（11分50秒、片エビ固め）　折原昌夫（フリー）　小野武志（バトラーツ）●

★第3試合
○ 村上一成（UFO）　（9分34秒、KO）　モハメド・ヨネ（バトラーツ）●

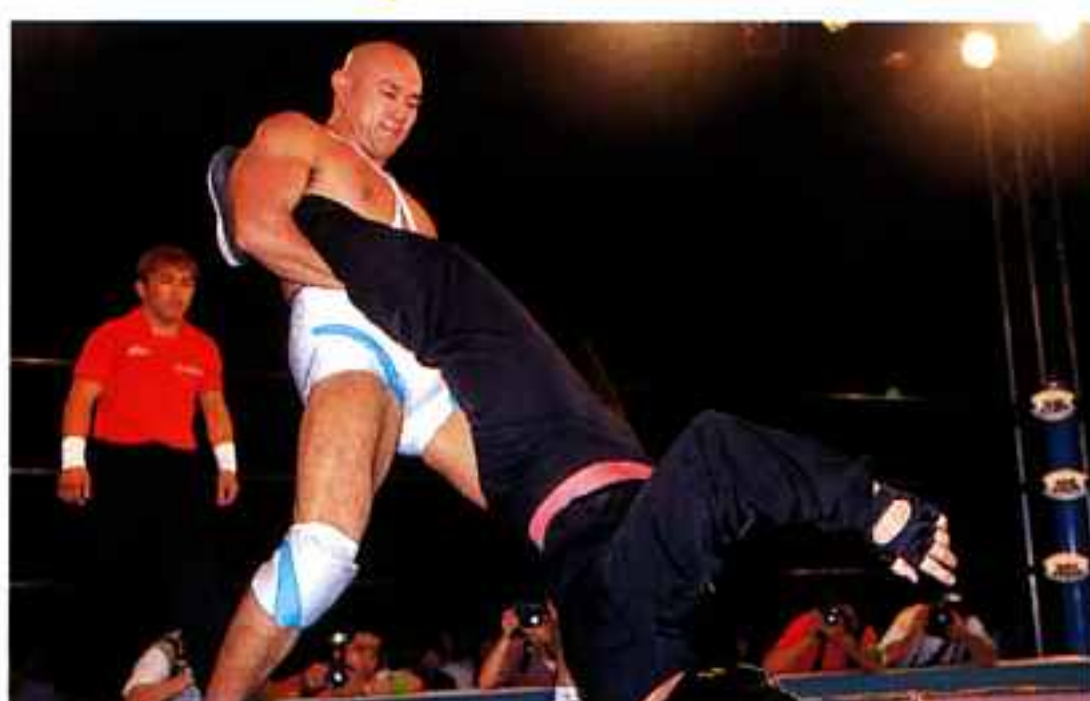
★第4試合
○ タイガーマスク（みちのく）　（12分7秒、チキンウィングフェイスロック）　臼田勝美（バトラーツ）●

★第5試合／インディペンデント・ワールド・Jrヘビー級選手権
○ 佐野なおき（高田道場）　（11分22秒、片エビ固め）※佐野が2度目の防衛に成功　カレーマン（みちのく）●

★第6試合
○ TNT　（8分12秒、片エビ固め）　池田大輔（バトラーツ）●

★第7試合
○ TAKAみちのく（みちのく）　（19分26秒、キャメルクラッチ）　田中稔（バトラーツ）●

★第8試合
新崎人生（みちのく）　○ アレクサンダー大塚（バトラーツ）　（25分27秒、ドラゴンスープレックスホールド）　ザ・グレート・サスケ（みちのく）●　石川雄規（バトラーツ）

▲▼サスケ＆石川が卍固めとコブラツイストを決めれば、人生＆アレクは拝み渡りとジャイアントスイングで対抗。観客は沸きまくった

▲▼サスケとアレク、石川と人生がぶつかるのはこの試合が初めて。シングル対決でも見たい組み合わせだ

▲バトラーツの９月シリーズにも参戦したＵＦＯの村上一成は、第3試合でモハメド・ヨネと対戦。「小川のオマケ」という挑発にキレた村上は、パンチ、キックのラッシュでモハをボコボコにし、ＴＫＯ勝ちを収めた

平成デビューの"昭和"レスラー チームOVNIは猪木イズムの隔世遺伝である！

▲骨の髄まで猪木イズムが染み込んでいる石川とサスケの社長コンビ『チームＯＶＮＩ』（スペイン後でＵＦＯの意味）。試合後も「アイツらも強くなりました」と、猪木節全開。入場テーマは『猪木ボンバイエ』だった

アレク、ドラゴンスープレックスでサスケをフォール！

▲フィニッシュは、"眉山"に続いてアレクが放ったドラゴンスープレックスだった

◀"第０試合"として唐突に始まったつぼ原人とリレー少年の時間無制限（ここがミソ）一本勝負は、ほかの試合が始まっても場外（というか会場外）で勝手に闘い続けるというとんでもなく長い試合に。結局、勝負が決まったのは大会後の打ち上げパーティー会場だった…。4時間52分53秒続いたこの試合は、猪木ＶＳマサ斎藤戦を越え、最長試合記録を更新

▲高田道場の佐野なおきが第５試合に登場。カレーマンと超異色対決を行った。カレーマンはサスケを破ったこともある、見た目とは裏腹な実力者だが、スプーンを持って入場した佐野が雪崩式バックドロップで見事にカレーを平らげた

▲佐野のセコンドには、桜庭和志がついた。桜庭は試合後、佐野に紹介されてリング上で『プライド８』でのホイラー戦をアピール。メインではサスケ・石川組に花束も贈呈した

撲の猪木イズムをやっているわけで、これがこの社長たちの憎めないところでもあるのだ。

そういう意味ではサスケと石川は、人徳があると言えるし、一方では、道楽社長とも言える。

端から見ると愛すべき社長ということである。この日、本当に2人はうれしそうだった。

アレク、人生組が練りに練った必殺技"眉山"によって、サスケ組は負けたのだが、敗北の暗さはまったくなかった。

試合後のマイクアピールにそれが表れている。

まず、石川。

「挑戦をやめた時に人は年老いていくんです。永遠の友情でこれから一緒に闘っていきましょう！」

次にサスケ。

「今日、来てくれたお客さん、愛してる。本当に今日、どうもありがとう。最後にバトラーツ、みちのくプロレス、永遠に不滅だ！」

その後、会場にはなぜか"猪木ボンバイエ"の曲が流れ、客席からは"イノキコール"が…。そんな中、2人の社長レスラーが花道を退場していった。

隔世遺伝ゆえの彼らの屈託のなさが、なんとも心地いい。猪木イズムの重たい部分にこだわる石川。どこまでいっても軽いサスケ。

この2人の好対照ぶりは抜群のコンビだ。みちプロとバトラーツがなんの抵抗もなく自然に合同興行ができるのは、社長が能天気な猪木イズムの申し子だからだ。

能天気というのは自分も好きなことをやるが、部下にも好きなことをやらせるという意味である。

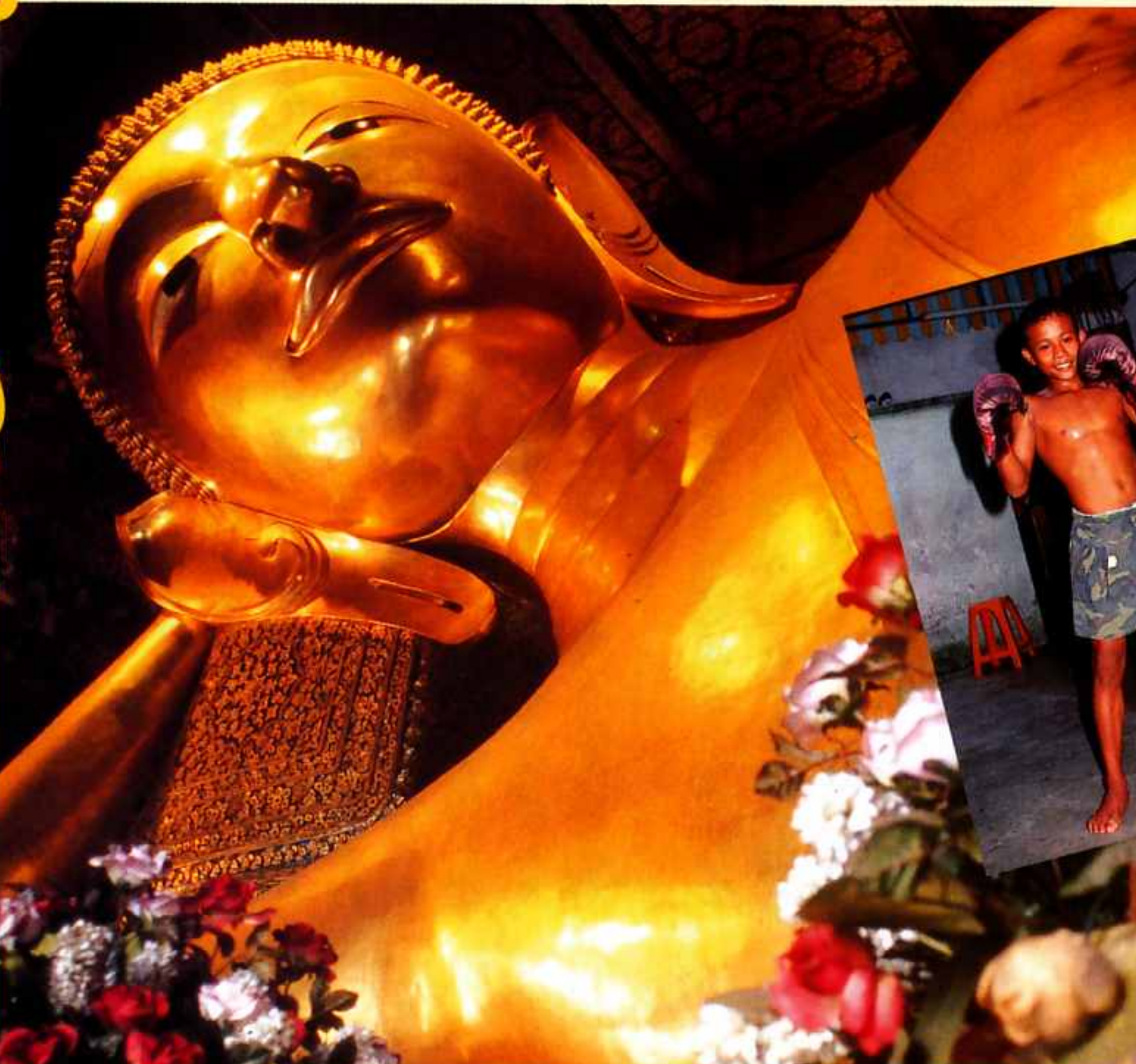
（ターザン山本）

微笑みの国タイの国技
ムエタイとは何か？

SRS・DX特集第8弾
What's MUAY THAI

11・28 新日本キック ラジャダムナン興行開催記念

11月28日、ムエタイの本場タイのラジャダムナン・スタジアムで、日本の団体として初めての興行を行う新日本キックボクシング協会。もともとキックボクシングのテーマと言えば「打倒！ムエタイ」だが、今回初めて日本のチャンピオン6人がタイに乗り込み、ムエタイ戦士と対戦する。では、その究極の立ち技格闘技「ムエタイ」とは何か？微笑みの国タイからの独走取材をお届けする。

取材構成◎水村由貴子　　撮影◎黒田史夫
取材協力◎新日本キックボクシング協会（伊原信一代表、鶴稔之広報）、（株）グロリア

ハングリー

腹ペコには、凄いパワーがある！ムエタイの強さは「ハングリー精神」にあり

▲学校が終わると、少年たちが、このサンドバッグを蹴りに来る

よく、ムエタイはハングリーな格闘技だと言われる。ハングリーとは、腹ペコの状態のことである。日本に住んでいると、お金がないとは言っても今日明日の食いぶちに困るような、ひもじい暮らしが続くことはない。この不景気の時代にだって、十分すぎるほど食べて生きていられるのだ。もし貧しい生活をしていたとしても、それは例えばある夢を持って上京した過程のことであったり、あるいはその生活をそれなりに納得していたりと、ある意味で自ら選び取って送っている中でのハングリーが大半なのではないだろうか。

ところが、まだ社会全体が成熟していないタイ東北部や南タイの農村では、1日3回の食事は言うに及ばず、毎日1度の食事も満足にできないほどお腹をすかして暮らしている子供たちがたくさんいる。年収がわずか数万円にも満たない大家族の中で、子供たちは本能的に、いつもお腹いっぱいにご飯を食べることを夢見ているのだ。

そういう日常の中にムエタイがある。タイでは、どんな田舎へ行っても、トタンや木で作った簡素な屋根の下にサンドバッグが一つだけブランと吊してある。彼らは幼い頃から自然にそれを殴り、蹴飛ばしながら育つ。日本人なら誰でも相撲の取り方を知っているような感覚かも知れない。そして地方で行われるチビッ子相撲のように、村祭りでは必ずムエタイの試合が行われ、そこで50バーツ（日本円で約150円）ほどのファイトマネーを手にする。少し大きな小屋で試合をすると、もうちょっと稼げる。ジムに入ればもっといい。食事の心配がいらなくなるのだ。

そのことは、彼らにとってどんなに心強いことだろう。私が彼らの立場だったとしても、そう思うに違いない。厳しい練習だって何のその。これからどんどん強くなって、お父さんやお母さんにも、おいしいものを食べさせてあげたい。そう感じるに違いない。

今回、新日本キック協会をサポートするタイのプロモーター、アナン氏が会長を務めるゲオサムリットジムに集まった、11・28ラジャダムナン大会に挑む強豪選手たちも、例外なく、そうした地方単位での試合から少しずつ上りつめてきて、晴れてバンコクの殿堂・ラジャダムナンのリングに上がることになった者たちだ。

SRS・DX特集第8弾
What's MUAY THAI

▲ほんの数日前に南タイのサトゥーン県からバンコクのジムに来た12歳の男の子。139センチ、34キロ。これからたくさん練習して、チャンピオンになりたいと言った

▲数十回を越えるマチャラチャイの連続ミットを、若い選手たちが食い入るように見つめていた

ゲオサムリットジム・アナン会長にインタビュー

──チャンピオンを多く生み出していますが、その秘訣は何ですか?

アナン　一番大切なのは、選手に渡すファイトマネーと食事をきっちりすることです。試合が終わると、私はすぐに選手にファイトマネーを渡します。時には、赤字になっちゃうこともあるんですよ。例えば、ある試合でファイトマネーが5万バーツって言われてても、その日の興行で赤字になると、プロモーターから5千バーツぐらい負けてくれなんて言われちゃう。それでも、自分のお金を使って5万バーツの半分の2万5千バーツを選手に渡してあげます。そのことが選手との信頼関係を作り、彼らに力を与えるのです(タイではジムが選手の生活費を負担する代わりに、ファイトマネーの50%を得るシステムになっている)。

▲選手たちに負けじとばかりTシャツを脱いだ、38歳のアナン会長がミット蹴り

──本来なら、きちんとしていて当たり前のことを、アナン会長がこんなに強調するなんて、ムエタイ界って本当に大変な世界なんですね。そうしたプロモーターたちは赤字になった時にダンピングをしても、入場率200%になった時にファイトマネーを倍にしてくれるかというと、そんなことはないんでしょう。真剣勝負で肉体を張る世界だからこそ、彼らの意識が変わってくれることを願ってやみません。

アナン　これからも選手と一緒に生活していくわけだから、みんなが気持ち良く練習できるようにしていきたい。頑張ります。

▲懸賞金付きの試合で、みごと相手をKOしたアヌワット

チャンピオンたちのハート♥は屈強でやさしい

ゲオサムリットジムに所属している十数名の選手たちの中に、クンピニット、マチャラチャイ、アヌワットという3人のチャンピオンがいる。中でもアヌワットは弱冠16歳で、ジュニアフライ級とフライ級の2階級チャンピオンの栄誉を手にし、今年度のMVP最有力候補と言われている。

彼は食うや食わずでゴザの上に寝泊まりしながら、地方の市場で手伝いをしていたところ、アナン会長から「根性ある顔をしている、強くなりそうないい子だ」と見初められ、ジムに連れてこられた。両親はいない。みんなから「チビ」と呼ばれて可愛がられている彼は、そのつぶらな瞳からはとても想像できないほど強烈なパンチを繰り出す。

取材の初日も、ラジャで見事なKO勝ち。こうして、今では数十万バーツを稼ぎ出すようになったアヌワットだが、勝利を祝してアナン会長に連れていってもらったレストランでは、なかなか箸も進まず、最後までお尻をモジモジさせて座っていた。

「どうしたの、食べないの?」

そう尋ねると、

「ジムでみんなと食べるから……」

彼は消え入りそうな声で、そう言ったのだ。こんな素朴な少年から湧き出る思いがムエタイの力となり、私たちを感動させてくれる。

このジムのもう一人の王者・マチャラチャイ。彼はWMC(ワールド・ムエタイ・カウンセル)バンタム級チャンピオンだ。8人兄弟の6番目だという。

「たくさんの階級でチャンピオンになりたい」とニコニコ笑う顔には、まだあどけなさが残っている。今年、初めてチャンピオンになり、6万バーツのファイトマネーをもらった時、ものすごく興奮したと言う。そのうちの5千バーツだけ自分で貯金し、あとの5万5千バーツは会場に来てくれていた両親に渡した。

お父さんもお母さんも、そのお金を喜んで持って帰ったと言う。ほんの10%だけ取って、あとの90%を両親に渡すなんて偉い。ジムの生活で食べるのに事欠くこともなくなった今、彼は本能的に、今度は両親や兄弟たちにも同じ思いをさせてあげたいと感じているのかも知れない。

そんな息子の気持ちは、何も言わなくとも両親に伝わっているのではないか。そうだとすれば、その思いを両親は、どれだけ嬉しく、頼もしく感じていることだろう。

ムエタイ選手には、ハングリーという名の素晴らしい精神が宿っている。彼らはみんな、明るく逞しい。空腹感に苛まれていた毎日。しかし、これからはチャンピオンになるという果てしなく続く夢が、彼らを未来に向かって駆り立てているのだ。

国技

500年の歴史に裏付けられた誇り。ムエタイは「国技」である

ワイクーは、タイの人々が深く信じている魔術や精霊の伝統をも表す

強靭な肉体と精神を持つタイの素手ゴロたちの歴史

ムエタイは、タイの国技だ。国技というのは、「その国を代表する競技運動」（広辞苑より）で、日本でいえば相撲にあたる。そういえば、ムエタイには相撲と共通する、格式を持ったたくさんの決まりごとがあるのに気づく。

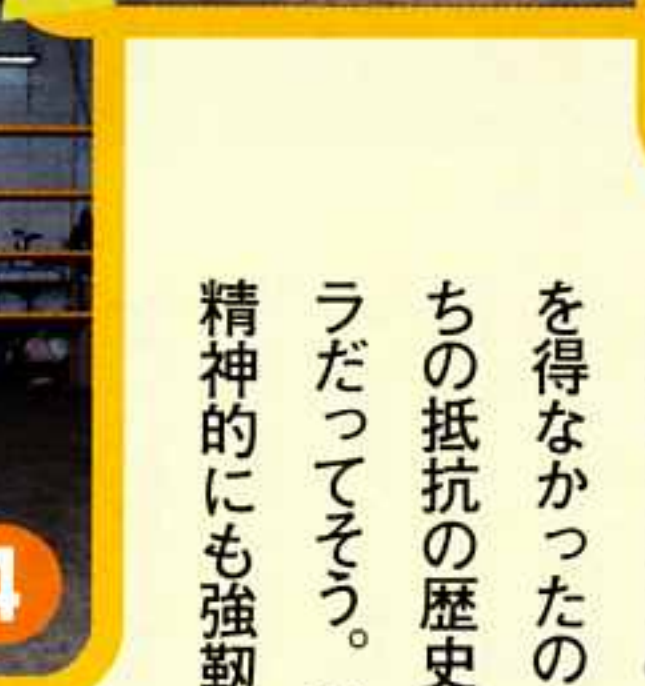
細長いヒモで作られた鉢巻のようなモンコンを身につけ、師への敬意を込めてワイクーを踊るのも、その一つ。力士が化粧回しをつけて、四股（しこ）を踏むというようなしきたりともよく似ている。

数年前のルンピニーでは、オランダのキックボクサーであるラモン・デッカーがワイクーを踊らなかったために、その試合がタイトルマッチであったにもかかわらず、公認されなかったという事実も残っている。

キミもワイクーを覚えよう！

1 ▲まずはコーナーに祈りを捧げ、

2 ◀次にリング中央で祈りを捧げる

3 ▼両手を大きく広げて羽ばたく鳥をイメージし、

5 ◀それを四方に向かって行い、

4 ▲胸の前でグローブを交差させる。この際、片足を深く曲げ、反対の足はヒザから下は浮かせている

6 ◀立って片足を上げながらリズムにのって踊る

相撲で塩をまくように、ムエタイではワイクーなくして試合は始まらない

そもそもムエタイの歴史は、今を遡ること約500年。兵士が戦場で、体のあらゆる部分を効果的な武器として使う必要性から生まれたものだという。それが、武器を持たずに闘う武術として発展してきた。日本の刀刈りのように庶民は武器を持たせてもらえなかったため、武器なしで闘わざるを得なかったのかも知れない。奴隷たちの抵抗の歴史から生まれたカポエイラだってそう。素手ゴロは肉体的にも精神的にも強靭なのだ。

このムエタイにまつわる武勇伝の一つに、1500年代のシャム（タイの旧国名）王・ナレスエンがビルマ軍の捕虜になった際、ビルマ一素手の闘いに強い男と闘って勝ったら、晴れて自由の身にしてやるとビルマ王に言われ、壮絶な闘いの末、強烈なヒザ蹴りを相手の首筋に叩き込んでナレスエン王が勝利を収めたという逸話がある。彼の栄誉を称え、1560年にこの格闘技（のちのムエタイ）が軍人の武器として国技に定められた。また18世紀半ばには、タイの古都・アユタヤ王朝を陥落したビルマ軍兵士を、カノムトムという地元アユタヤの若者がヒジ打ちや足蹴りでバッタバッタと9人連続で倒し、ビルマ王から褒美に美しい妻を与えられたという話も残っている。

当時、グローブはもちろんなかった。1929年に国際式ボクシングの影響でグローブが使われるようになるまで、彼らは木綿や革のヒモを拳に巻いただけのスタイルで闘っていた。こうした歴史を見ると、ムエタイはタイ人の体型や生活様式の中から生まれ、何世紀にもわたって培われてきた、タイ人の誇りそのものとして存在していることが分かる。

ギャンブル

タイ人は賭けが大好き！ムエタイと「ギャンブル」の関係とは？

◀▶2階席、3階席では、試合のインターバルごとに手で合図を送って賭け率を示し、賭けの相手を探している

ジムの会長も自分の選手に賭ける

タイという国は、よくぞこんなにも賭け事が好きな国だと感心する。無届けでカジノを経営して逮捕され、出所後にムエタイのジムを開いた会長さんもいる。ジムを開く前、彼は毎夜スタジアムの2階席でガンガン賭けまくっていたというから、根っからのギャンブル好きなのである。また、ジム内の部屋で選手たちが、何やら独自のカードゲームをしている姿もよく見る。

しかし、タイにはどこにもギャンブルが認められている場所がない。スタジアム内で行われる賭けも、本来は公認されていない。ただ、場内で賭けをやっている限りにおいては、逮捕される心配がないだけのことである。

ムエタイの賭けの方法は、いたって単純。試合の展開を見ながら勝敗を予想し、適当だと思われる賭け率を、手を高く挙げて指で示すのだ。挑戦者が優勢だと思えば、例えば「5－3」で青に500バーツ賭けると示し、赤に300バーツで応じる人を探すというわけ。この場合、もし青が勝ったら300バーツもらい、負ければ500バーツ払わなければならない。

ところで、前出のジムの会長さんのみならず、タイではジムの会長なる人物は、みんな自分の選手たちに賭けている。時々、賭け金付きの試合があって、この時は会長自ら試合の最中にリングの下から、「お前が勝ったら、いくらだぞ！」と必死の形相で叫んでいる。その興奮度たるや本当に凄い。

ところが自分の選手が負けたとたん、会長さんは絵に描いたようにガックリとうなだれてしまう。こんな後に負けた選手が顔を歪ませてリングを下りてくると、きっと「ああ、会長に賭け金を渡せなかった……」と悔やんでいるんだろうなあと感じてしまう。でも、私は思うのだ。会長さんは勝つと信じてリングに送り出した。ガックリと肩を落とすのは、そのロマンを裏切られたからであって、お金を取り損なったこと自体に失望しているのではないと。

例えば選手が60％しか力を出していなくて負けたとすれば、会長さんはそのことについて真っ先に選手に言うはずだ。賭けは結果的なことに過ぎない。いくつかのジムを回って、会長さんと選手のコミュニケーションを見ていると、父子のような愛情をはっきりと確信するのだ。

タイにはパチンコも競馬もない。だから、お金を稼ぐためには賭け事も選ぶというのが世の常だとすれば、タイを代表するムエタイが、たまたまそのターゲットになっていてもおかしくない。よくムエタイに人気があるのはギャンブルがあるからと言うけれど、案外その土壌はまったく別個のものなのかも知れない。

▲ルンピニースタジアムの入口で車座になってトランプをする子供たち。本当に賭け好きの国民だ

生　活

ムエタイ戦士はどんな生活してるの？ハングリーな一日を密着取材

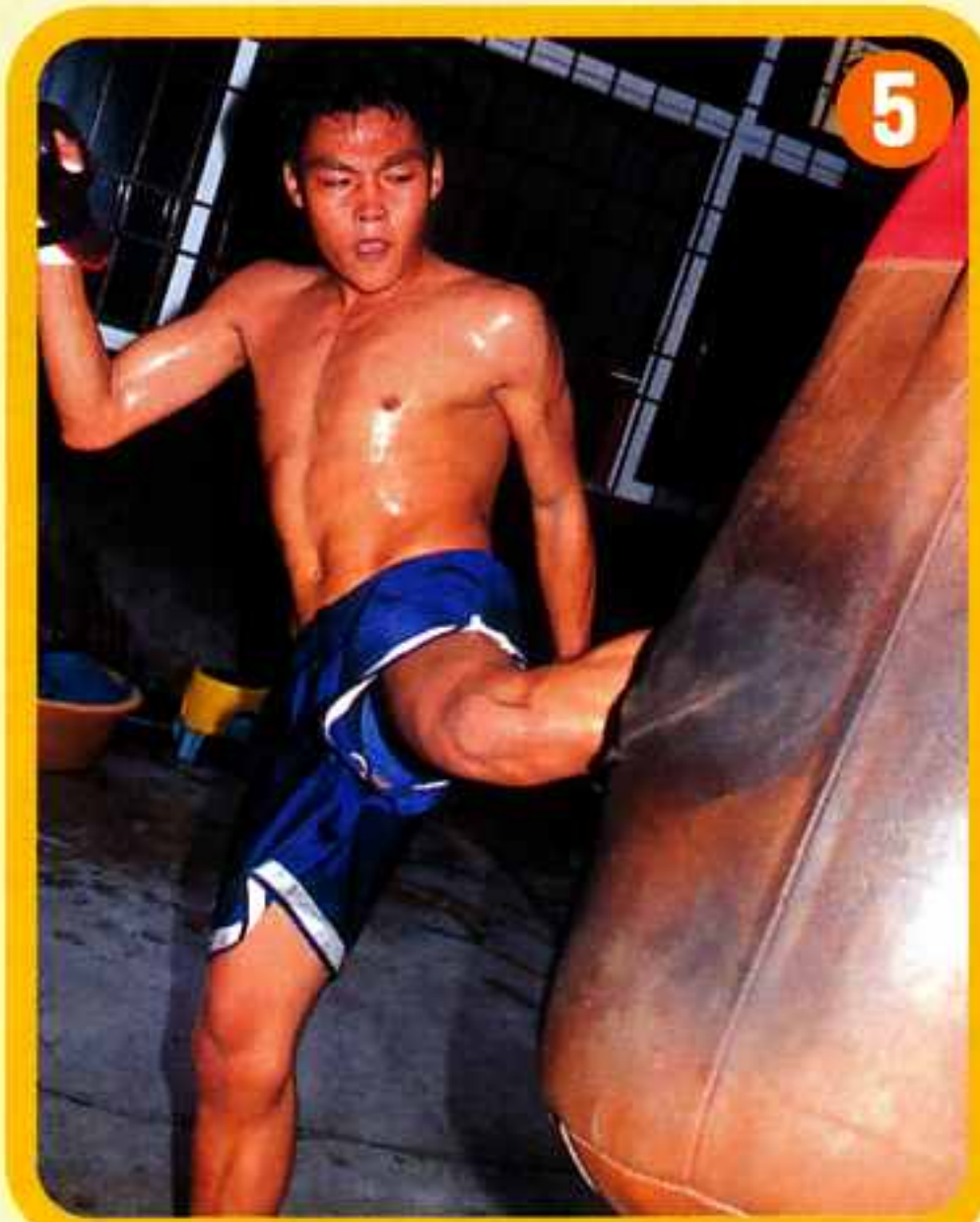
モデル／チュアタナジム所属・ノパデソーン君、20歳

ノパデソーン選手の一日

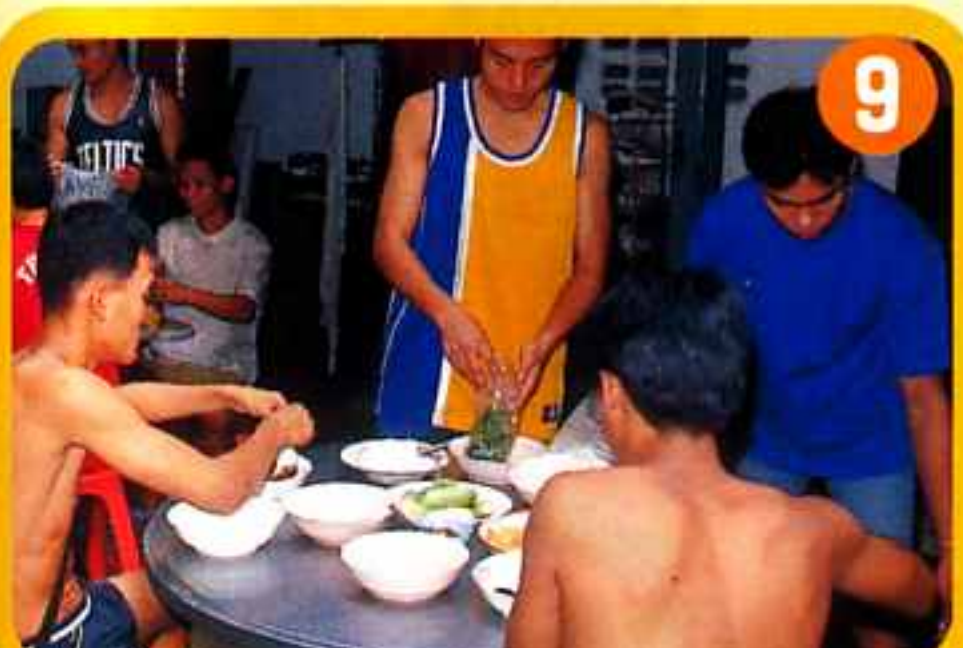
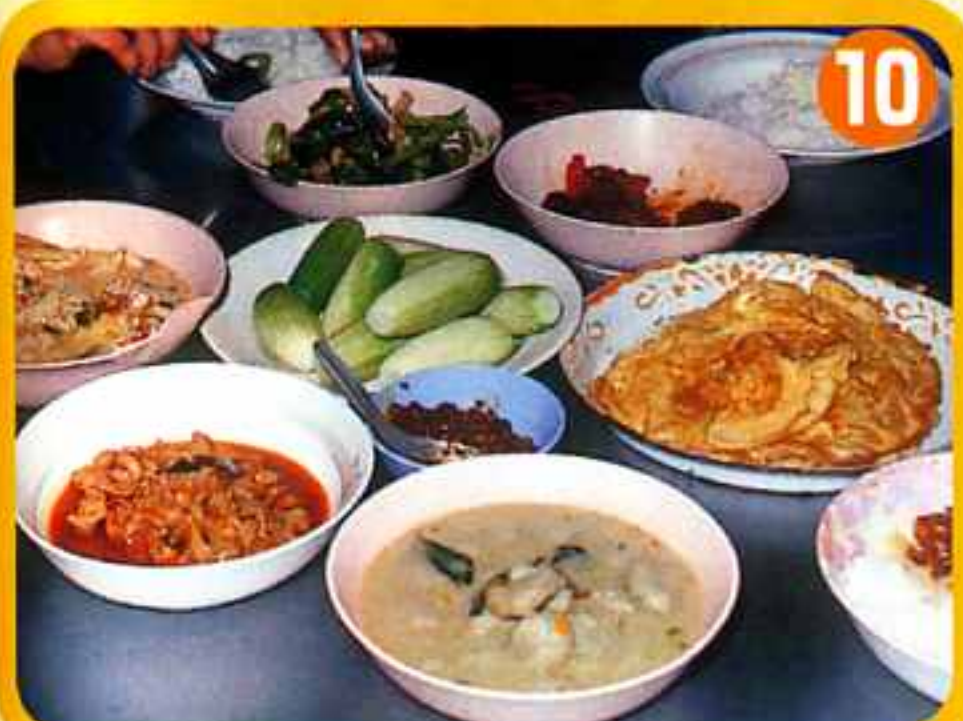
▲AM5:30　起床

▲起きるとすぐに、当番の選手が掃除をする

▲AM6:00　ランニング・
バンコク一排気ガスの濃度が高いジム周辺の通りを、ラッシュアワーを迎える7時までに、8キロを約50分かけて走る。コーチが道路に立って周回数や選手の体調を記録している

▲▼AM7:00　午前中の練習開始
バンテージを巻き、トレーナー陣も揃って、さあ練習！

▲▼シャドウとミットが5ラウンド　サンドバッグ打ちが4ラウンド　首相撲30分　腹筋200回　懸垂50回が、朝の主なメニュー

▲AM9:00　自由時間
シャワーを浴びて、汗を流したらひと休み

▲休み時間の合間にお洗濯。この体勢で約10分間、彼は足を踏み続けていた。これだからタイの選手は強い！

▲▼AM10:30　お昼は屋台のデリバリーが多いが、奥さん特製の卵焼きはいつも欠かさない

▲午後の練習までは、昼寝をしたり、トランプをしたり、自由に過ごす。この日、ノパデソーンはジム一番のカリスマ美容師（？）に散髪してもらった

番外編◇ムエタイをめぐる人々

今回の取材で出会った、優しく逞しいムエタイ・マンをご紹介

スタジアムで飲み物や雑誌を売り歩く威勢のいい彼は、元ライト級チャンピオンのソムニャット・シンチャンアート氏。この日はラジャダムナンで大忙し。翌日はルンピニーで、別のユニフォームを着てお仕事をしていた

11・28のタイ選手の選考が行われたゲオサムリットジムで、選手と同行していたゲッソンリットジム会長のベン氏。11月には、K-1にも参戦していたチャンプア選手の試合が沖縄で予定されている

(向かって左) 日本のキックボクサー第1号で大スターとなった沢村忠氏と一緒に同時代を過ごし、自らもラジャダムナンでフェザー級王者、ルンピニーでフライ級王者となったポンソワン・レムファーパー氏。当時のタイ人選手のまとめ役だった。(中央) K-1リングで活躍するレイ・セフォー選手のトレーナーで少林寺の大家でもあるキヨソ・ルークマンペー氏。20年前、ニュージーランドで王者となる。大学出のエリートで2枚目の彼は、スーパースターの名を欲しいままにした。(向かって右) 現役時代はシームワンというリングネームで名を馳せた、ゲオサムリットジム会長のアナン・チャンチップ氏。この日は奥さんの誕生日で、ラジャの試合が終わるとすぐに待ち合わせの店（「デーンスリヤー」）に駆けつけた。とっても優しい♡

ポンソワン氏がコーチしたという元ボクサーのデーンスリヤー・クローイサクラー氏。ファイターだったが、惜しくも目を傷めて20代前半で引退。現在は、バンコクの郊外にあるタイ料理店「デーンスリヤー」のオーナー。昔のボクサー仲間がよく来る

チュアタナジム

▲ジムの会長、チューチャルーン・ラヴィーアラームヴォン氏

▲ジムの生活空間は快適なスペースが確保されている

これまでに１００人以上の外国人選手が練習に来ている。
日本人大歓迎。部屋はエアコン付きのものを提供してくれる。
練習のみ　朝300バーツ　夜300バーツ　　泊まり　800バーツ

258/5-6 Mahajak Rd.,Pomprab Bangkok,Thailand　TEL 224-5067

12
▲PM2:30〜5:00　午後の練習。さあ、気合い入れて腹筋するぞ！

13
▲夕食の準備は料理上手のトレーナー、ヤーイ氏が協力。魚貝料理を2品、あっという間に調理した

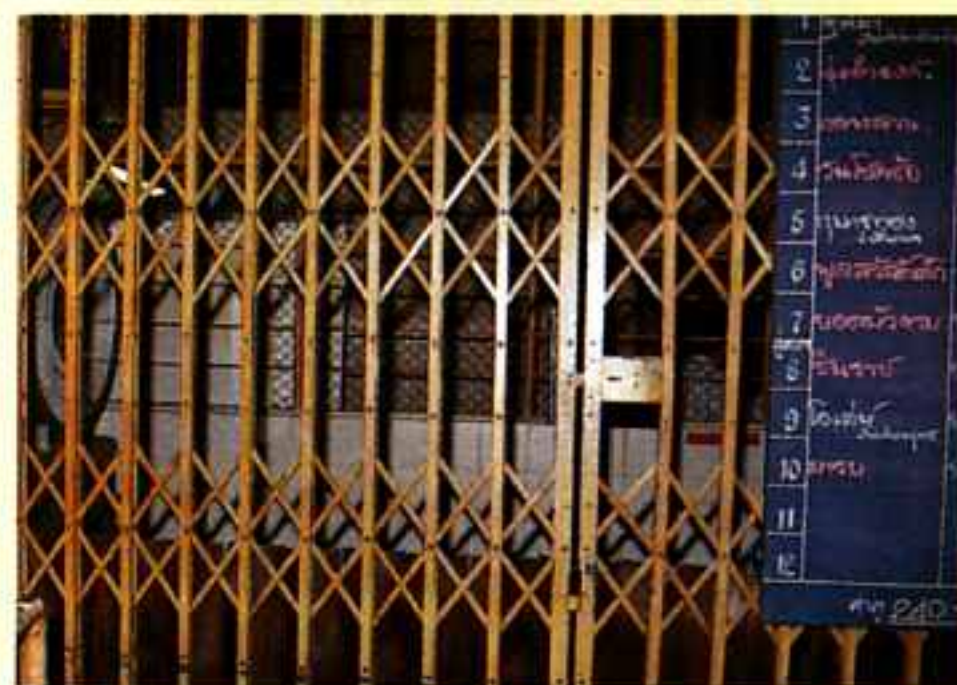
14
▲PM6:00　夕食　ジムでの食事は、いつも、みんないっしょ

15
▼PM10:00　就寝　お疲れさま。いい夢見てね

殿堂

「ラジャダムナン」と「ルンピニー」すべてのムエタイ選手の夢は、このムエタイ2大殿堂に出場することだ！

ラジャダムナン

▲1945年創立。当時は露天のスタジアムだった。鉄筋のビルになってからは、エアコンもついた

▲体重計。右上の黒板には、当日出場する選手の名前と体重が書き込まれる

▲掲示板には所属のチャンピオンがズラリ。観戦料は、リングサイド以外の席は興行の内容によって変わる

▲試合後は勝った選手と記念撮影ができる。試合前の控え室では、バンテージを巻いたり、ウォーミングアップをしている選手の姿が見られる

▲店内は明るく、比較的広い。一歩入れば、どこに何があるか一目で分かるほど整然と、ムエタイグッズが並べられている

▲ラジャの市場。マタバという、小麦粉と卵で作ったパン。カレー味もある。日本人選手が、よくはまるらしい

▲ラジャダムナンの内観

▲試合は１日だいたい10試合前後行われる

▲午後6時、試合開始。まず全員起立の中、国歌が演奏される

ムエタイでは最も権威のある王室財務局が管理するスタジアム。試合は月、水、木（いずれも午後6時～）、日（午後5時～）の週4回。最近はレフェリーがたびたび不公正なジャッジをするので、以前より客の入りが少ないという。それでも好カードが組まれるとメインイベントが近づくほどに人が増え、最後は「オホーイ（蹴りが当たった時の感嘆詞）」の声が沸き上がる場内の雰囲気はラジャならではのもの。

SRS・DX特集第8弾
What's MUAY THAI

タイトルマッチ裏話 「ラジャダムナンとルンピニーが凄いわけ」

ムエタイではラジャダムナンのチャンピオンと、ルンピニーのチャンピオンが、それぞれの階級で誕生している。そのラジャダムナン、ルンピニーのチャンピオン同士、あるいはランカーやノーランカーたちがプロモーションによってさらに闘って手にするタイトルに、WMC（ワールド・ムエタイ・カウンセル）というベルトがある（WMTCから改名）。

ラジャとルンピニーの強豪たちが闘うんだから、さぞかし重いタイトルかと思いきや、だがしかし、このWMCのタイトルは、タイ国内ではあまり注目されていない。その理由は、WMCの興行が不定期な上、ホームグラウンドとなるスタジアムを持っていないということの他に、「WMCは世界にムエタイを広めようという目的で設立されたものなので、通りが良いのは海外だけ。日本人の多くもWMCのランカーだけど、いろんな外国人選手がいたほうが良いという建て前から入っているもので、例えば出場経験があってもルンピニーのランキングに入っているほうが遥かに価値があって、遥かに難しい」（新日本キックの事情通）と言う。

「興行はWMCのプロモーターと仲のいいプロモーターしか興行できないし、第一、WMCの興行を海外でやろうものなら、タイのWMC関係者は笛や太鼓まで連れて、徒党を組んで来ますからね、お金かかるんですよ。主催者側も堪らないって感じじゃないんですか？」（同氏談、笑）。

そもそもタイの人たちは、あまりベルトにこだわらないと言うが、確かにラジャダムナン、ルンピニーで試合を観ていると、タイトルを持っていてもいなくても、パンチや蹴りを多く繰り出す熱血選手たちが人気を得ている。だが、そういう選手は必ずラジャで、あるいはルンピニーで、チャンピオンの座を勝ち取っていくのだ。

最高の栄誉はラジャとルンピニーの王者になること——。それは選手にとっても観る側にとっても、タイに脈々と続く永遠の夢であり、金字塔なのである。

ルンピニー

陸軍が管理するスタジアム。試合が行われるのは火、金（いずれも午後6時～）、土（午後5時～、午後8時半～）の週3回。ここのところ、ルンピニーの人気が高い。先月（9月）の21日の興行では、総売上の新記録を達成した。ルンピニー系のランカーで人気があるのは、突貫小僧ランバーこと、日本でもおなじみのソムデート・M16だ。

▲1956年創立。こちらは塀に囲まれているだけの吹き抜けで、天井には大型扇風機が回っている

▲ルンピニー近くの市場。シーフード入り豚煮込み。具だくさんで、とてもおいしいと評判の店

▲リングサイド席は1000バーツ。スタジアムの入口付近にいるガイドさんがVIP待遇で案内してくれ、英文の対戦表をくれる

▲ワイクーは生演奏だ

▲ルンピニーの内観

▲リングサイドに座るジャッジの人たち

▲屋外にある、こじんまりした店内。雑然と品物が置かれているだけに、あれでもないこれでもないと、ひっくり返して選べる楽しみがある

▲お巡りさんも観戦中（？）

▲最近ではラジャより人気の高いルンピニーの試合

テクニック

ムエタイの必殺技は「首相撲」そして「ヒジ」と「ヒザ」にあり！

▲首相撲からのヒザ蹴りは、ムエタイのオリジナルテクニックである

▶首相撲の練習も延々と行う

ムエタイ技術一言アドバイス

▲ムエタイの必殺技であるヒザ蹴りには、特に多くの練習時間をさく

▲ヒジ打ちは、アゴを捕らえればKOできる必殺技だ。また相手を出血させてＴＫＯも奪う

▲パンチよりも、キックのほうがポイントが高い。ミドルは最も重要な技だ

▲打たれたら、常に打ち返さないと得点を奪われる。高い蹴りほど得点が高い

外国人選手には難しい!? ワンポイント◇ムエタイの技の攻防と採点基準

ムエタイの伝統的な技はヒザ蹴りとヒジ打ちで、この2つはムエタイの最も強力な武器として特徴づけられている。ヒザ蹴りもヒジ打ちも、相手の頭や腕、相手からのパンチを抑えておいてヒザを叩き込む、あるいはヒジがパンチの防御となり、なおかつ相手の腕を崩すというように、攻防一体となって初めて効果的に使える技だと言える。

だから、これらの技は試合の中でもポイントが高い。分かりやすく言えば、距離のある前蹴りからミドルキックを避け、パンチの間をかいくぐって相手に近付き、最後にヒジ打ち、あるいはヒザ蹴りを出すというように、接近戦に持ち込むという難関を突破しなければ使えない技だからということになる。

そこに注目して見ていると、なるほどスタジアムが沸くのは、ヒザ蹴りがガンガン決まる時だ。場内が振動するほど、「ティー（ヒザ）」という掛け声が鳴り響く。

その他、ムエタイを観戦する時に知っていると面白いポイントを少し紹介しよう。選手が痛いという顔をすると、レフェリーストップがかかってしまうことがある。もちろん、痛い顔をした方が負けである。ファイターとして情けない行為とみなされるからだ。また、キックを数回以上連打しあった場合、最後に蹴りを出した方が高ポイントになる。

ムエタイは、攻撃、受け、避け、反撃といった攻防をうまく繰り返して、なおかつファイターでなければ勝てない。このあたりに、外国人キックボクサーの追随をなかなか許さない、ムエタイの強さの秘密があるのかも知れない。だからこそ、頑張れ！　頑張れ！　ニッポン　頑張れ！　キックボクシング…

…なのである。

食べ物

食べていれば強くなる!? これがファイヤ〜な「タイ料理」だ!

▶コンソメスープ、ボルシチとならんで、世界三大スープと言われるトムヤンクン

▶タイでは、プラーシークンと呼ばれるアジの仲間。一度揚げておいた魚をパッカナーという青菜と一緒にゆっくり炒め、少し蒸したら出来上がり。タイの代表的な料理だ

タイ料理ですぐ思い浮かぶのがトムヤンクン。酸っぱくて辛いエビのスープである。こうした辛い料理はタイ南部に多く、南部出身のムエタイの選手たちは口を揃えて「辛い料理は元気のもと!」と言う。タイ料理はまた、野菜や海産物などの生鮮食料品を利用するので、とても健康に良いと言われている。

チュアタナジムのある日の夕食メニューは「揚げたアブタアジの青菜炒め」と「豚肉入り海鮮炒め」。調理には植物油を使い、丸のままふんだんに入れるチリには、血圧を下げる効果がある。また魚には、たくさんのビタミンが含まれている。

相撲部屋のおかみさんならぬ、ムエタイジムのお母さんは、いつも選手たちの健康を考えているのだ。

タイ風ちゃんこの作り方

イカ、豚、ニンニクなどの材料に、ナンプラー(魚から作る醤油)とチリソース、オイスターソースをたっぷりかけて手早く炒める。豪快なタイ風ちゃんこ(?)の出来上がり

屋台料理を一度に満喫できる "クーポン食堂"

タイに行ったら、もうひとつ経験してみたいのが屋台料理。お粥、麺、お総菜、果物、お菓子の屋台など、朝から晩まで至る所で屋台を見かけるので、何を食べていいのか迷ってしまうほど。そんな時には、ちょっと趣向を変えて"クーポン食堂"に行ってみよう。

クーポン食堂は、デパートやショッピングセンターの中にある屋台街のような所で、窓口で金券を買って食べたい料理と引き換える仕組み。十数軒の店は、全て違う種類の料理を出しているので、好きなものを組み合わせて食べられる。ツアー(P124)で泊まるソル・ツインタワー・ホテルの近くでは、タイ東急と並ぶ巨大なショッピングセンター、「マーブンクロンセンター」の中にある。

▶バンコク随一のフードセンター。5〜600円分で十分満足できる。日本料理もある

カード

11・28ラジャダムの歴史的イベント「日本VSタイ　5対5マッチ」カード決定！

10月上旬、新日本キック協会・伊原信一代表がタイで日本人選手5人の対戦者をチェック。迫力のあるミット蹴りや、自分が攻撃するのにいかに有効な体勢を作れるかの攻防である首相撲など、対戦相手それぞれの持ち味・テクニックをじっくり吟味した上で決定した。ラジャダムナンやルンピニーで活躍する選手もいるなど、かなりの強豪たちが揃ったこのカード。11・28は、かなり期待できそうだ！

チャークリット・ゲッソンリット

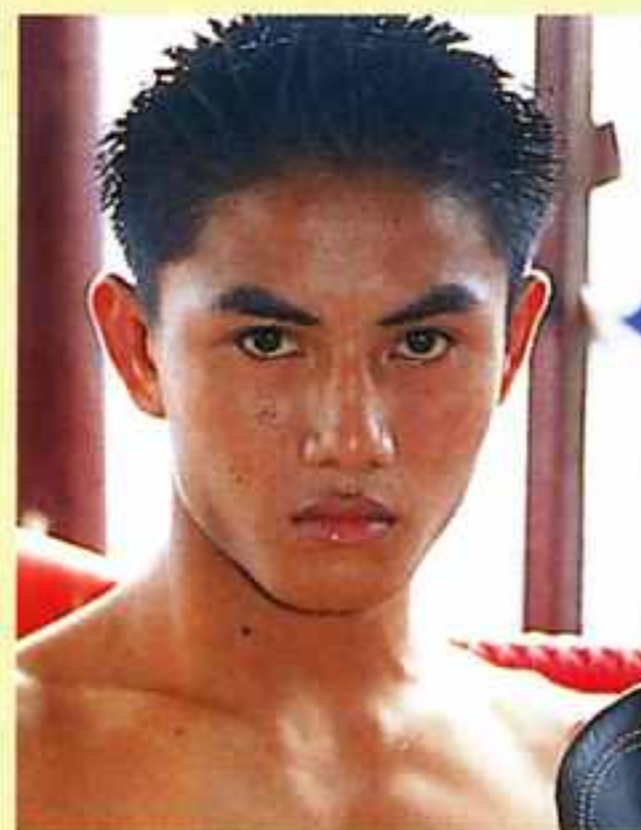
〈生年月日〉1982年7月17日、17歳
〈出　身〉チャイヤプーム県
〈身長・体重〉163センチ、51.5キロ
〈戦　績〉22戦18勝4敗

〈ムエタイ歴〉中3の時にジムに入り、勉強と試合を両立させてきたが、今はムエタイ一本に絞って力を入れている。〈11.28への意気込み〉日本の選手と試合ができるので大変興奮しています。勝つ自信は90％ぐらい。でも、力一杯闘います。

【鴇さんのワンポイント】
左ミドルに注目したい。

深津飛成

日本フライ級チャンピオン

〈生年月日〉1977年12月4日、21歳
〈出　身〉東京都
〈身　長〉161.5センチ
〈戦　績〉28戦21勝7敗

クンデットレック・スーンギラーワットヌワイナイ

〈生年月日〉1982年6月30日、17歳
〈出　身〉東北地方のナコンラチャシーマ県
〈身長・体重〉165センチ、54キロ
〈戦　績〉　25戦18勝7敗

〈ムエタイ歴〉　12歳から
〈趣　味〉　サッカー
〈11.28への意気込み〉絶対に勝ちます！

【鴇さんのワンポイント】
右のヒザとパンチが素晴らしい。

菊地剛介

日本バンタム級チャンピオン

〈生年月日〉1980年4月6日、19歳
〈出　身〉北海道
〈身　長〉168.7センチ
〈戦　績〉11戦10勝1分

ヨートムアンゲート・ギァッソンリット

〈生年月日〉1977年9月4日、22歳
〈出　身〉シーサケット県
〈身長・体重〉170センチ、60キロ
〈戦　績〉57戦40勝14敗3分

〈趣　味〉趣味はなし。今は練習だけに力を入れている。
〈11.28への意気込み〉タイ人以外の選手と試合をするのは初めてなので、ものすごく気合いが入っている。必ず勝ってみせます！

【鴇さんのワンポイント】
すべてにおいて安定している。まとまりのよい選手。

小野寺力

日本フェザー級チャンピオン

〈生年月日〉1974年7月7日、25歳
〈出　身〉東京都
〈身　長〉170センチ
〈戦　績〉25戦17勝5敗3分

ガムパナート・アサワモンコン

〈生年月日〉1972年5月26日、27歳
〈出　身〉コーンケン県
〈身長・体重〉175センチ、63キロ
〈戦　績〉35戦30勝2敗3分
ラジャダムナン、ルンピニーでの試合経験あり

〈趣　味〉趣味はありません。今は練習だけに力を入れています。
〈11.28への意気込み〉妻や子供たちのために闘い抜きます。やる時はやる！　絶対にKO勝ちしてみせます！

【鴇さんのワンポイント】
右パンチと右ヒジが良い。接近戦になったら強いタイプ。ポーカーフェイスだけど侮れない選手だ。

鷹山真吾

日本ライト級チャンピオン

〈生年月日〉1975年6月23日、24歳
〈出　身〉北海道
〈身　長〉178センチ
〈戦　績〉15戦9勝2敗4分

ヨンサック・ガーンプライ

〈身長〉170センチ

武田幸三

日本ウェルター級チャンピオン

〈生年月日〉1972年12月27日、26歳
〈出　身〉東京都
〈身　長〉173センチ
〈戦　績〉22戦18勝3敗1分

ウォーレン・エルソン

〈出　身〉オーストラリア
〈戦　績〉28戦21勝7KO5敗2分

小笠原仁

日本ミドル級チャンピオン

〈生年月日〉1974年5月20日、25歳
〈出　身〉千葉県
〈身　長〉182センチ
〈戦　績〉13戦11勝1敗1分

一番ポイントになるこ

伊原　6人6様だよね。深

SRS・DX特集第8弾
What's MUAY THAI

灼熱のタイで新日本キックのプロモーター伊原信一代表と鴉稔之広報に直撃インタビュー

——いよいよ11・28を迎えるわけですが、まず、伊原会長がこの大会をマッチした動機について教えて下さい。

伊原 4月頃だったかな、タイで会議があった時に試合を見に行って、ここで試合をやらせたらどうだろうと思ったの。それも一人じゃなくて、全階級のチャンピオンを集めてやったら、これはものすごく選手の励みにもなるだろうと。

鴉 はっきり言って、最初はできるかなっていう思いはありましたよね。それが〝やりたい〟〝やった方がいいな〟〝いや、やらなきゃいけないんだ〟って感じてきて、何回も会長と足を運んで交渉をしてきました。だからぜひ、成功させたいです。

伊原 僕は一度進めたことは最後までやり抜く性格なの。今年を皮切りにね、今後1年に1回はタイで全階級のチャンピオンを集めて、積極的に試合をやっていこうと思ってるんだよ。

——それは楽しみです。これからキックがムエタイに挑んでいくチャンスが、どんどん増えていくわけですね。その時に、一番ポイントになることっていうと何ですか?

伊原 やっぱり精神的な部分だろうね。タイではムエタイが生活の一部として捉えられてるでしょ。生活の糧になっているわけだ。だから、ものすごく苛酷でも、そのことで食べていけるなら頑張ろうという気持ちが強いんだよ。そこがムエタイの強さにつながっているわけだから。

鴉 そうですね。タイの選手の場合は、これだけ頑張ってやれば自分の生活が良くなるとか、自分の家族が楽になるとか感じるんです。だからタイの選手は肝っ玉が座ってますよ。打ちまくられて歯が折られようと何されようと、少しも動じないんです。ゆっくりと立ち直って自分のリズムを崩さない。精神的な強さを持っていることで、試合中でも冷静に行動できるんです。日本人はね、歯でも折られようものなら、焦っちゃって、そのことが後の試合に響いちゃう。だから、日本のキックの選手に勉強してもらいたいなって思うのは、テクニックは当然学ばなきゃいけないんだけど、ムエタイの精神的な強さをどんどん勉強してほしいです。そうしないと、なかなかムエタイの選手に追いついていかないという気がしますよね。

——今度の大会でも、選手ひとり一人がどこまで突き進んでいけるかが、大きな見所となってくるわけですね。その上で、参戦する日本人6選手それぞれ、技術的な部分も併せて分析してみて下さい。

伊原 6人6様だよね。深津は自分で自信を持っているパンチがどこまで通じるかだろうね。菊地は弱冠19歳。若さがどこまで爆発するかだな。小野寺、この機会に彼は大化けすると思うよ。鷹山、まだチャンピオンになって日が浅いんだけど、あいつの八方破れのファイトがどこまで波乱を巻き起こすかだね。武田、この間(9/15東京マリン)は病気で出られなかったけど、もう全快したからエンジンも全開だよ。あいつのローキックが、タイ人の選手にどれだけの威力を与えられるか、これが一つのポイントだろうね。小笠原はどこでパンチを爆発させるか、果たしてチャンピオンになるかならないか。う~ん、簡単に言うけど、これは面白くなるぜ~! なっ、鴉君!

鴉 ええ。僕もちょっと言わせてもらうと、深津はパンチも蹴りも両方できるから、バーンと爆発できればいいと思うんですよ。菊地は一番伊原会長の教えを守っているというか、会長のスタイルなんですよね。ワンツーと蹴り、この一番大切な基礎ができてるんです。その点に注意してみて下さい。小野寺は肉体的には日本のチャンピオンの中で群を抜いています。後は精神的に、どこまで突き進んでいけるか。そこを見てやって下さい。

伊原 いいね~。もうさ、鳥肌が立つくらい、みんなで会場を盛り上げよう。一体となってさ。な。(会長、だんだん熱くなる)帰る時さ、会場の柱にさ、〝I LOVE YOU〟ってキスして帰りたいな。え? ハッハハハハハハ! そうだろ? 燃えなくちゃダメだ。バンバン、燃えてさ。な。だいたい俺もさ、地獄の8丁目から出発してさ、2丁目の辺りまで見てきたからな。そうだろ? だからさ、どうってことないよ。伊原だよ。いい試合してくるよ。な。昔から良く言うよ。壁に耳あり……って。え? この壁には穴があるじゃないかよ(※)。それも、こんなデカい穴が。あ? 俺は負けないぞ。(※興奮のあまり会長のハイキックが壁が突き抜けた……という事実があったかどうかは答えられません)

とにかく、本当に伊原会長の情熱は凄いんです! 最強のムエタイのベースになっている屈強な精神に、キックがどこまで挑んでいくのか!? 11・28はひと波乱もふた波乱もありそう。当日はみんなでガンガン応援しましょう。

暁の寺の前で気合いを入れる!

ツアー

谷川編集長と行く観戦ツアーでは、観光めぐりも盛りだくさん！

　微笑みの国タイの首都・バンコク市内を大きく蛇行しながら南北に貫いて流れるチャオプラヤー川。この大きな川から船で行く水上マーケットは、観光名所の一つとなっている。水上生活者の家々が並ぶ運河を走っていくと、途中、子供たちが泳いでいたり、女性が洗濯していたり、また男たちが魚をさばいていたりと、この川が人々の生活に密着していることを目の当たりにする。この運河に、観光みやげや果物を積んだ小舟がズラリと並ぶ。観光客が多いので、品物はちょっと高め。でも、頑張って交渉すれば思いのほか安くしてくれる。おばさんが売りに来るモンキーバナナやドリアンなどの果物も、すごくおいしい。

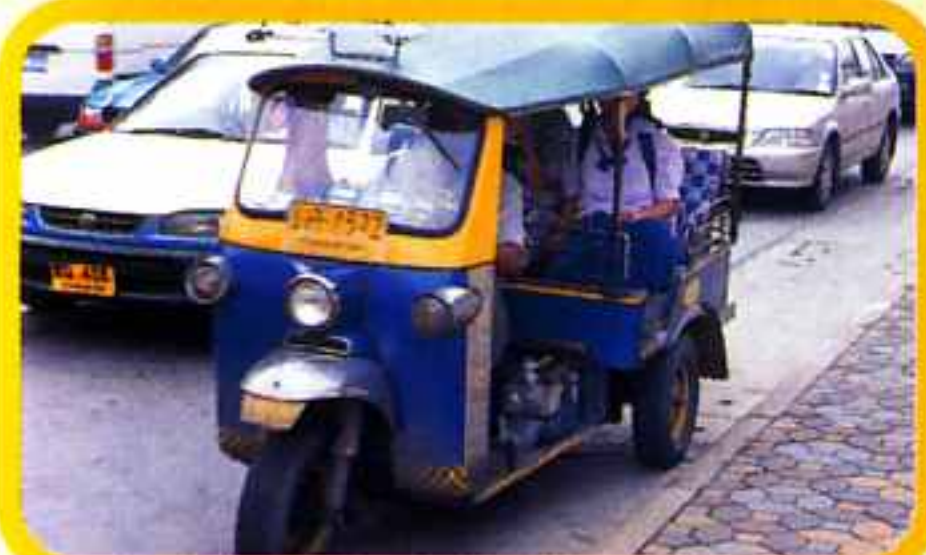
　また、エメラルド寺院や王宮、暁の寺、寝釈迦で有名なワット・ポーなどのお寺巡りも楽しい。何しろ建物が豪華絢爛。金ピカのハデハデで、30℃を越える日中の暑ささえ気にしなければ（それは無理？）、十分目の保養になる。

　暁の寺は現在修復中だが、11月には輝きを増したきらびやかな姿にお目にかかれそう。

　以上、紹介した場所は、今度の観戦ツアーで市内観光と併せてまわります！　ほかに、パタヤビーチやアユタヤへのオプションツアーも催行予定。このツアーへのお問い合わせ、お申し込みは下記まで。すでに20名以上の募集があり、応援団A・B・C各コースとも残席わずか、締め切り間近ですので、お早めに！

連絡先（株）グロリア　☎03-3432-0761
応援団A◎11月26日（金）～11月30日（火）　費用84.800円
応援団B◎11月27日（土）～11月30日（火）　費用79.800円
応援団C◎11月27日（土）～12月 1日（水）　費用84.800円

▲おじさん、何を売ってるの？　売っているのではありません。50バーツ払うと、カゴの中の鳥を放してくれるのです。

▲ワット・ポーはタイ式マッサージの総本山。30分120バーツ。60分200バーツ。タイに行ったら一度は受けてみたい

▲タイのオート三輪・トゥクトゥク。最近はタクシーが増えたために人気が落ちて、売りに出してしまう人が多いらしい。

▲エメラルド寺院、王宮など、いたる所にある観光名所にも行ける

▲観戦ツアーで泊まるソル・ツインタワー・ホテル

▲街にゴミが一つも落ちていない！　それもそのはず、ゴミを捨てると2000バーツの罰金が科せられてしまうのだ。タイの人にとって、2000バーツは1カ月分の給料に相当する。

▲バンコクでは街のあちこちで犬を見かけるが、タイの犬は、お尻から頭の方に向かって毛が生えているのが特徴らしい。ウソかホントか、タイに行ったら是非確かめてみて！

▲タイ名物「水上マーケット」。船を漕ぐのは、ほとんどが女性

特報　打ち上げパーティーに参加！ パリンヤー突撃インタビュー

――お元気そうですね。前より、ちょっと太りましたか？

パリンヤー　そうなの。2～3キロ増えちゃった。今、174センチで67～68キロかな。最近計ったことないから、よく分かんないけど。

――今、試合の他には、どんなことをしていらっしゃるんですか？

パリンヤー　パーティーなんかで頼まれて歌を歌ったりしてます。歌が大好きなの！　引退したら、歌手になってCDを出してみたい（笑）。

――引退なんて考えているの？

パリンヤー　う～ん、練習が大変だしね～。でも、やっぱりムエタイは好きだから、もう少し続けるつもり。

――最後に、日本のファンにメッセージをお願いします。

パリンヤー　ムエタイをやめたら歌手か役者になるかもしれませんが、またいつか日本へ行きたいです。

11・28観戦ツアー参加者に嬉しいお知らせ

大会翌日の11・29の打ち上げパーティーに、パリンヤーが参加予定。お色気と逞しさが合体した魅力的な姿を間近で見られるチャンスだ。また、辰吉丈一郎の引退試合の相手となったウィラポン・ナコンルアンプロモーションもやって来るぞ！

▲あの“オカマちゃんボクサー”パリンヤーが打ち上げパーティーに来る！

ALL JAPAN KICKBOXING 1999
Wave-VII
1999.10.8[FRI] KORAKUEN-HALL

全日本キック
10.8★後楽園ホール

『安全運転』でもこの猛攻！　ミッチ兄弟を返り討ち

パンチにキックの雨あられ
これが「魔裟斗」のカーニバルだ

鮮やかなミドルキックが火を噴く。以前の魔裟斗なら、あくまでパンチ中心。一戦ごとに蹴りの破壊力を増し、バラエティにも富んできた

高速回転の右ローが炸裂
一瞬、ミッチのヒザがグニャリ

★第10試合（日本・ニュージーランド 国際戦／67キロ契約3分5R）
○魔裟斗（5R判定2-0）ニック・ミッチ●
（藤ジム）　（ニュージーランド/ハードヒッタージム）

3Rにヒットしたローキック。ミッチの動きはこの一発でガックリと落ちた。だが、ニュージーランド人は鋼の精神で、何ごともないように応戦してきた

魔裟斗が登場すると、会場の色が明らかに変わる。ここは男の戦場。バックグラウンドの音楽はオールド・ミシシッピのデルタ・ブルースか、脂っこいソウルが一番のお似合い。ところが、魔裟斗は賑やかなサンバのノリで、闘いのカーニバルを引き連れてくる。

試合開始のゴングが鳴ると、ますます魔裟斗が踏み鳴らすテンポはアップする。バド・パウエルの早弾きジャズ・ピアノを聞いてるような圧倒的なスピードとドライブ感に、観ている者の身を心地よい陶酔感に委ねさせていく。

この日の魔裟斗も速かった。オープニング・ラウンドこそ出方をうかがっていたが、2Rからはいつもの縦横無尽、八面六臂の連打、速攻でミッチを追い回した。

だけど、魔裟斗としては、この対戦相手は決してやりやすくはなかったはずだ。わずか52日前、ニックの双子の兄スティーブと闘っている。双子だから当然だが、同じなのは顔ばかりではない。兄弟そろってタフでパワフルで、しぶとい。むしろ、パンチの破壊力ではこの弟の方が上という。クローン人間と闘うような不気味さが、魔裟斗にはなかったか。

しかも、スティーブはヒジ打ちで顔を切り裂かれて負傷TKO負けしているが、魔裟斗の戦力は十分にその肉体に刻み込まれ、そしてミッチにその抗体を移植しているかもしれない。

となると、魔裟斗もこの一戦、一筋縄に扱えない。ワンツー、右のハイ、ローキック、右アッパー、ヒザ蹴り。大きな玉手箱から、次々に宝物を放り出すような魔裟

ALL JAPAN KICKBOXING 1999
Wave-VII
1999.10.8(FRI) KORAKUEN-HALL

全日本キック
10.8★後楽園ホール

ハードヒットの応酬 打ち合いも魔裟斗のものだ

▶パンチ、キック。両者の激しい攻防は最後まで続いた。そして、常に先手を取って攻め込んでいたのは魔裟斗の方。2−0という判定は意外だった

魔裟斗のコメント

「ミッチは強かった。パンチはスピードがあったし、切れもあった。リラックスしていたが、リングに上がっても落ち着き過ぎだった。ローキックが効いていると思ったが、今日は根性がなくて詰められなかった。練習していることが、試合にはなかなか完璧に出せない。11月22日の大会は今年最後の試合だし、KOでしめたい」

ミッチのコメント

「得意なのはキックとパンチのコンビネーションだが、自分の思っていたことが、あまりできなかった。魔裟斗は速くて強い。とくにローキックが良かった。もっと頭を使って、スマートに闘いたかったが、魔裟斗は組みついてくるし、ボクもヒジを狙っていったので、グチャグチャな試合になってしまったのが残念だ」

11.22「WAVE-Ⅷ」全日本キック対世界・5vs5マッチ全カードが決定

▲世界に挑む5人の戦士が揃い踏み。大将を務める魔裟斗への期待は一際大きい

全日本キックの次回興行、11月22日(月)に後楽園ホールで開催される『WAVE-Ⅷ』は、今年最大のビッグマッチとして、全日本キックと世界の強豪選手による5vs5マッチが行われる。10月11日(月・祝)にAJパブリックジムで行われた記者会見には、5vs5マッチに出場する5選手も出席、全対戦カードが発表された。あのランバー・ソムデートM16と好勝負を演じたアーメッド・レン(土屋と対戦)や、小比類巻貴之に勝利している金勲(キム・フン。新田と対戦)など、強豪が大挙、参戦してくるこの大会。メインで世界王者のエヴァル・デントンと対戦、大将として重責がかかる魔裟斗は「大会が終わって『魔裟斗の試合が一番面白かった』と言われたい」と力強くコメントしていた。

◀10.8後楽園大会と10.11のイベントで、この大会のチケット先行発売が行われた。売り行きは好調で、SRS席とB席は完売に

対戦カード

〈全日本キック対世界・5vs5マッチ大将戦〉
魔裟斗(藤ジム) vs "イーヴィル"エヴァル・デントン(イギリス/トロージャンジム)

〈副将戦〉
土屋ジョー(谷山ジム) vs アーメッド・レン(フランス/ワッピージム)

〈中堅戦〉
金沢久幸(富士魅ジム) vs グレゴリー・トロンビニー(フランス/バンチジム)

〈次鋒戦〉
新田明臣(SVG) vs 金勲(韓国)

〈先鋒戦〉
立嶋篤史(谷山) vs リンフォード・メーボーン(イギリス/トロージャンジム)

〈スペシャルマッチ・第2試合/全日本ライト級挑戦者決定戦〉
五十嵐ヨシユキ(J-NETWORK/アクティブJ) vs 小林聡(藤原ジム)

〈スペシャルマッチ・第1試合〉
増田博正(J-NETWORK/アクティブJ) vs 佐久間晋哉(K-U/八王子FSG)

※この大会の詳しいチケット情報は、P54からの『大会ガイド&チケット情報』に掲載されています

スピーディーなパンチのコンビネーションは健在。対応しきれないミッチは、ズルズルと守勢に回っていった

▶にぎやかな声援の中を登場した魔裟斗。いつものテンガロンハットはなかったが、ノースリーブのコスチュームがよく似合ってる

▶ボクシングの日本チャンピオン、加山利治も魔裟斗に協力。心強いバックアップを得て、魔裟斗の才能はどこまで伸びるのだろうか

▶ミッチも勇敢だった。速いテンポで仕掛けてくる魔裟斗の攻めの間隙を縫って、カウンターをヒット。3Rのこのライトで、魔裟斗がよろけるシーンも

▶リングから引き上げる魔裟斗に、ファンと友人が祝福の握手攻め。この明るい雰囲気が魔裟斗ワールドなのだ

▶第3試合に登場したマンモス西は、かつて空手で活躍し、『プライド5』ではエンセン井上と対戦した、あの西田操一。キックデビュー戦となるこの試合では、加藤恵三をパンチでKOしてみせた。抜群のキャラクター性に、観客も大歓声!

斗の猛攻が続いても、ミッチはしぶとかった。3Rには魔裟斗の右ローキックが大腿筋を激しく叩く。ニュージーランド人は確かに効いていたはずだが、へこたれない。同じラウンドの終盤には、気負って攻め込んだ魔裟斗の顔面に右ストレートを派手にカウンターして、逆にぐらつかせる場面もあった。

「倒したかったけど、相手にパンチがあるのは分かっていたから、安全運転になっちゃったかも。判定でもいいや、という感じで」

それでも、魔裟斗の手数はミッチの3倍以上はあったろう。4R5Rと攻めて攻めて、また攻めまくる。これで『安全運転』なら、フル稼働ってどのくらいのものすごさになるのだろう。確かに、食い下がってくるミッチに決め手となるパンチやキックをついに浴びせられなかったけど。

残念ながら、KOはならなかった。今、自身には倒すことが求められていることは「ひしひしと感じています」という魔裟斗だが、今日のところはこれで十分だ。相手の強大な武器を己の体で知って回避することも、強くなるために大事なことだ。

それにいい『コーチ』も彼にはいる。友人でプロボクシングの日本ウェルター級王者、加山利治だ。「スピード、タフネス、それにハート。打たれてからの闘志もすごい。最高の素材じゃないですか」と魔裟斗を評した加山は、「だけど一番倒せるのはパンチ。そのあたりはこれから実地のスパーリングで教えてもいい」と完全バックアップ宣言。魔裟斗はいよいよ心強いはずだ。

(宮崎)

ALL JAPAN KICKBOXING 1998
Wave-VII
1998.10.8(木) KORAKUEN-HALL

全日本キック
10.8★後楽園ホール

内田康弘が全日本キック復帰 ヒザ連打でしたたかなKO勝利

★第9試合（ウェルター級ランキング戦3分5R）
○内田康弘（3R2分03秒、KO勝ち）千葉友浩●
（元全日本ライト級王者/SVG）　（全日本ウェルター級1位/富士魅ジム）
※千葉は3Rにヒザ蹴りで3度ダウンを喫した

軸足を刈るようなローキックで、何度も千葉を転倒させた内田。相手の動きが見えていた証拠だ

ヒザ蹴りの連打で千葉友浩から3度のダウンを奪い、KOで全日本キック復帰戦を飾った内田康弘（右）。技巧派らしい、したたかな勝ちっぷりだった

内田のヒザが千葉の金的に入る場面もあったが、レフェリーの判断は「続行」。内田も「ムエタイだったら関係ないんで」と、さらにヒザ攻撃を続けた

名門ジム・SVGの復帰にともない、ますます活性化している全日本キックのリング。今大会でも、第7試合に三上洋一郎が、そしてセミには元全日本ライト級王者の内田康弘が登場した。千葉友浩とのウェルター級ランキング戦に挑んだ内田は、テクニシャンらしく、涼しい表情で千葉の攻撃をさばいていく。そして3R。千葉の動きを『解析』し終わった内田は、いよいよ本格的な攻めに転じる。職場でもあるフィットネスジムでの科学的なトレーニングで鍛え上げた肉体を躍動させ、得意のヒジ、ヒザを連打。続けざまに3度のダウンを奪って千葉をKOすると、「ベーッ！」と舌を出して千葉とそのファンを挑発してみせた（内田は試合後「あれはやりすぎました。申し訳ない」と反省していたが）。今後の目標は、魔裟斗が持つウェルター級王座奪取だという内田。魔裟斗にとっては厄介な敵の登場だが、見ている我々にとっては、かなり面白い展開が待っていそうだ。（橋本）

これで4連続KO勝利 新星・横山潔昌に注目だ！

第7試合に登場した横山潔昌（左）は、連続KOで勝ち進んでいる注目の新星。実力者・三上洋一郎が相手だったが、1Rから得意のパンチを振るって押しまくり、またしてもKOで勝利を収めた

◀敗れたとはいえ、三上の粘りも見事だった。4Rには、ヒジ、ヒザで反撃し、横山をたじろがせる場面もあったほど

★第7試合（ライト級ランキング戦/3分5R）
○横山潔昌（4R1分43秒、KO）三上洋一郎●
（全日本ライト級4位/谷山ジム）　（前NJKFライト級3位）
※左フック。三上は4Rに右ヒジ打ちと左フックでダウンを喫した

熊谷直子、大差の判定勝ちも 往年の技のキレは戻らず…

▼昨年12月以来、久々の試合となった熊谷直子（左）は、女子プロレス『Jd'』のレフェリーという顔も持つ高橋洋子と対戦。8キロの体重差があったが、4Rにダウンを奪うなど圧倒し、判定勝ち

▶勝利は収めたものの、以前のようなスタミナ、技のキレを見せるまでにはいかなかった熊谷。試合後は「体力作りからすべて、もう一回やり直しです」と反省。笑顔を見せることはなかった

★第8試合（女子64キロ契約2分5R）
○熊谷直子（5R判定3-0）高橋洋子●
（不動館）　（Jd'）
※高橋は4Rに右ヒザ蹴りでダウンを喫した

日本女子ボクシング協会
第3回日本女子ボクシング大会
ミニフライ級王座
決定トーナメント決勝戦
10.5★北沢タウンホール

高野由美の闘志に打ち勝ち日本初のボクシング女王に
小さな純情の花 中沢夏美に咲く

日本初のボクシング女王、中沢はこれでボクシングでは4戦全勝。「これをスタートに世界を狙いたい」と目標はあくまで高い

中沢のコメント

「（高野の）気迫を感じた。効いたパンチは特にない。ボディブローも効かないけど、何となくイヤだった。きれいなボクシングをしていたら負けちゃうと思ったから、とにかく前に出て手数を出した。スタンス、距離と全然違うが、この経験がキックのためにも勉強になると思う。どちらでもチャンスがあれば、どんどん闘いたい」

高野のコメント

「相手は思ったほどでもなかったが、連打ができなくて単発になってしまった。ヒット・アンド・アウェーでいけば良かったが、『打ち合いなら負けへん』という気持ちになって、打ち合ってしまった。緊張もしなかったし、体調も良かったので残念。もう一度、（中沢と）闘いたい。世界を目指したいが、その前に日本王座を取りたい」

シャープな左ストレートがヒット。中沢は懐の深さ、自分の間合いをうまく使える。豊富なキックのキャリアで培われた実力だ

★第4試合（トーナメント決勝戦/2分10R）
○中沢夏美（10R判定3-0）高野由美●
（不動館）　（山木ジム）

高野の右ボディブロー。これを戦略的にうまく使い、一度はペースを奪いかけた。しかし、結局は地力の差で中沢に屈することになる

▲初めての女子ボクシング日本タイトルマッチとあって、一般マスコミからも注目を浴びた。多くのインタビュアー、テレビカメラが中沢を追い回した

純白のチャンピオン・ベルトを巻いた中沢夏美が微笑んでいた。嬉しいはずだ。日本女子ボクシング界の幕開けを飾る、最初のチャンピオンになったのだ。「これをスタートに、世界を目指したい」。希望も膨らむ一方である。

あるいは順当な結果だった。中沢は国際式ではたったの4戦目だが、キックでは十分な実績はあった。だから、その体の中には王者決定トーナメントに出場した誰よりも『闘いのセオリー』が叩き込まれているのだ。さらに対戦者の高野由美は、急遽駆り出された代役だ。本来勝ち残っていたマーベラス森本が負傷で出場できず、彼女にお鉢が回ってきたのだ。

「一度チャンスを失った人は怖いから。油断してはいけない」

中沢はすでに覚悟ができていた。それでも、試合は実にタフな展開になる。10Rの長丁場、休みない打ち合いの連続だった。どうしてもボクシングをやりたくて大阪から上京した27歳の高野の闘志に、中沢は一瞬ひるんだことも。3Rと4Rだ。身長150センチの高野は右フックのボディブローを効果的に使い、中沢の動きを止めると顔面にパンチを集める。

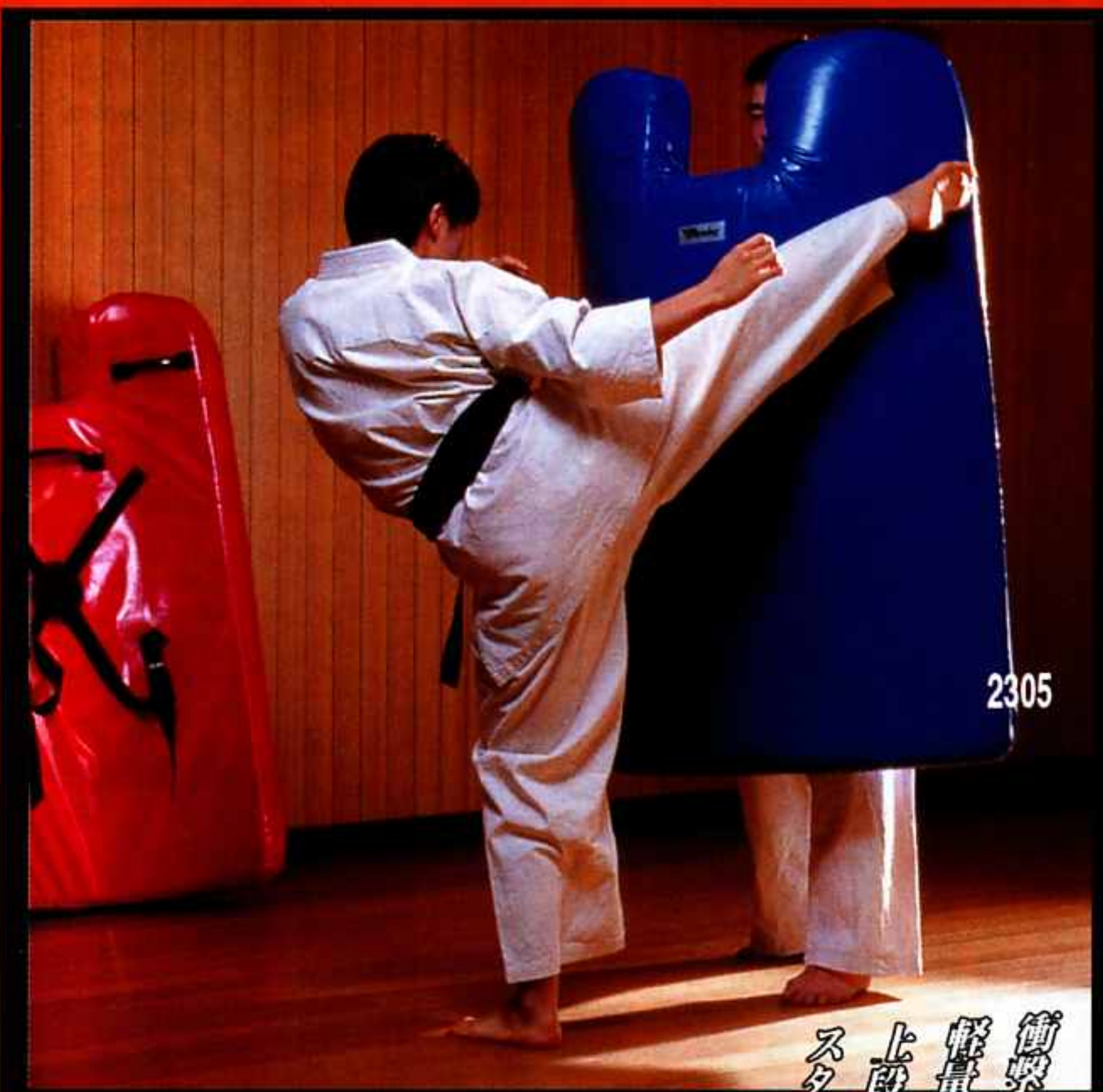
だが、結局は力の差が勝負を分けた。中沢の方が明らかにパワーで上回っていた。同じサウスポーの対戦者にワンツー、右フックを浴びせ、5R以降の打撃戦にすべて打ち勝っていった。

日本に芽生えたばかりの女子ボクシング。まだ世間の認知度は心もとない。だけど、中沢と高野が勝利に賭けたひたむきな純情が、とても心地良かった。

（宮崎）

度全格闘家に向けて新たに Winning マーク商品の販売を開始しました。

Winning マーク商品とは、多種多様な格闘家達のニーズに応えた格闘技グッズで、機能性や安全性を形にした新感覚アイテムです。

新風到来

衝撃吸収材3重構造。
軽量ワンタッチ着脱。
上段へのコンビネーションの練習に。
スタミナ養成に最適。

ビッグミット・四角（1ヶ）
2304:¥39,000
●カラー:レッド・ブルー●サイズ:縦100×横100×厚み13cm
●重量:6.8kg●素材:ポリエステル

ビッグミット・凹型（1ヶ）
2305:¥44,000
●カラー:レッド・ブルー
●サイズ:縦126×横100×厚み13cm
●重量:7.8kg
●素材:ポリエステル

視界が広く、アゴ、後頭部、脳天部等も防護。負傷を最小限に防ぐ安全性の高いヘッドギアです。

格闘技用ヘッドギア 大人用（1ヶ）
2209:¥11,000
●サイズ:フリー（頭周囲54〜62cm）

格闘技用ヘッドギア 少年用（1ヶ）
2210:¥10,000
●サイズ:フリー（頭周囲48〜56cm）
●カラー:ホワイト・レッド
●重量:300g
●素材:人工皮革
●後頭部マジックテープ式

ファイバー入り！
ハードなローキックにも耐えられます。
装着したままでの攻撃も可能。
〈ローキックガード〉

アームガード（左右兼用・2ヶ1組）
2206:¥12,000
※拳、腕、肘をしっかりガード。
※攻撃もできるグローブ仕様。
●カラー:ホワイト
●サイズ:縦70×横12×厚み5cm
●重量:210g（片手）●素材:人工皮革

ローキックガード（左右1組）
2203:¥29,000
●カラー:ホワイト
●重量:1.3kg（片足）
●サイズ:フリー（後部調整機能付き） ●素材:人工皮革

格闘技用ボディプロテクター 大人用（1ヶ）
2204:¥16,000
●重量:1.2kg

格闘技用ボディプロテクター 少年用（1ヶ）
2205:¥12,000
●重量:700g
●ワンタッチバックル式
●カラー:ホワイト
●素材:人工皮革
※パンチや蹴りが出しやすいカットライン
※軽量で衝撃吸収性に優れています

（1組）
耐久性

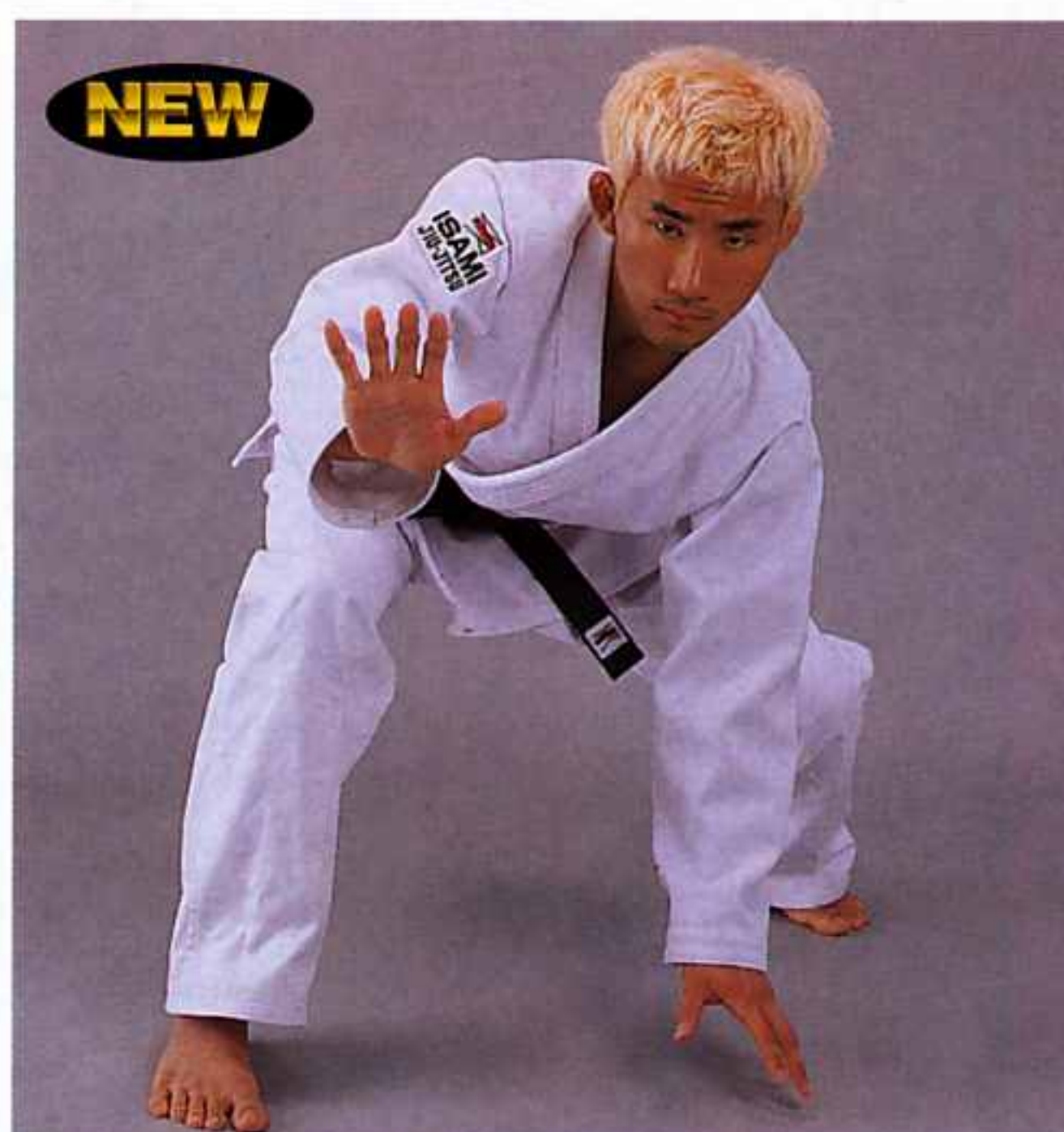
モデル：早川光由（正道会館柔術クラスのインストラクター）

柔術衣（ダブル） JJ-1000 日本製

●上衣／二重織晒刺子地（横刺） 収縮率／縦2%・横6%
●ズボン／葛城晒加工地 収縮率／縦6%・横0% ■サイズ／2〜5号

JJ-1000 柔術衣 （単位:円）

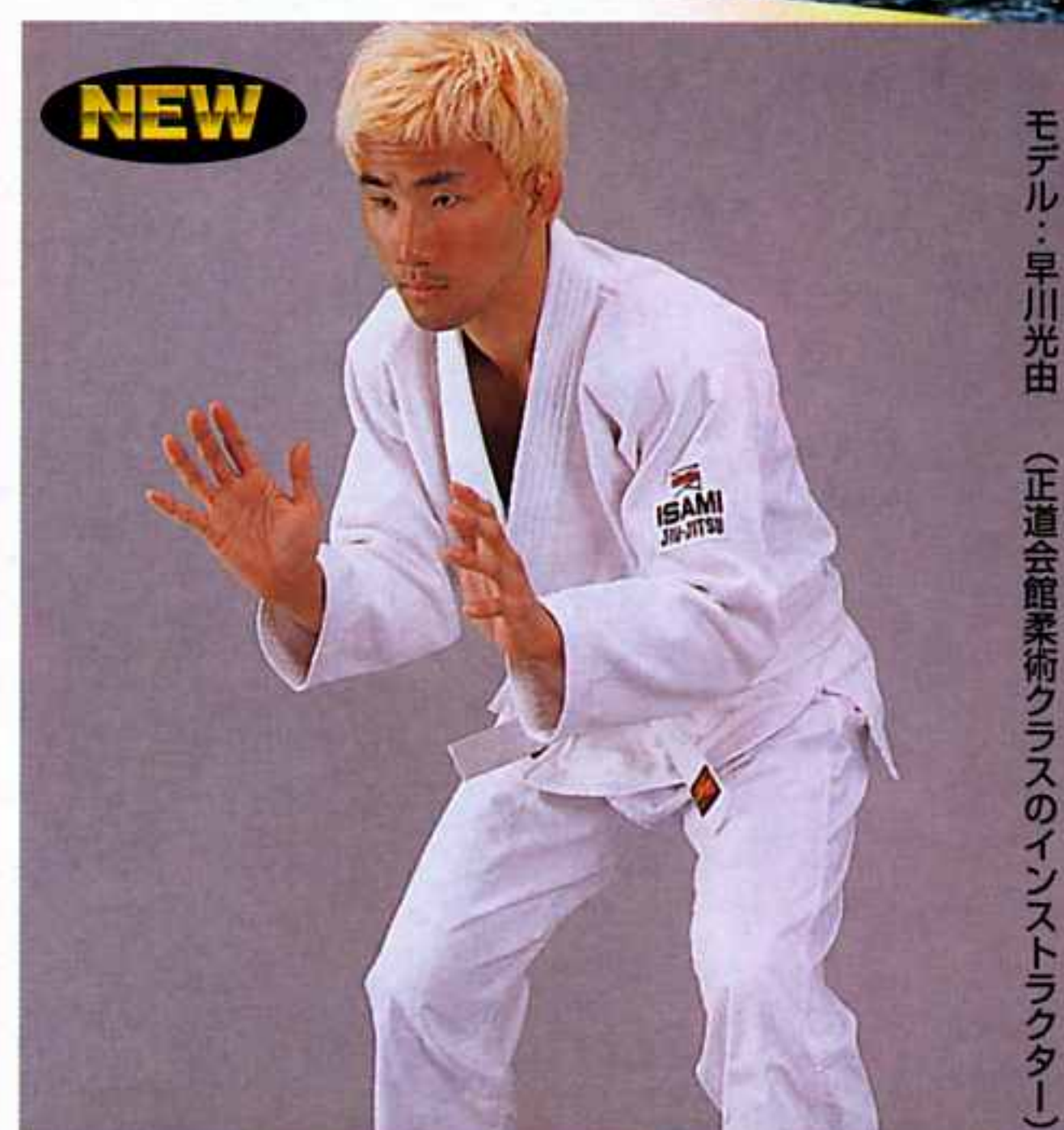
サイズ（号）	JJ-1001（上衣）	JJ-50（ズボン）	JJ-1000（上下セット）
2〜5	17,800	6,200	24,000

柔術衣参考サイズ	サイズ	2	3	4	5
	身長（cm）	155	165	175	185

柔術衣（シングル） JJ-100 日本製

●上衣／一重織晒刺子地（横刺） 収縮率／縦2%・横6%
●ズボン／葛城晒加工地 収縮率／縦6%・横0% ■サイズ／2〜5号

JJ-100 柔術衣 （単位:円）

サイズ（号）	JJ-101（上衣）	JJ-50（ズボン）	JJ-100（上下セット）
2〜5	8,800	6,200	15,000

柔術衣参考サイズ	サイズ	2	3	4	5
	身長（cm）	155	165	175	185

柔術衣 JJ-200 中国製

●上衣／一重織晒刺子地（横刺） 収縮率／縦3%・横6%
●ズボン／葛城晒加工地 収縮率／縦6%・横2% ■サイズ／4〜7号

JJ-200 柔術衣 （単位:円）

サイズ（号）	JJ-201（上衣）	JJ-202（ズボン）	JJ-200（上下セット）
4	6,860	2,940	9,800
5	7,280	3,120	10,400
6	7,560	3,240	10,800
7	7,980	3,420	11,400

柔術衣参考サイズ	サイズ	4	5	6	7
	身長（cm）	165	170	175	180

BARBELL DUMBELL PLATE HERACLES®

HRC-200
レギュラーバーベルセット

HRC-300
ラバーバーベルセット

HRC-100
クロームバーベルセット

HRC-1000
50φオリンピックバーベルセット

HRC-200 レギュラーバーベルセット

*P:プレート B:バー DB:ダンベルバー

セット	内容	価格	送料
35kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P2.5kg×4、P5kg×2	¥12,900	送料¥2,000（2ケ口）
55kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P1.25kg×4、P2.5kg×4、P5kg×2、P7.5kg×2	¥17,700	送料¥2,500（3ケ口）
75kgセット	55kgセット+P10kg×2	¥22,500	送料¥3,000（3ケ口）
105kgセット	75kgセット+P15kg×2	¥29,700	送料¥3,500（4ケ口）
145kgセット	105kgセット+P20kg×2	¥39,300	送料¥4,000（5ケ口）

プレート	価格	プレート	価格
1.25kgプレート	1枚¥300	2.5kgプレート	1枚¥600
5kgプレート	1枚¥1,200	7.5kgプレート	1枚¥1,800
10kgプレート	1枚¥2,400	15kgプレート	1枚¥3,600
20kgプレート	1枚¥4,800		

ヘラクレスダンベルセット

各セット共シャフト2本付			レギュラープレート	クロームメッキ仕様	ラバープレート	
10k	片手5kg	DB×2、1.25kg×4	¥4,800	¥6,000	¥5,600	送料¥1,000（1ケ口）
20k	片手10kg	DB×2、2.5kg×4、1.25kg×4	¥7,200	¥10,000	¥8,800	送料¥1,000（1ケ口）
30k	片手15kg	DB×2、2.5kg×8、1.25kg×4	¥9,500	¥14,000	¥12,000	送料¥1,000（1ケ口）
35k	片手17.5kg	DB×2、2.5kg×8、1.25kg×8	¥10,800	¥16,000	¥13,600	送料¥1,500（1ケ口）
40k	片手20kg	DB×2、2.5kg×4、1.25kg×4、5kg×4	¥12,000	¥18,000	¥15,200	送料¥1,500（2ケ口）

●バーベル・ダンベルラック制作いたします。●基本的にレギュラーダンベルセットにはレンチ式シャフト（スプリングカラー4ケ付き）、クローム、ラバーダンベルセットにはスクリュー式シャフトがセットされます。

HRC-300 ラバーバーベルセット

セット	内容	価格	送料
35kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P2.5kg×4、P5kg×2	¥14,900	送料¥2,000（2ケ口）
55kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P1.25kg×4、P2.5kg×4、P5kg×2、P7.5kg×2	¥21,300	送料¥2,500（3ケ口）
75kgセット	55kgセット+P10kg×2	¥27,700	送料¥3,000（3ケ口）
105kgセット	75kgセット+P15kg×2	¥37,300	送料¥3,500（4ケ口）
145kgセット	105kgセット+P20kg×2	¥50,100	送料¥4,000（5ケ口）

プレート	価格	プレート	価格
0.5kgプレート	1枚¥160	1.25kgプレート	1枚¥400
2.5kgプレート	1枚¥800	5kgプレート	1枚¥1,600
7.5kgプレート	1枚¥2,400	10kgプレート	1枚¥3,200
15kgプレート	1枚¥4,800	20kgプレート	1枚¥6,400

HRC-100 クロームバーベルセット

セット	内容	価格	送料
35kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P2.5kg×4、P5kg×2	¥16,500	送料¥2,000（2ケ口）
55kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P1.25kg×4、P2.5kg×4、P5kg×2、P7.5kg×2	¥24,500	送料¥2,500（3ケ口）
75kgセット	55kgセット+P10kg×2	¥32,500	送料¥3,000（3ケ口）
105kgセット	75kgセット+P15kg×2	¥44,500	送料¥3,500（4ケ口）
145kgセット	105kgセット+P20kg×2	¥60,500	送料¥4,000（5ケ口）

プレート	価格	プレート	価格
1.25kgプレート	1枚¥500	2.5kgプレート	1枚¥1,000
5kgプレート	1枚¥2,000	7.5kgプレート	1枚¥3,000
10kgプレート	1枚¥4,000	15kgプレート	1枚¥6,000
20kgプレート	1枚¥8,000		

バーベルセットをご注文の場合、
バーベルセットのバーは●160cmまたは●180cmのいずれかからお選びいただけます。
※200cmの場合は900円増しです。

HRC-1000 50φオリンピックバーベルセット

セット	内容	価格	送料
61kgセット	B16kg×1、P1.25kg×4、P2.5kg×4、P5kg×2、P10kg×2	¥29,400	送料¥3,500（4ケ口）
91kgセット	61kgセット+P15kg×2	¥39,000	送料¥4,000（5ケ口）
131kgセット	91kgセット+P20kg×2	¥51,800	送料¥4,500（6ケ口）
181kgセット	131kgセット+P25kg×2	¥67,800	送料¥5,000（7ケ口）
221kgセット	181kgセット+P20kg×2	¥80,600	送料¥5,500（8ケ口）

プレート	価格	プレート	価格
1.25kgプレート	1枚¥400	2.5kgプレート	1枚¥800
5kgプレート	1枚¥1,600	10kgプレート	1枚¥3,200
15kgプレート	1枚¥4,800	20kgプレート	1枚¥6,400
25kgプレート	1枚¥8,000		

●バーベルシャフトには50φx218cmがセットされます。

武道・トレーニング用品の総合メーカー
株式会社イサミ SRS係
〒346-0015 埼玉県久喜市西528-2
TEL.0480-24-0711(代) FAX.0480-24-0713

注文受付時間	
平日	9:00〜21:00
土・日・祝日	9:00〜18:00

★1998〜1999総合カタログご希望の方は切手¥240分をご送付下さい。

イサミの商品は、通信販売の他、お近くの代理店でも、お求めいただけます。

- ●（株）建武堂（東京池袋）…TEL.03-3986-5255
- ●尚武堂産業（東京水道橋）………TEL.03-3815-0411
- ●神奈川八光堂（横浜市）…………TEL.045-261-6834
- ●赤心堂（大阪市難波・東大阪市）…TEL.06-6649-7111
- ●（株）公武堂（名古屋市）……………TEL.052-241-2511
- ●林藤武道具（石川県金沢市）……TEL.0762-52-2220
- ●（有）東京武道具（札幌市）…………TEL.011-241-6345
- ●（株）いさご武道具（仙台市）………TEL.022-262-2562
- ●（株）マルシン（京都市）……………TEL.075-841-1523
- ●（株）三恵（長崎県諫早市）…………TEL.0957-22-5210

ご注文方法

代引	TEL又はFAXにてご注文下さい。お支払いは商品到着時に配達員へお支払い下さい。商品代金＋送料＋代引手数料＋消費税
現金書留	注文書と商品代金＋送料＋消費税をご送金下さい。
カード	TELにてご注文下さい。合計¥10,000よりご利用できます。合計¥20,000より2回払いも承ります。
分割	合計¥50,000よりご利用できます。詳細はTELにてお問い合わせ下さい。

セントラルファイナンス

ご注意

★沖縄県、北海道、及び離島の方は送料をお問い合わせ下さい。
★代引手数料 総額 ¥30,000未満→ ¥400
総額 ¥100,000未満→ ¥600
総額 ¥100,000以上→ ¥1,000
★表示の価格及び送料には消費税が含まれておりません。
★万一、不良品があった場合は送料当社負担にて交換します。お客様ご都合による返品は未使用に限り可。着品後、1週間以内に電話連絡の上ご返却下さい。その際の返送料はお客様負担となります。

ご使用いただけるカード
ディーシー ビザ マスター ミリオン ジェーシービー

格闘家入場テーマ曲 着メロコレクション vol.9

FIGHTER'S MUSIC on ケータイ

フランシスコ・フィリォ

I'LL BE MISSING YOU/PUFF DADDY&THE FAMILY
（『NO WAY OUT』に収録）

F・フィリォが97年のK-1デビュー時から使用しているこの曲。極真戦士だけに、どんな渋い曲で入場してくるかと思いきや、意外にもポップな選曲だった。それでもフィリォが勝ち続けるうちに、ハマって聞こえてきたから不思議だ。ちなみにこの曲のオリジナルはポリスの名曲『見つめていたい』。

対応機種タイプ

Type. 1
DoCoMo／P206、P205、P156
J-PHONE／DP145
IDO／521G、521GII
Tu-Ka／TH081
デジタルツーカー／P3
セルラー／HD60P、HD61P

Type. 2
DoCoMo／P207、P157、P601ev
J-PHONE／J-P01　IDO／531G
Tu-Ka／TH091
デジタルツーカー／P4　セルラー／D101P

Type. 3
DoCoMo／D207、D207S、D501i
J-PHONE／J-D01
Tu-Ka／TH48s、THZ41、THZ43
デジタルツーカー／D4

Type. 4
IDO／529G、526G
Tu-Ka／TH181、TH18K、TH18S
セルラー／HD60K、HD61K、D201K、D202K

TYPE 1

1 1 1 ▶ 1 1 1 1 ▶ 1 1 1
0 6 6 5 5 ▶ 5 5 0 0 0 0
1 1 1 ▶ 1 1 1 1 ▶ 1 1 1
0 6 6 5 5 1 1 1 0 0 0 0
5 5 ▶ 5 5 1 1 1 0 1 1 1
1 0 6 6 0

TYPE 2

1(×5) * ▶ 1(×6) * ▶ 1(×5) 6(×2) * 5(×2) * ▶
5(×2) *(×4) 0 * 1(×5) * ▶ 1(×6) * ▶ 1(×5) 6(×2)
* 5(×2) * 1(×5) *(×4) 0 * 5(×2) * ▶ 5(×2) *
1(×5) ▶ 1(×6) 6(×2) 5(×2) * ▶ 5(×2) * 1(×6) ▶ 1(×5)
6(×2) ▶ 6(×2) * 5(×2) * 1(×5) 5(×2) *(×4)

TYPE 3

1 9 1 1 8 1 1 8 1(×3) 6 9(×2) 8
6 5(×2) ▶ 5(×8) 0(×2) 1 8 9 1 ▶ 1 8
1 ▶ 1 8 1(×3) 6 9(×2) 8 6 5(×2) 1 9
8 1(×7) 0(×2) 5 9(×2) 8 5 ▶ 5(×2) 1 9 8
1(×3) ▶ 1 8 1(×3) 6 9(×2) 6(×3) 5(×2) ▶ 5(×2) 1
9 1(×3) ▶ 1 8 1(×3) 6 9(×2) 8 6(×3) ▶ 6(×2)
5(×2) 1 9 8 1(×3) 5 9(×2) 8 5(×7)

TYPE 4

↑(×14) # ↑(×15) # ↑(×14) 0 # ↑(×12) # ↑(×10) # ↑(×10)
0(×3) # 0 # ↑(×14) # ↑(×15) # ↑(×14) 0 # ↑(×12)
# ↑(×10) # ↑(×14) 0(×3) # 0 # ↑(×10) # ↑(×10) #
↑(×14) 0 # ↑(×15) 0 # ↑(×12) 0 # ↑(×10) # ↑(×10)
↑(×15) 0 # ↑(×14) 0 # ↑(×12) 0 # ↑(×12)
↑(×10) # ↑(×14) 0 # ↑(×10) 0(×3)

OTHERS

Type. 1～4までの機種以外を使っている方は、この表を元に、それぞれの機種に応じて入力してください。表の見方は次の通りです。
ド↑…1オクターブ上げる
ド#…半音上げる
□…休符
また、音符・休符の横の数字は音の長さを表し、十六分音符を1として八分音符＝2、四分音符＝4と増えていきます。

ド↑2　ド↑#2　ド↑4　ラ#2　ソ#2
ソ#8　□2　ド↑2　ド↑#2　ド↑4
ラ#2　ソ#2　ド↑8　□2　ソ#2
ソ#2　ド↑4　ド↑#4　ラ#4　ソ#2
ソ#2　ド↑#4　ド↑4　ラ#4　ラ#2
ソ#2　ド↑4　ソ#8

リクエスト受付中！

このコーナーでは、「この選手のテーマ曲を着メロにしてほしい！」という読者のみなさんからのリクエストを受付中です。希望する選手とテーマ曲、住所、名前、電話番号を明記の上、

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F
SRS・DX編集部『着メロ』係

まで、どしどしご応募ください。
人気の高い曲は、どんどん紹介していく予定です。

SRS DX 99・11・11 No.9

第7回 極真カラテ世界大会直前大特集

10・11 小川直也VS橋本真也戦の波紋

1999年11月11日発行(毎月第2・第4木曜日発行) 第1巻・第9号・通算9号
編集人・谷川貞治 発行人・柳沢忠之 発行所・(株)フジテレビ出版/(株)ローデス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田Nビル8F 電話/03-3295-4445
発売所・(株)扶桑社 〒105-8070 東京都港区海岸1丁目15番1号

定価680円 本体648円

雑誌 21582-11/11 T1121582110686

Printed in Japan